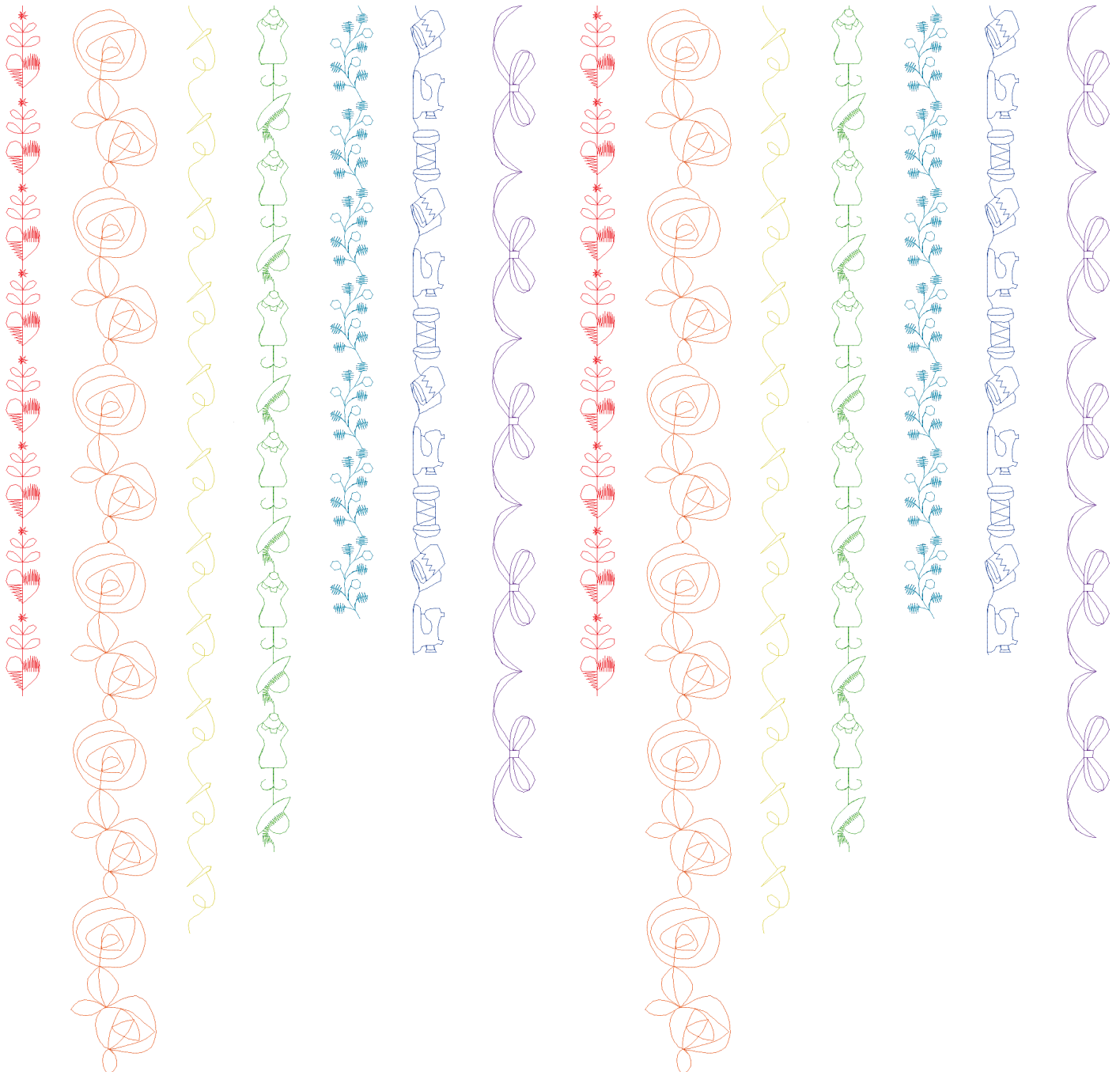


取扱説明書 (実用編)

刺しゅう機付コンピューターミシン

EMW30 シリーズ



- ご使用になる前に必ず本書をお読みにになり、正しくお使いください。
- 本書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、取扱説明書で機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。
また取扱説明書は、読み終わったあとも、いつでもご覧になれるところに保管してください。

安全にお使いいただくために




人への危害や損害を未然に防ぐために、必ずお守りください。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



 警告	「死亡や重傷を負うおそれのある」内容です。
 注意	「傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある」内容です。

警告

火災・感電・故障を さけるために

-  一般家庭用電源 AC100V の電源で使う
-  次の場合は電源を切り、プラグを抜く
 - ミシンの使用後や、そばを離れるとき
 - 使用中に停電したとき
 - 接触不良などで正常に動作しないとき
 - 雷が鳴りはじめたとき
-  異常・故障時は...
すぐにプラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡を！
 (またはお客様相談室 (ミシン 119 番) へ)
 異常などの例：
 - 煙が出た、異臭や異常音がする
 - ミシンを落とした
 - 電源コードやプラグの破損
 - 本体に水が入った



- お守りいただく内容を区分して説明しています。

	「してはいけない」内容です。
	「実行しなければならない」内容です。

注意

けが・針折れなどを さけるために

針や周辺部品

-  ● 縫製中は次のことをしない
 - 針やプーリー、てんびんなど、動いている部品に手を近づける
 - 針の下などに指を入れる
 - 布地を無理に引っ張ったり、押したりする
 - 曲がった針は使わない
- リッパーで穴をあける方向に、手や指を置かない
(すべったときにけがのおそれがあります)
-  ● 針や押えの交換時は、電源を切る
(誤ってスイッチを押すと、ミシンが作動するおそれがあります)
- 上糸や下糸などに関する操作は、本書に従って正しく行う
(誤ると、糸がらみなどが発生し、針の折れや曲がりのおそれがあります)

⚠ 注意

けが・故障 をさけるために

持ち運び



- 急激または、不用意に持ち上げない
(ミシン本体の重さは約 20kg あります。)



- ハンドルを持って運ぶ
(他の部分では、こわれたり、すべて落とすおそれがあります)

火災・発熱・感電 を

さけるために

電源コードやプラグ



- 次のようなことをしない
 - ・ たこ足配線
 - ・ 濡れた手でプラグの抜き差し
 - ・ 電源を切らずにプラグを抜く
 - ・ ゆるんだコンセントに差し込む
 - ・ 電源コードを引っ張って抜く
- 電源コードは、次のような扱いをしない
 - ・ 無理に曲げる
 - ・ ねじる
 - ・ たばねたまま使う
 - ・ 重い物を載せる など



- プラグは根元まで確実に差し込む

火災・感電・けが・故障・事故などを

さけるために

設置・保管場所



- 次の場所に設置や保管をしない
 - ・ 著しく高温や低温になる
(使用環境温度は 0 ~ 40 °C)
 - ・ 急激に温度が変化する
 - ・ 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い
(火のついたたばこやろうそく、アイロン、ストーブなど)
 - ・ スプレー (布用スプレーなど) を使う部屋
 - ・ 湿気や湯気が多い
 - ・ 屋外や、直射日光が当たる
 - ・ ほこりや油煙が多い
 - ・ 不安定な場所 (ぐらつく、傾くなど)
- 換気口やフットコントローラーに糸くずやほこりをためない
- 換気口をふさがない

取り扱い



- 換気口や内部にドライバーなどを差し込んだり、異物を入れない
(高電圧部に触れるおそれがあります)
- 修理や分解、改造は行わない
- フットコントローラーの上に物を置かない
- 本製品のお手入れには、シンナー・ベンジン・アルコールなどの有機溶剤、洗剤を使わない
(塗装がはがれたり、傷がついたりするおそれがあります)



- 付属品、別売品は純正品を使う
ブラザー純正品または推奨品以外の部品使用による故障は、保証期間中でも有償修理となります。
※ その他のものが必ず不具合を起こすわけではありません。
- 本書に記載の整備は、プラグを抜いてから行う
- 本機が入っていた袋は、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄する
(かぶって遊ぶと、窒息のおそれがあります)

🔗 お願い

- このミシンは日本国内向け、家庭用です。日本国外では使用できません。
This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万が一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらお買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご連絡ください。
- 本機をご使用になる方 (お子様を含む) が、身体/知覚/精神的能力になんらかの障がいを持つ場合、あるいは経験や知識が十分でない場合には安全を保証できる責任者の監視の下でのみ本機を使用してください。
- お子様を使用するときは、玩具として使用しないよう、十分な監視の下で使用してください。

利用規約

重要！！ よくお読み下さい：

この利用規約（以下、「本規約」といいます）は、お客様が弊社のマシンまたはクラフト製品（以下、「弊社製品」といいます）をご利用になる際にインストールまたは使用される本ソフトウェアについて、お客様とブラザー工業株式会社（以下、「弊社」といいます）が締結する契約です。「本ソフトウェア」とは、すべてのコンテンツデータ、デザインデータ、データフォーマット、弊社製品におけるファームウェア、PC アプリケーション、またはモバイルアプリケーションを指すものとしします。

本ソフトウェアおよび弊社製品をお客様がご利用になることにより、お客様は本規約の各条項に従うことに同意したものとみなされます。お客様が本規約に同意されない場合、弊社は本ソフトウェアをお客様にライセンスすることができず、お客様は本ソフトウェアの使用を許諾されません。なお、本規約への修正または追補が本ソフトウェアになされる場合があります。

企業を代理して本規約に同意する個人は、その企業における法的拘束力のある契約を締結する権限を有していることを表明します。

使用許諾条件：

1 使用許諾

- 1.1 本規約に基づき、弊社はおお客様に対し、弊社製品をご利用になる範囲に限り、本ソフトウェアにおける非独占的、譲渡不能かつ取消不能のライセンスを許諾します。
- 1.2 お客様に認められた本ソフトウェアの使用に関する権利は、本規約のもとでのお客様の本ソフトウェアのご使用に関しライセンスされるものであり、譲渡されるものではありません。弊社もしくは供給者は、本ソフトウェアに含まれる知的財産権に限らず、すべての権利、権原および利益を保持します。

2 制限

- 2.1 本規約に明示的に記載されている場合、または、各国の法令によって要求される場合を除き、お客様は以下の条件に従います。
 - 2.1.1 分解、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、翻訳、または他の方法により、本ソフトウェアのソースコード（弊社製品またはコンテンツ編集アプリケーションソフトウェアを使用してお客様が作成したデータまたはコンテンツを含むものとし、以下、第2条において同様に適用します。）を取得しないこと。
 - 2.1.2 本ソフトウェアの全部または一部に基づく派生物を製作しないこと。
 - 2.1.3 弊社からの書面により事前の承諾なく、本ソフトウェアの全部または一部を、いかなる形態であれ他者に配布、提供、利用させないこと。
 - 2.1.4 本ソフトウェアを弊社製品上での通常の使用に付す場合、またはバックアップや運用上の安全のために必要な場合を除き、本ソフトウェアを複製しないこと。
 - 2.1.5 本ソフトウェアの全部または一部の譲渡、賃貸借、リース、サブライセンス、貸付、翻訳、結合、翻案、変更、改造、改変を行ってはならないこと、

また本ソフトウェアまたはその一部に他のプログラムを結合させたり、組み込んだりしてはならないこと。

- 2.1.6 本ソフトウェアの全部または一部の複製物においても、弊社の著作権表示およびこの利用規約を含めておくこと。
- 2.1.7 本規約の第1条に規定する以外の目的（弊社製品以外のマシンまたはクラフト製品もしくはソフトウェアの使用を含むがこれに限定されません）において、本ソフトウェアを使用しないこと。

3 無保証

適用される法令にて許容される範囲において、本ソフトウェアは、明示的または黙示的にかかわらず、口頭または書面によるいかなる種類の保証または条件なく、“現状有姿”にて提供されます。弊社は、本ソフトウェアにおける商品性、品質の完全性、非侵害性または特定の目的への適合性について、いかなる黙示的な保証もいたしません。

4 責任制限

- 4.1 弊社は、お客様、最終使用者、または、その他の事業者が生じる、いかなる利益または収益の損失、データの損失、使用の中断、または派生的、偶発的、特別、懲罰的または間接的な損害について、規約上の行為または不法行為のいずれであっても、また、たとえ弊社が本規約によるサポートサービスなどで本ソフトウェアに関連して起因する損害に関する可能性についてお知らせしていた場合であっても、いかなる責任も負わないものとしします。これらの制限は、救済措置を限定するという本質的な目的にかかわらず、適用される法令で認められる最大限の範囲に適用されません。
- 4.2 本規約第3条または第4.1条にかかわらず、本規約は、死亡または人身傷害に対する過失または消費者を保護する法的権利に基づく弊社の責任を、排除または制限する目的はありません。

5 解除

- 5.1 お客様が本規約における重大な違反をし、弊社による請求に基づきその違反を直ちに是正しない場合、弊社はいつでも本規約を解約する権利を有するものとしします。
- 5.2 本規約に基づきお客様に付与されたすべての権利が終了した場合、お客様は本規約により許可されたすべての活動を終了し、所有するすべてのコンピュータ機器から本ソフトウェアを直ちに消去または削除し、また、お客様の所有する本ソフトウェアのすべての複製物もしくはその派生物を削除または破棄します。上記に加えて、お客様は所有する弊社製品によりお客様が作成したコンテンツまたはデザインデータを削除するものとしします。

6 一般条項

- 6.1 お客様は、適用される法律または規則に違反して、本ソフトウェアまたはそのコピーもしくはその改変物を輸出または再輸出してはなりません。
- 6.2 お客様は、本規約における権利または義務の全部または一部を、事前の書面による同意なしに、第三者またはその関係者に譲渡してはなりません。合併、資産または株式の売却に

- 伴う支配または再編成の変更は、本規約の譲渡であるとみなします。
- 6.3 お客様は、本規約の違反が、金銭的損害賠償が適切な救済策ではなく、弊社に回復不能な損害を引き起こすものであることに同意し、弊社は、本規約または法令に基づく救済に加えて、保証金、その他の担保、または損害額の証明なく、衡平法上の救済を求める資格を有するものとします。
- 6.4 本規約のいずれかの条項が管轄権を有する裁判所によって無効または執行不能と宣言または決定された場合、その条項は本規約の他の条項と切り離して独立し、その他の条項および規約全体の有効性はこれによる影響を受けるものではありません。
- 6.5 本規約は、ここに添付されているすべての書類とともに、本件の主題に関する当事者間の完全な合意を構成し、この件に関する当事者間の口頭および書面によるすべての提案に優先します。
- 6.6 弊社が、本規約に基づく義務の履行をお客様に求めなかった場合、または弊社がお客様に対して何らかの権利の行使をしない場合、もしくは弊社がこれらを遅延する場合があったとしても、弊社はお客様に対する権利を放棄するものではなく、また、お客様がそれらの義務を遵守する必要がないということの意味するものではありません。弊社がお客様の不履行に関する請求権を放棄する場合、弊社は書面でのみこれを行うものとし、また、これはお客様によるその後の不履行を自動的に放棄することを意味するものではありません。
- 6.7 お客様が居住する州または国（もし事業者の場合、主たる事業所が置かれている場所）の法律が、本ソフトウェアまたは本規約に関するすべての請求および紛争に適用されます。
- 6.8 本ソフトウェアには、第三者のソフトウェア若しくはオープンソースソフトウェア（総称して「第三者ソフトウェア」といいます）が含まれている場合があります。第三者ソフトウェアについては、別途定める規約を参照してください。
- 6.9 本規約への変更及び補足は、以下の場合になされる場合があります。A) 変更内容が、お客様の一般の利益に適合するとき。B) 変更内容が相当性・合理性のあるものであり、かつ、本規約の目的に反しないものであるとき。弊社は、本規約を変更する 30 日前までに、ブラザーまたはブラザーが指定するホームページで変更内容を利用者に通知し、効力を生じる前に利用者が確認できる機会を提供します。改訂された規約の効力が生じた場合、本ソフトウェアの利用を継続されるお客様は、改訂された規約に拘束されます。

第三者ソフトウェア

このソフトウェアには、MuPDF ソフトウェア（以下、「MuPDF」といいます）が含まれます。弊社は、以下の利用規約に従って、このソフトウェアを利用しています。

Portions Copyright © 1998/2016 Artifex Software Inc.

このソフトウェアの一部は、Independent JPEG Group の著作物に基づいています。

Portions Copyright © 1998 Soft Horizons.

Portions Copyright © 2005 LuraTech Imaging GmbH.

All Rights Reserved.

Artifex、Artifex ロゴ、MuPDF、Ghostscript、SmartOffice ロゴ、および Ghostscript ロゴは、Artifex Software、Inc. の登録商標です。

- 最終使用者には、個人に対し、譲渡不能かつ非独占的な本ソフトウェアの使用に関する権利を許諾します。
- Artifex Software Inc. は、ソフトウェアに組み込まれている MuPDF のすべての権原を保持し、MuPDF、または、いかなる知的財産の権原は当該最終使用者に譲渡されるものではありません。
- 最終使用者は、以下を複製することができません。
 - 本ソフトウェア（ただし、バックアップや記録保管の目的であり、弊社製品を使用するために必要な場合に限っての複製物 1 部を除く）または、
 - MuPDF に付随する資料。本契約に基づき認められた範囲で複製する場合であっても、その複製物はすべて弊社並びに弊社のライセンサー及びサプライヤーの専有情報であり、それらの保有する著作権の対象になります。
- 最終使用者は、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または他の方法により、本ソフトウェアからソースコードを取得しようとしません。
- Artifex Software Inc. は、最終使用者へのサブライセンスの意図された第三受益者であり、最終使用者に対し直接、自らの名前で、その権利を行使することができます。
- Artifex Software Inc. は、ソフトウェアのライセンスから生じる一般的、特別、直接的、間接的、結果的、偶発的、またはその他の損害について、たとえ損害の可能性についてお知らせしていた場合であっても、最終使用者に対して、責任を負わないものとします。
- ライセンスが終了した場合、最終使用者はソフトウェアのすべての複製物を破棄するか、弊社に返却するものとします。
- 最終使用者がアメリカ合衆国政府の使用者である場合、MuPDF と関連するドキュメントは、DFAR§227.7202 および FAR§12.212 (b) に従い、それぞれ「商用コンピュータソフトウェア」および「商用コンピュータドキュメント」と見なされます。本契約によりライセンスされたソフトウェア及びその関連するドキュメントの使用、複製、または開示は、上記の DFAR および FAR に規定された制限付き権利の対象となります。
- ARTIFEX SOFTWARE INC. は、本ソフトウェアおよび MuPDF に関して、明示的、黙示的、法定的を問わず、商品性および特定の目的への適合性の黙示の保証またはいかなる他の司法管轄の法律に基づく同等のものを含むがこれに限定されない一切の保証を行いません。

規格について

無線 LAN ご使用時のご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用周波数を変更するため、速やかに無線 LAN の使用チャンネルか内線用の通信チャンネルを変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談窓口へお問い合わせください。
- その他、製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
- その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
 - メールの内容
- などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
- セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。

「DS」：変調方式が DS-SS 方式であることを表す。
(IEEE802.11b のとき)

「OF」：変調方式が OFDM 方式であることを表す。
(IEEE802.11g/n のとき)

「4」：想定される干渉距離が 40m 以下であることを表す。

「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

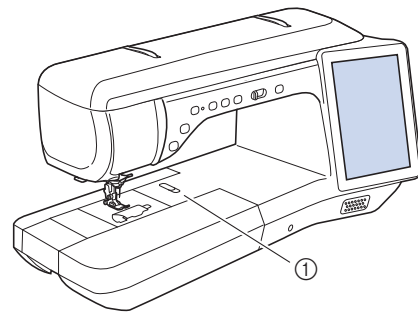
無線モジュール内蔵について

この製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

警告表示について

本製品には下記の警告が表示されています。警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。また、警告ラベルは、はがれたり、傷ついたりしないよう十分注意してください。万一ラベルがはがれていたり、読みとれなくなった場合は速やかに「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。

■ ミシン本体

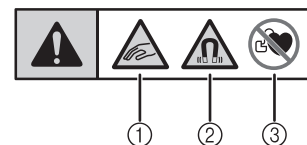


①



■ 糸立てスタンド

底面に警告ラベルが貼りつけられています。



①

②

③

本製品にはマグネットが含まれています。

- ① 糸立てスタンドと本機の上ふたの間に指や物を挟まないように注意してください。
- ② マグネットを精密電子機器、コンピューターのディスク装置、磁気ストライプ付きクレジットカードなどに近づけないでください。
- ③ ペースメーカーをお使いの場合は、糸立てスタンドを使用しないでください。

商標について

SD は、SD-3C,LLC の登録商標または商標です。
CompactFlash (コンパクトフラッシュ) は SanDisk 社の登録商標または商標です。
メモリースティックはソニー株式会社の登録商標または商標です。
スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標または商標です。
マルチメディアカード (MMC) は、Infineon Technologies 社の登録商標または商標です。
XD ピクチャーカード (xD-Picture Card) は富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
Adobe、および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
Artifex、Artifex ロゴ、MuPDF、Ghostscript、SmartOffice ロゴ、Ghostscript ロゴは Artifex Software, Inc. の登録商標です。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名および商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

著作権とライセンスについて

Portions Copyright © 1998/2016 Artifex Software Inc.

本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

Portions Copyright © 1998 Soft Horizons.

Portions Copyright © 2005 LuraTech Imaging GmbH. All Rights Reserved.

本取扱説明書に記載されているアプリケーションは、各社によってソフトウェアライセンスの所有・管理がされています。

オープンソースライセンス公開


オープンソースライセンスに関する記述は、ブラザーのサポートサイト (<http://s.brother/cpdad/>) の製品マニュアルをご覧ください。

無線 LAN 接続に関するご注意

本製品の無線 LAN インターフェースは、電気通信事業者 (移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等) の通信回線 (公衆無線 LAN を含む) に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

本書の使い方

本機の取扱説明書は（実用編）と（刺しゅう編）で構成されています。用途に応じて使い分けてください。例えば、付属品や設定画面などの基本内容については、（実用編）の1章を参照してください。

画面操作の説明で、注意する箇所に  のマークが付いています。本書の画面とミシンに表示される画面を見比べながら、操作を行ってください。

本機を使用しているときに、わからないことや詳しく知りたいことがありましたら、目次と巻末の索引を併用して本書をご確認ください。

お知らせ

- 下部に Kit と記載されている灰色のキーは、アップグレードキットを認証すると使用できるようになります。アップグレードキットは国や地域によっては発売されていないことがあります。アップグレードキットについては、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご確認ください。

目次

はじめに.....	1	返しぬい／止めぬいをする.....	76
安全にお使いいただくために.....	1	自動止めぬいをする.....	77
警告表示について.....	5	自動押え上下と自動糸切り機能.....	78
商標について.....	6	カーブをぬう.....	78
著作権とライセンスについて.....	6	ぬい方向を変える.....	78
オープンソースライセンス公開.....	6	厚い布地をぬう.....	79
無線 LAN 接続に関するご注意.....	6	面ファスナー（マジックテープ®）をぬう.....	80
本書の使い方.....	7	薄い布地をぬう.....	80
		伸びる布地をぬう.....	80
第 1 章 ぬう前の準備	11	模様の設定	81
各部の名称とはたらき.....	12	振り幅を調節する.....	81
主要部.....	12	ぬい目の長さを調節する.....	81
針と押え部分.....	13	ぬい目の基線位置を変える（L/R シフト）.....	82
刺しゅう機.....	13	糸調子を調節する.....	83
操作スイッチ.....	14	便利な機能	84
付属品ケース／補助テーブル.....	14	自動糸切りをする.....	84
アクセサリケースを使用する.....	14	ピボット.....	85
ポビクリップを収納する.....	15	ニーリフターを使用する.....	86
付属品.....	15	自動押え圧補正.....	87
別売品.....	19	針位置 - ぬい位置.....	88
マルチドライバーを使う.....	22	画面で針位置を確認する.....	88
糸たてスタンドを使う.....	22	プロジェクターを使う	90
糸たてスタンドを組み立てる.....	23	プロジェクターを使った便利な縫製機能.....	90
電源の入れ方	24	デュアルタッチペンについて.....	90
ミシンを初めて使うとき.....	25	デュアルタッチペンに電池を取り付ける.....	90
液晶画面の操作	26	デュアルタッチペンでプロジェクターを操作する.....	91
設定キーを使う.....	27	デュアルタッチペンホルダーを使用する.....	91
ぬいの設定.....	27	プロジェクター機能	
ミシン本体の設定.....	28	(実用ぬいと文字／飾りぬい)	92
刺しゅうの設定.....	30	プロジェクターの投影範囲.....	92
無線 LAN の設定.....	31	プロジェクターでぬい模様を映す.....	92
機能を設定する.....	31	デュアルタッチペンでぬい模様を選択する.....	93
ミシンヘルプキーを使う.....	37	デュアルタッチペンで選択したぬい模様を編集する.....	93
操作ガイド機能を使う.....	38	プロジェクターでガイドラインを映す.....	93
ぬい方キーを使う.....	39	第 3 章 実用模様	95
使い方動画を再生する.....	40	実用模様を選ぶ	96
MPEG-4（MP4）動画を再生する.....	41	模様を選ぶ.....	99
模様説明キーを使う.....	42	模様の設定を記憶する.....	100
取扱説明書（PDF ファイル）の見方.....	42	模様をぬう	102
無線 LAN 接続機能	44	直線ぬい.....	102
無線 LAN 接続設定を有効にする.....	44	ダーツ.....	105
ウィザードで無線 LAN 接続をセットアップする.....	45	ギャザー.....	106
ミシンにアクセサリを接続する	47	折り伏せぬい.....	107
USB メディア／SD カードを使用する.....	47	ピンタック.....	108
USB マウスを使う.....	47	ジグザグぬい.....	108
		点線ジグザグぬい.....	110
第 2 章 基本のぬい方	49	たち目がかり.....	110
下糸の準備	50	キルトぬい.....	114
下糸を巻く.....	50	まつりぬい.....	124
下糸をセットする.....	55	アップリケ.....	127
下糸を引き出す.....	57	シェルタックぬい.....	128
上糸通し	58	スカラップぬい.....	128
上糸通し.....	58	つき合わせぬい.....	129
2 本針を使用する.....	61	スモッキングぬい.....	129
糸たてスタンドを使う.....	63	ファゴティングぬい.....	130
ほどけやすい糸を使用する場合.....	65	ゴムひもつけ.....	131
針の交換	66	ヘアールーム.....	132
布地と糸の種類による針の使い分け.....	68	しつけぬい.....	133
押えの交換	69	ボタン穴かがり.....	134
押えを取り外す.....	69	4 ステップ ボタン穴かがり.....	138
押えを取り付ける.....	69	かんどめ.....	140
付属のアダプターを使用して押えを取り付ける.....	70	ボタンつけ.....	141
デュアルフィード押えを使う.....	71	アイレット.....	142
基本のぬい方	74	横送り（直線・ジグザグ）.....	143
ぬってみましょう.....	74	ファスナーつけ.....	144

第4章 文字・模様ぬい	147
模様の選び方	148
飾り模様を選択する	150
文字模様を選択する	150
文字・模様をぬってみましょう	153
きれいにぬうために	153
文字・模様のぬい方	153
模様を調整する	154
模様の編集のしかた	156
模様の変え方	159
模様の長さを変える (7 mm サテンステッチのみ)	159
模様を上下反転させる	159
模様を左右反転させる	159
模様の連続ぬい/単独ぬい	159
模様の糸密度を変える (大型サテンステッチのみ)	160
模様の始めに戻る	160
模様のイメージを確認する	161
模様の組み合わせ	162
模様の組み合わせをする前に	162
ちがう模様を組み合わせる	162
大きさを変えた模様を組み合わせる	163
反転模様を組み合わせる	164
長さを変えた模様を組み合わせる	164
ステップ模様を作成する	165
模様の記憶	168
データに関する注意	168
模様を記憶する	169
模様を市販の USB メディアに記憶する	169
模様を呼び出す	170
USB メディアから呼び出す	171
保存したファイルを管理する	172
ミシンに模様を転送する (刺しゅう PRO)	172
第5章 マイイラスト機能	173
イラストデザイン	174
イラストの入力	176
ミシンに内蔵の模様を編集する	180
マイイラストの記憶	182
マイイラストをリストに保存する	182
保存した模様を呼び出す	183
第6章 付録	185
お手入れのしかた	186
注油に関して	186
ミシンを保管するときのご注意	186
液晶画面の汚れの掃除	186
ミシンの汚れの掃除	186
かまの掃除	186
内かま周辺のカッターの掃除	188
点検の警告について	188
困ったとき	189
よくあるご相談	189
上糸がつる	189
布裏で糸がからまる	190
糸調子が合わない	192
布がミシンに入り込んでとれなくなった	193
こんなときは	196
エラーメッセージ	201
仕様	205
アップグレードの方法	206
USB メディアを使用してアップグレードする	206
アップグレードファイルを無線接続でダウンロードする	207
ぬい方早見表	208
索引	217



第 1 章

ぬう前の準備

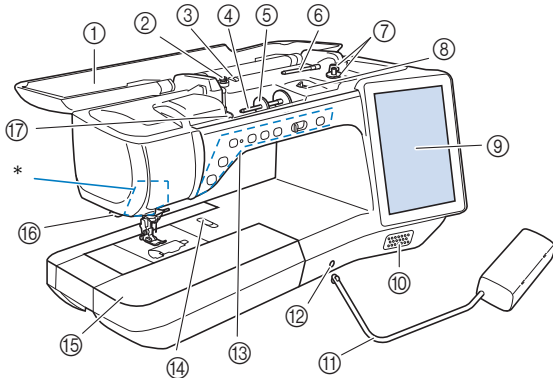
必ず最新のソフトウェアをインストールしてください。
詳細は P. 206 「アップグレードの方法」を参照してください。

各部の名称とはたらき

ここでは、ミシンの各部の名称とはたらきを説明します。ミシンをお使いになる前に、よく読んで覚えておきましょう。

主要部

■ 正面



- ① 上ふた
上糸を通すときや下糸を巻くときに開けます。

注意

- 1 kg 以上の重さのあるものを上ふたに置かないでください。上ふたが破損する可能性があります。

- ② 下糸巻き案内
下糸を巻くときに糸をかけます。(P. 50)
- ③ 糸案内
下糸を巻くときに糸をかけます。(P. 50)
- ④ 糸たて棒
糸こまを差し込みます。(P. 58)
- ⑤ 糸こま押え
糸こまが抜けないように押えます。(P. 58)
- ⑥ 補助糸たて棒
下糸を巻くときや2本針でぬうときに使います。(P. 50, P. 61)
- ⑦ 下糸巻き装置
下糸をボビンに巻くときに使います。(P. 50)
- ⑧ 糸巻き量調整つまみ
ボビンに巻く糸の量を調整します。(P. 52)
- ⑨ 液晶画面
選択した模様の設定やエラーメッセージが表示されます。(P. 26)
- ⑩ スピーカー
- ⑪ ニーリフター
ひざで押えを上げ下げするときに使います。(P. 86)
- ⑫ ニーリフター差し込み口
ニーリフターを差し込みます。(P. 86)
- ⑬ 操作スイッチ(7つ)とスピードコントロールレバー
ミシンのさまざまな操作に使います。(P. 14)
- ⑭ 針板レバー
手前に引いて、針板を取り外します。(P. 186)
- ⑮ 付属品ケース/補助テーブル
中に押えやボビンなどを収納します。袖口などの筒ものをぬうときには外します。(P. 14)
- ⑯ 糸切り
糸を引っかけて切ります。(P. 60)

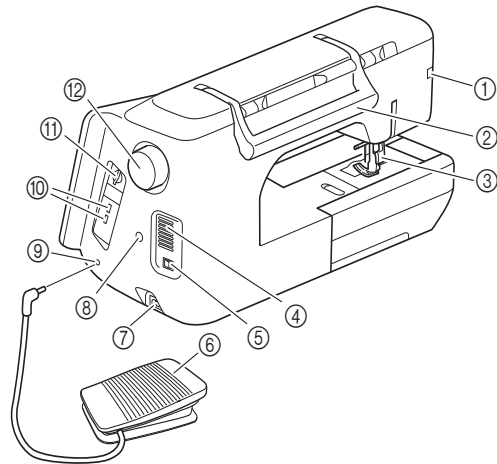
- ⑰ 糸案内板
上糸を通すときに糸をかけます。(P. 58)
- * カメラとプロジェクター (内蔵)



注意

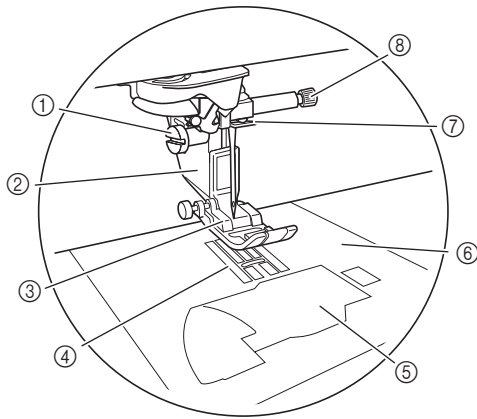
- カメラやプロジェクターに触れないでください。正しく表示されない場合があります。

■ 背面図



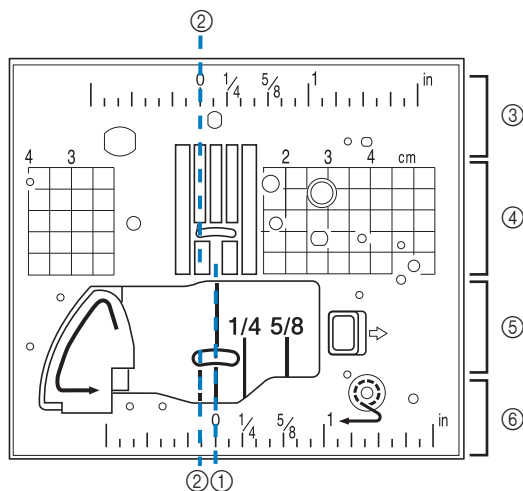
- ① 押えコネクタ
デュアルフィード押えやLEDポインター付き刺しゅう押え(別売)の取り付け時にプラグを差し込みます。(P. 71)
- ② ハンドル
ミシンを持ち運ぶときに持ちます。
- ③ 押えレバー
押えを上げ下げします。(P. 69)
- ④ 換気口
モーターの換気用の穴です。ミシンを使用しているときはふさがないようにください。
- ⑤ 電源スイッチ
ミシンの電源を「入」や「切」にするスイッチです。(P. 24)
- ⑥ フットコントローラー
ミシンを足で操作するときに使います。
- ⑦ 電源ジャック
電源コードを差し込みます。(P. 24)
- ⑧ デュアルタッチペンホルダーコネクタ
付属のデュアルタッチペンホルダーを接続します。(P. 91)
- ⑨ フットコントローラージャック
フットコントローラーのプラグを差し込みます。(P. 75)
- ⑩ USBポートコネクタ
USBメディアをUSBポートコネクタに直接差し込んで、模様データの取り込み/保存をします。
- ⑪ SDカードスロット
SDカードをSDカードスロットに差し込んで、模様データの取り込み/保存をします。
- ⑫ プーリー
針を上げ下げするときに手前に回します。必ずミシン正面に向かうように回してください。

針と押え部分



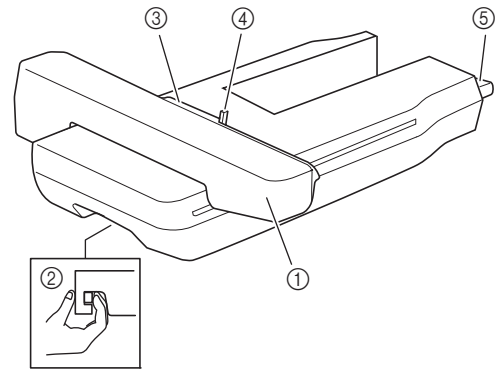
- ① 押えホルダーのネジ
押えホルダーを固定します。(P. 70)
- ② 押えホルダー
押えを取り付けます。(P. 69)
- ③ 押え
布地を押えます。ぬい方に合った押えを取り付けてください。(P. 69)
- ④ 送り歯
ぬう方向に布地を送ります。
- ⑤ 針板ふた
開けて、中のかまにボビンをセットします。(P. 55、P. 109)
- ⑥ 針板
まっすぐにぬうための目盛りがついています。(P. 104)
外かまの掃除をするときなどに取り外します。(P. 104、P. 186)
- ⑦ 針棒糸かけ
上糸をかけます。(P. 58)
- ⑧ 針のとめネジ
針を固定します。(P. 66)

針板／針板ふた（マーク付き）の目盛りを使う
針板ふたと針板の目盛りは、左基線または中基線の模様をぬうときの目安です。



- ① 中基線の針落ち位置
- ② 左基線の針落ち位置
- ③ 左基線のときの針落ち位置からの長さ（インチ）
- ④ 左基線のときの針落ち位置からの長さ（cm）
- ⑤ 中基線のときの針落ち位置からの長さ（インチ）
- ⑥ 中基線のときの針落ち位置からの長さ（インチ）

刺しゅう機

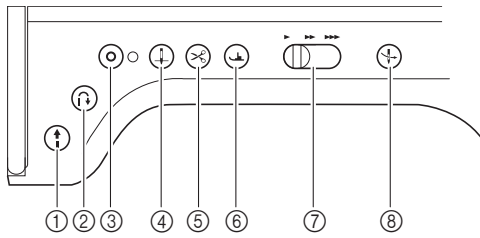


- ① キャリッジ
刺しゅうをぬうときに自動的に動きます。
- ② 刺しゅう機取り外しレバー（裏側）
刺しゅう機を取り外すときに押します。
- ③ 刺しゅう枠ホルダー
刺しゅう枠を取り付けます。
- ④ 枠固定レバー
押し下げて刺しゅう枠を固定します。
- ⑤ コネクタ
刺しゅう機を取り付けるときに、刺しゅう機差し込み口に差し込みます。

⚠ 注意

- 刺しゅう機を取り付けたり取り外す前には、必ず電源を切ってください。
- 刺しゅう枠を刺しゅう枠ホルダーに取り付けた後は、枠固定レバーが正しく下がっていることを確認してください。

操作スイッチ



① スタート/ストップスイッチ

このスイッチを押すと、数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールレバーで設定されている速度でぬい始めます。もう一度押すとストップします。このスイッチを押し続けると、非常にゆっくりとした速度でぬいます。スタート/ストップスイッチは、ミシンの状態によって色が変わります。

- 緑： スタートできる状態のときおよび縫製中
- 赤： スタートできない状態のとき

② 返しぬいスイッチ

返しぬいを行う直線またはジグザグ模様や点線ジグザグ模様の場合、このスイッチを押している間だけ低速で返しぬいをします。逆方向にぬいます。そのほかの模様では、ぬい始めやぬい終わりの返しぬい、または止めぬいをするときに使います。このスイッチを長押しすると、同じ場所で3針重ねてぬって止まります。(P. 77)

③ 止めぬいスイッチ

このスイッチを押すと1針ぬいを繰り返した後で、止めぬいします。文字・飾りぬいをするときは、模様を最後までぬってから止めぬいをします。模様の途中ではボタンの横のLEDライトが光り、模様を最後までぬうとライトは消えます。(P. 76) また、刺しゅうモードで下糸を交換する場合は、このスイッチを押して、糸を切る前に止めぬいをしてください。これにより、糸がほつれにくくなります。

④ 針上下スイッチ

ぬい方向を変えるときや細かいところをぬうときに使います。このスイッチを押すと、針の位置が上下に切り換わりします。繰り返押しすると、1針ぬいができます。

⑤ 糸切りスイッチ

ぬい終わった後にこのスイッチを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。

⑥ 押え上下スイッチ

このスイッチを押すと、押えが下がり布地を押えます。もう一度押すと押えが上がります。

⑦ スピードコントロールレバー

このレバーを左右に動かして、ぬう速さを調節します。左に動かすと遅くなります。右に動かすと速くなります。

⑧ 自動糸通しスイッチ

このスイッチを押すと、自動的に針の糸通しをします。

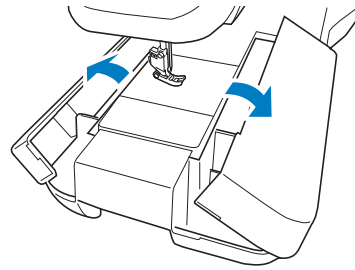
⚠ 注意



- 糸を切った後は、糸切り操作を繰り返し行わないでください。針が折れたり糸がからまるおそれがあります。また、故障の原因となります。

付属品ケース／補助テーブル

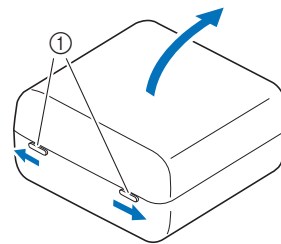
補助テーブルの中に付属品を収納することができます。図のようにふたを開けてください。



アクセサリケースを使用する

■ アクセサリケースを開ける

アクセサリケースの前面にあるつまみを外側にスライドさせて開きます。

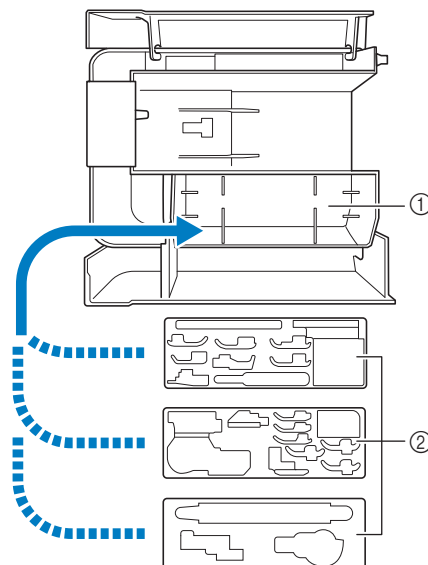


① つまみ

■ アクセサリートレイを使用する

アクセサリケース内部には押え収納トレイが3つあります。

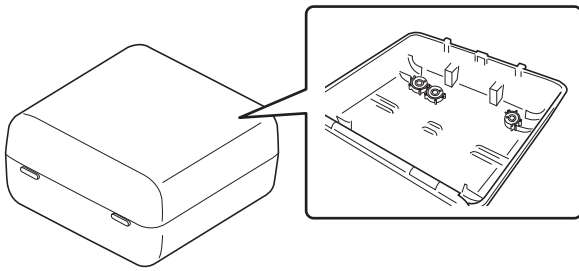
付属品ケース／補助テーブルの中に、押え収納トレイを入れておくと便利です。



① 押え収納トレイがセットできます。
② 押え収納トレイ

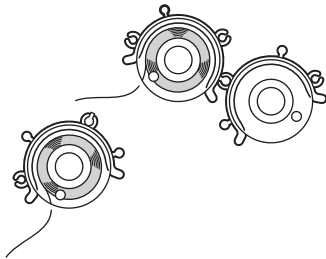
ボビクリップを収納する

ボビクリップはアクセサリケースカバーの中に収納できます。



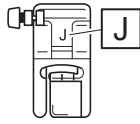
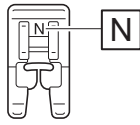
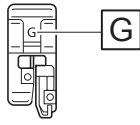
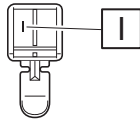
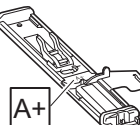
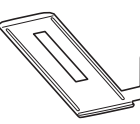
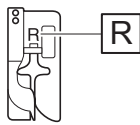
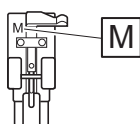
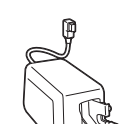
お知らせ



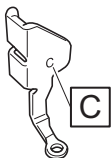

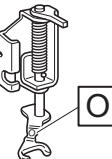

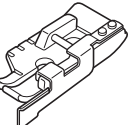
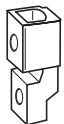

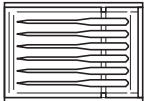
- ボビクリップを使用すると、ボビンの糸端を固定し、収納しておくことができます。ボビクリップをつなげてまとめておくと、落として転がっていくようなこともありません。

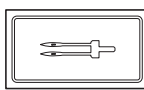
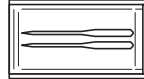

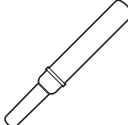


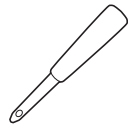

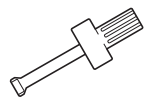



付属品

箱を開けたら、まず以下の付属品が揃っているか確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



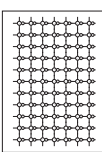
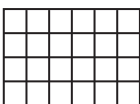



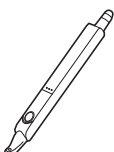
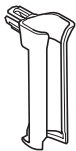
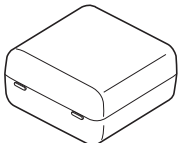
	部品名
1. 	ジグザグ押え< J > (ミシンに取り付けてあります)
2. 	模様ぬい押え< N >
3. 	たち目かがり押え< G >
4. 	片押え< I >
5. 	ボタン穴かがり押え< A+ >
6. 	安定板
7. 	まつりぬい押え< R >
8. 	ボタン付け押え< M >
9. 	デュアルフィード押え



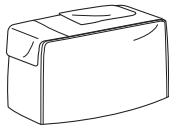
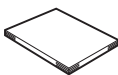
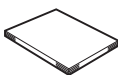
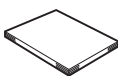
	部品名
10.	デュアルフィード押えの押え足 
11.	直線押え 
12.	フリーモーションキルト押え< C > 
13.	エコーキルト押え< E > アダプターを取り付けて使用します。 
14.	オープントゥキルト押え< O > 
15.	刺しゅう押え< W > 
16.	ガイド付きピーシング押え 
17.	アダプター 
18.	ネジ (小) 
19.	ミシン針セット ミシン針 (HAx1) 黄 # 11 (2本) 赤 # 14 (2本) 緑 # 16 (1本) ニット用・金 # 11 (1本) 

	部品名
20.	2本針 # 2/11 
21.	ボールポイント針 (刺しゅう用) # 11 (2本) HAX130EBBR 
22.	ボビン< 10個 > (1つはミシンに取り付けてあります) 
23.	リッパー 
24.	はさみ 
25.	ミシンブラシ 
26.	はとめ穴パンチ 
27.	ドライバー (小) 
28.	ドライバー (大) 
29.	マルチドライバー 

	部品名
30.	糸こま押え (小)
31.	糸こま押え (中) < 2 個 > (1 つはミシンに取り付けてあります)
32.	糸こま押え (大)
33.	糸こま押え (特殊)
34.	糸たてスタンド P. 22 「糸たてスタンドを使う」を参照してください。
35.	ポビクリップ < 10 個 >
36.	糸こまフェルト (ミシンに取り付けてあります)
37.	糸こまネット < 2 個 >
38.	刺しゅう専用針板カバー
39.	ニーリフター

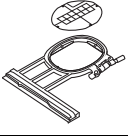
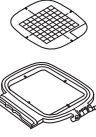

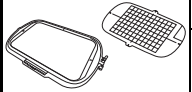

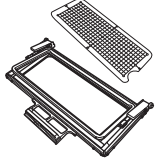
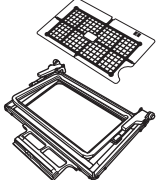
	部品名
40.	下系張力調整用内かま (ネジに色は付いていません)
41.	直線針板
42.	コードガイドふた (1 つ穴)
43.	針板ふた (マーク付) (直線針板に取り付けてあります)
44.	針板ふた (ミシンに取り付けてあります)
45.	刺しゅう枠 (M) 縫製範囲 縦 100 mm × 横 100 mm
46.	刺しゅう枠 (L) 縫製範囲 縦 180 mm × 横 130 mm
47.	刺しゅう枠 (キルト) 縫製範囲 縦 240 mm × 横 240 mm
48.	刺しゅう枠 (LL) 縫製範囲 縦 408 mm × 横 272 mm
49.	スキャン枠


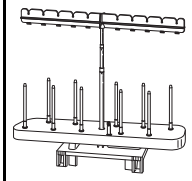
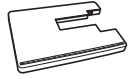
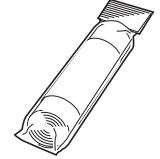
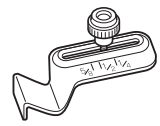
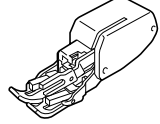
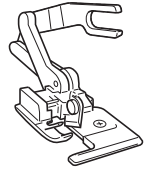
	部品名
50.	 マグネット< 6 個>
51.	 刺しゅう用下糸
52.	 刺しゅう位置合わせシール< 2 シート>
53.	 キャリブレーションステッカー
54.	 刺しゅう用接着芯
55.	 マイラスト用紙
56.	 チャコペン
57.	 デュアルタッチペン
58.	 デュアルタッチペンホルダー
59.	 アクセサリーケース

	部品名
60.	 フットコントローラー (モデル名：FC32291、型式：MODEL T)
61.	 電源コード
62.	 ソフトケース
63.	 取扱説明書 (実用編)
64.	 取扱説明書 (刺しゅう編)
65.	 模様一覧

別売品

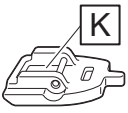

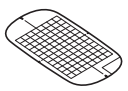

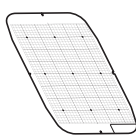
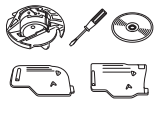
別売品・部品については、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にお問い合わせください。

	部品名
	モデル名
1. 	刺しゅう枠・刺しゅうシート 縫製範囲 縦 20 mm × 横 60 mm EF73
2. 	刺しゅう枠・刺しゅうシート 縫製範囲 縦 150 mm × 横 150 mm SEF150
3. 	刺しゅう枠・刺しゅうシート 縫製範囲 縦 200 mm × 横 200 mm EF91
4. 	刺しゅう枠・刺しゅうシート 縫製範囲 縦 300 mm × 横 200 mm EF92
5. 	刺しゅう枠・刺しゅうシート 縫製範囲 縦 360 mm × 横 240 mm XF9309-101 (刺しゅう枠) XF9314-001 (刺しゅうシート)
6. 	ボーダー枠 縫製範囲 縦 300 mm × 横 100 mm BFJ001
7. 	ボーダー枠 縫製範囲 縦 180 mm × 横 100 mm BF3

	部品名
	モデル名
8. 	刺しゅう用下糸 (白) 刺しゅう用下糸 500m 巻 : EBT01 刺しゅう用下糸 1,300m 巻 : EBT02 刺しゅう用下糸 (黒) EBT-CEBNJ
9. 	多色系立てスタンド (10色) TS5
10. 	ワイドテーブル WT16AP
11. 	刺しゅう用接着芯 L BM3 水溶性シート L BM4
12. 	シームガイド SG1
13. 	ウォーキングフット 本製品に付属しているアダプターを取り付けて使用します。 F033
14. 	サイドカッター押え F054

	部品名
	モデル名
15.	キルター F016N
16.	LED ポインター付き刺しゅう押え< W+ > FLED1
17.	キルト押え 本製品に付属しているアダプターを取り付けて使用します。 F040
18.	カウチング押え 本製品に付属しているアダプターを取り付けて使用します。 F073J
19.	マルチ機能フットコントローラー MFFC1
20.	サーキュラーアタッチメント SACIRC1J
21.	ディッチフット F065
22.	つき合わせぬい押え F056
23.	ポビン B051 (5 個入り) B101 (10 個入り)

	部品名
	モデル名
24.	刺しゅう位置合わせシール< 8 シート > EPS2
25.	フリーモーショングリップ FMG2AP
26.	ステッチガイド押え F035N
27.	デュアルフィード用オープントウ F070
28.	デュアルフィード用ディッチフット F075AP
29.	デュアルフィード用ガイド付きピーシング押え F076AP
30.	デュアルフィード用キルトガイド F077AP
31.	ラフラーフット F078AP
32.	ファスナー押え< I+ > F079AP
33.	段付き押え R F081AP

	部品名
	モデル名
34.	 コンシール® ファスナー押え< K > F080AP
35.	 刺しゅう枠 (M)・刺しゅうシート 縫製範囲 縦 100 mm × 横 100 mm XC8357-051
36.	 刺しゅう枠 (L)・刺しゅうシート 縫製範囲 縦 180 mm × 横 130 mm XC8359-051
37.	 刺しゅう枠 (キルト)・刺しゅうシート 縫製範囲 縦 240 mm × 横 240 mm XG5566-001
38.	 刺しゅう枠 (LL)・刺しゅうシート 縫製範囲 縦 408 mm × 横 272 mm XH1825-001
39.	 ボビンワークセット BW SET JPN

📖 お知らせ

- 仕様は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

💡 お願い

- 別売品・部品については、お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にお問い合わせください。

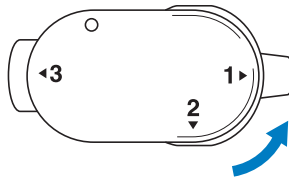
1

ぬい針の準備

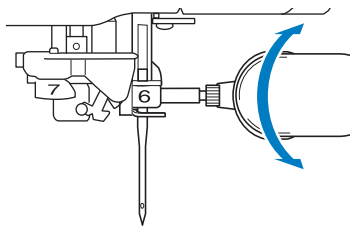
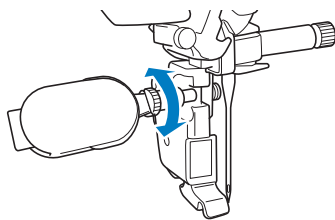
マルチドライバーを使う

ドライバーの方向が3方向に変えられるので、さまざまなミシンの準備にとっても便利です。本機ではポジション「1」と「3」を使用します。

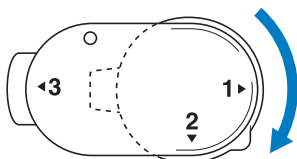
■ ポジション「1」



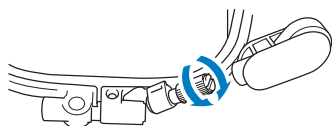
押えホルダーや針の止めネジの取り外しや取り付けができます。



■ ポジション「3」



刺しゅう枠に布地を張るときや刺しゅう枠から布地を外すときに、マルチドライバーで刺しゅう枠のネジをしめることができます。

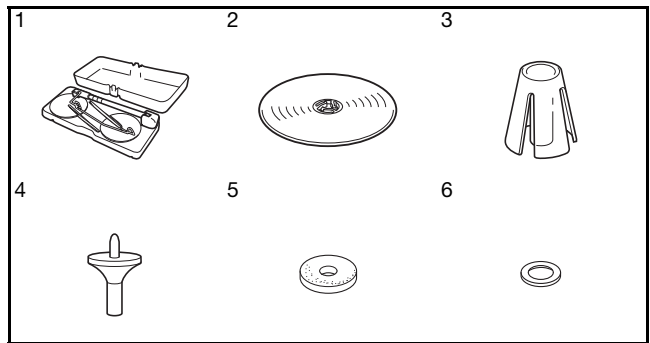


🔔 お願い

- マルチドライバーを回すときは、回らない方向に無理に回さないでください。壊れる原因になります。

糸たてスタンドを使う

直径の大きな糸こま（チーズ巻き）に使用すると便利です。2個の糸こまをセットできます。



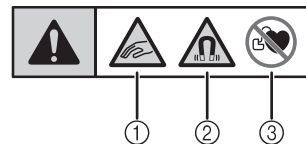
番号	部品名
1	糸たてスタンド
2	糸こま押え（特大）＜2個＞
3	スプールクッション＜2個＞
4	糸こま押えベース＜2個＞
5	糸こまフェルト＜2個＞
6	リング＜4個＞

* 番号2から6の部品はビニール袋に入っています。

⚠ 注意

- 糸たてスタンドを付けた状態で、ハンドルを持たないでください。
- アンテナや糸たて棒を強く押ししたり、引っ張ったりしないでください。破損の原因になります。
- 糸たて台に糸こま以外のものを載せないでください。
- 糸たてスタンドを使用して縫製しているときは、下糸を巻かないでください。

■ 警告ラベル

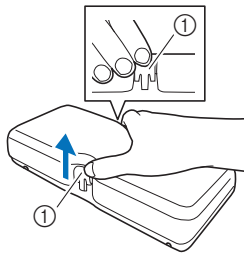


本製品にはマグネットが含まれています。

- ① 糸たてスタンドと本機の上ふたの間に指や物を挟まないように注意してください。
- ② マグネットを精密電子機器、コンピューターのディスク装置、磁気ストライプ付きクレジットカードなどに近づけないでください。
- ③ ペースメーカーをお使いの場合は、糸たてスタンドを使用しないでください。

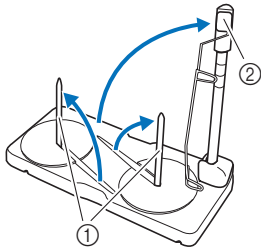
糸たてスタンドを組み立てる

- 1 糸たてスタンドの引っ張り部を持ち、ふたを取り外します。



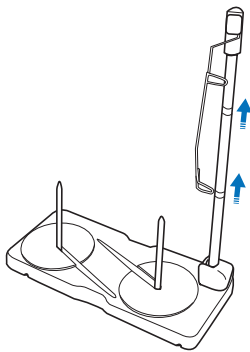
① 引っ張り部

- 2 アンテナと2つの糸たて棒を上げます。

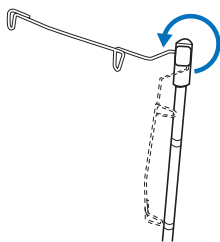


① 糸たて棒
② アンテナ

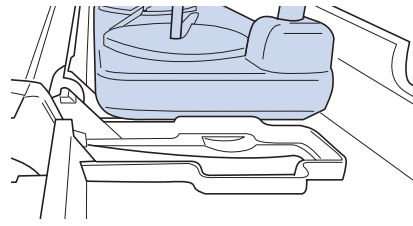
- 3 2ヶ所のストッパーがカチッとはまるまでアンテナをいっぱい伸ばします。



- 4 糸案内を反時計回りに回します。



- 5 本機の上ふたを開き、糸たてスタンドのミゾを上ふたの突起部に合わせて、上ふたに取り付けます。



☞ お願い

- 糸たてスタンドがしっかりと固定されていることを確認してください。しっかりと固定されていないと、縫製中に糸たてスタンドが倒れる原因になります。
- 1 kg 以上の重さのあるものを上ふたに置かないでください。ふたを外したときの糸たてスタンドの重量は約 280 g です。

📄 お知らせ

- 糸たてスタンドを使用して下糸を巻く方法については、P. 54 を参照してください。
- 糸たてスタンドを使用して上糸を通す方法については、P. 63 を参照してください。

電源の入れ方

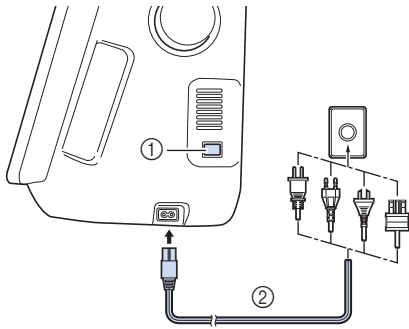
⚠ 警告

- 一般家庭用電源 AC100 V の電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源コードのプラグがコンセントおよびミシンの電源ジャックにしっかり差し込まれているか確認してください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となります。
- 電源コードのプラグを状態の悪いコンセントに差し込まないでください。
- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
 - ミシンのそばを離れるとき
 - ミシンを使用したあと
 - 使用中に停電したとき
 - 接続不良や断線により、ミシンが正常に動作しないとき
 - 雷が鳴りはじめたとき

⚠ 注意

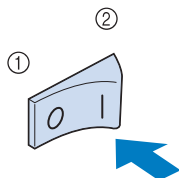
- 本機に付属の電源コードをご使用ください。
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、まず電源スイッチを切ってください。必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。電源コードに重い物をのせないでください。電源コードを加熱しないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードやプラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
- ミシンから離れる場合は、電源スイッチを切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ミシンを点検したり、上ふたを外すときも、必ず電源プラグを抜いてください。

- 1 電源コードを電源コードジャックに差し込み、電源プラグを家庭用電源コンセント (AC100V) に差し込みます。



- ① 電源スイッチ
② 電源コード

- 2 電源スイッチの右側 (I 側) を押して「入」にします。



- ① 切
② 入

お知らせ

- 本機の電源が入り、針と送り歯が動くと音がしますが、故障ではありません。

- 3 電源スイッチの左側 (O 側) を押して「切」にします。

お知らせ

- 実用・文字模様モードで縫製中に電源が切れると、再度電源を入れ直しても、ミシンは縫製の中断点を記憶していません。もう一度初めから縫製の手順を行ってください。

ミシンを初めて使うとき

初めて本機の電源を入れたときは、言語と日時を設定してください。設定画面は自動的に表示されますので、以下の手順に従って設定を行ってください。

- 1 < と > を押して、言語を設定します。

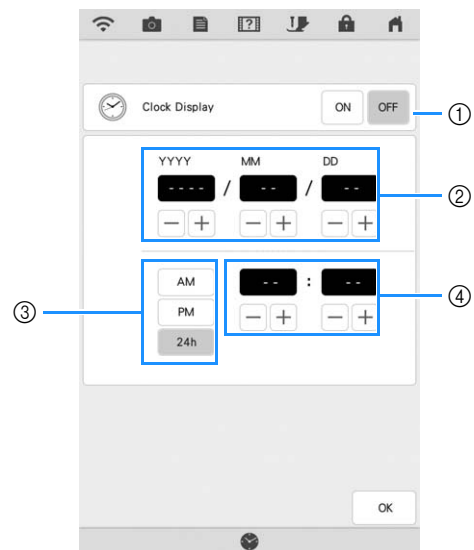


- 2 OK を押します。

- 3 日時設定を行うかどうかの確認メッセージが表示されます。日時設定を行う場合は、OK を押し、設定をしない場合は、Cancel を押します。

→ 日時設定の画面が表示されます。

- 4 - または + を押して日時設定をします。



- ① 押して [ON] にすると、時刻が画面に表示されます。
② 年 (YYYY)、月 (MM)、日 (DD) を設定します。
③ 24 時間表示 / 12 時間表示を選択します。
④ 現在の時刻を設定します。

- 5 OK を押してミシンをスタートします。

→ 時計は設定した時刻の 0 秒から始まります。

お願い

- 一定期間、ミシンを使用しなかった場合は、設定した日時がクリアされます。
- 液晶画面にある時計キー / 時刻を押しても時刻の設定をすることができます。

液晶画面の操作

電源が入ると、オープニング動画が始まります。画面上をどこでもタッチすると、ホーム画面に移動します。液晶画面やキーは必ず指または付属のデュアルタッチペンで押し、機能を選択してください。

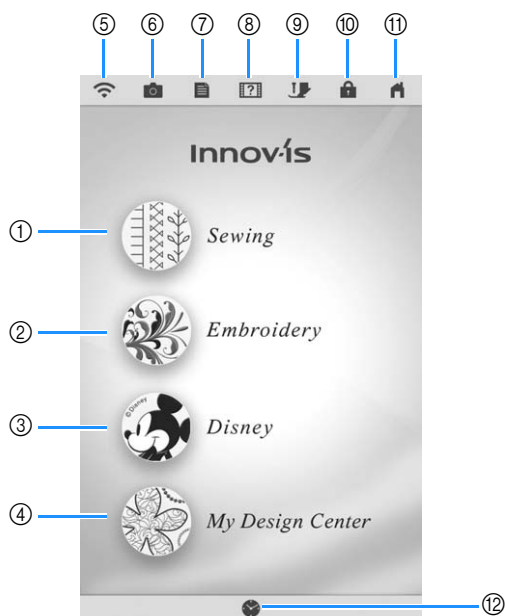
👉 お願い

- 直線針板がミシンに取り付けられている場合は、針が自動的に中基線に移動します。

📄 お知らせ

- 画面は必ず指または付属のデュアルタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。画面を強く押す必要はありません。画面を強い力で押したり、先のとがったもので押すと、故障の原因となります。

■ ホーム画面



番号	表示	キーの名称	はたらき	参照ページ
④		My Design Center (マイデザインセンター) キー	オリジナルの刺しゅう模様を作るときに押します。	-
⑤		無線 LAN キー	ミシンの信号強度を確認します。このキーを押すと、無線設定を設定できます。	44
⑥		カメラ ビューキー	内蔵カメラを使って、液晶画面で針の位置を確認するときに押します。	88
⑦		設定キー	針が止まる位置を変更したり、模様や画面を調節したり、他の本体設定を変更したりするときに押します。	27
⑧		ミシンヘルプキー	ミシンの使い方を確認するときに押します。チュートリアルやお持ちの MP4 動画を見ることができます。	37
⑨		針・押え交換キー	針や押えを交換するときに押します。ミシンが作動しないように他のすべてのキーと操作スイッチがロックされます。	55、69
⑩		画面ロックキー	画面をロックするときに押します。画面をロックしているときはぬうことができますが、画面で機能を変更することはできません。もう一度押すと、解除します。	148
⑪		ホームキー	このキーを押すと、いつでもホーム画面に戻り、ほかのモード (実用・文字模様、刺しゅう、マイデザインセンター) を選択できます。	-
⑫		日時設定キー	日時を設定するときに押します。	25

番号	表示	キーの名称	はたらき	参照ページ
①		Sewing (実用ぬい) キー	直線ぬい、ジグザグ、ボタン穴かがり、まつりぬいなど洋裁によく使う模様 (実用模様)、または文字や飾りなどの模様を選ぶときに押します。	96、148
②		Embroidery (刺しゅう) キー	刺しゅう機を取り付け、刺しゅうをするときに押します。	-
③		Disney (ディズニー) キー	ディズニー模様を刺しゅうするときに押します。	-

設定キーを使う

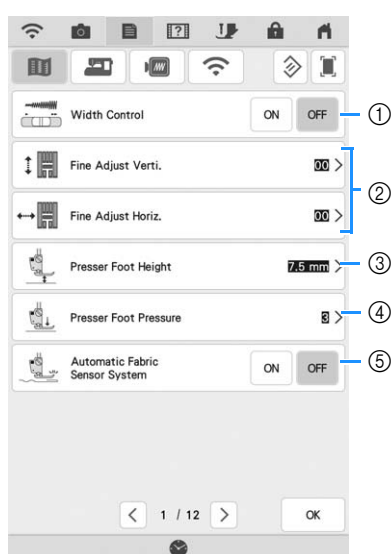
☰ を押すと、針の停止位置切り替え、刺しゅうの速度、オープニング画面など、ミシンの標準設定を変更することができます。☰ (実用ぬい)、☰ (ミシン本体)、☰ (刺しゅう)、☰ (無線 LAN) を押すと、機能ごとの設定画面が表示されます。

お知らせ

- ◀ または ▶ を押すと、前のページまたは次のページが表示されます。

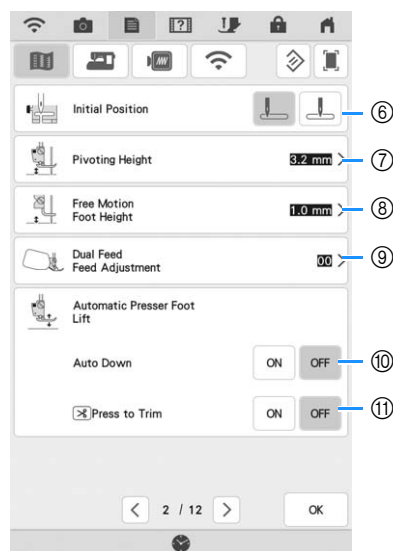
ぬいの設定

■ 1 ページ



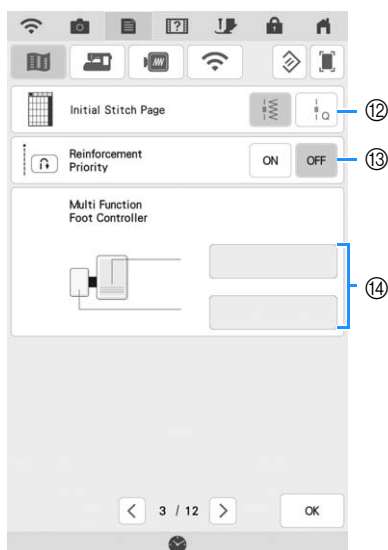
- ① スピードコントロールレバーをジグザグの振り幅調節レバーに切り替えます。(P. 118)
- ② 文字・模様ぬいの模様を調整します。(P. 154)
- ③ 押えの高さを調節します。押えが上がった状態の、押えの高さを選択します。
- ④ 押え圧を調節します。数字が大きいくほど押え圧は強くなります。通常は 3 に設定してください。
- ⑤ [ON] にすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取ります。これにより、スムーズに布送りすることができます。(P. 79、P. 87)



■ 2 ページ



- ⑥ 電源スイッチを入れたときに自動的に選択される模様として、「1-01 Straight stitch (Left) (1-01 直線 (左基線))」または「1-03 Straight stitch (Middle) (1-03 直線 (中基線))」のいずれかを選択します。
- ⑦ ピボット機能を有効にしたときの、縫製停止時の押えの高さを変更します。(P. 85) 押えを 4 つの高さのいずれかに調整します。
- ⑧ フリーモーションモードに設定したときの、押えの高さを変更します。(P. 119)
- ⑨ デュアルフィード押えの送りを調整します。(P. 73)
- ⑩ スタート/ストップスイッチを押すか、フットコントロールを踏むと、押えが上がっている場合は、自動的に押えを下げてぬい始めます。
- ⑪ 糸切スイッチを押すと、糸を切る前に自動的に押えが下がります。糸切り後に押えが上がります。

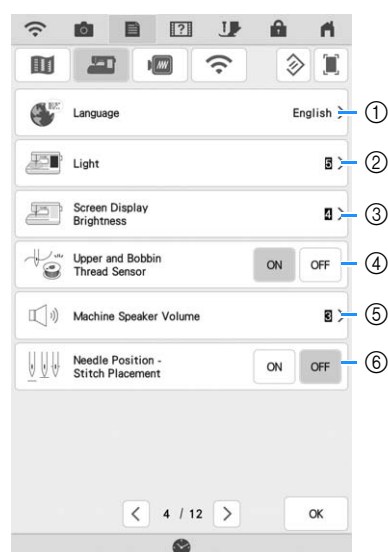
■ 3 ページ



- ⑫ 模様選択画面で最初に表示する模様として、実用模様  またはキルト模様  のいずれかを選択します。
- ⑬ この設定を [ON] にして止めぬいをする模様をぬうと、ぬい始め/ぬい終わりに、返しぬいスイッチを押しても止めぬいをします。(P. 77)
- ⑭ マルチ機能フットコントローラー (別売) を接続後に使用できる設定です。(マルチ機能フットコントローラーを本機に接続していないときは、設定を変更できません。)(P. 32)

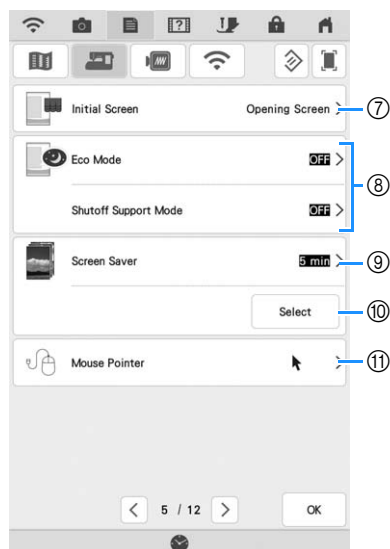
ミシン本体の設定

■ 4 ページ



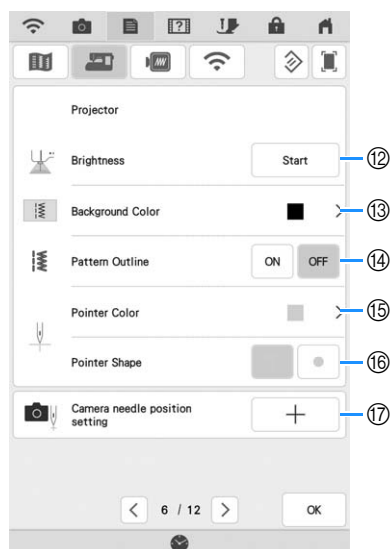
- ① 表示言語を選択できます。
- ② 針元と縫製エリアのライトの明るさを調整できます。
- ③ ミシンを使う環境によって、画面がはっきり見えない場合、画面の明るさ調整ができます。
- ④ 上糸・下糸センサーを [ON] または [OFF] にします。[OFF] にすると、上糸を通さないでミシンを動かすことができます。
- ⑤ スピーカーの音量を調整できます。設定値が高いときは音量が大きくなり、設定値が低いときは音量が小さくなります。
- ⑥ 針上下スイッチを押したときの動作を設定します。(P. 88)

■ 5 ページ



- ⑦ ミシンの電源を入れたときにオープニング画面を表示するかしないかを選択します。
- ⑧ [Eco Mode (エコモード)] または [Shutoff Support Mode (電源オフサポートモード)] を設定すると、消費電力を節約できます。(P. 32)
- ⑨ スクリーンセーバーに切り替わるまでの時間を選択できます。
- ⑩ スクリーンセーバーの画像を選択します。(P. 33)
- ⑪ USB マウスを接続したときのポインターの形を選択できます。本機の電源を切ったあとも、設定は残ります。(P. 47)

■ 6 ページ



- ⑫ プロジェクターの明るさを選択します。
- ⑬ プロジェクター機能を使用するときの背景色を選択します。
- ⑭ 実用模様の輪郭を表示できます。
- ⑮ ポインターの色を選択します。
- ⑯ ガイドラインの形状を T と点から選択します。
- ⑰ 針落ち点を測定して、カメラ表示時、プロジェクター表示時、位置合わせマーク認識時などの位置合わせの精度を調整します。(P. 35)

■ 7 ページ

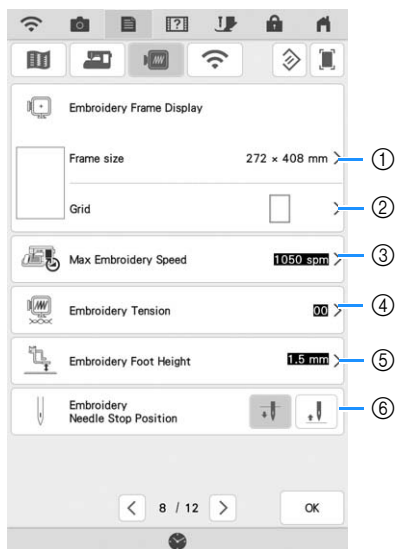


- ⑱ アップグレードキットを認証します。アップグレードキットは国や地域によっては発売されていないことがあります。アップグレードキットについては、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご確認ください。
- ⑲ ミシンの前回のメンテナンス以降にぬわれた針数を表示します。(定期メンテナンスの時期については、お買い上げの販売店にご相談ください。)
- ⑳ 本機でぬわれた累積針数を表示します。
- ㉑ お使いのミシンのプロダクトナンバーを示します。
- ㉒ プログラムのバージョンを示します。

刺しゅうの設定

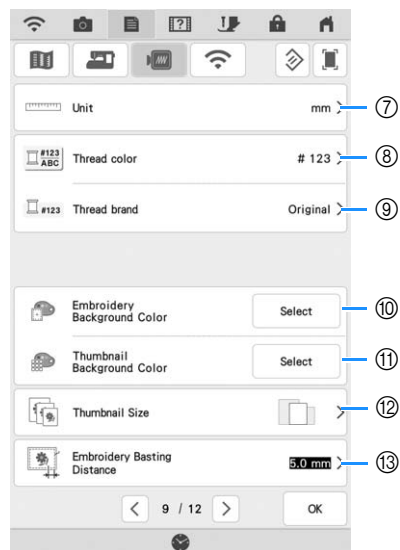
刺しゅうの設定について詳しくは、取扱説明書（刺しゅう編）を参照してください。

■ 8 ページ



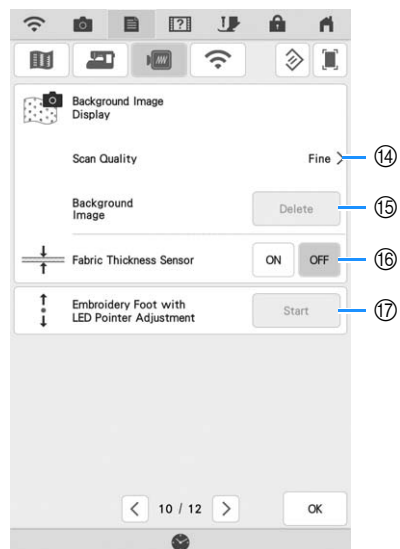
- ① 使用する刺しゅう枠を選択します。
- ② 中心マークやグリッドの表示を変更します。
- ③ 刺しゅう時の速度を調節します。
- ④ 刺しゅうの糸調子を調整します。
- ⑤ 刺しゅう押えの高さを調節します。
- ⑥ 刺しゅう時の針停止位置を選択します。

■ 9 ページ



- ⑦ 表示単位（mm / インチ）を選択します。
- ⑧ 刺しゅう画面で刺しゅうの糸色表示を、糸番号または糸色名に切り替えます。
- ⑨ 模様を読み込むときに使用する糸ブランドを選択します。
- ⑩ 模様表示エリアの背景色を選択できます。
- ⑪ 模様サムネイル表示の背景色を選択できます。
- ⑫ 模様サムネイルのサイズを選択できます。
- ⑬ 模様からしつけぬいまでの距離を設定します。

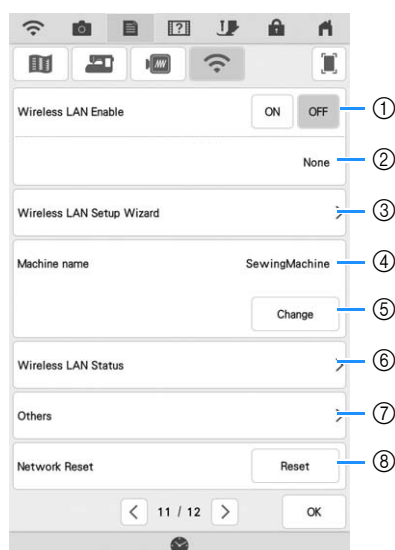
■ 10 ページ



- ⑭ 布地を背景画像として表示するときの画質を選択できます。
- ⑮ スキャンした画像を消去します。
- ⑯ [ON] を選択すると、内蔵カメラで、布の厚さにあわせて、背景スキャンの画像を補正して表示します。
- ⑰ LED ポインター付き刺しゅう押え < W+ >（別売）の位置と明るさを調整します。（LED ポインター付き刺しゅう押え < W+ > が本機に取り付けられていないときは、設定できません。）

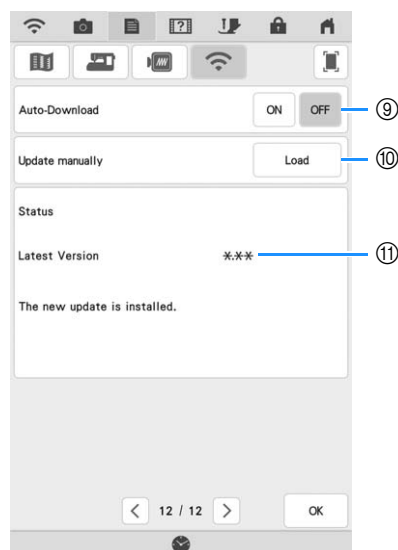
無線 LAN の設定

■ 11 ページ



- ① 無線 LAN 機能を有効 / 無効にします。
- ② 接続する SSID を表示します。
- ③ ミシンを無線 LAN 機能へ接続する設定します。
- ④ 無線 LAN 機能のミシンの名前を表示します。
- ⑤ **Change** を押すと、無線 LAN 機能を使用するミシンの名前を変更できます。
- ⑥ 無線 LAN の状態を表示します。
- ⑦ 他のメニューを表示します。
- ⑧ **Reset** を押すと、ネットワーク操作がリセットされます。

■ 12 ページ



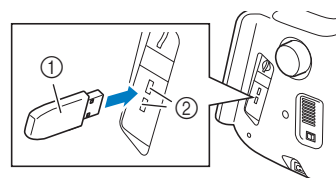
- ⑨ **[ON]** に設定されているとき、ミシンは定期的に新しいアップグレードファイルがあるかを確認します。新しいファイルがあるときは、ダウンロードされます (P. 207)。
- ⑩ **Load** を押すと、ミシンは新しいアップグレードファイルがあるかを確認します。新しいファイルがあるときは、ダウンロードされます (P. 207)。
- ⑪ アップデートファイルのプログラム情報を示します (P. 207)。

機能を設定する

■ 設定画面を画像として USB メディアに保存する

設定画面を PNG 形式の画像として USB メディアに保存できます。

- 1 USB メディアをミシンの右側にある USB ポートコネクタに差し込みます。



- ① USB メディア
- ② USB ポートコネクタ

- 2 **☰** を押します。

→ 設定画面が表示されます。画像として保存したい設定画面のページを選択します。

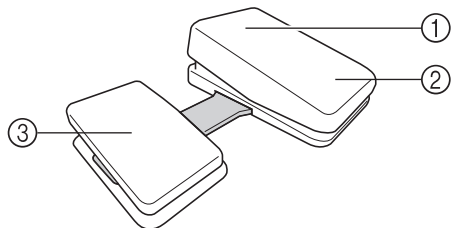
- 3 **📷** を押します。

→ USB メディアに画像が保存されます。

■ マルチ機能フットコントローラー (別売) を設定する

別売のマルチ機能フットコントローラーを使用すると、縫製のスタート/ストップのほか糸切りや返しぬいなど、さまざまな機能を設定してミシンを操作することができます。

設定できる機能



	コントロール部分	設定できる機能
①	メインフットコントローラー	スタート/ストップ
②	ヒールキックスイッチ	以下のいずれかを選択 <ul style="list-style-type: none"> • [Thread Cutting (糸切り)] • [Needle Position-Up/Down (針上下)]
③	サイドペダル	<ul style="list-style-type: none"> • [Single Stitch (1針ぬい)] • [Reverse Stitch (返しぬい)] (止めぬい)* • [Presser Foot Up/Down (押え上下)] • [No Setting (指定なし)]

- * ヒールキックスイッチに [Reverse Stitch (返しぬい)] を設定した場合、ヒールキックスイッチはミシン本体の返しぬいスイッチを押した時と同じ動作をします。
- * 模様によっては、止めぬい機能が働きます。詳しくは P. 77 「自動止めぬいをする」 を参照してください。

📄 お知らせ

- サイドペダルに [Reverse Stitch (返しぬい)] を設定すると、ジグザグ模様を使ったつくりぬい (ダーニング) が簡単にできます。メインフットコントローラーを踏み続けながら、もう一方の足でサイドペダルを踏んだり離したりを繰り返して、ぬい進んだ分だけ返しぬいをすると、つくりぬい (ダーニング) ができあがります。返しぬいのスピードは、メインフットコントローラーを踏み込む量に応じて決まります。

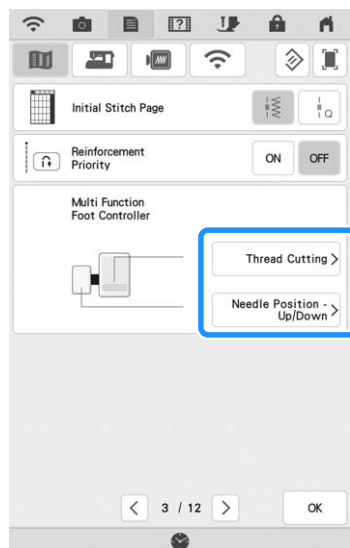
機能を設定する

マルチ機能フットコントローラーの機能はミシンの設定画面にて設定することができます。

🔍 お問い合わせ

- 機能を設定する前に、マルチ機能フットコントローラーをミシン本体へ接続してください。ミシンがマルチ機能フットコントローラーを認識することで、それ以降設定画面が機能します。
- マルチ機能フットコントローラーをミシンへ接続し機能を設定した場合、ミシン本体のスタート/ストップスイッチは無効となります。スタート/ストップスイッチ以外のボタンは操作することができます。

- 1 を押します。
- 2 設定画面の 3 ページを表示します。
- 3 マルチ機能フットコントローラーへ設定したい機能を選択します。



- 4 を押します。

■ [Eco Mode (エコモード)] または [Shutoff Support Mode (電源オフサポートモード)] を選択する

[Eco Mode (エコモード)] または [Shutoff Support Mode (電源オフサポートモード)] を選択して、消費電力を節約できます。本機の電源を入れたまま使用せず、設定した一定時間を過ぎると、以下のモードになります。

[Eco Mode (エコモード)] のとき



本機はスリープモードになります。もう一度操作するときは、画面に触れるかスタート/ストップスイッチを押してください。

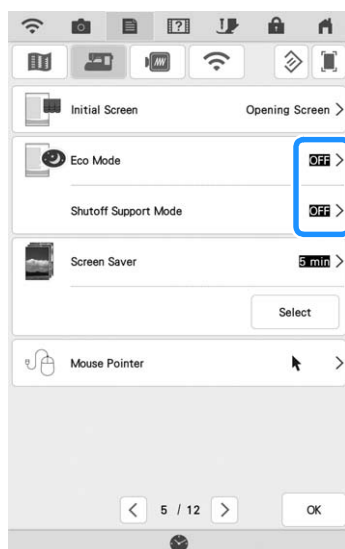
[Shutoff Support Mode (電源オフサポートモード)] のとき

本機は設定した一定時間を過ぎると省電力状態になります。電源スイッチをいったん「切」にして、もう一度電源「入」にしてから再び使用してください。

状態	[Eco Mode (エコモード)]	[Shutoff Support Mode (電源オフサポートモード)]
設定できる時間	OFF、10～120分	OFF、1～12時間
スタート/ストップスイッチ	緑の点滅	緑のゆっくりした点滅
停止する機能	ミシンライト、画面表示	すべての機能
再起動時	停止時の操作から再スタート	電源スイッチを「切」にする

スタート/ストップスイッチを押すか、画面に触れると、これらのモードから復帰できます。

- 1  を押します。
→ 設定画面が表示されます。
- 2  を押します。
→ ミシン本体の設定画面が表示されます。
- 3 ミシン本体の設定画面の 5 ページを表示します。
- 4 四角で囲まれた範囲を押して、各モードに入るまでの時間を設定します。



🔔 お願い

- [Eco Mode (エコモード)] または [Shutoff Support Mode (電源オフサポートモード)] のときに本機の電源を消した場合、5 秒ほど待ってから、もう一度電源を入れてください。




■ スクリーンセーバーの画像を変更する

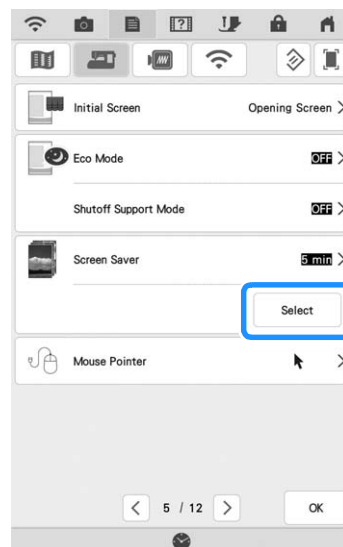
あらかじめ登録されている画像の代わりに、お持ちの画像を本機のスクリーンセーバーに使用することができます。

スクリーンセーバーを変更する前に、USB メディアに使用する画像を用意してください。

互換性のある画像ファイル

フォーマット	.jpg
ファイル容量	1 画像につき最大 150 KB
ファイルの大きさ	800 × 800 ピクセル以下
ファイル数	5 ファイル以下

- 1  を押します。
→ 設定画面が表示されます。
- 2  を押します。
→ ミシン本体の設定画面が表示されます。
- 3 ミシン本体の設定画面の 5 ページを表示します。
- 4  を押します。



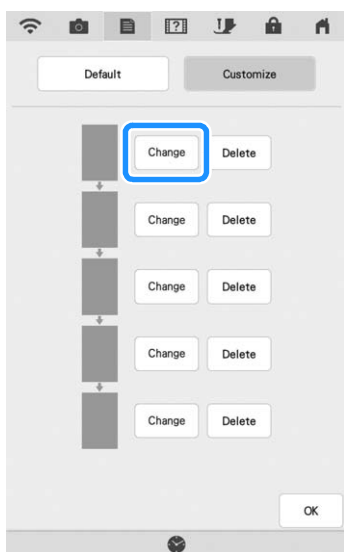
5 を押します。



6 画像が入ったUSBメディアをミシンのUSBポートコネクタに差し込みます。

* USB 接続については P. 47 を参照してください。

7 を押して、最初の画像を選択します。

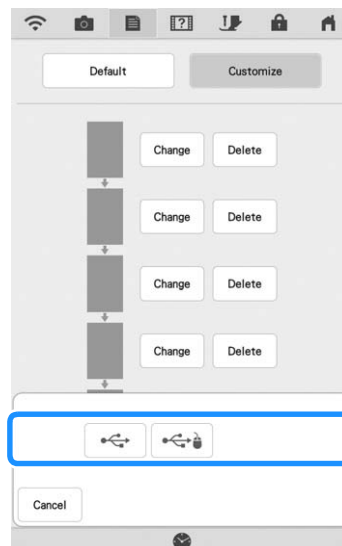


* この画面で画像が一覧表示されます。設定したい

を選択して、画像を決定します。

* を押すと、選択した画像を消去します。

8 ミシンに接続したデバイスを選択します。



→ 画像の一覧が画面に表示されます。

* を押すと、前のページを表示します。

9 ファイル名を押して画像を選択し、 を押します。



→ 選択した画像がミシンに記憶されます。

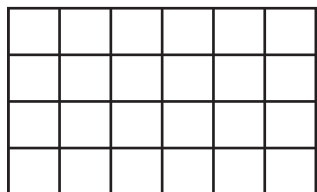
* を押すと、前のページを表示します。




10 手順 7 を繰り返して残りの画像を選択します。

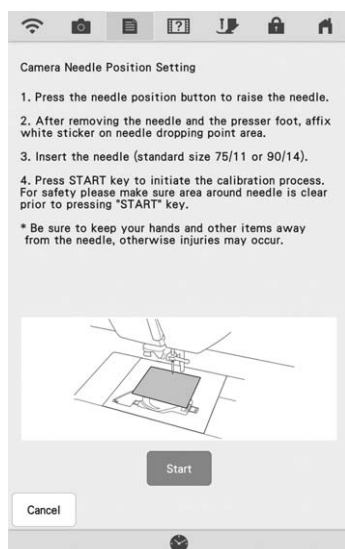
11 を押すと、元の画面に戻ります。

■ 内蔵カメラで針位置を設定する

カメラ機能またはプロジェクター機能を使うときは、カメラの針位置設定を必ず行ってください。カメラの針位置の設定をいつも行う必要はありませんが、針を交換した時はこの設定を行うことをおすすめします。付属のキャリブレーションステッカーを使用します。

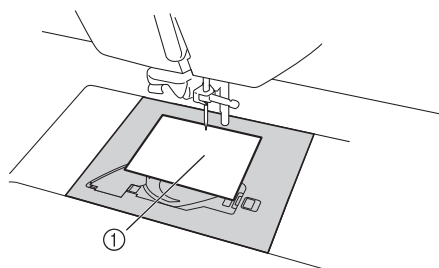


- 1 を押します。
→ 設定画面が表示されます。
- 2 を押します。
→ ミシン本体の設定画面が表示されます。
- 3 ミシン本体の設定画面の6ページを表示します。
- 4 を押します。
→ カメラの針位置設定画面が表示されます。



5 画面の指示に従って設定を行います。



1. 針上下スイッチを押して針を上げます。
2. 針と押えホルダーを取り外した後、針が落ちる位置にキャリブレーションステッカーを貼ります。



- ① キャリブレーションステッカー
3. 針 (11 番または 14 番) を挿入します。

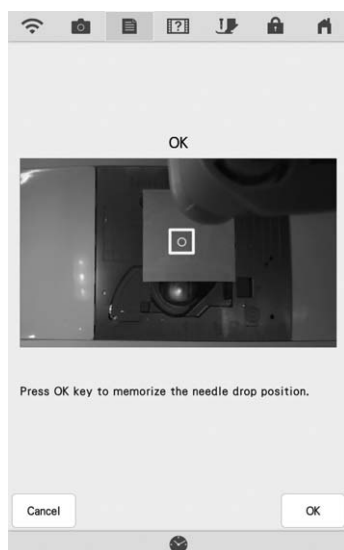
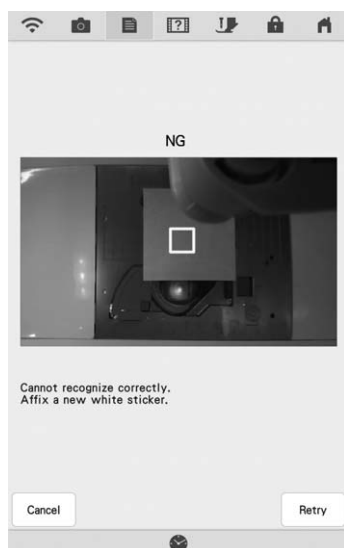
💡 お願い

- キャリブレーションステッカーは新しいものを使用ください。ステッカーに穴が開いていたり、汚れていたりすると、カメラの針位置が正しく設定できません。キャリブレーションステッカーがないときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にお問い合わせください。

4. を押して、測定を開始します。安全のために、を押す前に針のまわりにもものがないか確認してください。

→ カメラ針落ち点表示設定が始まります。

- 6** 設定が終了すると、[OK] が表示されます。[NG] が表示されたときは、新しいキャリブレーションステッカーを貼り、 を押します。針が落ちる位置の設定を繰り返しても設定できない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にお問い合わせください。

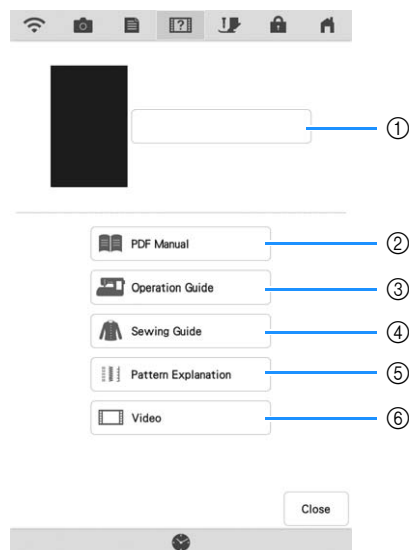


- * を押して、位置設定データを保存します。
- * を押すと、位置設定データを保存せずに元の画面に戻ります。

- 7** ステッカーをはがします。


ミシンヘルプキーを使う

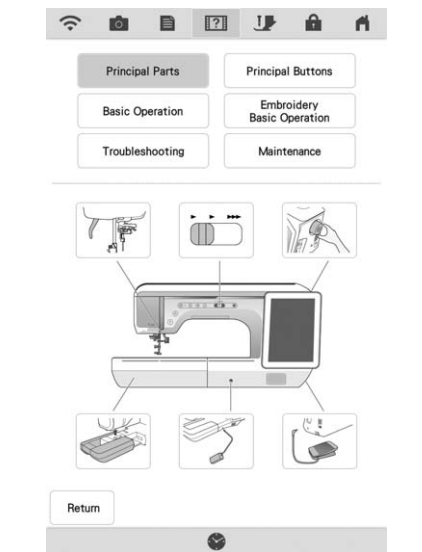

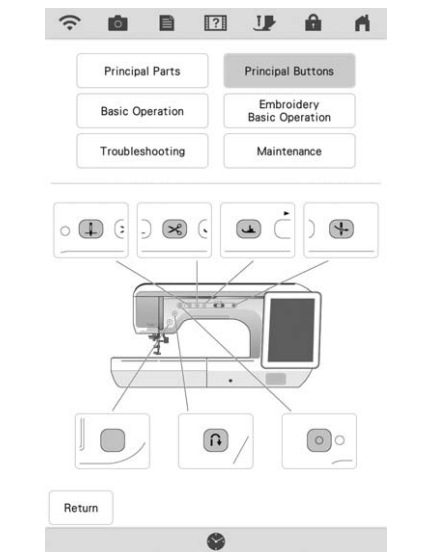
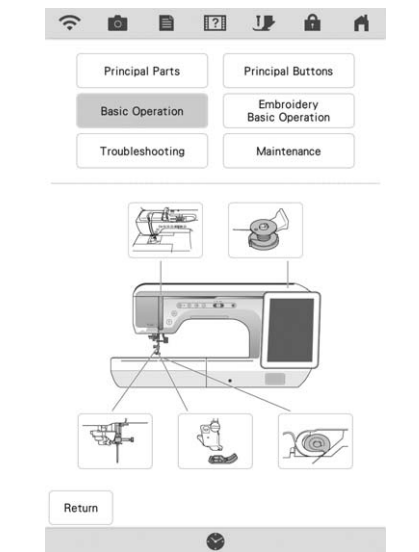
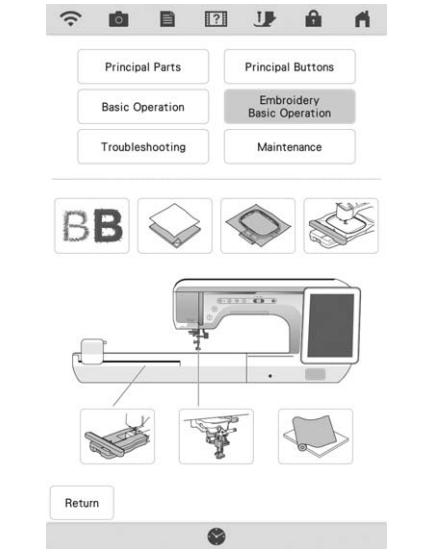
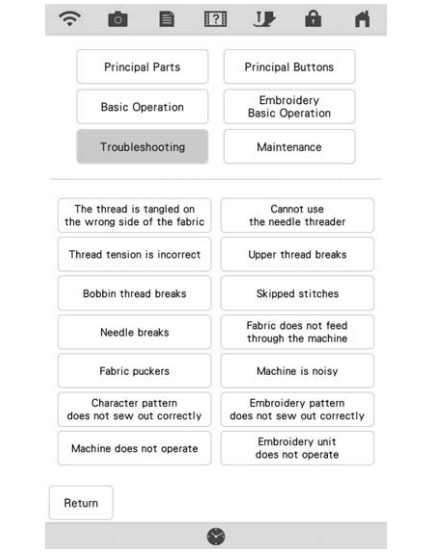
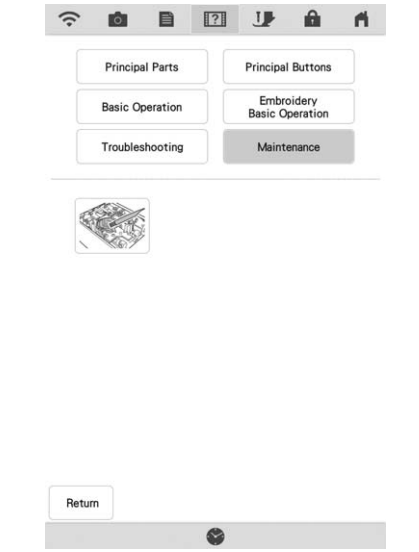
 を押すと、ミシンヘルプキー画面が表示されます。



- ① 取扱説明書（PDF ファイル）の閲覧や動画の再生を中断したときに押すと、続きから操作できます。
- ② 取扱説明書（PDF ファイル）を表示します。
- ③ 上糸通し、下糸巻き、押えの交換、刺しゅうの準備など、ミシンの使い方についての説明を見るときに押します。（P. 38）
- ④ 実用ぬいの模様で、実際のぬい方がわからないときに押します。（P. 39）
- ⑤ 選択中の模様の説明を見るときに押します。（P. 42）
- ⑥ ミシンの使い方動画や USB メディアから MPEG-4（MP4）動画を見るときに押します。（P. 40）

操作ガイド機能を使う

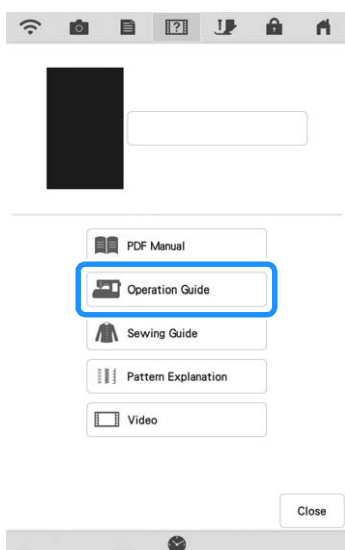
 Operation Guide を押すと、次の画面が表示されます。画面上段に6つの項目が表示されます。詳しい内容を知りたい項目のキーを押します。

 <p>Principal Parts は、ミシンの主要部とそのはたらきの情報を表示します。この画面は、 Operation Guide を押すと最初に表示されます。</p>	 <p>Principal Buttons は、操作スイッチの使い方が知りたいときに押します。</p>	 <p>Basic Operation は、糸通しや押えの交換などの基本情報が知りたいときに押します。機能によっては、操作方法を動画で確認することができます。正しい操作をするために、動画をご覧ください。</p>
 <p>Embroidery Basic Operation は、刺しゅう機の取り付けや刺しゅう時の布地の準備などの情報を表示します。機能によっては、操作方法を動画で確認することができます。正しい操作をするために、動画をご覧ください。</p>	 <p>Troubleshooting は、困ったときの対処方法を知りたいときに押します。</p>	 <p>Maintenance は、ミシンのお手入れに関する情報を表示します。機能によっては、操作方法を動画で確認することができます。正しい操作をするために、動画をご覧ください。</p>

例：上糸の通し方を見るとき


1  を押します。

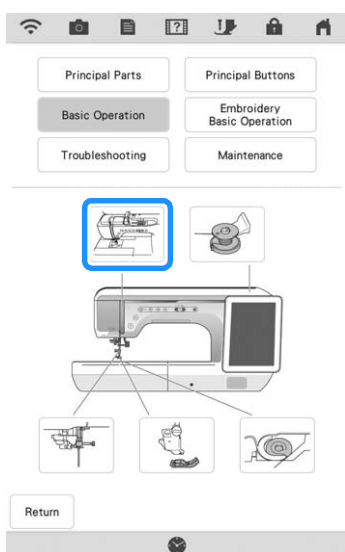
2  を押します。



3  を押します。

→ 画面の下段に基本操作の項目が表示されます。

4  (上糸通し) を押します。




→ 上糸通しの手順が表示されます。

5 手順を読みます。

*  を押すと、次のページを表示します。

*  を押すと、前のページを表示します。

6  を押すと、元の画面に戻ります。

ぬい方キーを使う

ぬい方キーは、実用模様を選択しているときに使用できます。

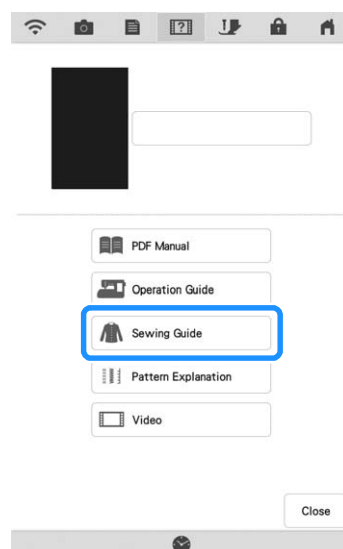
作りたいものに適した模様がわからないときや、選択したある模様についての詳しい説明が見たいときに、この機能を活用してください。例えば、かがりぬいをしたいのに、使う模様や具体的なぬい方が分からないとき、この画面から参照できます。特に初心者にとっては便利な機能です。

1 ホーム画面から実用模様を表示します。

2  を押します。

3  を押します。

→ ぬい方画面が表示されます。



4 見たいぬい方説明のカテゴリーキーを押します。

* **Return** を押すと、元の画面に戻ります。



5 説明を読んで、適切な模様を選択します。

→ 選択した模様のぬい方が画面に表示されます。画面に表示された手順に従ってぬってください。

使い方動画を再生する

本機でミシンの使い方動画を見ることができません。文字とイラストで説明される操作ガイドと合わせて、本機の操作に活用ください。

お知らせ

- 動画に表示されている仕様は、実際のものとは詳細が異なることがあります。

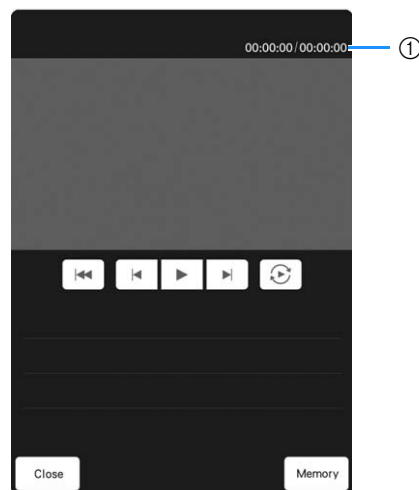
1 **?** を押します。

2 **Video** を押します。

3 見たい使い方動画のタイトルを押します。

→ 選択した使い方動画が再生されます。

4 使い方動画を再生します。



① 現在の秒数 / 全体の秒数

操作キー

	再生
	一時停止
	10 秒戻し
	10 秒送り
	頭出し
	繰り返し
Delete	動画削除 (ミシンのメモリーから再生の場合)
Memory	ミシンへ記憶 (使い方動画および USB メディアから再生の場合)

お知らせ

- よく見る動画は、ミシンに記憶して、 (お気に入り) から再生することができます。

5 再生が終了したら、**Close** を押します。

MPEG-4 (MP4) 動画を再生する


お手持ちの MP4 動画を USB メディアから読み込んで再生することができます。MP4 動画をミシンに記憶して、再生することもできます。例えば、ひと作品の作り方説明の動画などを見ても見ることができます。

再生できる動画

MP4 ファイルフォーマット：動画 - H.264/MPEG-4 AVC、音声 - AAC
サイズ：450 (縦) × 800 (横)


お知らせ


- MP4 の画像サイズは画面に合うように縮小されます。容量の大きい MP4 ファイルを見る場合、画面に合うように縮小されます。容量の小さい MP4 ファイルを見る場合、画面に合うように拡大されます。
- 本機で再生できない MP4 ファイルもあります。


1  を押します。


2  Video を押します。


3 動画が保存されているデバイスを選択します。

: 使い方動画を再生します。


: ミシンに記憶している動画 (お気に入り) を再生します。

: USB ポートコネクタに接続された USB メディアの動画を再生します。

: USB ポートコネクタに接続された USB メディアの動画を再生します。

* ひとつ前の画面に戻るには、 を押します。

4 再生したい動画を選択します。

* ひとつ前の画面に戻るには、 を押します。

お願い


- 長い動画のファイル名は表示されるときに短くされることがあります。

5 動画を再生します。




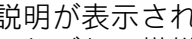
* 操作キーの働きは P. 40 「使い方動画を再生する」と同じです。

お願い

- MP4 動画は、最大約 1 GB までミシンに記憶することができます。最大容量をオーバーする場合は、不要な動画を削除してください。

6 再生が終了したら、 を押します。


模様説明キーを使う

模様を選んでから  を押し、  を押し、  を押し、  を押し、選んだ模様の詳しい説明が表示されます。実用模様を選択すると、それぞれの模様についての説明が表示されます。

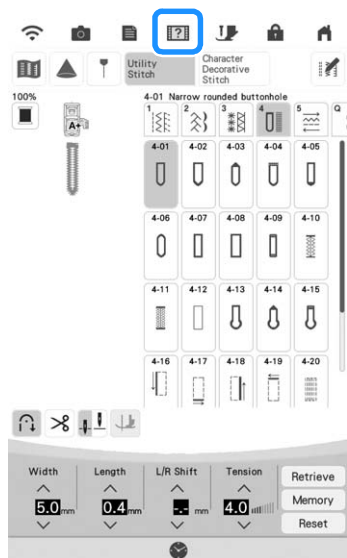
🔍 お願い

- 模様説明機能では、実用・文字模様モードで選択できる模様の説明が表示できます。

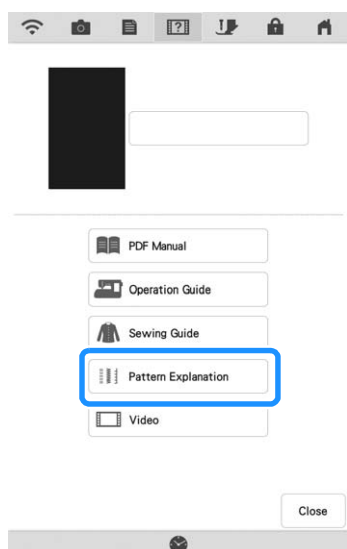
例：  の詳しい情報を表示するとき

1  を押します。


2  を押します。



3  を押します。



→ 詳しい情報が表示されます。


4  を押し、元の画面に戻ります。

📄 お知らせ

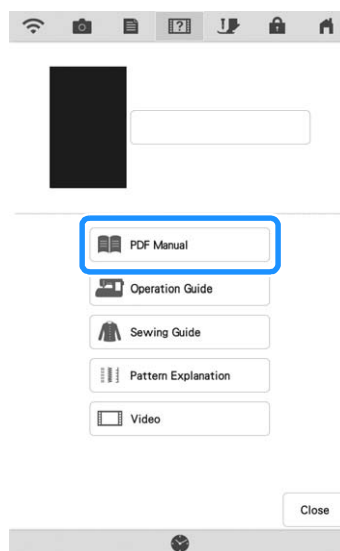
- ぬい目調節の設定表示は、模様の細かい調整のために、模様説明画面でもそのまま表示されます。

取扱説明書（PDF ファイル）の見方

本機の取扱説明書（PDF ファイル）はミシン上で見ることができます。

1  を押します。

2  を押します。



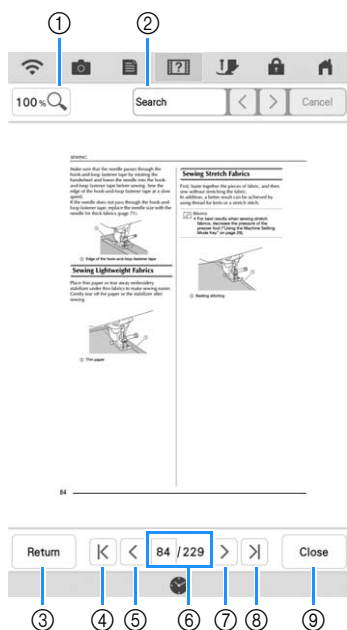
3 見たい文書を選択します。

📄 お知らせ

- 取扱説明書は現在選択中の表示言語で見ることができます。選択した言語によっては、英語の取扱説明書が表示されます。表示言語の選択方法について詳しくは、P. 28 「4 ページ」を参照してください。

4 取扱説明書を読みます。

操作キー



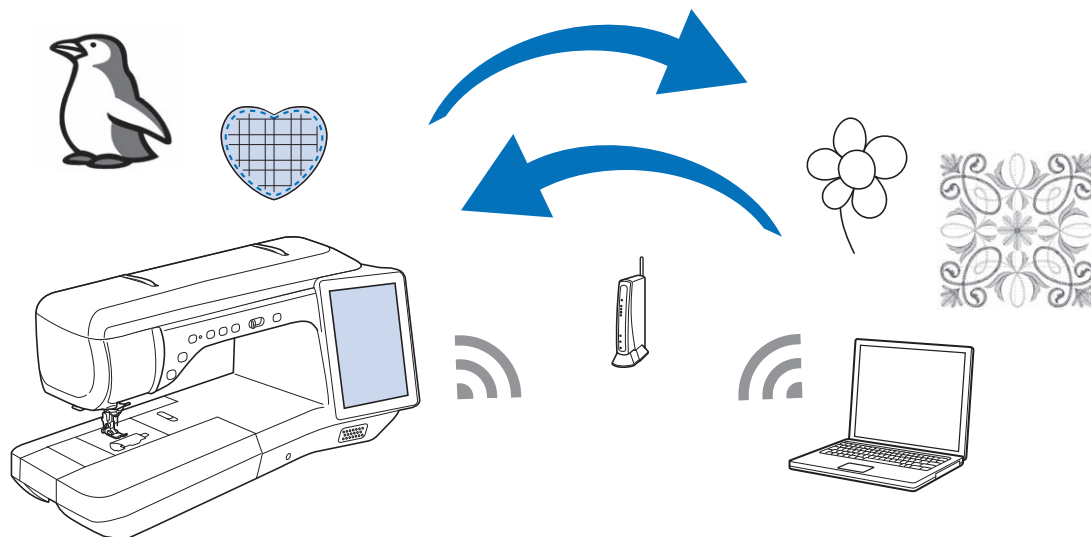
①		100%、200%、400% から選択します。
②		<ol style="list-style-type: none"> このキーを押して、キーボードを表示します。 検索するテキストを入力して、 を押します。 現在のページから文書の先頭まで検索するには、 を押します。現在のページから文書の最後まで検索するには、 を押します。
③		取扱説明書 (PDF ファイル) を開く前の画面に戻ります。
④		最初のページを表示します。
⑤		前のページを表示します。
⑥		現在のページ / ページの総数を表示します。現在のページ番号を押した後、ページ番号を入力して目的のページを表示します。
⑦		次のページを表示します。
⑧		最後のページを表示します。
⑨		画面を閉じてミシンヘルプ画面を終了します。

お知らせ

- ページを拡大または縮小するには、2本の指で画面をつまむか広げます。ページを拡大した後、ページをドラッグして移動することもできます。


無線 LAN 接続機能

このミシンは無線 LAN 接続に対応しています。刺しゅう編集ソフトウェア（刺しゅう PRO 11 またはそれ以降のバージョン）で編集された刺しゅう模様または飾り模様を、パソコンからミシンに無線転送することができます。加えて、刺しゅう模様はミシンから刺しゅう編集ソフトウェア（刺しゅう PRO 11 またはそれ以降のバージョン）に転送することができます。ミシンとパソコンは同じネットワークに接続する必要があります。詳細な手順については、刺しゅう PRO のマニュアルを参照してください。

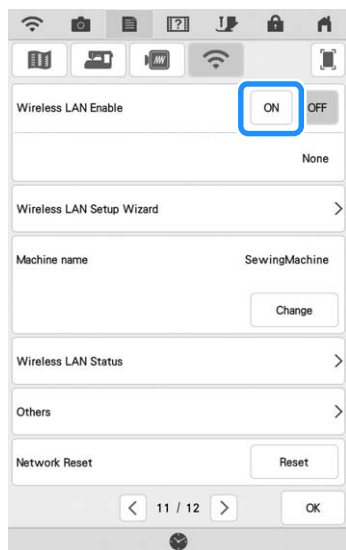


無線 LAN 接続設定を有効にする

本機はお使いの無線ネットワークに接続することができます。

1 を押します。

2 [Wireless LAN Enable (無線 LAN 有効)] を [ON] にします。



→ 本機が無線ネットワーク信号を発信し始めます。

■ ワイヤレスネットワーク接続要件

無線 LAN 接続は、IEEE 802.11n/g/b 規格に準拠し、2.4GHz の周波数を使用します。

お知らせ

- WPA/WPA2 エンタープライズの無線 LAN 接続はできません。

ウィザードで無線 LAN 接続をセッアップする

無線 LAN 接続を設定する方法は複数あります。このミシンのウィザードを使用する方法を推奨します。

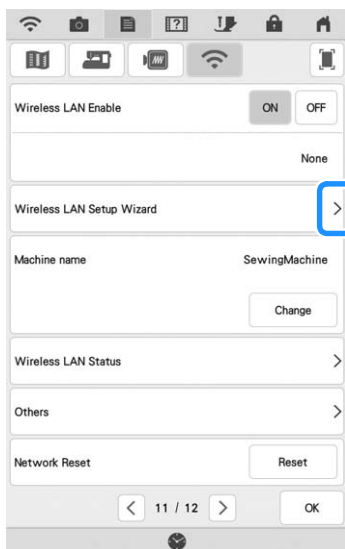
- 1 ミシンを無線 LAN に接続するために、お使いのホームネットワークのセキュリティー情報（SSID と認証キー）が必要です。認証キーは、パスワード、セキュリティーキー、または暗号化キーと呼ばれる場合があります。最初にセキュリティー情報を確認し、書きとめます。

SSID	認証キー（パスワード）

お知らせ

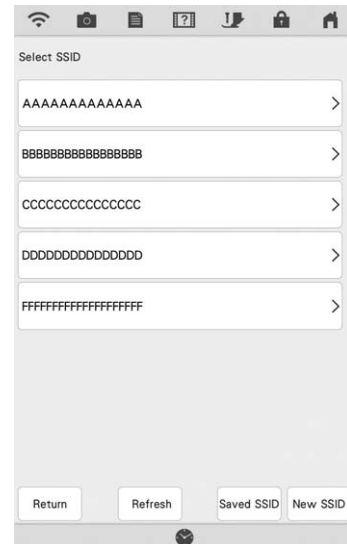
- セキュリティー情報がない場合、無線 LAN 接続を設定することはできません。
- セキュリティー情報を見つける方法
 - ① お使いのホームネットワークに付属の説明書を確認してください。
 - ② 初期設定時の SSID は、メーカー名やモデル名の場合があります。
 - ③ セキュリティー情報がわからない場合は、ルーターの製造元、ネットワーク管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

- 2 [Wireless LAN Setup Wizard（無線接続ウィザード）] の横の > を押します。



→ 使用可能な SSID のリストが表示されます。

- 3 書きとめた SSID の横の > を押します。

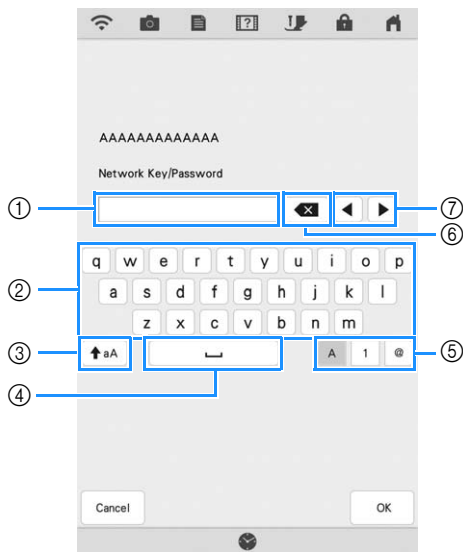


→ 認証キー（パスワード）を入力する画面が表示されます。

お知らせ

- 接続したいネットワーク SSID がリストに表示されない場合は、 を押します。
- 接続したいネットワーク SSID が表示されない場合は、以下の方法で入力してください。
 - ① を押します。
 - ② 接続したいネットワーク SSID を入力して、 を押します。
 - ③ 認証方法と暗号化モードを選択します。
- ミシンがすでにネットワークに接続されている場合は、 を押し、保存した SSID を選択します。

- 4** 書きとめた認証キー（パスワード）を入力して、**OK** を押します。

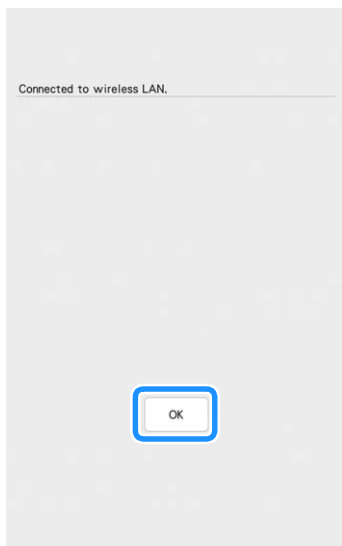


- ① 文字入力エリア
- ② 文字キー
- ③ 大文字／小文字キー
- ④ スペースキー
- ⑤ 文字／数字／記号キー
- ⑥ バックスペース キー（カーソル位置の文字を削除します）
- ⑦ カーソルキー（カーソルを左右に移動します）

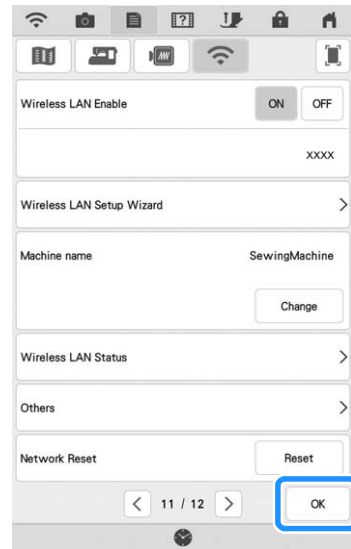
- 5** 次のメッセージが表示されたあと、**OK** を押します。



→ 接続が確立されると、以下のメッセージが表示されます。



- 6** **OK** を押して、押して設定を終了します。



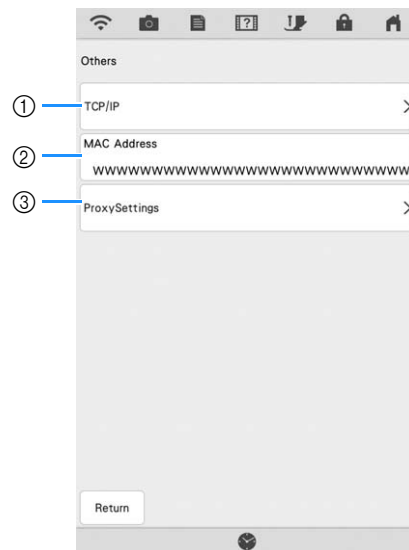
→ [Machine name (マシン名)] の横の文字列は、ファイルを送送するために、刺しゅう編集ソフトウェア（刺しゅう PRO 11 またはそれ以降のバージョン）にミシンを登録するときに使用する名前です。

お知らせ

- 接続している間、信号強度はディスプレイの左上隅のアイコンで表示されます。
- 一度無線ネットワーク接続を設定すれば、ミシンの電源を入れるたびに無線ネットワーク接続が確立されます。ただし、無線 LAN の設定画面の [Wireless LAN Enable (無線 LAN 有効)] を [ON] のままにする必要があります。

■ [Others (その他)] メニューを使う

[Others (その他)] メニューは以下の項目があります。



- ① TCP/IP 設定を手入力することができます。
- ② MAC アドレスを表示します。
- ③ プロキシ設定が必要な場合に使用します。

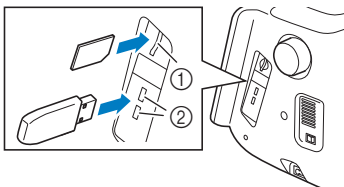
マシンにアクセサリを接続する

1

ぬう前の準備

USB メディア / SD カードを使用する

USB メディアを使って模様を送ったり、読み込んだりするときには、USB ポートコネクタに USB メディアを接続してください。SD カードを使用するときには、SD カードを SD カードスロットに挿入してください。



- ① SD カードスロット
- ② USB ポートコネクタ

お知らせ

- USB メディア / SD カードは、市販品をお使いください。
- 一部の USB メディアは、このマシンで使用できない場合があります。詳細は、ブラザーのホームページを参照してください。
- USB メディアの種類によって、マシンの USB ポートコネクタに直接差し込むか、マシンの USB ポートコネクタに USB カードライター / リーダーを差し込みます。
- USB ポートコネクタには、USB メディア以外のものを挿入しないでください。マシンが故障する原因となります。
- SD カードスロットには、SD カード以外のものを挿入しないでください。マシンが故障する原因となります。

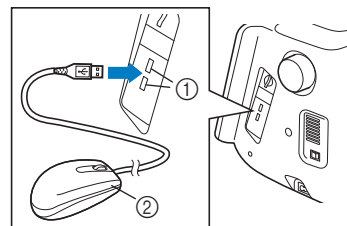
USB マウスを使う

マシンに接続した USB マウスで、さまざまな画面操作ができます。

USB マウスは USB ポートコネクタに接続してください。

お知らせ

- USB マウスは、市販品をお使いください。マウスによっては、本マシンの画面操作に対応していないことがあります。



- ① USB ポートコネクタ
- ② USB マウス

お願い

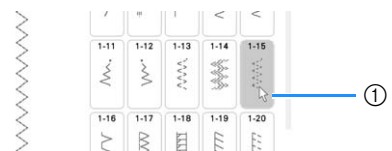
- USB マウスはいつでも抜き差しできます。
- マウスの左ボタンのみ、操作に使用できます。ほかのボタンはマシンで使用できません。
- マウスポインターはスクリーンセーバー、オープニング画面に表示されません。

■ キーをクリックする

マウスをマシンに接続すると、画面にポインターが表示されます。操作したいキーの上に、マウスを使ってポインターを移動させて、左クリックしてください。

お知らせ

- ダブルクリックによる操作はできません。



- ① ポインター

■ ページを変える

画面にページ番号とスクロールバーが表示されているときは、複数のページがあります。ポインタを</>あるいは<^/>に置いて左クリックし、前後のページを表示させてください。





第2章

基本のぬい方



下糸の準備

下糸を巻く

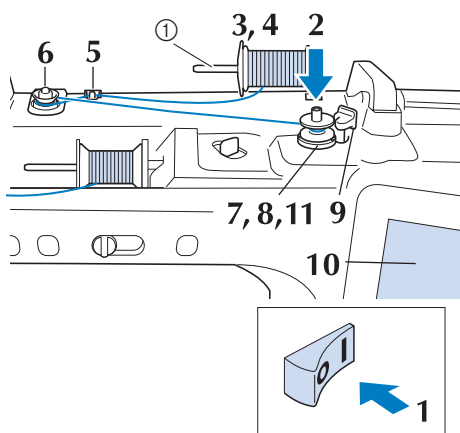


⚠ 注意

- 付属のボピンは本機純正品です。純正ボピンをご使用ください。

■ 補助糸たて棒で下糸を巻く場合

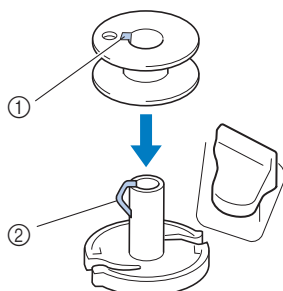
本機は縫製中に下糸を巻くことができます。メインの糸たて棒は縫製に使いながら、補助糸たて棒で下糸を巻くので便利です。



① 補助糸たて棒

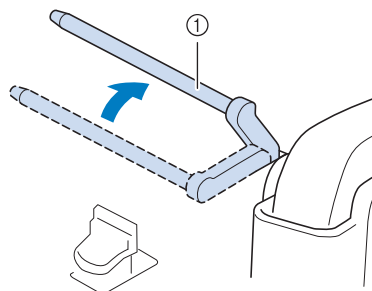
1 電源スイッチを入れ、上ふたを開けます。

2 ボピンのミゾと下糸巻き軸のバネを合わせて、ボピンを軸にセットします。



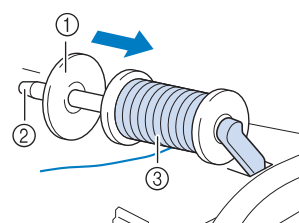
① ボピンのミゾ
② 下糸巻き軸のバネ

3 補助糸たて棒を上におこします。



① 補助糸たて棒

4 糸こまを糸が手前から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。



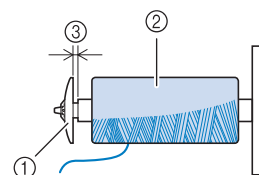
① 糸こま押え
② 糸たて棒
③ 糸こま

⚠ 注意

- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。
- 糸こま押え (大) (中) (小) は糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。

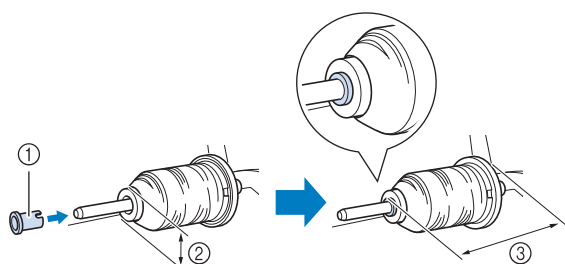
📄 お知らせ

- 細い糸が巻かれた糸こまを使用するときは、糸こま押え (小) を使用し、糸こま押えと糸こまの間に少しすきまを残してください。



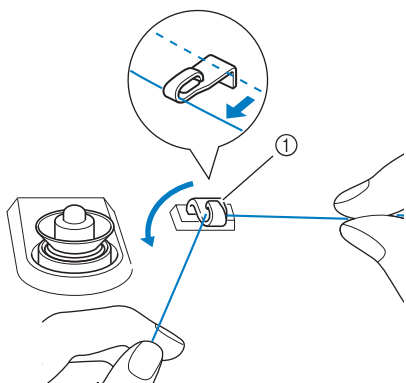
① 糸こま押え (小)
② 糸こま (糸が細く巻かれたもの)
③ すきま

- 芯の直径が 12 mm、高さ 75 mm の糸こまが糸立て棒に挿入されている場合は、糸こま押え（特殊）を使用してください。



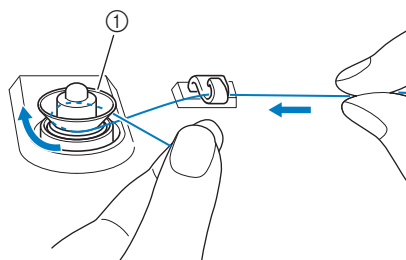
- ① 糸こま押え（特殊）
- ② 12 mm
- ③ 75 mm

- 5** 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内に糸をかけます。

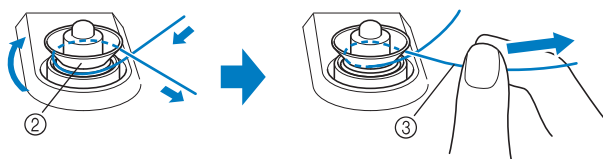


- ① 糸案内

- 6** 下糸巻き案内に糸を巻きつけて、糸が下糸巻き案内の下にあることを確認します。

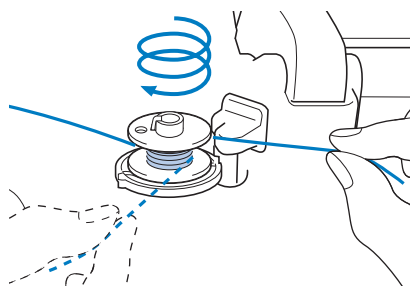


- ① 下糸巻き案内
→ 糸が下糸巻き案内の皿の下を通っていることを確認してください。

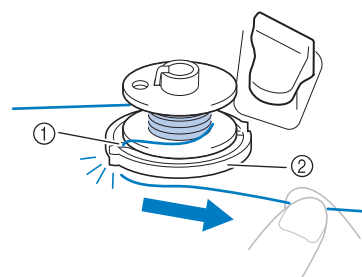


- ② 下糸巻き案内
- ③ しっかり奥まで入れます。
→ 糸が下糸巻き案内の皿の間にしっかり入っていることを確認してください。

- 7** ボビンに糸を右まわりに5~6回巻きつけます。



- 8** 糸端をボビンの受け座のガイドミゾに引っかけて、右へ糸を引き、カッターで糸を切ります。

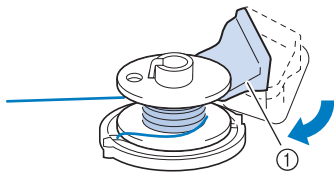


- ① ガイドミゾ（カッター付）
- ② ボビン受け座

⚠ 注意

- 必ずこの方法で糸を切ってください。ガイドミゾのカッターで糸を切らずに下糸を巻くと糸がうまく巻けません。また、糸量が少なくなったときにボビンに糸がからまり、針が折れるおそれがあります。

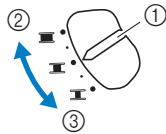
9 ボビンホルダーを左へカチッと音がするまで押します。



① ボビンホルダー (スイッチ)

お知らせ

- ボビンホルダーを左へ押すと、下糸巻きモードになります。
- 糸巻き量調整つまみで糸を巻く量を 5 段階から選択することができます。

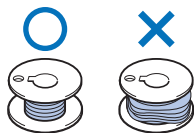


- ① 糸巻き量調整つまみ
- ② 多い
- ③ 少ない

→ 下糸巻き画面が表示されます。

お願い

- ナイロン透明糸をボビンに巻くときは、1/2 ~ 2/3 程度巻いたところで止めてください。ナイロン透明糸をボビンいっぱいまで巻くと、巻きくずれの原因となります。



10 Start を押します。

→ 下糸巻きが始まります。巻き終わると自動的に停止し、ボビンホルダーが元の位置に戻ります。




お願い

- 下糸巻きの動作中は、Start が Stop で表示されます。
- 下糸巻きの動作中は、ミシンから離れず、正しく動作していることを確認してください。正しく巻かれていない場合は、ただちに Stop を押して下糸巻きを中止してください。
- キルト用のナイロン糸など、堅めの糸を下糸に巻くとき、通常の糸を巻くときと異なる動作音が出ますが、故障ではありません。

お知らせ

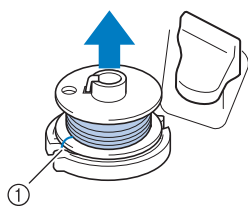
- 下糸巻き画面で - (ゆっくり)、+ (はやく) を押して下糸巻きの速度を調整できます。



- OK を押して、下糸巻き画面を最小化できます。下糸を巻いている間、模様を選んだり、糸調子を調整したり、他の操作をすることができます。
- 画面の右上に表示されている  を押すと、最小化された下糸巻き画面がもう一度表示されます。



11 カッターで糸を切り、ポビンを外します。



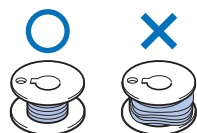
① カッター

お知らせ

- ポビンを外すとき、ポビンの受け座を引っ張ると、ポビンの受け座が外れ、故障の原因となります。

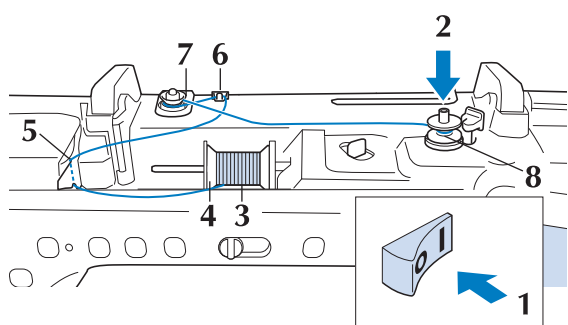
注意

- 下糸の巻き方が悪いと、糸調子不良や針折れ、けがの原因となります。



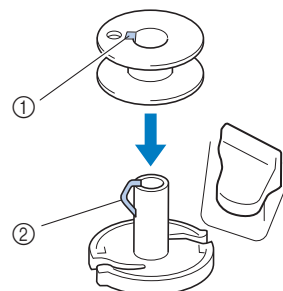
■ 糸たて棒で下糸を巻く場合

ぬい始める前に、糸たて棒を使って下糸を巻いてください。縫製中はこの糸たて棒を使って下糸を巻くことはできません。



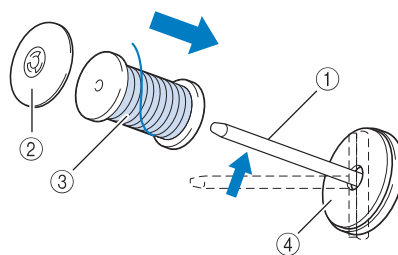
1 電源スイッチを入れ、上ふたを開けます。

2 ポビンのミゾと下糸巻き軸のバネを合わせて、ポビンを軸にセットします。



① ポビンのミゾ
② 下糸巻き軸のバネ

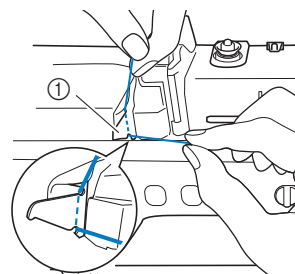
3 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸が手前から出るように糸たて棒に糸こまを差し込みます。



① 糸たて棒
② 糸こま押え
③ 糸こま
④ 糸こまフェルト

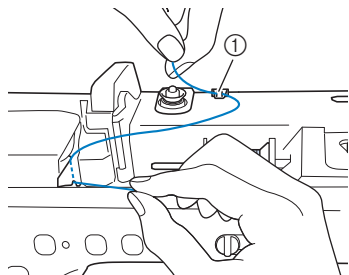
4 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。

5 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板のミゾに糸を通します。



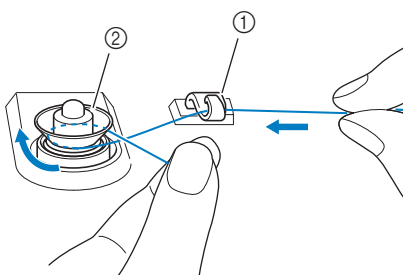
① 糸案内板

6 糸案内に糸をかけます。



① 糸案内

7 下糸巻き案内に糸を巻きつけて、糸が下糸巻き案内の下にあることを確認します。

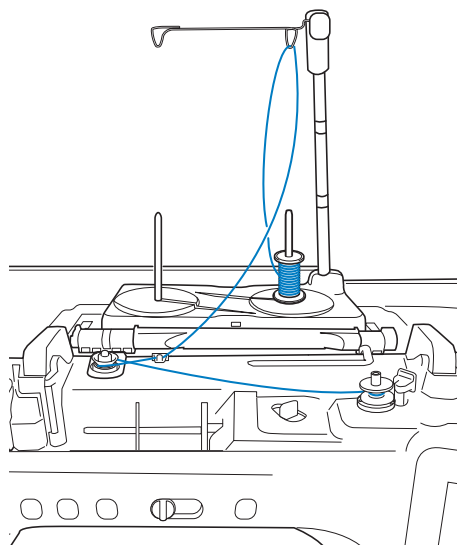


① 糸案内
② 下糸巻き案内

8 以降の作業は、P. 51 から P. 53 の手順 **7** ~ **11** に従ってください。

■ 糸たてスタンドを使う

糸たてスタンドを取り付けた状態で、下糸巻きをするには、糸こまからアンテナの糸かけへ糸を通し、「補助糸たて棒で下糸を巻く場合」の P. 51 から P. 53 にある手順 **5** ~ **11** を参照して下糸を巻いてください。



☑ お知らせ

- 糸たてスタンドの取り付けについては、P. 23 を参照してください。
- 糸たてスタンドを使ってミシンに糸を通す方法については、P. 63 を参照してください。

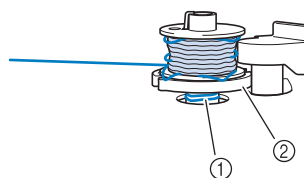


注意

- 下糸を巻くときは、糸案内で上糸と下糸を交差させないでください。

■ ボビン受け座の下に糸がからまってしまったら

糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていない状態で下糸を巻くと、ボビン受け座の下に糸が巻かれてしまうことがあります。そうなった場合は、以下の手順に従ってボビン受け座の下に巻かれた糸をほどいてください。



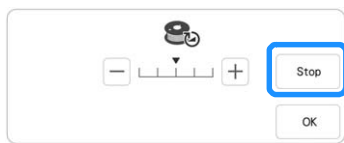
① 糸
② ボビン受け座



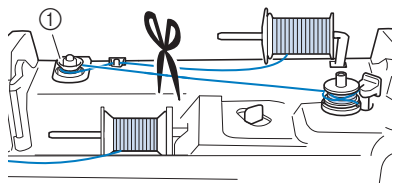
注意

- ボビン受け座の下に糸が巻かれても、ボビン受け座は外さないでください。けがをするおそれがあります。

- 1 ボビン受け座の下に下糸がからまり始めたら、**Stop** を押して下糸巻きを停止します。

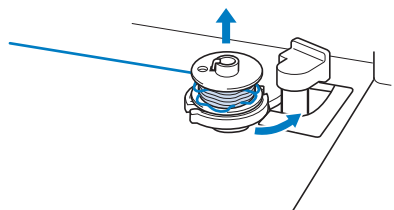


- 2 下糸巻き案内側で、はさみで糸を切ります。

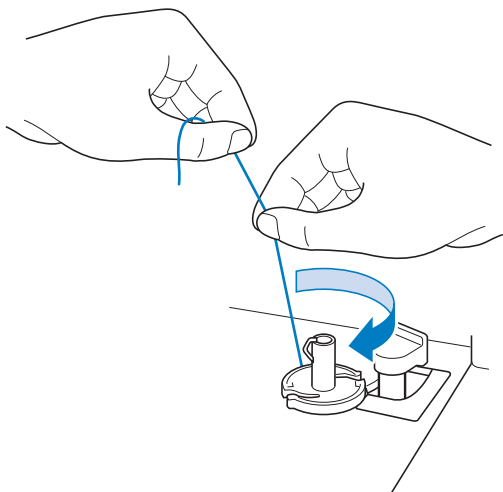


① 下糸巻き案内

- 3 ボビンホルダーを右に押して、ボビンを下糸巻き軸から少なくとも 10 cm 上げます。



- 4 ボビンの近くで糸を切り、左手で糸端を持ちます。右手でボビン受け座近くの糸をゆっくりと時計回りに回して、からまった糸をほどきます。



- 5 下糸巻きをやり直します。

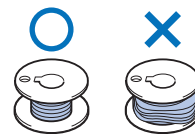
🔔 お願い


- 糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていることを確認してください。(P. 51)


下糸をセットする

⚠️ 注意

- 下糸は正しく巻かれたものをご使用ください。万一、下糸の巻き方が悪いと、針折れや糸調子不良の原因となります。

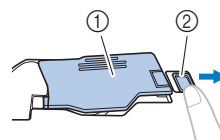


- 付属のボビンは本機純正品です。純正ボビンをご使用ください。
- 下糸をセットするときや交換するときは、必ず液晶画面の  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックしてください。ロックされていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。

- 1  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックし、押えを上げます。

- * 「OK to automatically lower the presser foot? (押えが自動で下がります。よろしいですか?)」のメッセージが表示されたら、**OK** を押して操作を続けてください。

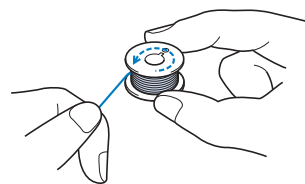
- 2 針板ふたのつまみを右側に押します。



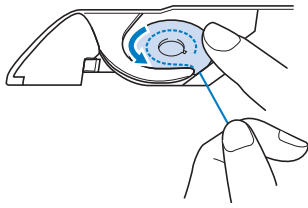
- ① 針板ふた
② つまみ
→ 針板ふたが開きます。

- 3 針板ふたを外します。

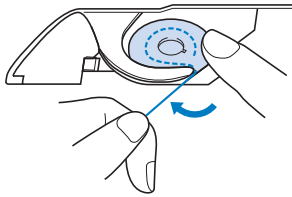
- 4 右手でボビンを持ち、左手で糸の端を持ちます。



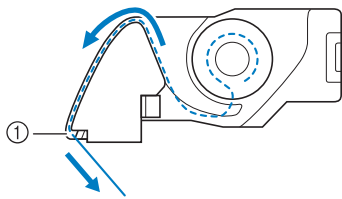
- 5 糸が左巻きになるようにしてボビンをかまに入れます。



- 6 右手でボビンを軽く押さのまま、左手で糸を通します。



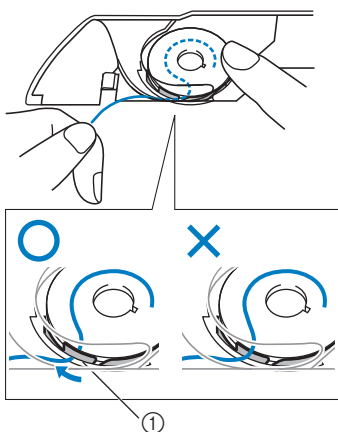
- 7 ミゾにそって糸を通し、手前へ糸を引き出します。



- ① カッター
→ カッターで糸を切ります。

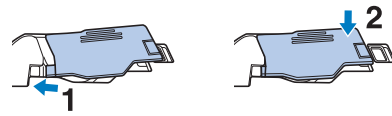
🔔 お願い


- 内かまの板バネの間に確実に糸が入っていないと、糸調子不良の原因となります。(P. 83)



① 板バネ

- 8 針板ふたのタブを針板カバーに差し込んでから (1)、針板ふたの右側を上から軽く押して取り付けます (2)。



- 9  を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。

⚠️ 注意

- ボビンは必ず指で押え、正しい方向から糸が出るようにセットしてください。万一、ボビンを逆の方向にセットすると、糸切れや糸調子不良の原因となります。

下糸を引き出す

ギャザーやダーツ、フリーモーションキルト、刺しゅうをぬうときなど、あらかじめ下糸を引き出しておきたいときは、以下の手順に従って操作してください。

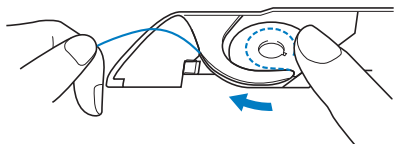
お知らせ


- 先に上糸を通してから、下糸を引き出します。(P. 58 「上糸通し」)

1 P. 55 「下糸をセットする」の **1** ~ **4** を参照して、ボビンをかまに入れます。

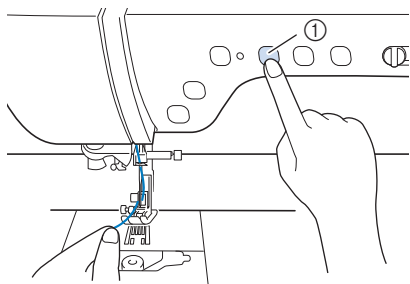
2 下糸を矢印のようにミゾにそって通します。

- * 糸をカッターで切らないでください。
- * 針板ふたは外したままにしてください。



3  を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。

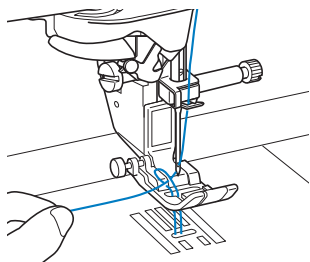
4 上糸を持ち、針上下スイッチを押して針を下げます。



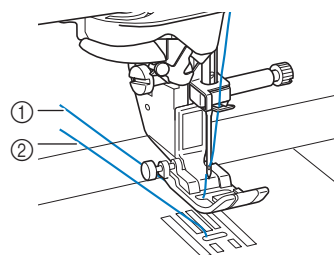
① 針上下スイッチ

5 針上下スイッチを押して針を上げます。

6 上糸を軽く引き上げて、下糸を針板の穴から出します。

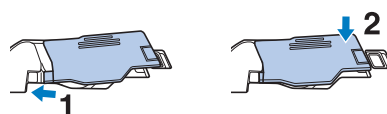


7 下糸を引き上げ、押えの下に通し、ミシンの背面に向かって約 10 cm 引っ張り、上糸と同じにします。



- ① 上糸
- ② 下糸

8 針板ふたを閉めます。



上糸通し

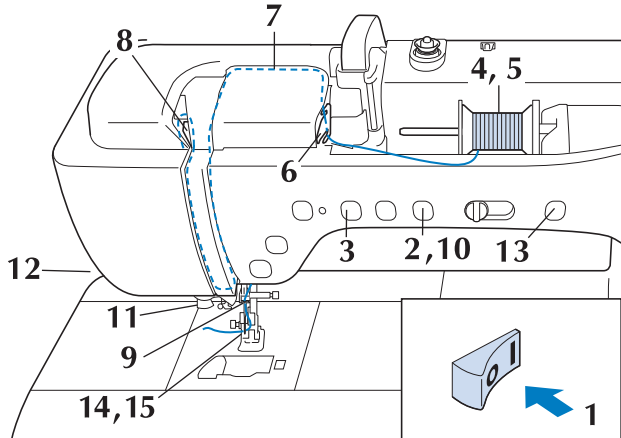
上糸通し

⚠ 注意

- 上糸は必ず正しく通してください。糸が正しく通されていない場合、糸がからんで針が折れ、けがをするおそれがあります。
- 別売の部品（押えなど）を使用する場合は、上糸通しを行ってから本体に取り付けてください。
- 20番以下の太い糸は使用しないでください。

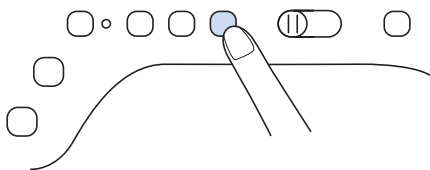
📖 お知らせ

- 自動糸通しは、家庭用ミシン針（HA×1）11番～16番で使用してください。
- ナイロン透明糸や特殊な糸を使用するときは、自動糸通しは使用できません。
- ウィングニードルまたは2本針を取り付けているときは、自動糸通しは使用できません。

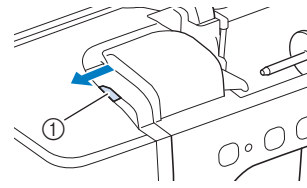


1 電源スイッチを入れます。

2 押え上下スイッチを押して、押えを上げます。



→ シャッターが開いて、糸通しできるようになります。

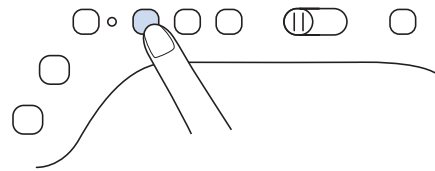


① シャッター

📖 お知らせ

- 本機には、上糸通しが正しく行われていることを確認できるよう、シャッターを装備しています。

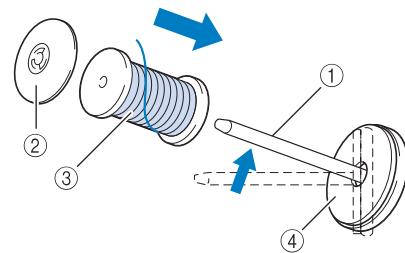
3 針上下スイッチを押して針を上げます。



🙏 お願い

- 針を上げずに自動糸通しを行うと、上糸が正しくかからないことがあります。

4 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸が手前から出るように糸たて棒に糸こまを差し込みます。



- ① 糸たて棒
- ② 糸こま押え
- ③ 糸こま
- ④ 糸こまフェルト

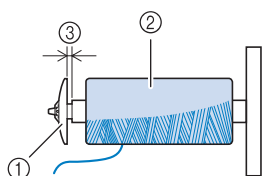
- 5 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。

⚠ 注意

- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。
- 糸こま押え (大) (中) や糸こま押え (特殊) は糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。

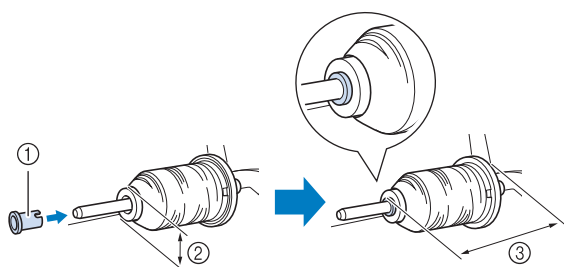
📖 お知らせ

- 細い糸が巻かれた糸こまを使用するときは、糸こま押え (小) を使用し、糸こま押えと糸こまとの間に少しすきまを残してください。



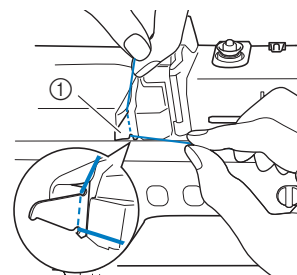
- ① 糸こま押え (小)
- ② 糸こま (糸が細く巻かれたもの)
- ③ すきま

- 芯の直径が 12 mm、高さ 75 mm の糸こまが糸立て棒に挿入されている場合は、糸こま押え (特殊) を使用してください。



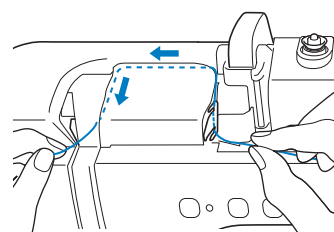
- ① 糸こま押え (特殊)
- ② 12 mm
- ③ 75 mm

- 6 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板のミゾに糸を通します。

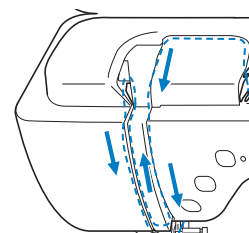


- ① 糸案内板

- 7 右手で糸を持ちながら、糸通しカバーの矢印に沿って糸を通します。

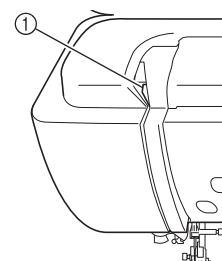


- 8 図のように、糸をミゾに沿って下に通し、上に上げ、また下に通します。



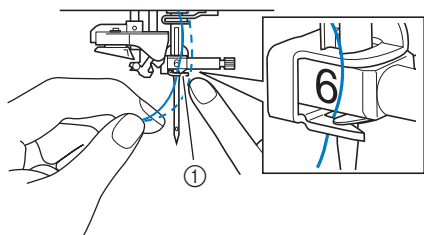
📖 お知らせ

- ミゾの上部から中を見ると、てんびんに糸がかかっていることを確認できます。



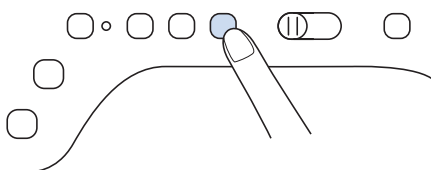
- ① ミゾの上部を確認します。

- 9 一方の手で糸を押え、もう一方の手で糸の端を持ち、図のように針棒糸かけ (6の印) に糸をかけます。

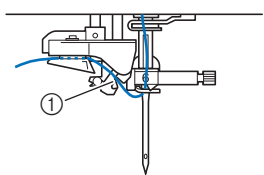


① 針棒糸かけ

- 10 押え上下スイッチを押して、押えを下げます。

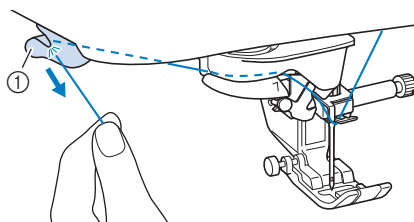


- 11 糸案内皿 (7の印) に糸を通します。糸案内のミゾに糸が通っていることを確認してください。



① 糸案内のミゾ

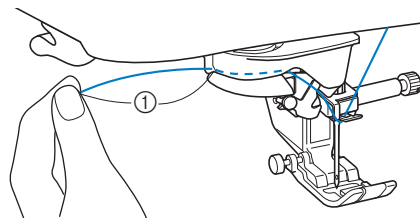
- 12 図のように、糸を引き上げて、ミシンの糸切りで糸を切ります。



① 糸切り

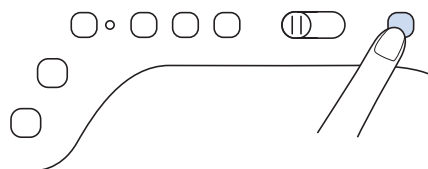
🔍 お願い

- メタリック糸のようにほどけやすい糸を使用する場合は、糸を切ってしまうと糸を通しにくくなります。その場合は、糸案内皿 (7の印) に糸を通した後、糸切りを使わずに糸を約8 cm 引き出してください。



① 約8 cm

- 13 自動糸通しスイッチを押して、針に糸を通します。



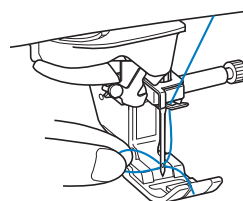
→ 糸が針穴に通ります。

📄 お知らせ

- 自動糸通しスイッチを押すと、押えが上がっている場合でも、自動的に下がります。糸通しが終わると、押えは自動的に、自動糸通しスイッチを押す前の位置に戻ります。

- 14 針穴を通った糸をゆっくり引き出します。

* 針穴を通った糸が輪になった場合は、輪を後ろ側に引っ張り、針穴から糸を引き出します。

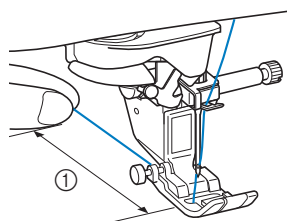


🔍 お願い

- 糸の輪を針穴から引き出すときは、ゆっくり引き出してください。強く引くと、針折れの原因となります。

- 15 押えを上げ、糸を 10 ~ 15 cm 引き出して、押えの下を通して、ミシンの後ろ側へ回します。

→ 押えレバーが下がっているときは、押えレバーを上げてください。



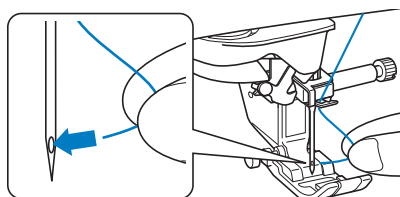
① 10 ~ 15 cm

お知らせ


- 針に糸が通っていなかったり、針棒糸かけに正しくかかっていなかった場合は、P. 58 の手順 ③ から操作をやり直してください。

お願い


- 針の種類によっては、自動糸通しが使用できない場合があります。そのときは、自動糸通しを使用せずに針棒糸かけ (6 の印) に糸をかけた後、手前から奥に向かって手動で針穴に糸を通してください。




2 本針を使用する


模様を選んだときに  が表示される模様のみ、2 本針が使用できます。2 本針が使用できる模様を、模様を選択する前に確認してください (P. 208 「ぬい方早見表」を参照ください)。

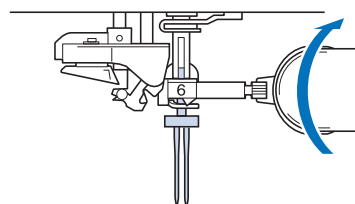
⚠ 注意

- 必ずブラザー純正の 2 本針を使用してください。針の交換が必要になった場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。
- 2 本針を使用するときは必ず 2 本針の設定にしてください。1 本針の設定で 2 本針を使用すると、針が折れ、故障の原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針が折れ、けがをするおそれがあります。
- 2 本針を使用するときは、必ずジグザグ押え < J > を使用してください。
- 2 本針を使用すると、使用する布地や糸の種類によっては、ぬい目が詰まる場合があります。飾り模様では、模様ぬい押え < N > を使用してください。
- 針を交換するときやミシンに糸を通すときは、必ず液晶画面の  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックしてください。ロックされていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。

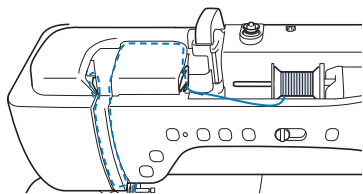


- 1  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックしてから、2 本針を取り付けます。(P. 66 「針の交換」)

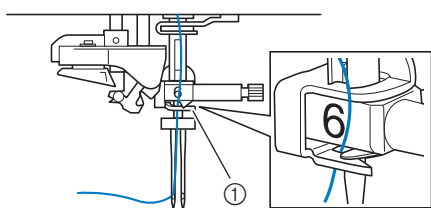
* [OK to automatically lower the presser foot? (押えが自動で下がります。よろしいですか?)] のメッセージが表示されたら、 を押して操作を続けてください。



- 2** 1本針と同じ手順で1本目の糸をミゾに通します。(P. 58「上糸通し」手順①から⑧)



- 3** 糸を針棒糸かけにかけ、手で左側の針に糸を通します。

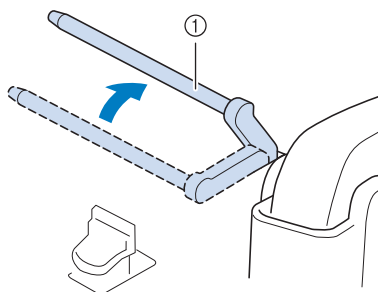


① 針棒糸かけ

👉 **お願い**

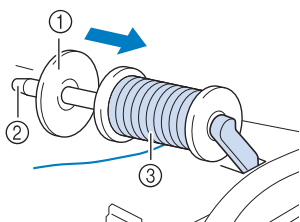
- 自動糸通しスイッチは使用できません。2本針の手前から向こう側に、手で針穴に糸を通してください。自動糸通しスイッチを使用すると故障の原因となります。

- 4** 補助糸たて棒を垂直におこします。



① 補助糸たて棒

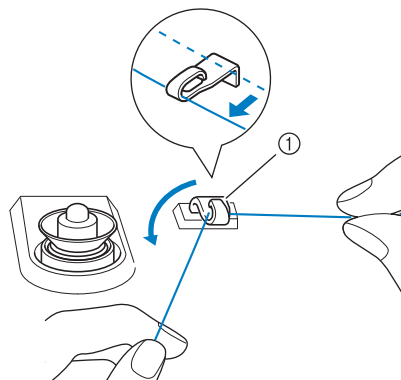
- 5** もう1つの糸こまを、糸が手前から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。



① 糸こま押え
② 糸たて棒
③ 糸こま

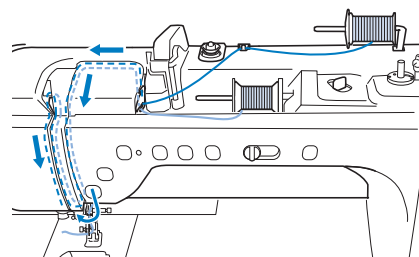
- 6** 両手で糸コマから糸を持ち、糸案内に糸をかけます。

* 下糸巻き案内に糸をかけないように注意してください。

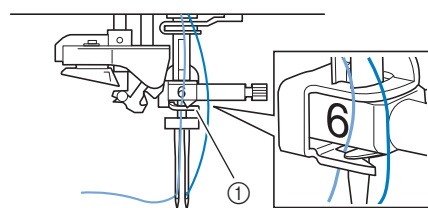


① 糸案内


- 7** 糸こまからの糸を持ち、糸案内板のミゾに下から上に糸を通してから上のミゾを通します。左手で糸端を持って、図の矢印に沿って、ミゾに糸を通します。




- 8** 針棒糸かけ (6の印) には糸をかけずに、糸通しを続けます。右側の針に手で糸を通します。



① 針棒糸かけ



- 9**  を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。

- 10** 模様を選択します。(例: )

* 模様を選択について詳しくは、P. 74「ぬってみましょう」を参照ください。

* 2本針を取り付けたときに使用できる模様の詳細については、P. 208「ぬい方早見表」を参照してください。


→ 選んだ模様が表示されます。

- 11  を押してから、 を押して2本針の設定を選択します。



→ 2本針が設定されます。

🔍 お願い

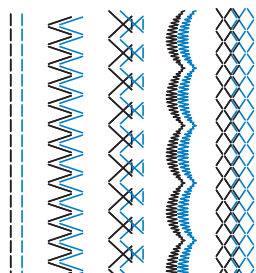
- 模様を選んだときに、 キーが灰色で表示されているときは、その模様で2本針が使用できないことを表しています。

⚠️ 注意

- 2本針を使用するときは必ず2本針の設定にしてください。1本針の設定で2本針を使用すると、針が折れ、故障の原因となります。

- 12 ぬい始めます。

2本針のぬい目の例



📖 お知らせ

- 2本針で縫製中に、ぬう方向を変えたい場合は、布から針を上げて、押えレバーを上げてから、布の方向を変えます。

糸たてスタンドを使う

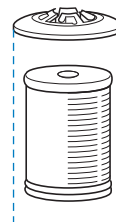
直径の大きな糸こま（チーズ巻き）に使用すると便利です。2個の糸こまをセットできます。

📖 お知らせ

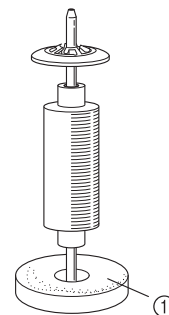
- 糸たてスタンドの取り付けについては、P. 23を参照してください。
- 糸たてスタンドを使った下糸巻きについては、P. 54を参照してください。

■ 糸たてスタンドを使う

- 必ず、糸こまよりも少し大きなサイズの糸こま押えを使用してください。糸こまよりも小さいものや、大きすぎるものを使用すると、糸が引っかかり縫製不良の原因となります。

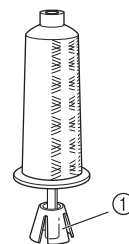


- 芯が細い糸こまを使用するときは、付属のフェルトを糸たて棒に通した後、フェルトの中央の穴に糸こまの芯が入るように糸こまをセットし、糸こま押えを差し込みます。



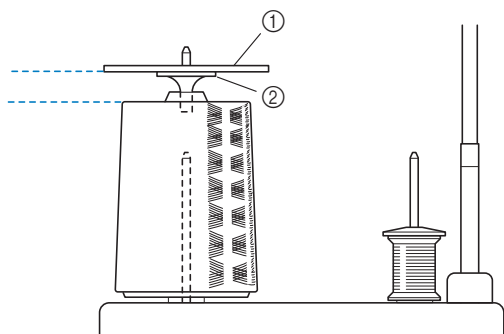
① 糸こまフェルト

- チーズ巻きの糸こまを使用するときは、スプールクッションを使用します。綿糸以外のチーズ巻き糸こまを使用するときは、糸こま押えを使用する必要はありません。



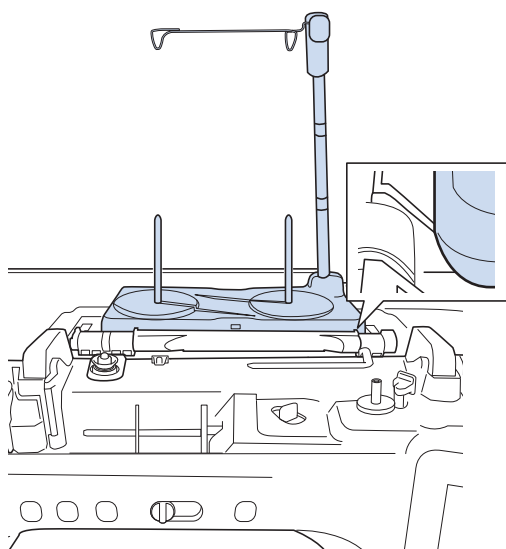
① スプールクッション

- 糸こまの大きさや糸の残量に応じて、糸こま押え（大、中）を使い分けてください。糸こま押え（小）を糸こま押えベースに取り付けて使用することはできません。

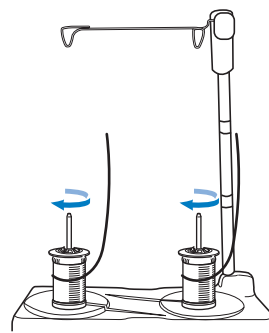


- ① 糸こま押え
- ② 糸こま押えベース

1 ミシンに糸たてスタンドを取り付けます (P. 23)。



2 糸こまを、時計回りに糸が引き出される方向に糸たて棒にセットします。糸こま押えをしっかりと糸たて棒に差し込みます。

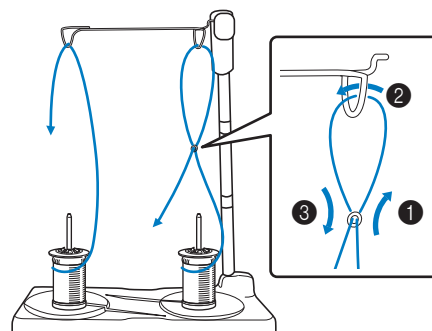


🙏 **お願い**

- 糸こまを2つ使用するときには、両方の糸こまを必ず同じ方向にセットしてください。
- 糸こまが互いに接触しないようにしてください。接触していると、糸がスムーズに引き出されず、針折れや糸切れ、糸がらみなどの原因となることがあります。また、糸こまが中央のアンテナに接触していないことを確認してください。
- 糸こまの下に糸がはさまらないようにしてください。

3 糸こまから糸を引き出します。真上の糸かけに奥から手前に糸をかけます。

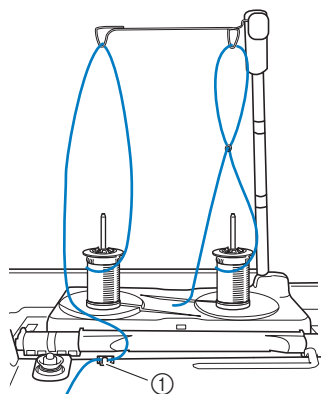
メタリック糸などの張りが強い糸を使用する場合は、糸のからまりを防ぐため、付属のリングを使用します。糸を、まずリングに下から通し (●)、糸かけに通した後 (●)、再びリングに上から通します (●)。リングを使用するときには、糸こま押えベースは使用しないでください。



🙏 **お願い**

- 隣接する糸こまの糸にからまないように、糸をかけてください。
- 糸をかけた後、糸こままわりのたるんだ糸を巻き取ってください。糸がたるんでいると、糸がらみなどの原因となることがあります。

4 糸案内の右から左へ糸を通します。



① 糸案内

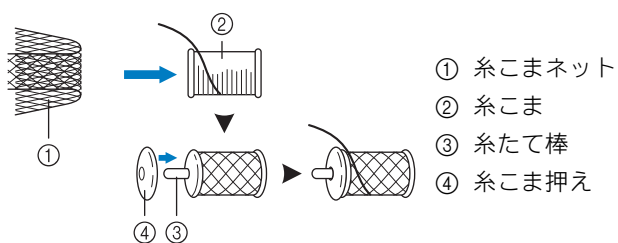
5 P. 58「上糸通し」の⑥から⑮の通りに上糸を通します。

ほどけやすい糸を使用する場合

■ 糸こまネットを使用する

ナイロン透明糸やメタリック糸などを使用する場合は、付属の糸こまネットを糸こまに付けてください。これらの糸を使用するときは、手動で糸をかけてください。

糸こまネットが長すぎる場合は、糸こまの大きさに合わせてネットを折りたたんでから、糸こまに付けてください。





📖 お知らせ

- 糸こまネットを使用する場合は、必ず約5～6cm糸を引き出してください。
- 糸こまネットを使用する場合は、必要に応じて糸調子を調節してください。

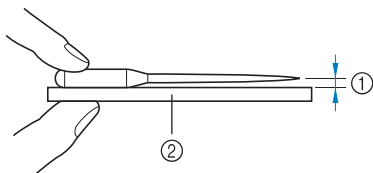
針の交換

⚠ 注意

- 針を交換する前に、必ず液晶画面の  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックしてください。 が押されていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。
- 針は必ず家庭用ミシン針 (H A × 1) を使用してください。そのほかの針を使用すると、針が曲がったり、折れてけがをするおそれがあります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。曲がった針は折れやすく、けがをするおそれがあります。

📖 お知らせ

- 正しい針を見分けるには、針の平らな面を平らな板に合わせます。上と横から見て、針と板のすき間が平行かどうかを確認します。曲がった針は捨ててください。

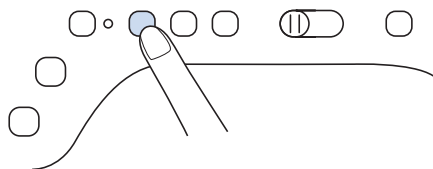


- ① 平行なすき間
- ② 平らな面 (針板ふたやガラスなど)


💡 お願い

- 針は消耗品です。次の事例にあてはまる場合は、針を交換してください。
 - 針が布地に刺さる際に通常と異なる音 (パツパツやバスッバスッなど) が出る時 (針先が折れていたりつぶれていたりする可能性があります。)
 - 目とびが起きるとき (針が曲がっている可能性があります。)
 - 目安として、洋服などを 1 作品ぬい終えたとき

1 針上下スイッチを押して針を上げます。



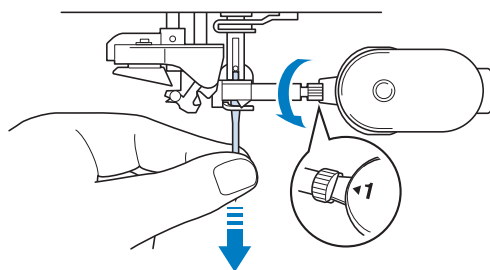
2 を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックします。

- * 「OK to automatically lower the presser foot? (押えが自動で下がります。よろしいですか?)」のメッセージが表示されたら、 を押して操作を続けてください。

💡 お願い

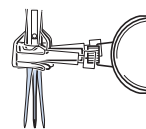
- 針を交換する前に、押えの下に布や紙を置いて、針が針板の穴から下へ落ちないようにしてください。

3 左手で針を持ちながら、右手でドライバーを手前に回し、針のとめネジをゆるめます。針を抜きます。

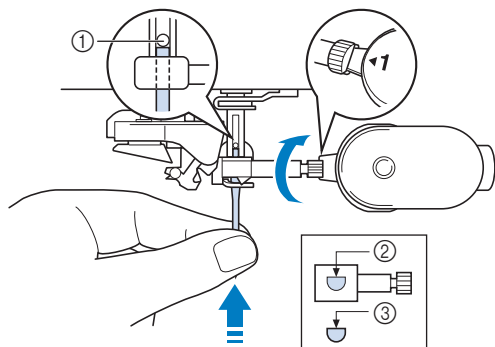


💡 お願い

- 針のとめネジに大きな力を加えないでください。針やミシン本体の故障の原因となります。



- 4 新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、ストッパーに当たるまで針棒に差し込みます。マルチドライバーで針のとめネジをしっかりとめます。




- ① ストッパー
② 針取付穴
③ 針の平らな面

⚠ 注意



- 針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、とめネジをマルチドライバーで確実にしめてください。針が正しく取り付けられていないと、針折れや故障の原因となります。

- 5  を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。

📄 お知らせ

- 自動糸通しは、家庭用ミシン針 (HA × 1) 11番～16番で使用してください。
- ナイロン透明糸や特殊な糸を使用するときは、自動糸通しは使用できません。

布地と糸の種類による針の使い分け

- このミシンで使用できる針：家庭用ミシン針（HAx1シリーズの太さ9～16番） 例）HAx1、HAx1SPなど
- このミシンで使用できる糸：30～90番
* 20番以下の太い糸は使用しないでください。故障の原因となります。
- 布地により、ミシン針や糸を使い分けます。次の表を参考にして、布地に適した糸と針を選択してください。
 - 表は目安です。必ず試しぬいをしてください。使用する布地を、実際にぬう枚数分重ねてぬってください。
 - ミシン針は消耗品です。美しい仕上がりと安全のために、折れる前の早めの針交換をおすすめします。針交換の目安はP.66「針の交換」を参照してください。

- * 基本として、薄い布地には細い針と細い糸、厚い布地には太い針と太い糸を使用します。
- * 薄い布地をぬうときはぬい目を細かく、厚い布地をぬうときは粗くします。(P.81)

布地の特徴・種類		ミシン糸		針の太さ	ぬい目の長さ mm
		種類	太さ		
薄地	ローン、ジョーゼット、ポーラ、オーガンジー、シフォン、ポイル、ガーゼ、チュール、綿サテン、裏地 など	ポリエステル糸	60～90	9～11	細かいぬい目 (1.8～2.5)
		綿糸、絹糸	50～80		
普通地	ブロード、タフタ、ギャバジン、フラノ、サッカー、ダブルガーゼ、リネン(麻布)、ちりめん、タオル地、ワッフル、シーチング、ポプリン、シャンプレー、ダンガリー、サテン、サージ など	ポリエステル糸	60～90	11～14	普通のぬい目 (2.0～3.0)
		綿糸、絹糸	50～60		
厚地	デニム (12オンス以上)、帆布 など	ポリエステル糸、綿糸	30	16	粗いぬい目 (2.5～4.0)
	デニム (12オンス以上)、帆布、ツイード、コーデュロイ、ベロア、キルティング、メルトン、モッサ、ビニールコーティング地 など	ポリエステル糸	60	14～16	
		綿糸、絹糸	30～50		
のびる布地 (ニット素材など)	ジャージー、トリコット、Tシャツ地、フリース、スムース など	ニット用糸	50	ニット用針 (金) 11～14	布地の厚みに応じて設定 * 伸びる布地に適した模様の選択をおすすめします。(P.80「伸びる布地をぬう」)
ステッチをかける場合 * 20番以下の太い糸 (ステッチ糸) を使用しないでください。糸通し装置の故障や、針折れの原因となります。		ポリエステル糸	30	14～16	布地の厚みに応じて設定
			50～60	11～14	

■ ナイロン透明糸

布地や糸にかかわらず 14～16番の針を使用します。

■ 刺しゅう用の針

11番を使用します。

⚠ 注意





- 布地と糸と針の組み合わせは、上記に従ってください。組み合わせが適切でない場合、ぬい目がふぞろいになり、ぬいじわや目とびの原因になります。特に、厚い布地（デニムなど）を細い針（9～11番）でぬうと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

押えの交換

⚠ 注意



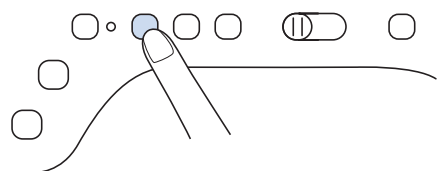
- 押えを交換する前に、必ず液晶画面の  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックしてください。 が押されていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。
- 模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりして、けがをするおそれがあります。
- 押えは必ず純正品を使用してください。


2


基本のぬい方

押えを取り外す

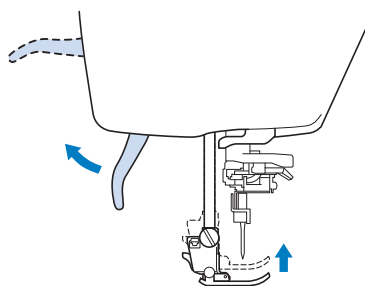
- 1 針上下スイッチを押して針を上げます。



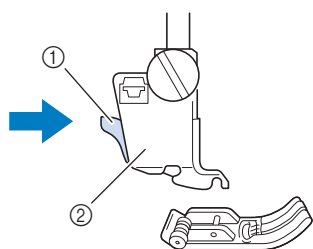
- 2  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックします。

* [OK to automatically lower the presser foot? (押えが自動で下がります。よろしいですか?)] のメッセージが表示されたら、 を押して操作を続けてください。

- 3 押えレバーを上げます。



- 4 押えホルダーの黒いボタンを押し、押えを取り外します。



- ① 黒いボタン
- ② 押えホルダー

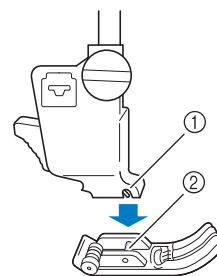
押えを取り付ける

⚠ 注意




- 押えは前後の向きを確認して正しい向きで取り付けてください。押えの向きをまちがえると針が押えに当たり、折れてけがをする原因となります。

- 1 取り付ける押えのピンと押えホルダーのミゾが合う位置に押えを置きます。押えレバーを下げて、押えホルダーのミゾを押えのピンにはめます。



- ① ミゾ
- ② ピン

- 2  を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。

- 3 押えレバーを上げます。

付属のアダプターを使用して押えを取り付ける

付属のアダプターとネジ（小）を使用して、付属のエコーキルト押え< E >やウォーキングフットなどの別売の押えを取り付けることができます。
ここでは、例としてウォーキングフットの取り付け方を説明します。



■ ウォーキングフットを取り付ける

ウォーキングフットは、押えと送り歯の間に生地をしっかりと送りで生地を送ります。このため、ぬいにくい生地（キルティングやベルベット）やすべりやすい生地（ビニールクロス、皮革、人工皮革など）でも、スムーズにぬえます。

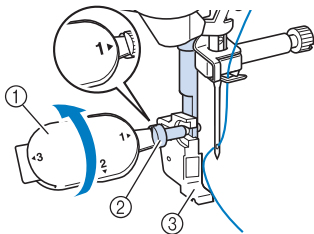
🔔 お願い

- ウォーキングフットを使用するときは、手で針に糸を通してください。自動糸通しスイッチを使用する場合は、糸を通した後ウォーキングフットを取り付けてください。
- ウォーキングフットを使用するときは、中速か低速でぬってください。

📄 お知らせ

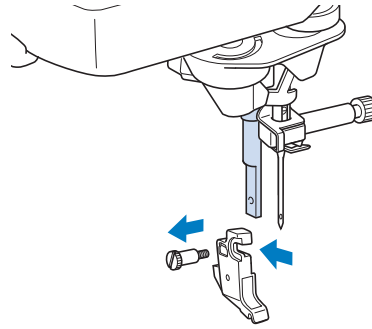
- ウォーキングフットは、直線模様またはジグザグ模様のみで使用できます。ウォーキングフット使用時は、返しぬいができません。止めぬいができるのは、直線模様またはジグザグ模様を選択したときのみです。（P. 76）

- 1 P. 69「押えを取り外す」の手順に従って、押えを外します。
- 2 押えホルダーのネジをゆるめ、押えホルダーを外します。

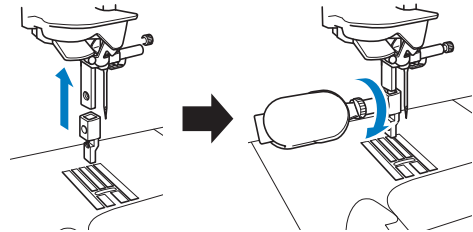


- ① マルチドライバー
- ② 押えホルダーのネジ
- ③ 押えホルダー

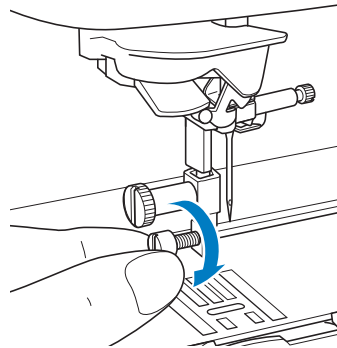
- 3 押えホルダーのネジを押え棒から完全に取り外します。



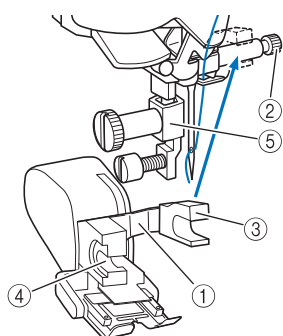
- 4 押え棒の平らな面とアダプターの平らな面を合わせて差し込みます。アダプターのネジ穴と押え棒のネジ穴を合わせて、マルチドライバーでネジをしめます。



- 5 付属のネジ（小）を2～3回手で回して、押え棒に仮止めします。

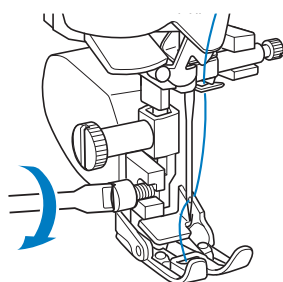


- 6 ウォーキングフットの操作レバーのふたまた部で針のとめネジの棒をはさむようにして、ウォーキングフットを押え棒に合わせます。ウォーキングフットの軸を押え棒に取り付けたアダプターに合わせます。



- ① 操作レバー
- ② 針のとめネジ
- ③ ふたまた部
- ④ ウォーキングフットの軸
- ⑤ 押え棒

- 7 押えレバーを下げます。ネジを押し込むように、ドライバーで確実にしめます。



⚠ 注意

- ネジを確実にしめるには付属のドライバーをお使いください。ネジがゆるい場合、針が押えに当たり、けがをするおそれがあります。
- プーリーを手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が押えに当たり、けがをするおそれがあります。

デュアルフィード押えを使う

デュアルフィード押えを使うと、針板や押えに貼りついてぬいにくい布（ビニール素材、革、合成皮革など）や、ぬいずれしやすい布（キルト生地など）でもきれいに仕上がります。

🌟 お願い

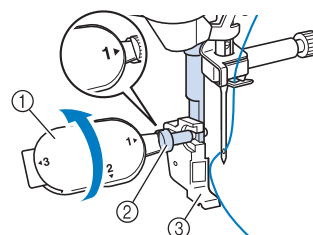
- デュアルフィード押えを使うときは、中速か低速でぬってください。

📖 お知らせ

- デュアルフィード押えを取り付けているときは、使用できる模様だけが有効になります。
- 貼りつきやすい布地を重ねてぬうときは、ぬいはじめをしつけをしておくと、きれいに仕上がります。

■ デュアルフィード押えを取り付ける

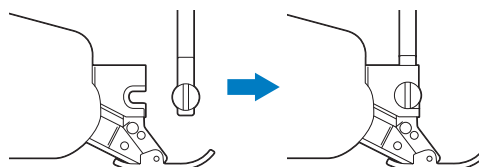
- 1 P. 69「押えを取り外す」の手順を参照してください。
- 2 押えホルダーのネジをゆるめ、押えホルダーを外します。



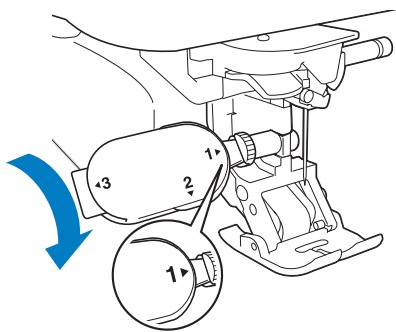
- ① マルチドライバー
- ② 押えホルダーのネジ
- ③ 押えホルダー

- 3 押え棒のネジ（大）にデュアルフィード押えのミゾを合わせて取り付けます。

側面



- 4 デュアルフィード押えを右手で押えながら、付属のマルチドライバーでネジ（大）をしっかりとしめます。

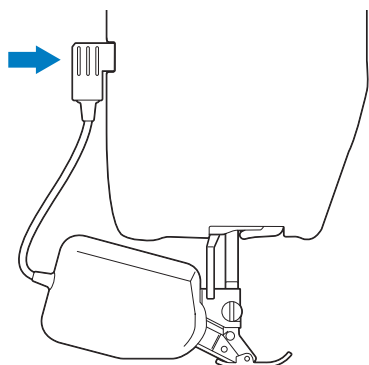



⚠ 注意



- 付属のマルチドライバーを使って、しっかりとネジをしめてください。ネジがゆるい場合、針が押えに当たり、けがをするおそれがあります。

- 5 デュアルフィード押えのプラグをミシンの背面にある押えコネクタに差し込みます。

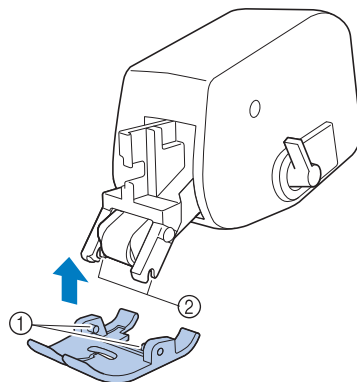


- 6  を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。

→ すべてのキーと操作スイッチのロックが解除され、元の画面が表示されます。

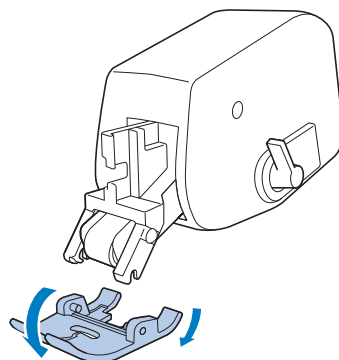
■ 押え足を取り付ける／取り外す

押え足のピンをミゾに合わせて取り付け、カチッとなるまで押し込みます。



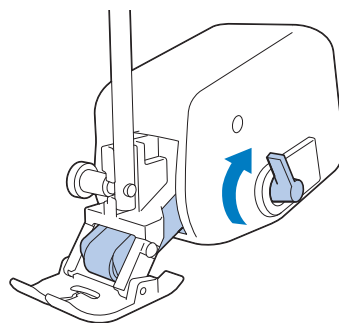
- ① ピン
- ② ミゾ

デュアルフィード押えの先端と後部を押し下げると、押え足が外れます。

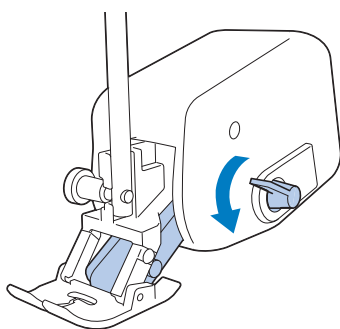


■ デュアルフィード押えのレバーを使う

フィード位置レバーが上がっているとき、黒いローラーベルトは上がり、布送りできない状態です。



フィード位置レバーが下がっているとき、黒いローラーベルトが下がり、布送りできる状態です。



🔔 **お願い**


- 縫製中は、フィード位置レバーを操作しないでください。

■デュアルフィード押えの送り量を調整する


デュアルフィード機構によって、上側の布地はぬい目長さの設定に従って送られます。ぬいにくい布地を使う場合は、設定画面の「デュアルフィード送り量調整」で、さらに微調整できます。

🔔 **お願い**

- 基本設定では、ここで示す手順のキーが灰色で表示されて、使えない場合があります。デュアルフィード押えをミシンに取り付けると、キーが使えるようになり、設定を変えることができます。いったん、デュアルフィード押えを取り付けると、その後は押えを取り外しても設定は変えることができます。

1  を押します。

→ 設定画面が表示されます。

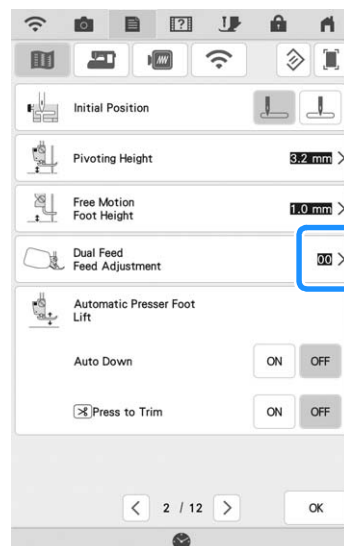
2  を押します。


→ 実用ぬい、文字模様ぬいの設定画面が表示されます。

3 ぬいの設定画面の2ページを表示します。

4 数字を押して上側の布地の送り量を選択します。

- * 通常は「00」を選択してください。
- * 上側の布地の送り量が少なすぎて、布地が下側の布より長くなるときは、より大きい数字を押して上側の布の送り量を増やしてください。
- * 上側の布地の送り量が多すぎて、布地が下側の布より短くなるときは、より小さい数字を押して上側の布の送り量を減らしてください。




5  を押すと、元の画面に戻ります。

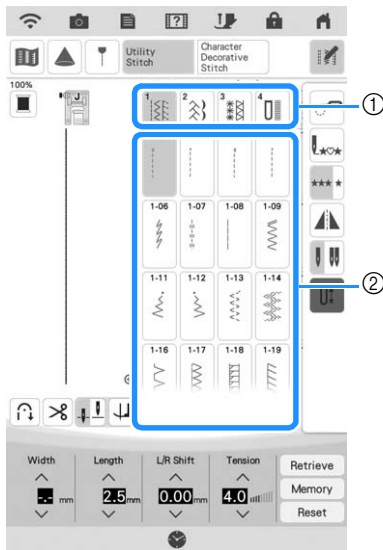
基本のぬい方

⚠ 注意

- ミシン操作中は、針の動きに十分にご注意ください。針、プーリー、てんびんなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。
- 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押しすぎないでください。けがの原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。けがの原因となります。
- ぬう際には、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れ、けがをするおそれがあります。
- ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。針が折れ、けがをするおそれがあります。

ぬってみましょう

- 1 電源スイッチを入れ、 を押して実用模様の画面を表示し、針上下スイッチを押して針を上げます。
- 2 カテゴリーを選択し、ぬいたい模様のキーを押します。



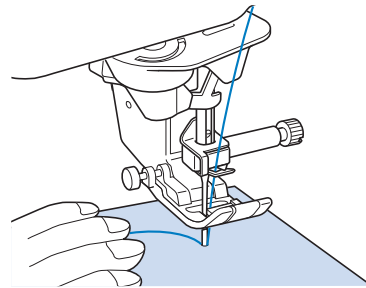
- ① カテゴリー
 - ② 模様キー
- 画面の左上に正しい押えが表示されます。

- 3 押えを取り付けます。(P. 69「押えの交換」)

⚠ 注意

- 模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりして、けがをするおそれがあります。模様に適した押えについては、P. 208「ぬい方早見表」を参照してください。

- 4 布地を押えの下に置きます。左手で布地と糸端を押え、針上下スイッチを押してぬい始め位置に針を刺します。



📄 お知らせ

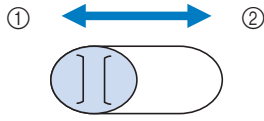
- ジグザグ押え < J > の左側の黒いボタンは、布地を送らないときや布地に段差があるときに使います。(P. 79) 通常は黒いボタンを使わずにぬいます。

- 5 押えを下げます。

* 下糸を引き出す必要はありません。

6 スピードコントロールレバーでぬう速さを調節します。

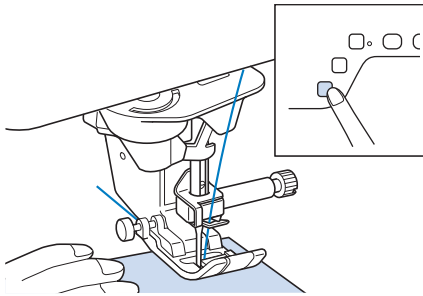
* ぬっている途中でも、ぬう速さを調節することができます。



- ① ゆっくり
- ② はやく

7 スタート/ストップスイッチを押して、ぬい始めます。

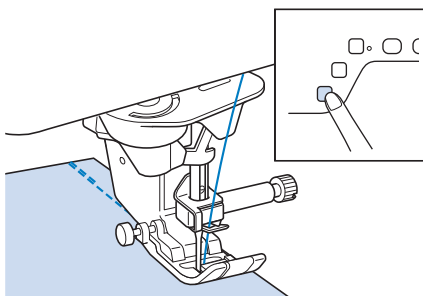
* 布地に軽く手を添えてください。



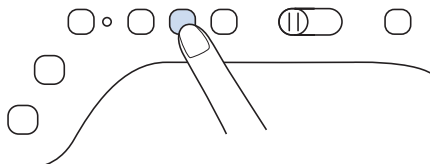
お知らせ

- フットコントローラージャックにフットコントローラーのプラグが差し込まれているときは、スタート/ストップスイッチは使用できません。

8 ぬい終わったら、もう一度スタート/ストップスイッチを押します。



9 糸切りスイッチを押して糸を切ります。



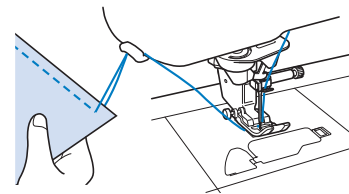
→ 針が自動的に上位置に戻ります。

注意

- 糸を切った後は、糸切り操作を繰り返し行わないでください。糸がからまったり、針が折れたり、ミシンが故障する原因となります。
- 押えの下に布地がないときや、ミシンが動いているときは、糸切りスイッチを押さないでください。糸がらみや故障の原因となります。

お願い

- ナイロン糸・メタリック糸など特殊な糸を切る場合は、本体側面の糸切りを使用してください。



10 針が完全に止まったら、押えを上げて布地を取り出します。

お知らせ

- このミシンには下糸残量センサーが付いています。下糸が少なくなるとミシンは自動的に止まります。ただし、スタート/ストップスイッチを押すと数針ぬうことができます。画面にメッセージが表示された場合は、早めに下糸を補充してください。

■ フットコントローラーを使用する

フットコントローラーを使って、ミシンを操作することもできます。

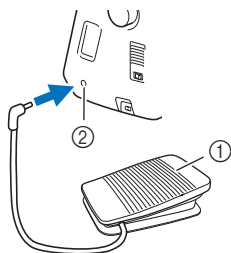
注意

- フットコントローラー内に端切れやごみがたまらないようにしてください。火災や感電の原因になります。

お知らせ

- フットコントローラーを使用しているときは、スタート/ストップスイッチは使用できません。
- フットコントローラーは、刺しゅうするときには使用できません。
- ミシンに刺しゅう機を取り付けているときも、実用ぬいや文字・模様ぬいをするためにフットコントローラーを使用できます。

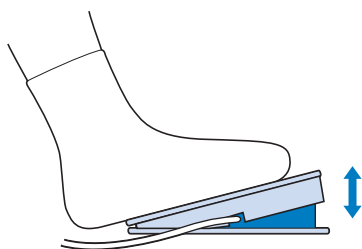
- 1 フットコントローラーのプラグをマシンに差し込みます。



- ① フットコントローラー
② フットコントローラージャック

- 2 フットコントローラーをゆっくり踏み込み、ぬい始めます。

浅く踏むと遅く、深く踏み込むと早くなります。



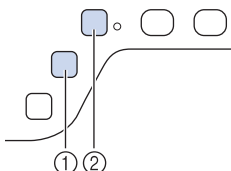
お知らせ

- スピードコントロールレバーを左右に動かして、フットコントローラーの最高速度を調整することができます。

- 3 フットコントローラーから足を離し、マシンを停止します。

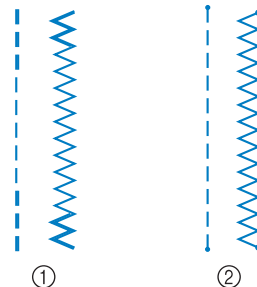
返しぬい／止めぬいをする

返しぬいまたは止めぬいは、通常、ぬい始めとぬい終わりで行います。返しぬいスイッチを押している間、模様によって返しぬいまたは止めぬいをします。止めぬいスイッチを長押しすると、同じ場所で3～5針ぬってから止まります。(P. 14)



- ① 返しぬいスイッチ
② 止めぬいスイッチ

画面で自動止めぬいが設定されているときは、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めるときに自動的に返しぬい（または止めぬい）がぬわれます。ぬい終わりは、返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押すと、返しぬいまたは止めぬいができます。(P. 77「自動止めぬいをする」参照)



- ① 返しぬい
② 止めぬい

操作後のマシンの動きは、選択している模様によって異なります。(P. 77「自動止めぬいをする」参照)


お知らせ

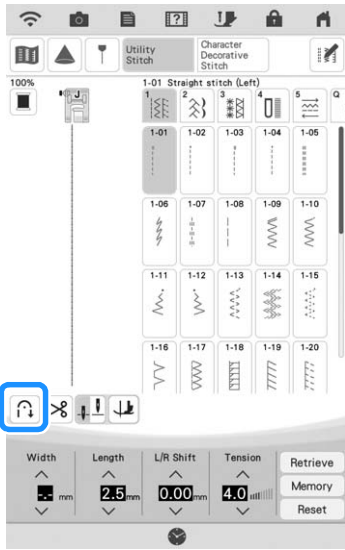
- 文字・模様ぬいの場合に止めぬいスイッチを押すと、模様の途中でスイッチが押されたときも、1模様がぬい終わったところで止めぬいがぬわれます。
- 1模様がぬい終わるまでの間は、止めぬいスイッチの右横にある緑のLEDライトが点灯します。止めぬいが終わると、LEDライトは消えます。

自動止めぬいをする

模様を選んだときに自動止めぬいを設定しておく、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をします。


① 模様を選択します。

②  を押して、自動止めぬいを設定します。

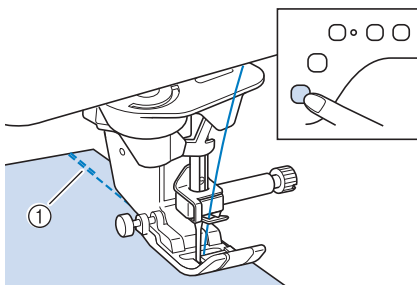


→ 表示が、 に変わります。

お知らせ

- ボタン穴かがりやかんどめなどの一部の模様は、ぬい始めに止めぬいを行う必要があります。これらの模様は、止めぬいが自動的に設定されます（模様を選択すると表示が  に変わります）。

③ ぬい始めの位置に針を刺し、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。



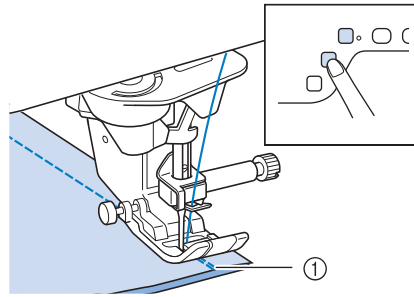
① 返しぬい（または止めぬい）

→ 自動的に返しぬい（または止めぬい）をしてぬい始めます。

お知らせ

- ぬっている途中でスタート/ストップスイッチを押すと、縫製を一時停止/再開できます。



④ ぬい終わりの位置まできたら、返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押します。











① 返しぬい（または止めぬい）

→ 自動的に返しぬい（または止めぬい）をして止まります。

お知らせ

- 自動止めぬいを解除するときは、もう一度  を押します。表示が  に変わります。

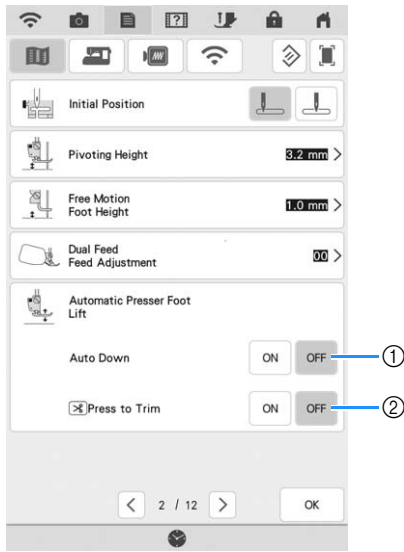
操作後のミシンの動きは、選択している模様によって異なります。それぞれのスイッチを押したときのミシンの動きについて詳しくは、次の表の説明を参照してください。

	返しぬいスイッチ 	止めぬいスイッチ 
Utility Stitch +  1-01 1-03 1-09	返しぬいスイッチを押している間だけ返しぬいをします。	止めぬいスイッチを押している間3～5針の止めぬいをします。
Utility Stitch +  1-02 1-04 1-10	返しぬいスイッチを押している間だけ返しぬいをします。*	止めぬいスイッチを押している間3～5針の止めぬいをします。
Utility Stitch +  1-01 1-03 1-09	ぬい始めとぬい終わりに返しぬいをします。	ぬい始めに返しぬい、ぬい終わりに止めぬいをします。
Utility Stitch +  1-02 1-04 1-10	ぬい始めに止めぬい、ぬい終わりに返しぬいをします。*	ぬい始めとぬい終わりに止めぬいをします。
Character Decorative Stitch +  	返しぬいスイッチを押している間は止めぬいをします。	ぬい終わりに止めぬいスイッチを押すと、1模様を完成させたあとで止めぬいをします。
Character Decorative Stitch +  	ぬい始めと、返しぬいスイッチを押したときに、止めぬいをします。	ぬい始めに止めぬいをし、ぬい終わりに止めぬいスイッチを押すと、1模様を完成させたあとで止めぬいをします。

* 設定画面で [Reinforcement Priority (止めぬい優先設定)] を [ON] (P. 28) にすると、返しぬいの代わりに止めぬいをします。

自動押え上下と自動糸切り機能

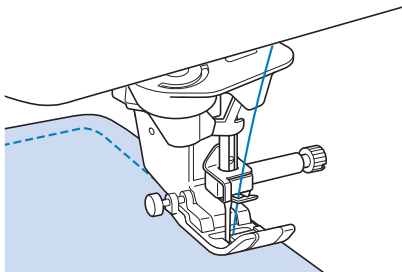
押えを自動的に上下させるように設定をすることで、よりスムーズにぬうことができます。



番号	キーの名称	はたらき
①	[Auto Down (自動下げ)]	[Auto Down (自動下げ)] が [ON] に設定されているとき、押えが上がった状態でスタート/ストップスイッチまたはフットコントローラーを踏むと、自動的に押えを下げてぬい始めます。
②	[Press to Trim (糸切り時)]	[Press to Trim (糸切り時)] が [ON] に設定されているとき、押えが上がった状態で糸切りスイッチを押すと、自動的に押えを下げて糸を切ります。糸切り後に押えが上がります。

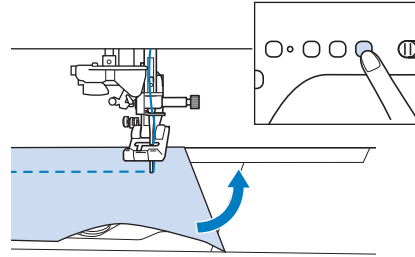
カーブをぬう

ぬい目を布端と平行になるように、ミシンを止めて少しずつ布地の向きを変えながらぬいます。



ぬい方向を変える

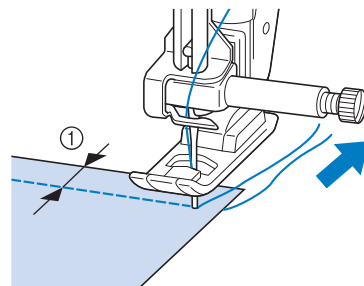
方向を変える位置でミシンを止めます。針を布に刺したまま押え上下スイッチを押して押えを上げます。針を軸にして布地を回し、ぬい方向を変えます。押え上下スイッチを押して、押えを下げてぬい始めます。



ぬい方向を変えるときは、ピボット機能を有効にしておくとう便利です。布の角でミシンを止めたときに、針が布に刺さった状態で止まり、押えが自動的に上がるため、布を回しやすくなります。(P. 85 「ピボット」)

■ 5 mm 以下のぬいしろでぬう場合

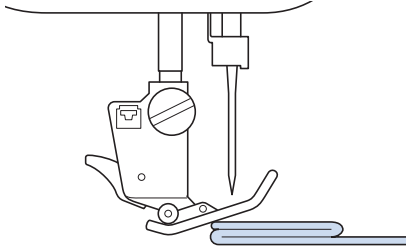
角部にしつけ糸をつけ、方向を変えたらしつけ糸を後ろに引っ張りながらぬいます。



① 5 mm

厚い布地をぬう

このミシンでは、厚さが約 6 mm までの布地をぬうことができます。布地の厚みで布地に段差ができるときは、手で布を送りながらぬい、下り方向になるようにぬってください。



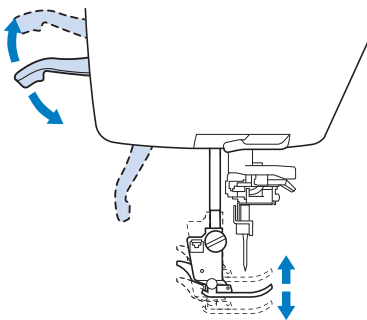
⚠ 注意



- 6 mm 以上の厚さの布をミシンに無理に押し込まないでください。針が折れけがをするおそれがあります。
- 厚い布地ほど太い針を使用してください。(P. 68)

■ 押えの下に布地が入らない場合

押えレバーは 2 段階に上がります。厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げると、押えがもう一段上がり布地が入れやすくなります。



📖 お知らせ

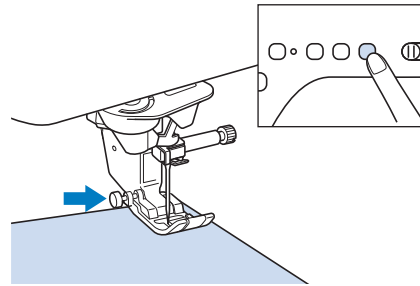
- 押え上下スイッチを押して押えを上げた後は、押えレバーは使用できません。

■ 布地が送られない場合

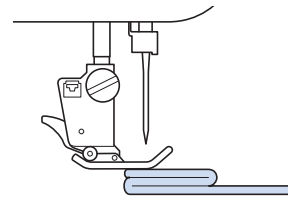
ぬい始めに布地が送られないときや布地に段差があって送られない場合は、ジグザグ押え<J>の左側の黒いボタンを使います。

1 押えを上げます。

2 ジグザグ押え<J>を水平に保持して、左側の黒いボタンを押したまま、押え上下スイッチを押して押えを下げます。



3 ボタンから手を離します。



→ 押えが水平になり、布が送られます。

📖 お知らせ

- ぬい進めると押えはもとに戻ります。
- 設定画面で [Automatic Fabric Sensor System (自動押え圧補正)] を [ON] にすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取ります。スムーズに布送りでき、きれいに仕上げることができます。(P. 87)

面ファスナー（マジックテープ®）をぬう

📖 お知らせ

- “マジックテープ®”は、株式会社クラレの、面ファスナーの登録商標です。

⚠️ 注意

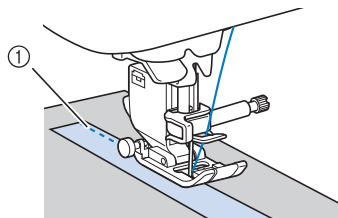


- 面ファスナーは、のりが付いていない縫製用のものを使用してください。のりが針やかまに付着すると、故障の原因となります。
- 面ファスナーを細い針（9～11番）でぬうと、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

🙏 お願い

- ミシンでぬう前に、しつけをして面ファスナーと布地をぬい合わせておいてください。

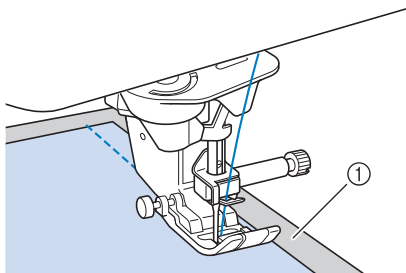
プーリーを手で回して面ファスナーに針を刺し、針がスムーズに通ることを確認します。面ファスナーの端を低速でぬいます。針が通らない場合は、厚地用の針と糸に交換してください。（P. 68）



① 面ファスナーの端

薄い布地をぬう

アイロンスプレーのりを使ってアイロンをかけたり、布地の下にハترون紙などの薄い紙、または刺しゅう用の芯をしいてぬうと、ぬいやすくなります。紙や芯をしく場合は、ぬい終わった後にていねいに取り除きます。



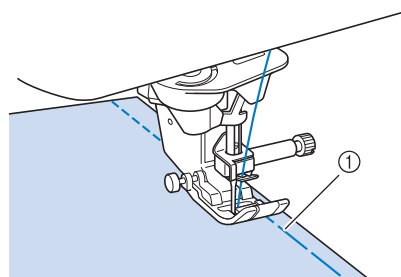
① ハترون紙など

伸びる布地をぬう

あらかじめしつけをして、布地を引っ張らないようにぬいます。また、ニット用の糸を使用したり伸縮ぬいを使用すると、きれいにぬうことができます。

📖 お知らせ

- 伸びる布地は、押え圧を弱くするときれいに仕上がります。（P. 27 「設定キーを使う」）



① しつけ

模様の設定

模様の振り幅やぬい目の長さ、上糸調子は、あらかじめ模様ごとに標準値に設定されています。この設定は、必要に応じて変えることができます。

🔔 お願い

- 設定を変更できない模様もあります (P. 208 「ぬい方早見表」を参照)。
- 模様の設定を保存せずに (P. 100 「模様の設定を記憶する」)、ミシンの電源スイッチを切ったり、他の模様を選択すると、標準の設定に戻ります。

振り幅を調節する

模様の振り幅 (ジグザグの振り幅) を広くしたりせまくしたりすることができます。

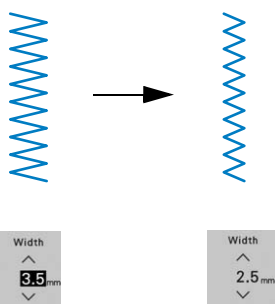


📖 お知らせ

- スピードコントロールレバーを使って振り幅を調節することもできます。(P. 119 参照)

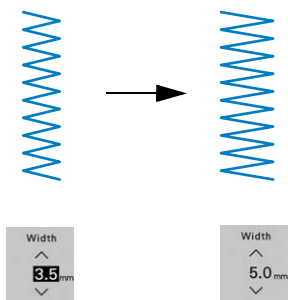
例:

振り幅の を押しごとに表示の数値が小さくなり、ジグザグの幅がせまくなります。



→ 表示の数値が小さくなります。

振り幅の を押しごとに表示の数値が大きくなり、ジグザグの幅が広がります。



→ 表示の数値が大きくなります。

📖 お知らせ

- 設定を記憶するには、 を押してください。
- 変更した内容を確認するには、 を押してください。
- 振り幅を標準の設定に戻すには、 を押してください。

🔔 お願い

- 振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前 (反時計回り) に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が押えに当たると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

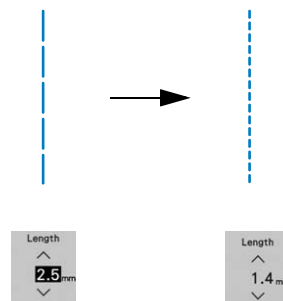
ぬい目の長さを調節する

ぬい目の長さをあらくしたり細くしたりすることができます。



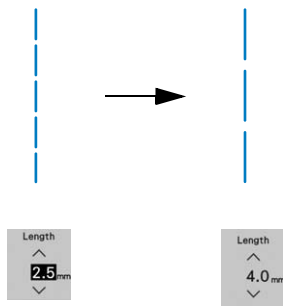
例:

ぬい目の長さを細くするには、 を押してください。



→ 表示の数値が小さくなります。

ぬい目の長さをあらくするには、▲ を押してください。

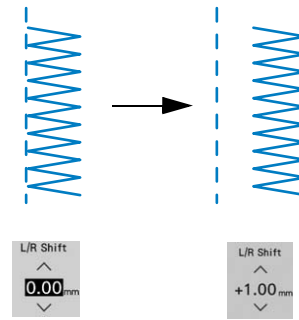


→ 表示の数値が大きくなります。

お知らせ

- 設定を記憶するには、Memory を押してください。
- 変更した内容を確認するには、[確認] を押してください。
- ぬい目の長さを標準の設定に戻すには、Reset を押してください。

▲ を押すと、ぬい目の基線が左基線よりも右側に移動します。



→ 表示の数値がプラス (+) の表記になります。

お知らせ

- 設定を記憶するには、Memory を押してください。
- 変更した内容を確認するには、[確認] を押してください。
- Reset を押すと、標準の設定に戻ります。

お願い

- [L/R Shift (L/R シフト)] 設定を調節したときは、プーリーをゆっくりと手前 (反時計回り) に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が押えに当たると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

注意

- ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくして、ぬってください。ぬい目が詰まった状態でぬい続けしないでください。針が折れ、けがをするおそれがあります。

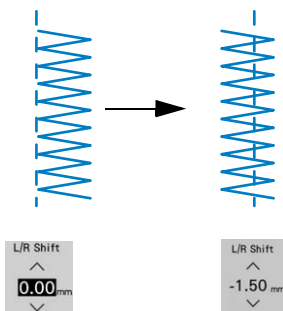
ぬい目の基線位置を変える (L/R シフト)

[L/R Shift (L/R シフト)] 設定を使って、ぬい目の基線を左右に移動することができます。



例:

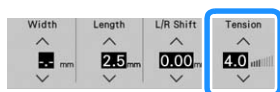
▼ を押すと、ぬい目の基線が左に移動します。



→ 表示の数値がマイナス (-) の表記になります。

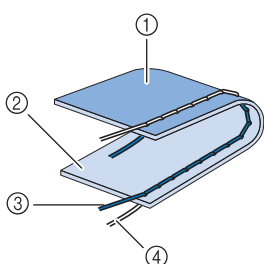
糸調子を調節する

布や糸の種類によって、糸調子の調節が必要な場合があります。次の手順に従って、設定を変更してください。



■ 正しい糸調子

上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。布地の表に出るのは上糸だけで、布地の裏に出るのは下糸だけになります。



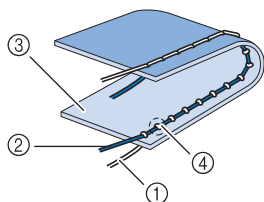
- ① 裏
- ② 表
- ③ 上糸
- ④ 下糸

■ 上糸が強すぎる（下糸が表に出る）場合


下糸が布地の表に出る場合は、上糸の糸調子が強すぎます。

🔍 お願い

- 下糸が正しくセットされていないと、上糸が強くなることがあります。このようなときは、P. 55「下糸をセットする」を参照して、下糸のセットを再度行ってください。

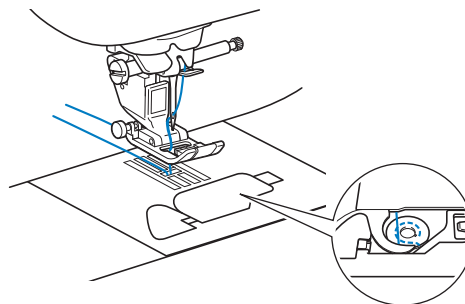


- ① 下糸
- ② 上糸
- ③ 表
- ④ 上糸が強いと上糸と下糸の重なりが表にできません。

上糸を弱くするには、を押します。

📖 お知らせ

- ぬい終わったとき、針板ふたを外して糸が下図のように見えることを確認してください。糸が下図のようにならないときは、内かまの板バネの間に下糸が入っていません。下糸を正しく入れ直してください。詳しくは P. 55 を参照してください。

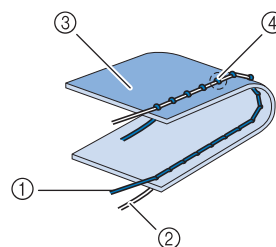


■ 上糸が弱すぎる（上糸が裏に出る）場合


上糸が布地の裏に出る場合は、上糸の糸調子が弱すぎます。

🔍 お願い

- 上糸が正しくセットされていないと、上糸が弱くなることがあります。このようなときは、P. 58「上糸通し」を参照して、上糸のセットを再度行ってください。



- ① 上糸
- ② 下糸
- ③ 裏
- ④ 上糸が弱いと上糸と下糸の重なりが裏にできません。

上糸を強くするには、を押します。


📖 お知らせ

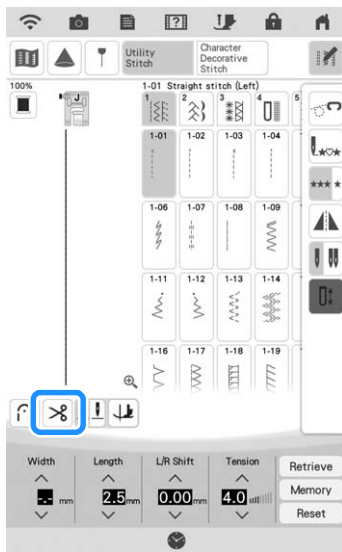
- 糸調子を標準の設定に戻すには、 を押してください。



便利な機能

自動糸切りをする



模様を選んだときに自動糸切りを設定しておく、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をして、ぬい終わりに自動的に糸を切ります。ボタン穴かがりやかんどめをぬうときに便利です。

- 1 模様を選択します。
- 2  を押して、自動糸切りを設定します。

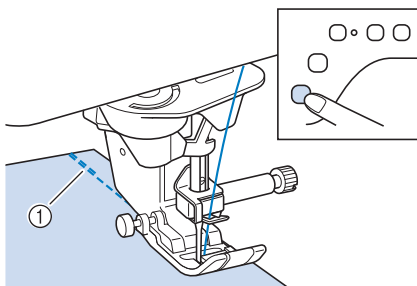


→ 表示が   になり、自動糸切りと自動返しぬい／自動止めぬいが設定されます。

お知らせ

- 自動糸切りを解除するときは、もう一度  を押します。表示が  に変わります。
- この機能は刺しゅう時には自動的に設定されます。

- 3 布地をぬい始めの位置に置き、ぬい始めます。



① 返しぬい（または止めぬい）

→ 自動的に返しぬい（または止めぬい）をしてぬい始めます。

お知らせ

- 縫製中にスタート／ストップスイッチを押して止めたあと、もう一度スタート／ストップスイッチを押すと再びぬい始めます。再びぬい始めた場合は返しぬい（または止めぬい）をしません。

- 4 ぬい終わりの位置まできたら、返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを1回押します。

ボタン穴かがりやかんどめなど、止めぬいが含まれている模様を選択したときは、この操作は必要ありません。



- ① スタート／ストップスイッチを押した地点
- ② 返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押した地点
- ③ ここで糸が切れる。

お知らせ

- 縫製中にスタート／ストップスイッチを押したときは、自動糸切り機能は使えません。ぬい終わりの位置で、返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押してください。

ピボット

ピボット設定が選択されている場合、縫製中にスタート/ストップスイッチを押すと、針が下がった（布地の中にある）状態でミシンが停止し、押えは自動的に正しい高さに上がります。もう一度スタート/ストップスイッチを押すと、押えは自動的に下がり、操作が継続されます。ミシンを止めて布地を回転するときに便利です。

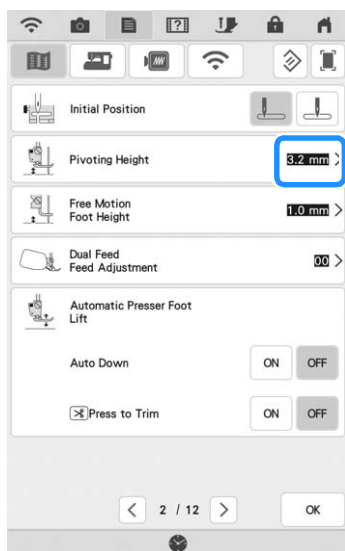
⚠ 注意



- ピボット設定が選択されている場合、スタート/ストップスイッチや、フットコントローラーを押すと、押えが上がっていてもミシンが作動します。事故を防ぐために、針の付近に手や物を近づけないように注意してください。

📄 お知らせ

- ピボット設定が選択されている場合、使用している布地の種類に合わせて、ぬい終わりの押えの高さを変えることができます。📄 を押して、設定画面の [Pivoting Height (ピボット押え高さ)] を表示します。数字を押して高さを選択します。押えを高くするには、設定値を大きくします。（通常、3.2 mm に設定されています。）

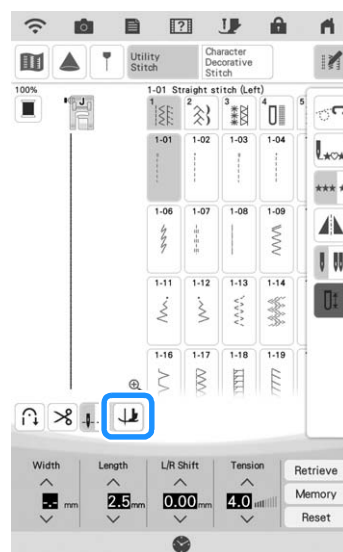


🔍 お願い

- 画面の左上に押え < J >、< N > または < X >（カウチング押え）が表示されている模様にも、ピボット機能が使用できます。他の模様が選択されていると、📄 が灰色で表示され、使用できません。
- ピボット設定を選択していると、設定画面の [Presser Foot Height (押え高さ)] を使用できません。

1 模様を選びます。

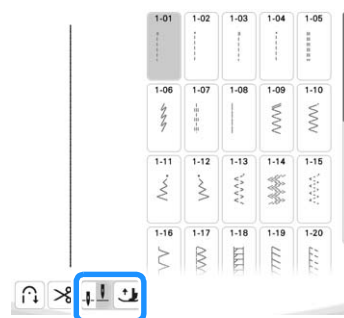
2 📄 を押して、ピボット設定を選択します。



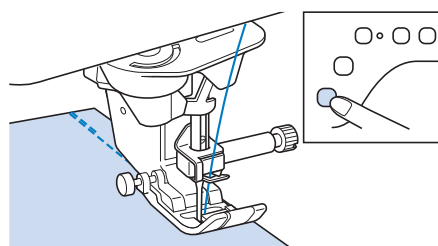
→ 表示が 📄 に変わります。

🔍 お願い

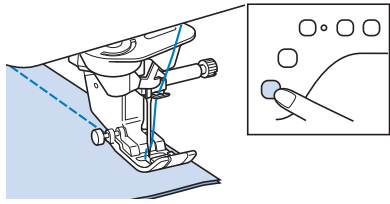
- ピボット機能を使うときは、針位置を 📄 に設定してください。
- 針位置が 📄 に設定されているときは、ピボットキーのかわりに自動上げキーが表示されます。自動上げキーが 📄 に設定されると、ミシンが停止したときに、押えと針が自動的に上がります。



3 布地をぬい始めの位置に合わせて、スタート/ストップスイッチを押します。ミシンがぬい始めます。

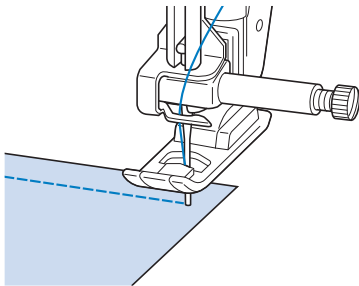


- 4 スタート/ストップスイッチを押して、方向を変える位置でミシンを止めます。



→ 針が布地にささった状態でミシンが止まります。このとき、押えは上がっています。

- 5 布地を回転して、スタート/ストップスイッチを押します。



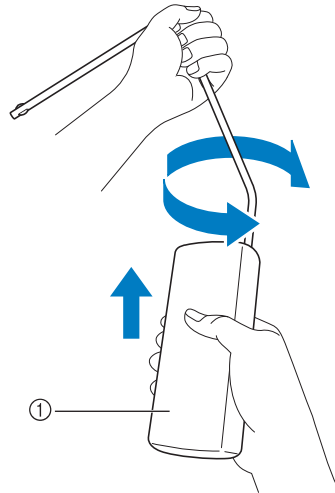
→ 押えが自動的に下がり、ぬい始めます。

ニーリフターを使用する

ニーリフターを使うと、ひざで押えの上げ下げができ、両手が使え便利です。

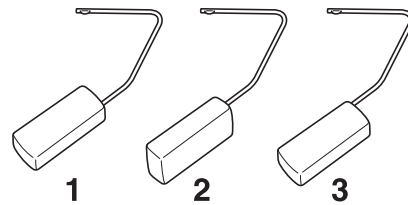
- 1 ミシンに取り付ける前に、ニーリフターのハンドル部操作位置を変更します。ニーリフターのハンドルを少し引き上げると、ハンドルが回るので、ハンドルがカチッと固定する所まで回します。

* ニーリフターは3つの角度で調整ができます。

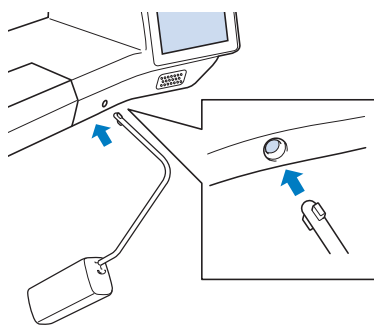


① ニーリフターのハンドル

→ 使いやすい角度までニーリフターのハンドルを回してください。



- 2 ニーリフターの先端の突起部をミシン本体の前面にある差し込み口のミゾに合わせます。ニーリフターを差し込みます。



⚠ 注意

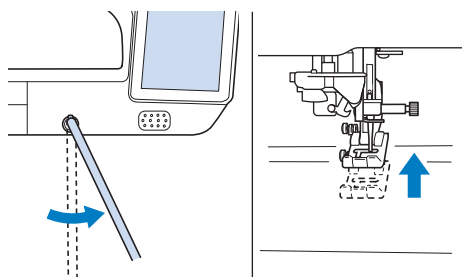


- ニーリフターのハンドル部の角度変更は、ニーリフターがミシンに取り付けられていないときに行ってください。ニーリフターを取り付けたまま角度変更した場合、ミシン本体の前面にある差し込み口が破損するおそれがあります。

💡 お願い

- ニーリフターは差し込み口の奥までしっかりと差し込んでください。正しく差し込まれていないと、使用中に外れることがあります。

- 3 押えを上げるときは、ニーリフターをひざで右に押します。押えを下げるときは、ニーリフターからひざを離します。



⚠ 注意



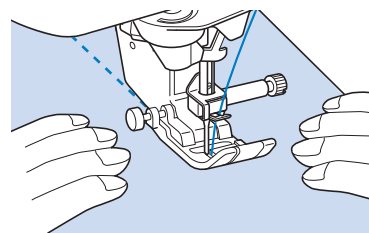
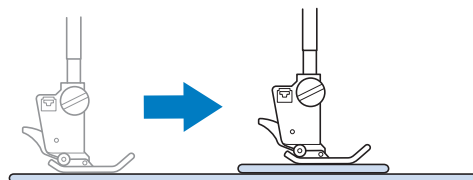
- 縫製中は、ニーリフターにひざが触れないように注意してください。縫製中にニーリフターを押すと、針が折れたり、糸調子が変わる可能性があります。

📄 お知らせ

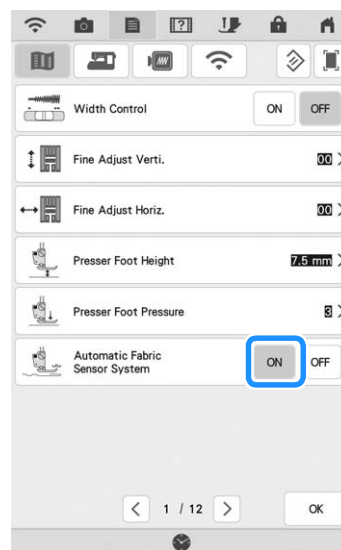
- 押えが上がっているときは、ニーリフターを右いっぱいを押してからひざを離すと、押えが下がります。


自動押え圧補正

使用中に、内蔵されたセンサーで布地の厚さが自動的に感知され、押えが調節されます。そのため、布地をスムーズに送ることができます。押え圧の補正はぬっているあいだ続きます。厚地の布 (P. 79) やキルト生地 (P. 117) をぬう場合、この機能は便利です。



- 1  を押します。
→ 設定画面が表示されます。
- 2 [Automatic Fabric Sensor System (自動押え圧補正)] を [ON] にします。

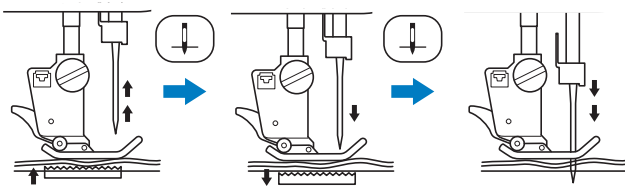


- 3  を押すと、元の画面に戻ります。

針位置 - めい位置

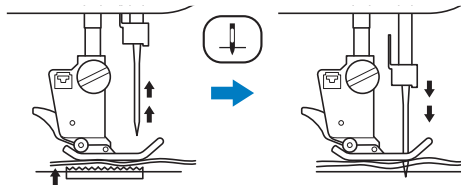
[Needle Position - Stitch Placement (針位置 - めい位置)] を [ON] に設定すると、めい始めの針位置を確認できるように、針上下スイッチを押したときに、針が布地の近くまで下がります。もう一度針上下スイッチを押すと、針が完全に下がります。針上下スイッチを押すたびに針位置が変わります。[Needle Position - Stitch Placement (針位置 - めい位置)] が [OFF] に設定されているときは、針上下スイッチを押すたびに、針位置は布地の上下どちらかで切り替わります。

[Needle Position - Stitch Placement (針位置 - めい位置)] が [ON] のとき



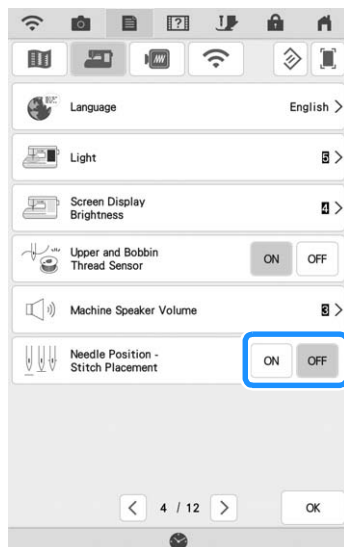
* 針上下スイッチを押して、針を布地の近くまで下げると、送り歯が下がります。布地を動かして針落ち位置を細かく合わせることができます。

[Needle Position - Stitch Placement (針位置 - めい位置)] が [OFF] のとき



1 を押します。

2 [Needle Position - Stitch Placement (針位置 - めい位置)] を [ON] または [OFF] にします。



3 を押すと、元の画面に戻ります。

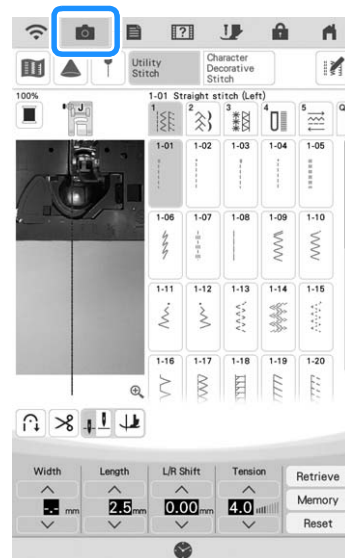
画面で針位置を確認する

めいたい布地にめい模様のイメージを画面で確認することができます。

1 模様を選びます。

2 を押します。

→ 選択した模様と実際にぬう布地が表示されます。



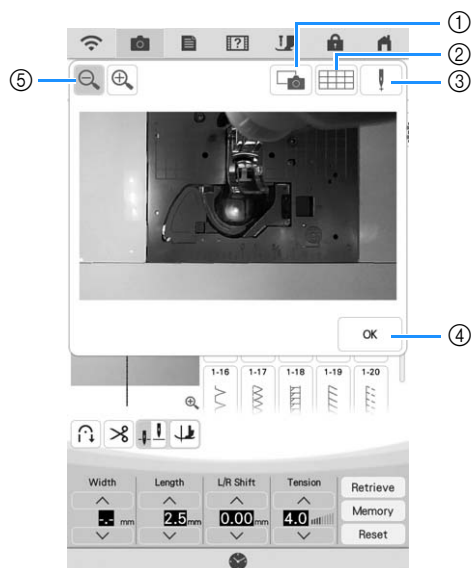
* を押すと、画面の糸色が変わります。糸色は4色から選択できます。

3 画面の布地または を押します。

→ カメラビュー画面が表示されます。

→ もう一度 を押すと、カメラビュー画面は消えます。

■ カメラビュー画面を使用する



→ カメラビュー画面が表示されます。

- ① 画像保存キー
- ② グリッド表示キー
- ③ 針落ち位置キー
- ④ OK
- ⑤ 拡大キー

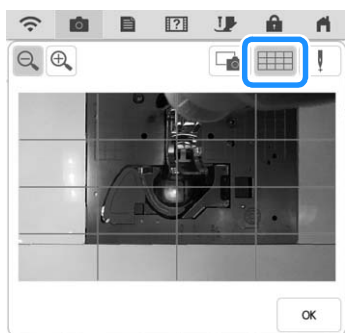
画像保存キー

カメラ画像を USB メディアに記憶するときを押します。


マシンに USB メディアを差し込み、カメラ画像を記憶します。(P. 31「設定画面を画像として USB メディアに保存する」) 画像ファイルは「.PNG」で記憶されます。ひとつの USB メディアに記憶できるのは 100 ファイルまでです。


グリッド表示キー

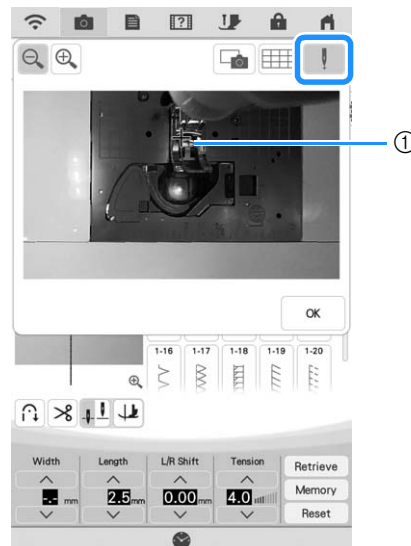
画面にグリッドを表示するときを押します。



針落ち位置キー


 を押すと、針が落ちる位置が「+」で表示されます。

 を押す前に押えを下げてください。画面に針落ち位置が表示されているときに、針落ち位置を変更したい場合は、押えを上げてから布地を動かしてください。





- ① 針落ち位置

OK キー

 を押すと、画面を閉じます。

拡大キー

 を押すと、拡大表示されます。 を押すと、元の表示サイズに戻ります。

💡 お願い

- めい始めるとカメラビュー画面は表示されません。
- 厚い布地をぬう場合、画面で表示される針落ち位置は実際に針が落ちる位置と異なることがあります。P. 35「内蔵カメラで針位置を設定する」を行うと、症状が改善されることがあります。

プロジェクターを使う

プロジェクターを使った便利な縫製機能

プロジェクターで使用できる操作

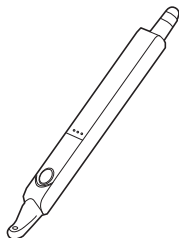
- 縫製位置の目安となるガイドラインの設定
- 模様を選択
- 選択した模様の編集
- 針落ち位置の表示（刺しゅう時）
- 編集した刺しゅう模様の表示（刺しゅう時）

⚠ 注意

- プロジェクターのライトを直接見つめないでください。失明の原因となります。

デュアルタッチペンについて

付属のデュアルタッチペンには2つのペン先があります。液晶画面の操作には柔らかいペン先を使用し、プロジェクターの操作には硬いペン先を使用してください。



デュアルタッチペンに電池を取り付ける

デュアルタッチペン用の電池はミシンに付属していません。新品の単4アルカリ電池を使用してください。

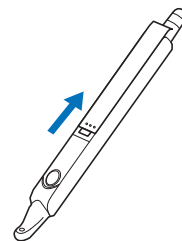
⚠ 警告

- デュアルタッチペンを分解したり、改造したりしないでください。
- 電池を交換するときは、ピンセットや金属ペンなどの金属類を使用しないでください。
- 電池を火中に投入したり、熱にさらさないでください。
- 使用中または保管中に異臭、熱、変色、変形などの異常に気付いたときは、すぐに電池を取り外し、ミシンの使用を停止してください。

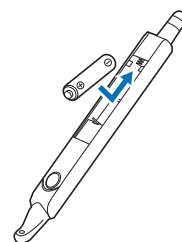
⚠ 注意

- デュアルタッチペンを長期間使用しないときは、電池を取り外してください。
- 電池のプラスとマイナスの向きをまちがえてセットしないでください。

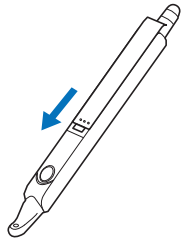
1 ふたを指でスライドさせて取り外します。



2 新品単4アルカリ電池のマイナス (-) 面が上になるようにデュアルタッチペンに取り付けます。

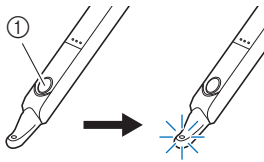


3 ふたを閉じます。



デュアルタッチペンでプロジェクターを操作する

ボタンを押してデュアルタッチペンの硬いペン先のライトを点灯します。ミシンの内蔵カメラがデュアルタッチペンからの光を検出すると、デュアルタッチペンでプロジェクターを操作できます。



① ボタン

⚠ 重要



- ミシンの内蔵カメラとデュアルタッチペンの発光部の間に手や布地、物などを置かないでください。内蔵カメラがデュアルタッチペンからの光を検出できない場合があります。

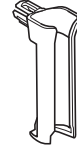
⚠ 注意



- デュアルタッチペンの発光部に物を挿入しないでください。デュアルタッチペンが破損する可能性があります。

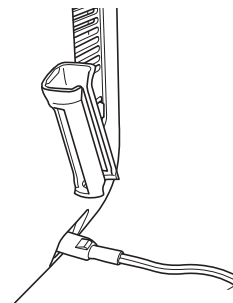
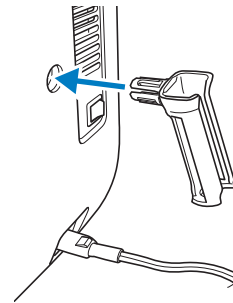
デュアルタッチペンホルダーを使用する

デュアルタッチペンホルダーを取り付けて、デュアルタッチペンをミシンで保管します。また、ペンホルダーの右側には、デュアルタッチペンを納める部分があります。

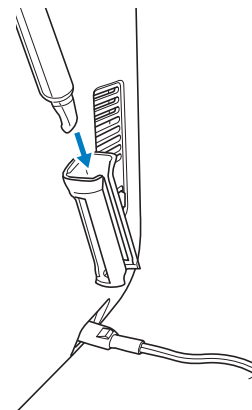


デュアルタッチペンホルダー

- 1 デュアルタッチペンホルダーを穴にしっかり挿入します。



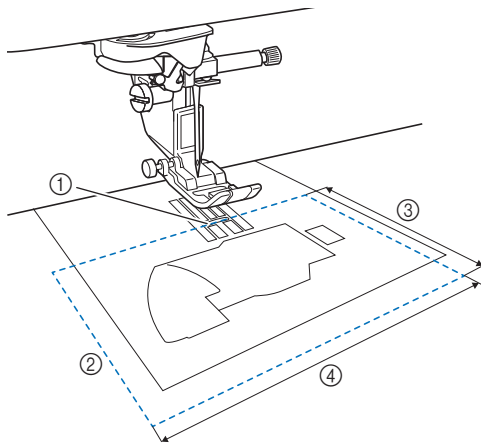
- 2 デュアルタッチペンの平らな部分をミシンに向けて、デュアルタッチペンホルダーに挿入します。



プロジェクター機能 (実用ぬいと文字/飾りぬい)

プロジェクターの投影範囲

実用ぬいまたは文字/飾りぬいをする場合、プロジェクターの投影範囲は以下のようになります。

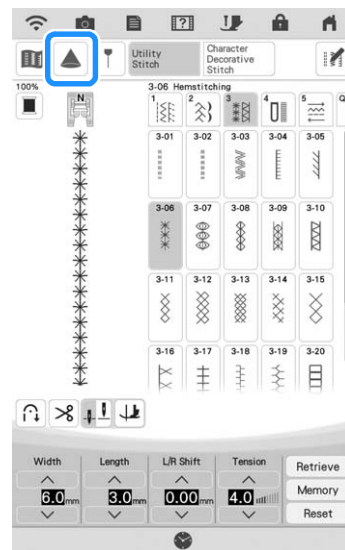


- ① 針落ち位置
- ② 投影範囲
- ③ 7.6 cm
- ④ 12.7 cm

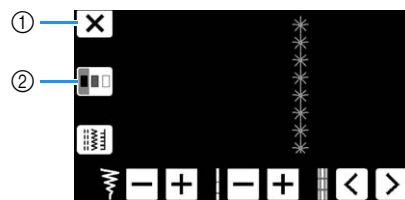
プロジェクターでぬい模様を映す

プロジェクター機能で選択した模様を布地に映すことができます。

- 1 模様を選択します。
- 2 ▲を押します。



→ 選択したぬい模様と調整キーが布地に映し出されます。




- ① デュアルタッチペンで押すと、プロジェクター機能を終了します。
- ② デュアルタッチペンで押すたびに、[Background Color (画面の表示色)] の設定を変更します。

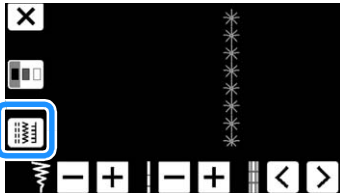
お知らせ

- ミシン本体の設定画面の [Background Color (画面の表示色)] でも設定を変更することができます。



デュアルタッチペンでぬい模様を選択する



- 1 ぬい模様が布地に映し出されたら、デュアルタッチペンでを押します。

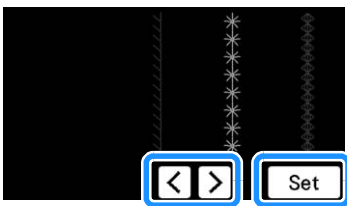


→ ぬい模様が選択できます。

🔍 お願い

- ぬい模様がプロジェクターによって投影されている間は、液晶画面からぬい模様を選択できません。液晶画面からぬい模様を選択するには、画面で **Cancel** を押します。

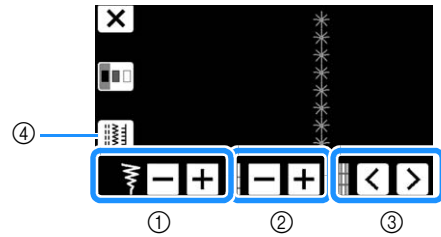
- 2 デュアルタッチペンで  を押し、設定したいぬい模様が表示されたら **Set** を押します。



デュアルタッチペンで選択したぬい模様を編集する

振り幅、ぬい目の長さ、および L/R シフトは、プロジェクターで映されたぬい模様に合わせて変更できます。

- 1 デュアルタッチペンを使用して、振り幅、ぬい目の長さ、および縫製位置を調整します。



- ① 振り幅の設定
- ② ぬい目の長さの設定
- ③ L/R シフト設定
- ④ 別の模様を選択します。

→ 指定した設定は、映されたぬい模様に適用されます。

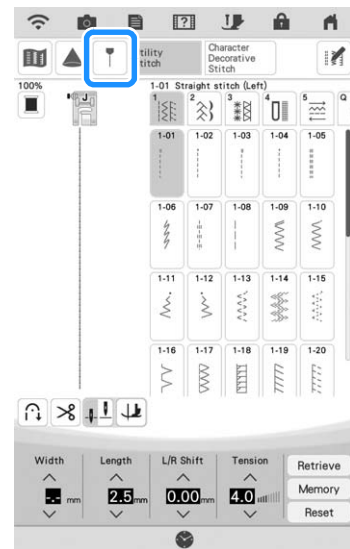
📄 お知らせ

- 模様選択画面が液晶画面に再び表示されると、デュアルタッチペンで指定した設定に変更されます。

プロジェクターでガイドラインを映す

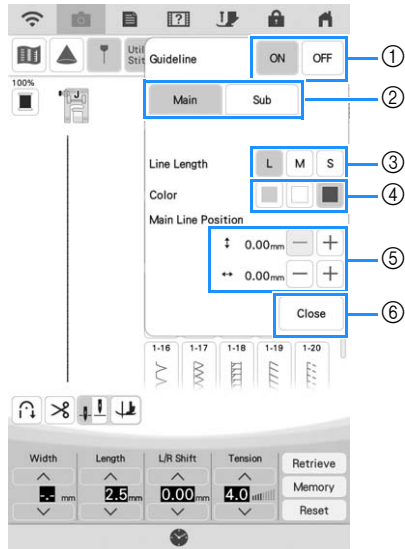
ガイドライン機能を使用すると、布地に映し出された線とマークをたどることで、縫製を簡単に行うことができます。

- 1  を押します。



→ ガイドライン設定画面が表示されます。

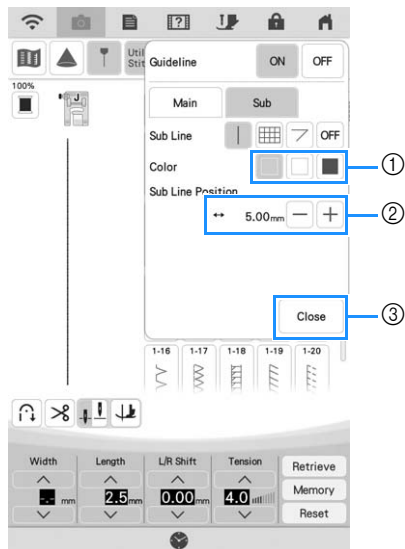
2 ガイドライン設定を指定します。 メインガイドライン



- ① ガイドラインを使用しない場合は、[OFF] を選択します。
- ② 設定を指定するガイドラインを選択します。
- ③ メインガイドラインの長さを選択します。
- ④ メインガイドラインの色を選択します。
- ⑤ メインガイドラインの位置を指定します。
- ⑥ ガイドライン設定の指定を終了します。

サブガイドライン

直線のガイドラインが表示されます。



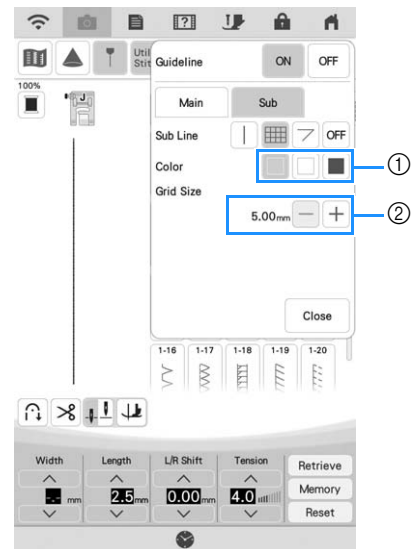
- ① サブガイドラインの色を選択します。
- ② サブガイドラインの位置 (メインガイドラインからの距離) を指定します。

お知らせ

- または を選択したとき、サブガイドラインの位置はメインガイドラインの位置がベースになります。メインガイドラインとサブガイドラインの間隔を変えないで、2つのガイドラインを動かしたいときは、メインガイドラインの位置を変更してください。
- ③ ガイドライン設定の指定を終了します。

サブガイドライン

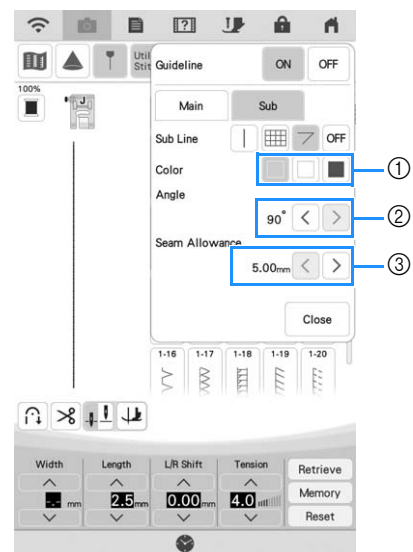
グリッド線が表示されます。



- ① サブガイドラインの色を選択します。
- ② サブガイドラインのグリッド幅を指定します。

サブガイドライン

角度のあるキルトピースの縫製に適したガイドラインが表示されます。



- ① サブガイドラインの色を選択します。
- ② サブガイドラインの角度を指定します。
- ③ サブガイドラインのぬいしろを指定します。



第 3 章

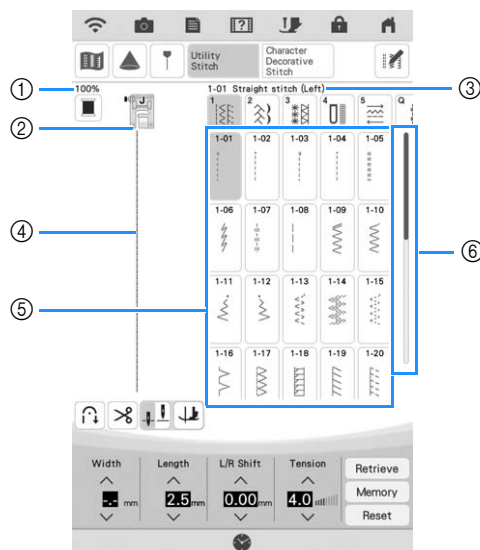
实用模様










実用模様を選ぶ

■ 実用模様画面

指でキーを押して、模様を選択したり、ミシンの設定や機能を選択してください。



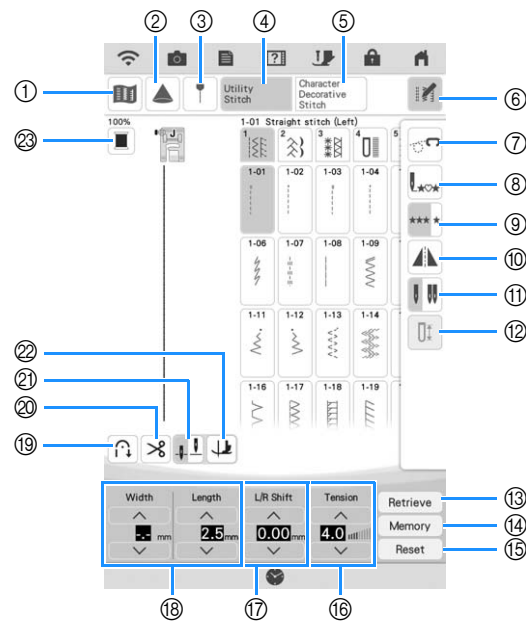
番号	表示	キーの名称	はたらき	参照ページ
①	100%	模様表示サイズ	選択中の模様イメージのサイズを表示します。 100%：実際とほぼ同じサイズで表示されています。 * 実際にぬったときの模様の大きさは、使用する布地や糸の種類によって異なることがあります。	—
②		押え表示	押え記号を表示します。ぬう前に、ここで表示している押えを取り付けてください。	69
③	1-01 Straight stitch (Left)	選択中の模様	選択中の模様の番号と名前を表示します。	99
④		模様イメージ	選択中の模様イメージを表示します。100%で表示しているとき、模様はほぼ実寸大で表示されます。  を押して、模様イメージとカメラビューを一緒に表示し、模様が実際の布地にどうぬわれるかを確認できます。	88
⑤		模様選択画面	ぬいたい模様のキーを押します。   を押して模様グループを選択できます。	99
⑥		スクロールバー	スクロールバーをスライドして、模様選択画面のページを移動します。	98

* 次ページ以降の「キーのはたらき」で、画面上のキーのはたらきについて紹介します。

■ キーのはたらき

🔍 お問い合わせ

- 🔍 を押すと編集機能キーが表示されます。



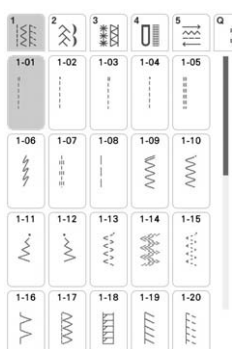
番号	表示	キーの名称	はたらき	参照ページ
①		イメージキー	選択した模様を拡大して表示します。	99
②		プロジェクターキー	プロジェクター機能を使うときに押します。	92
③		ガイドラインマーカーキー	ぬい目を示すガイドラインマーカーを表示または設定するときに押します。ガイドラインマーカーを使用すると、布端のキルトピーシングや位置合わせが簡単になります。	93
④		実用模様キー	直線ぬい、ジグザグぬい、ボタン穴かがり、まつりぬいなど洋裁によく使う模様（実用模様）を選ぶときに押します。	99
⑤		文字模様ぬいキー	文字や飾りなどの模様を選ぶときに押します。	148
⑥		模様編集キー	画面に編集機能キーを表示するときに押します。	156
⑦		フリーモーションモードキー	フリーモーションモードにするときに押します。押えがフリーモーションキルトに最適な高さになり、送り歯が下がります。	119
⑧		模様の頭出しキー	停止時に押すと、縫製中の模様を先頭に戻すことができます。	99
⑨		連続/単独ぬいキー	単独ぬいと連続ぬいの切り替えをします。	99
⑩		反転キー	模様が左右に反転します。キーが灰色で表示されているときは、選択した模様の左右反転イメージをぬうことはできません。	99
⑪		針モード選択キー (1本針/2本針)	2本針モードを選択するときに押します。押しごとに、1本針と2本針の設定が切り替わります。キーが灰色で表示されているときは、選択した模様を2本針モードでぬうことはできません。	61
⑫		ボタン穴長さキー	ボタン穴かがり模様を選択したときに、ボタン穴の長さを手動で設定します。	137
⑬		呼び出しキー	保存した模様を呼び出すときに押します。	101
⑭		マニュアル記憶キー	模様の設定（振幅、ぬい目の長さ、糸調子など）を変更し、保存するときに押します。ひとつの模様に対して、設定を5セットまで保存できます。	100
⑮		リセットキー	選択した模様、保存済みの設定を初期値に戻すときに押します。	81～83

番号	表示	キーの名称	はたらき	参照ページ
⑮		糸調子キー	選択した模様の糸調子を示します。 と で糸調子の設定を変更できます。	83
⑰		L/R シフト キー	を押すとぬい模様が右へずれ、 を押すと左へずれます。選択している模様によっては、この機能が使用できません。この機能が使用できる模様のみ、位置の調整ができます。標準値は、反転表示されます。	82
⑱		ぬい目調節キー	選択した模様の振り幅とぬい目の長さを示します。 と を押すと、振り幅とぬい目の長さを調節することができます。	81
⑲		自動止めぬいキー	自動止めぬい（返しぬい）設定にするとときに押します。ぬう前にこの設定にしておくと、ぬい始めとぬい終わりにミシンが自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をします。	77
㉑		自動糸切りキー	自動糸切り機能を設定するときに押します。自動糸切り機能を設定すると、模様のぬい始めとぬい終わりにミシンが自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をし、ぬい終わりに糸を切ります。	84
㉒		針位置設定キー	針の停止位置（上/下）を選択します。1本針と2本針のどちらが設定されているかを確認することもできます。 1本針/針位置下 1本針/針位置上 2本針/針位置下 2本針/針位置上	61、85
㉔		ピボットキー／自動上げキー	ピボットキーは針位置設定キーが になっているときに表示されます。ピボット設定にするとときに押します。ピボット設定にしている間は、ミシンを停止したとき、針が下がり、押えは少し上がった状態になります。さらに、再度ぬい始めると、自動で押えが下がります。 自動上げキーは針位置設定キーが になっているときに表示されます。このキーを押すと、ミシンを停止したときに、押えが上がります。	85
㉕		糸色変更キー	このキーを押すと、画面の糸色が変わります。	100

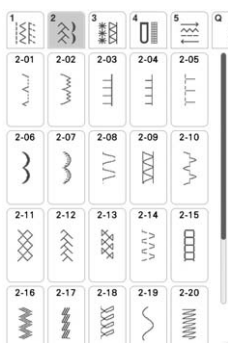
■ 模様選択画面

このミシンには、7種類の実用模様があります。

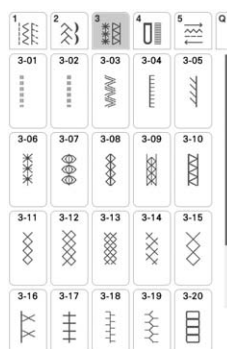
直線／たち目かがり



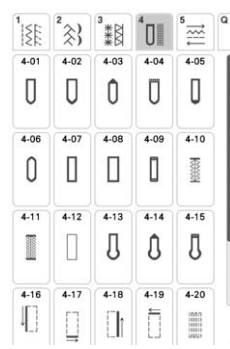
飾り



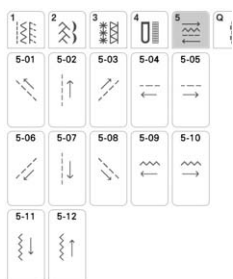
ヘアールーム



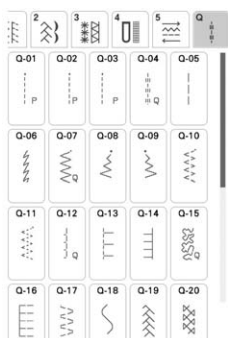
ボタン穴かがり／かんどめ



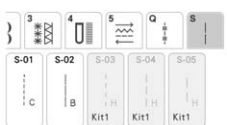
横送り




キルト



その他



模様を選ぶ

- 1 電源スイッチを入れ、を押して実用模様を表示します。

→ 設定画面で選択された設定に基づいて、[1-01 Straight stitch (Left) (1-01 直線 (左基線))] または [1-03 Straight stitch (Middle) (1-03 直線 (中基線))] のいずれかが表示されます。

- 2        を押して、ぬいたい模様のカテゴリを選びます。

お知らせ

- 隠れているカテゴリを表示するときは、カテゴリキーを横にスワイプします。



- 3 ぬいたい模様のキーを押します。

お知らせ


- 模様の詳細については、P. 208 「ぬい方早見表」を参照してください。


■ 左右反転キーを使用する

実用模様の種類によっては、模様を左右反転してぬうことができます。

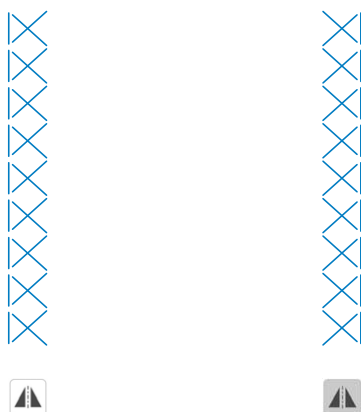
模様を選んで、を押したときに、が白色表示される場合は、その模様を左右反転することができます。

お願い

- 模様を選んだときに、が灰色表示される模様は、模様や押えの種類で、左右に反転することはできません（ボタン穴かがり、横送り模様など）。


を押すと、選択している模様が左右に反転します。

キーの表示が、に変わります。

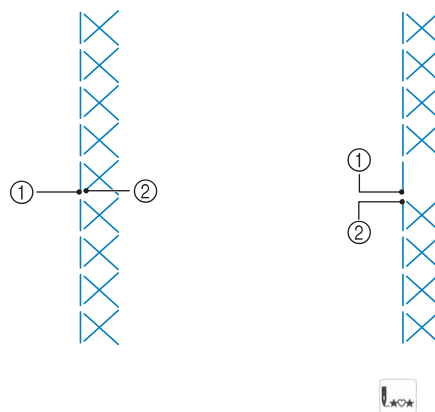


■ 縫製中の模様を先頭に戻す



縫製中に停止したときでも、模様を先頭に戻すことができます。この機能は、ためしぬいの後や、模様が正しくぬわれなかったときに役立ちます。

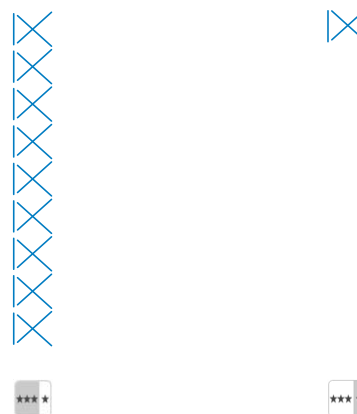
縫製を再開する前に、を押して、を押すと、模様の先頭に戻ります。

- ① 縫製を止める
- ② 縫製を再開する




■ 連続／単独ぬいをする

を押して、を押し、連続ぬいか単独ぬいかを選択します。





■ イメージキーを使用する

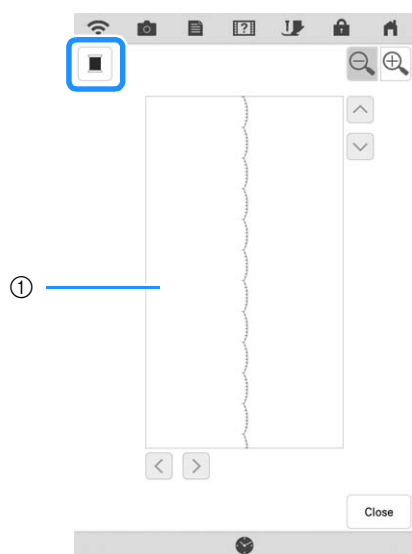
選択した模様のイメージを表示することができます。イメージの色を画面で確認し、変更することもできます。

- 1 を押します。

→ 選択した模様のイメージが表示されます。

- 2 画面に表示されている模様の糸の色を変えるには、を押します。


* 模様の拡大したイメージ表示するには、を押します。



① 模様画面

 **お知らせ**


- を押すたびに、糸の色が変わります。

- 3  を押すと、元の画面に戻ります。

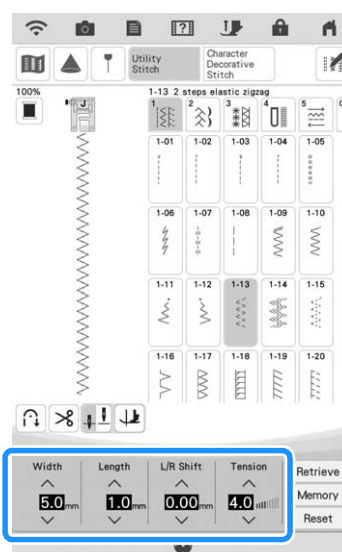
模様の設定を記憶する

2本針設定、左右反転、模様の振り幅、ぬい目の長さ、L/Rシフト、糸調子を設定を、模様ごとに記憶することができます。設定は、1つの模様について5セットまで記憶することができます。

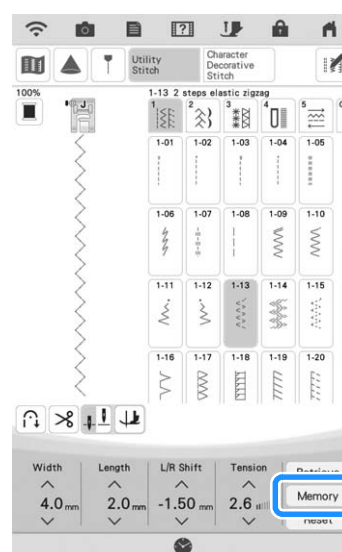
■ 模様の設定を記憶する

- 1 模様を選びます。(例：)

- 2 お好みの設定を指定します。



- 3  を押します。



→ 設定が保存され、自動的に元の画面に戻ります。

お知らせ

- ある模様の設定がすでに 5 セット記憶されている状態で、設定を記憶しようとする、[The pockets are full. (ポケットがいっぱいです。)] というメッセージが表示されます。メッセージを閉じ、P. 101 「記憶した設定を呼び出す」を参照して、設定のどれか 1 つを消去してください。

■ 記憶した設定を呼び出す

1 模様を選びます。

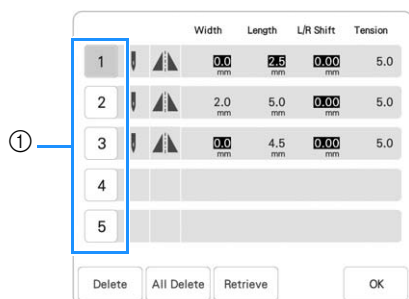
お知らせ

- 模様を選択すると、前回呼び出された設定が表示されます。前回呼び出された設定は、電源スイッチを切っても、別の模様を選択しても、そのまま残ります。

2 **Retrieve** を押します。

3 呼び出す設定の番号の付いたキーを押します。

- * **Cancel** を押すと、設定を呼び出さずに元の画面に戻ります。



① 番号の付いたキー

4 **Retrieve** を押します。

→ 選んだ設定が呼び出され、自動的に元の画面に戻ります。

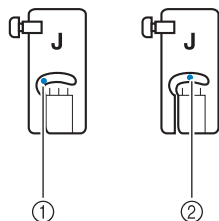
お知らせ

- すでに 5 セットの設定を記憶している模様に対して新しい設定を記憶する場合は、**Retrieve** を押します。削除する設定の番号が付いたキーを押します。**Delete** を押したあと、**OK** を押してから **Memory** を押します。新しい設定は、直前に削除した設定の番号に保存されます。
- **All Delete** を押すと、記憶されている設定を全て削除することができます。

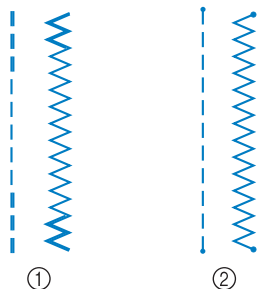
模様をぬう

直線ぬい

模様	名前	押え
1-01	直線 (左基線)	
1-02	直線 (左基線)	
1-03	直線 (中基線)	
1-04	直線 (中基線)	
1-05	3重ぬい	
1-06	伸縮ぬい	
1-07	飾りぬい	
1-08	しつけぬい	

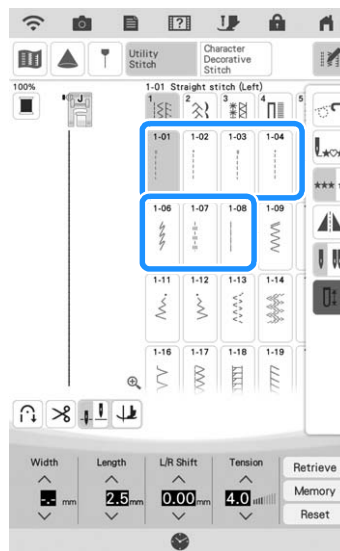


- ① 左基線
- ② 中基線




- ① 返しぬい
- ② 止めぬい

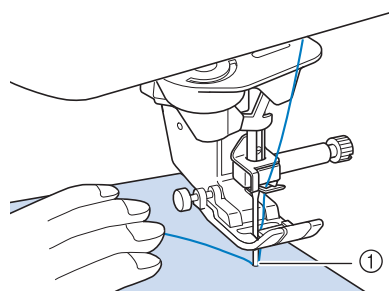
1 模様を選びます。



2 ジグザグ押え < J > を取り付けます。

*  を選択したときは、模様ぬい押え < N > を取り付けます。

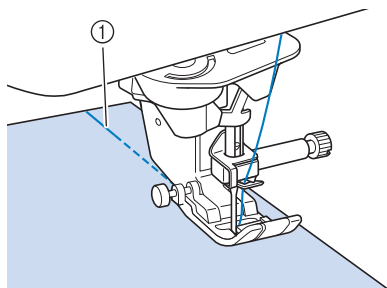
3 左手で糸と布地を押え、右手で針上下スイッチを押して、布のぬい始めの位置に針を刺します。



① ぬい始めの位置

4 押えを下げます。
ぬい始めに止めぬいをするときは、止めぬいスイッチを長押しして、3～4針止めぬいをします。

- 5** スタート/ストップスイッチを押して、ぬい始めます。
返しぬいをするときは、返しぬいスイッチを押して、3～4針返しぬいをします。



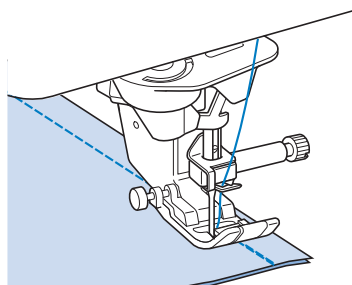
① 返しぬいまたは止めぬい
→ ゆっくりと縫製を開始します。

⚠ 注意

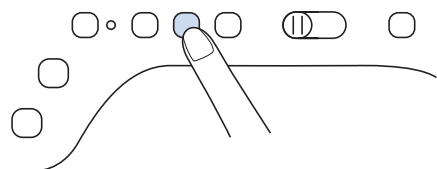


- ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。糸がからまったり針が折れたりして、けがをすることがあります。

- 6** ぬい終わりに、3～4針返しぬいまたは止めぬいをします。



- 7** ぬった後は、糸切りスイッチを押して糸を切ります。

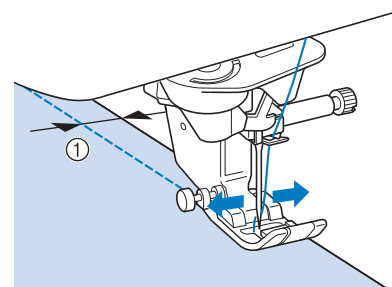


📖 お知らせ

- 液晶画面で自動糸切りキーと自動止めぬいキーを選択しておく、ぬい始めにスタート/ストップスイッチを押したときに、ミシンが自動的に返しぬいまたは止めぬいをします。ぬい終わりは、返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押すと、返しぬいまたは止めぬいをして、自動的に糸を切ります (P. 77)。

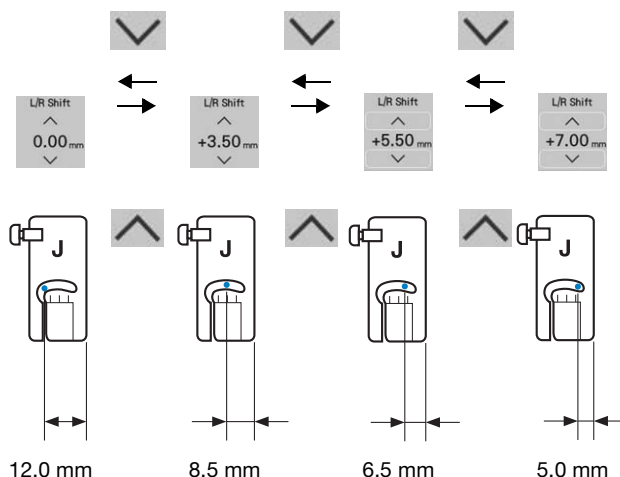
■ 針位置の変え方 (左基線・中基線の模様のみ)

左基線と中基線の直線ぬいは、[L/R Shift (L/R シフト)] の または を押して針位置を左右に移動させることができます。押えの右端から針までの長さをぬいしろの幅に合わせて、押えの右端に布端を合わせながらぬえばよいので便利です。



① L/R Shift (L/R シフト)

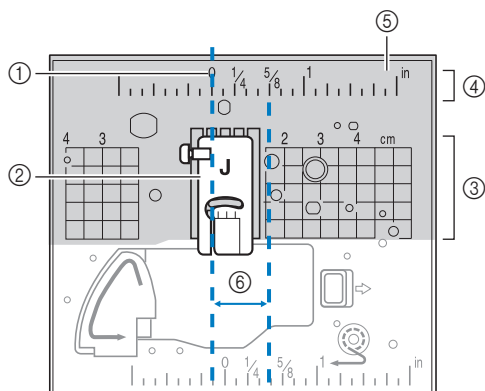
例：左基線・中基線の模様



■ 針板や針板ふたの目盛りを基準にする場合

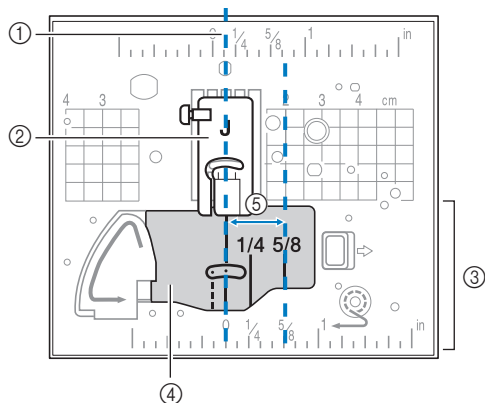
布端を針板か針板ふたの 16 mm (5/8 インチ) の目盛りに合わせてぬいます。(左基線・中基線の模様を選択した場合)

左基線の模様の場合 (L/R Shift (L/R シフト) : 0.00 mm)



- ① ぬい目
- ② 押え
- ③ cm 目盛り
- ④ インチ目盛り
- ⑤ 針板
- ⑥ 16 mm

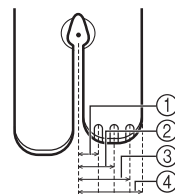
中基線の模様の場合 (L/R Shift (L/R シフト) : 3.50 mm)



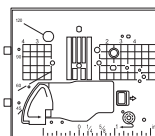
- ① ぬい目
- ② 押え
- ③ インチ目盛り
- ④ 針板ふた (マーク付)
- ⑤ 16 mm

■ 直線針板と直線押えを使用する場合

直線針板および直線押えが使用できるのは、中基線の直線ぬいのみです。直線針板と直線押えは、薄地をぬうときや、普通の針板では針穴に引き込まれやすいような小さな布片をぬうときに使用してください。直線押えは、薄地のぬい縮みを防ぐのに適しています。押えの小さなミゾで布をしっかり押えてぬいます。



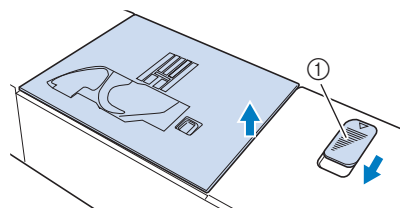
- ① 2.25 mm
- ② 4.25 mm
- ③ 6.25 mm
- ④ 8.5 mm



⚠ 注意

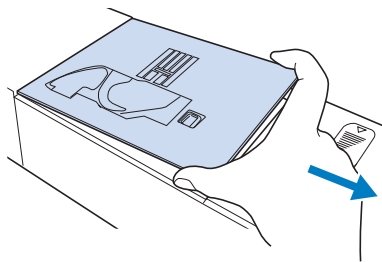
- 直線押えは必ず直線針板と組み合わせて使用してください。

- 1 針上下スイッチを押して針を上げ、押えを上げて、電源スイッチを切ります。
- 2 針と押えを取り外します (P. 66、P. 69 参照)。
- 3 補助テーブルまたは刺しゅう機を取り付けている場合は外します。
- 4 針板レバーを手前にスライドさせます。

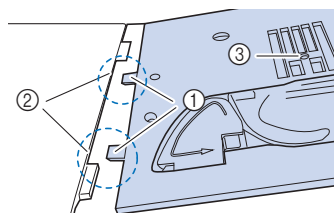


- ① 手前にスライドさせます。
→ 針板が開きます。

- 5 右手で標準針板を引き出して取り外します。

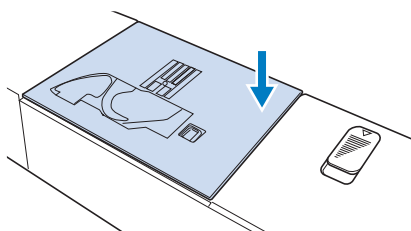


- 6 直線針板の出っ張り部をミシンのミゾに入れます。



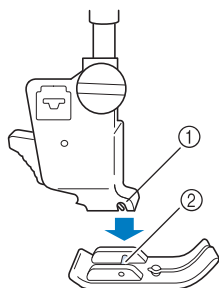
- ① 出っ張り部
② ミゾ
③ 丸い穴

- 7 直線針板の右側を押し下げて固定します。



- 8 必要に応じて、補助テーブルを取り付けます。

- 9 針と直線押えを取り付けます。



- ① ミゾ
② ピン

- 10 直線ぬいのいずれかを選択します。

🔍 **お願い**

- 他の模様を選択すると、エラーメッセージが表示されます。

📄 **お知らせ**

- 直線針板を使用すると、多くの直線模様が中基線でぬわれます。直線針板が取り付けられているときに使用できない直線模様を選択すると、その模様の使用を避けるためにエラーメッセージが表示されます。L/Rシフトで針位置を変更することはできません。

⚠️ **注意**

- ぬう前に、プーリーをゆっくりと手前（反時計回り）に回し、針が直線押えと直線針板に当たらないことを確認してください。


- 11 ぬい始めます。

- * ぬい終わったら、必ず直線針板と直線押えを外し、標準針板とジグザグ押え<J>を取り付けてください。

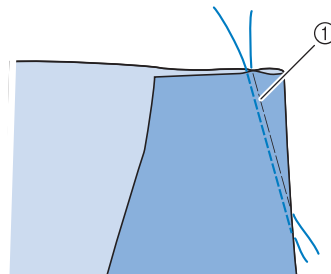
📄 **お知らせ**

- ぬい縮みを起こしやすい薄地には、11番の針を使用し、ぬい目を短くします。厚地には、14番の針を使用し、ぬい目を長くします。

ダーツ

- 1  を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

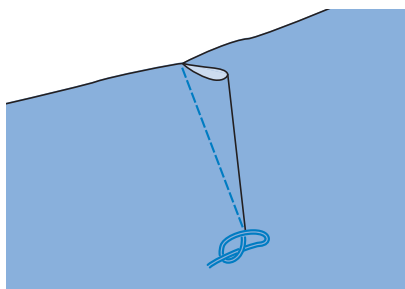
- 2 ぬい始めに返しぬいをし、幅の広い方から先端に向かって布地を伸ばさないようにぬいます。



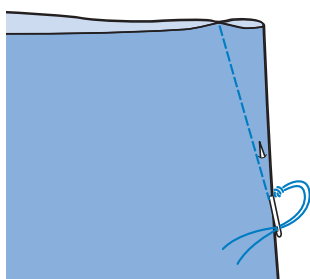
- ① しつけ

- ③ ぬい終わりに、上糸と下糸を約 50 mm 残して切り、2 本一緒に結びます。

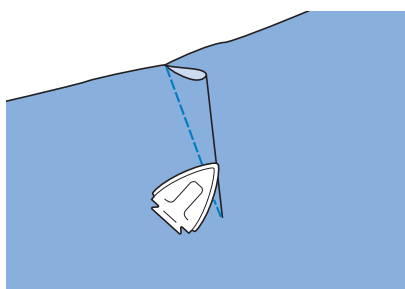
* ぬい終わりには返しぬいをしないでください。



- ④ ぬい針で糸端をダーツの中にぬい込みます。



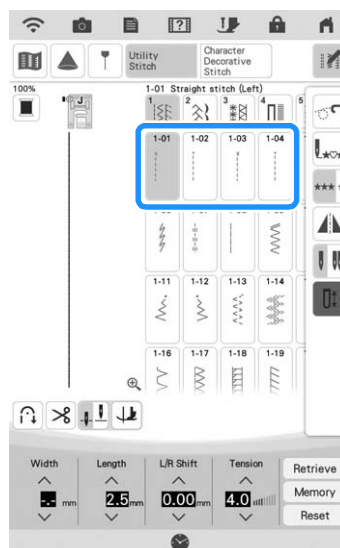
- ⑤ アイロンでダーツを片側に倒します。



ギャザー

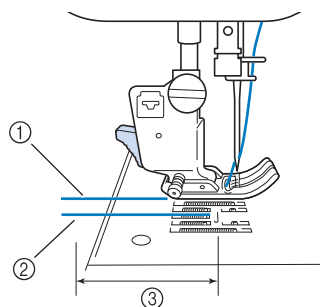
ギャザースカートのウェストや袖などに使います。

- ① 直線ぬいを選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。



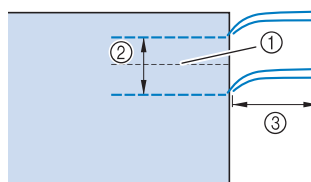
- ② ぬい目の長さを 4.0 mm に設定し、糸調子を 2.0 (ゆるめ) 前後に設定します。

- ③ ボビンと上糸を 50 mm 引き出します。(P. 57)



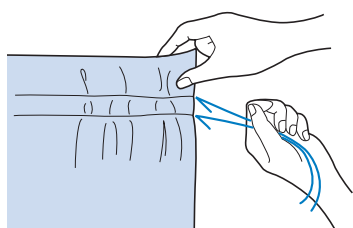
- ① 上糸
- ② 下糸
- ③ 約 50 mm

- ④ できあがり線をはさんで平行に 2 本ぬい、上糸と下糸を端から 50 mm 残して切ります。

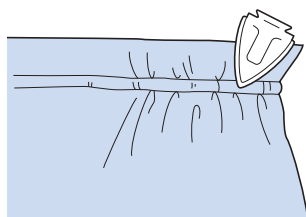


- ① できあがり線
- ② 10 mm ~ 15 mm
- ③ 約 50 mm

- 5 下糸を引っ張りながらギャザーを寄せ、糸を結びます。




- 6 ギャザーにアイロンをかけ、整えます。



- 7 できあがり線をぬって、しつけを取ります。

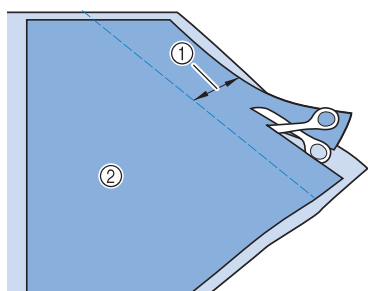
折り伏せぬい

ぬいしろを丈夫にし、きれいに端の始末をしたいときに使います。

- 1  を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

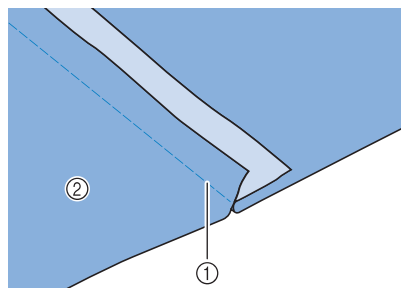
- 2 できあがり線をぬい、裏側のぬいしろを、端から半分切り落とします。

* あらかじめ自動糸切りと自動止めぬいを設定しておく、ぬい始めに自動的に返しぬいをします。ぬい終わりに、止めぬいスイッチを押すと、自動的に止めぬいをして糸を切ります。



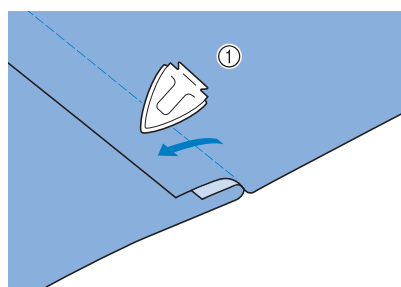
- ① 約 12 mm
② 裏

- 3 できあがり線を軸に布地を広げます。



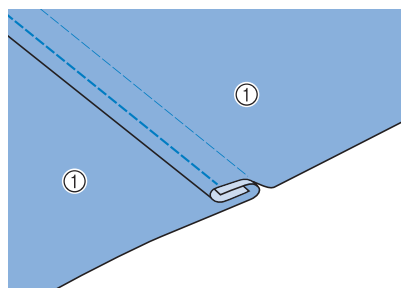
- ① できあがり線
② 裏

- 4 短い方のぬいしろ（切り落とした方）側へ2枚一緒に倒してアイロンをかけます。



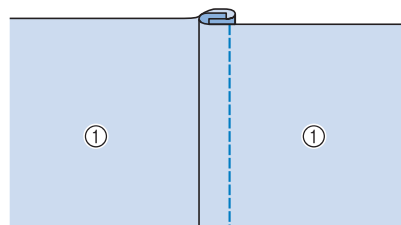
- ① 裏

- 5 幅の広いぬいしろで幅の狭いぬいしろをくるみ、折り山の端をぬいます。



- ① 裏

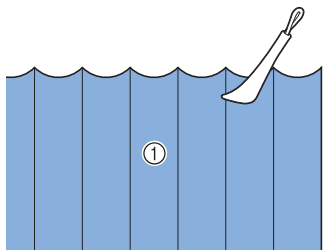
折り伏せぬいのぬい上がり



- ① 表

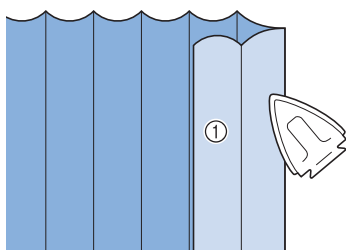
ピンタック

- 1 布地の裏からへらで折り山に印をつけます。




① 裏

- 2 表に返し、折り山をアイロンで押えます。

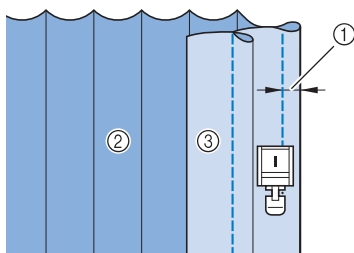


① 表

- 3  を選び、片押え<I>を取り付けます。

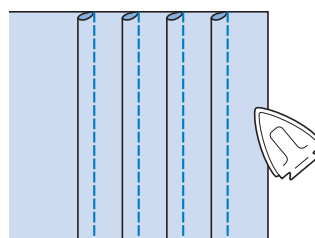
- 4 折り山にそって直線ぬいをします。

* あらかじめ自動糸切りと自動止めぬいを設定しておく、ぬい始めに自動的に返しぬいをします。ぬい終わりに、止めぬいスイッチを押すと、自動的に止めぬいをして糸を切ります。



- ① ピンタック幅
- ② 裏
- ③ 表

- 5 アイロンで片側に倒します。



ジグザグぬい

ジグザグぬいは、たち目かがりやアップリケ、パッチワークなどいろいろな用途に使えて便利です。模様を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

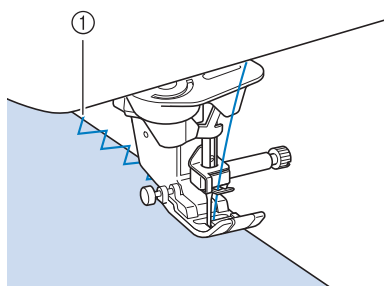
模様	名前	押え
	ジグザグぬい	
	ジグザグぬい	
	ジグザグぬい (右基線)	
	ジグザグぬい (左基線)	

- 1 模様を選びます。

- 2 ジグザグ押え<J>を取り付けます。

■ たち目かがり (ジグザグぬい)

針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。

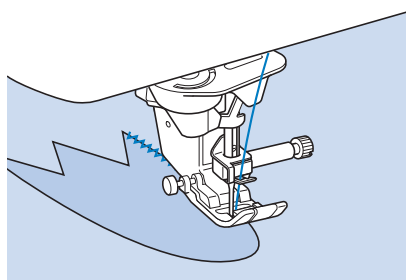


① 針落ち位置

■ アップリケ (ジグザグぬい)

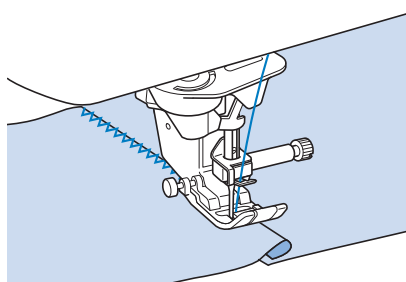
アップリケ布にスプレーのりを薄く付けるか、しつけをかけてからぬいます。

* 針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



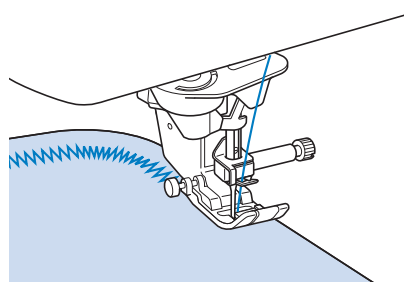
■ パッチワーク (クレイジーキルト)

上側の布地の端を折り、下側の布地に重ねて両方の布地に模様がまたがるようにぬいます。



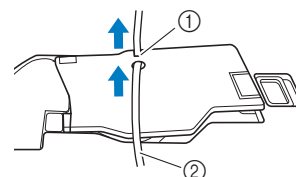
■ カーブをぬう場合 (ジグザグぬい)

ぬい目の長さを少し短めに設定すると、きれいなぬい目ができます。ぬい目が布端と平行になるように少しずつ布地の向きを変えながら、ゆっくりとぬいます。



■ コードガイドふたを使用する (ジグザグぬい)

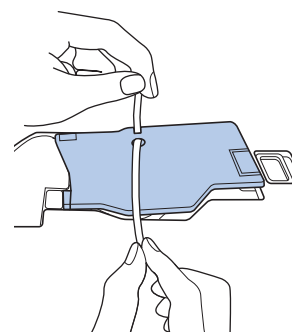
- 1 ミシンから針板ふたを外します (P. 55 参照)。
- 2 コードガイドふたの穴に芯ひもを下から上へ通します。糸をコードガイドふたの切り欠き部から引き出します。



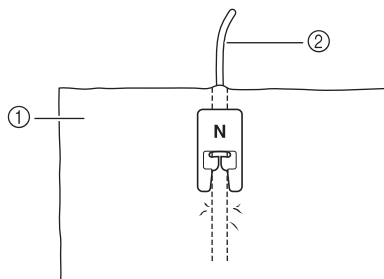
- ① ミゾ
- ② 芯ひも

- 3 コードガイドふたをカチッと音がするまで押して閉め、芯ひもが送られるようにします。

* 芯ひもを引いて、引っかかりがないことを確認してください。

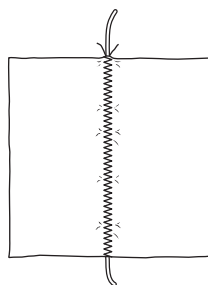


- 4 ジグザグの振り幅を 2.0 mm ~ 2.5 mm に設定します。
- 5 模様ぬい押え < N > を取り付けます。
- 6 芯ひもを、押えの下に位置するようにミシンの後ろ側へ引き出します。その上に布地の表面を上にして置きます。



- ① 布地 (表)
- ② 芯ひも

- 7 押えを下げ、ぬい始めます。



点線ジグザグぬい

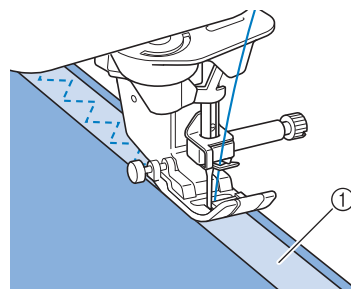
点線ジグザグぬいは、ゴムひもつけ、たち目かがりやつくろいぬいなど幅広い用途に使用します。

模様	名前	押え
1-13	2点ジグザグぬい	
1-14	2点ジグザグぬい	
1-15	3点ジグザグぬい	

- 1 模様を選びます。
- 2 ジグザグ押え < J > を取り付けます。

■ ゴムひもつけ

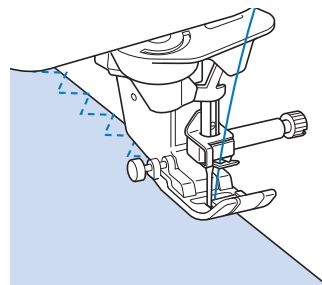
ゴムひもを前後に伸ばしながらぬいます。



- ① ゴムひも

■ たち目かがり

伸びる布地をぬうときに使います。針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



たち目かがり

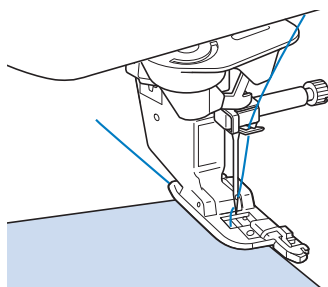
ズボン、スカートなどのぬいしろの始末や、たち目の始末に使います。模様によってたち目かがり押え < G >、ジグザグ押え < J >、サイドカッター押えを使います。

■ たち目かがり押え < G > を使うたち目かがり

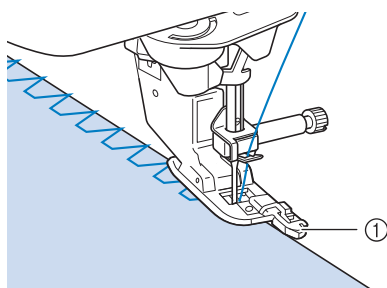
模様	名前	押え
1-16	たち目かがり	
1-17	たち目かがり	
1-18	たち目かがり	

1 模様を選び、たち目かがり押え<G>を取り付けます。

2 押えのガイドに布端を当て、押えレバーを下げます。



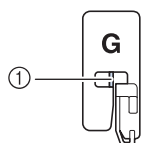
3 布端をガイドに当てながら、ガイドにそってぬいます。



① ガイド

注意

- 振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前（反時計回り）に回してください。針が押えに当たらないことを確認してください。針が押えに当たると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



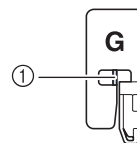
① 針が押えのピンに当たらないように注意してください。

- 押えを最上位置まで上げると、針が押えに当たる可能性があります。

4 ぬい終わったらスタート/ストップスイッチを押してミシンを止め、針と押えを上げて、布地を後ろに引いて取り出します。

注意

- ぬい終わった後は、布地を後ろに引いてください。前方向や横方向に布地を引っ張ると、押えのピンが破損するおそれがあります。

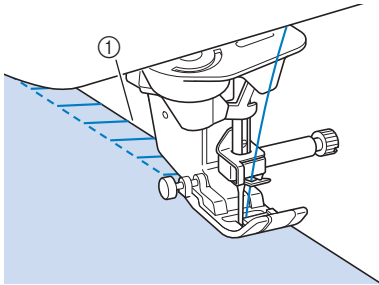


① ピン

ジグザグ押え<J>を使うたち目かがり

模様	名前	押え
1-19	たち目かがり	
1-20	たち目かがり	
1-21	たち目かがり	
1-22	たち目かがり	
1-23	たち目かがり	
1-24	たち目かがり	

- 1 模様を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。
- 2 針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



① 針落ち位置

🔔 **お願い**

- 布地上のぬい目の微調整は、[L/R Shift (L/R シフト)] でできます。ぬう前に実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしてください。

📖 **お知らせ**

- 伸びる布地は、押え圧を弱くするときれいに仕上がります。

■ サイドカッター押え（別売）を使う たち目かがり

サイドカッター押えを使うと、布地を切りながらたち目かがりをすることができます。

⚠️ 注意

- 推奨の模様は、右下に「S」と記されています。必ず以下の一覧にある模様を選んでください。他の模様を使うと、針が押えに当たって折れ、けがをするおそれがあります。

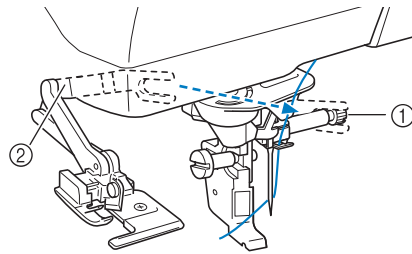
🔔 **お願い**

- サイドカッターを使用するときは、手で針に糸を通してください。自動糸通しスイッチを使用する場合は、糸を通した後にサイドカッターを取り付けてください。

模様	名前	押え
1-25	サイドカッター	
1-26	サイドカッター	
1-27	サイドカッター	

模様	名前	押え
1-28	サイドカッター	
1-29	サイドカッター	

- 1 模様を選びます。
- 2 P. 69 の手順に従って押えを取り外します。
- 3 糸を通します (P. 58)。
- 4 サイドカッター押えの操作レバーの二股部分を針のとめネジに合わせます。

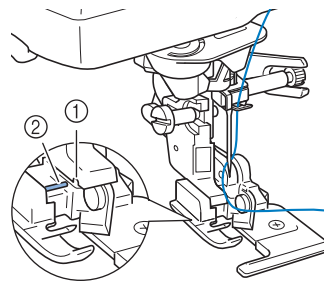


- ① 針のとめネジ
- ② 操作レバー

📖 **お知らせ**

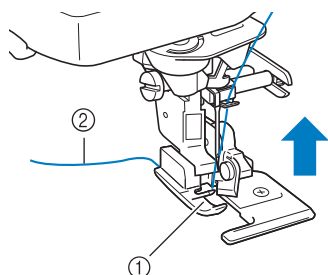
- 操作レバーの二股部分が針のとめネジにしっかりとハマっていることを確認してください。

- 5 サイドカッターのピンが押えホルダーのミゾに合うようにサイドカッターを配置して、押えを下げます。



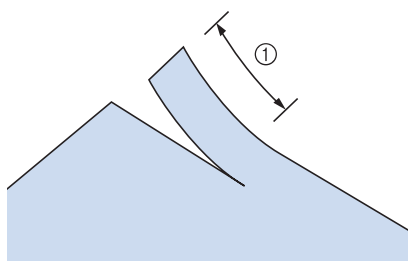
- ① 押えホルダーの切り欠き
 - ② ピン
- サイドカッター押えが取り付けられます。

- 6** 押えを上げて上糸の先端を引き出します。上糸を押えの下へ通し、布地を送る方向へ引き出します。



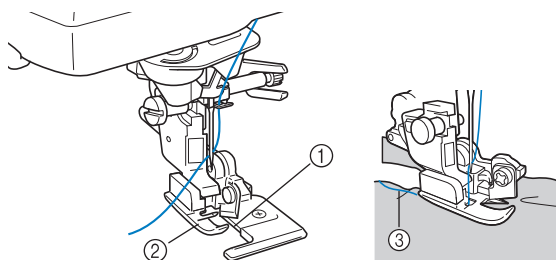
- ① 押え
② 上糸

- 7** 布地に約 20 mm の切り込みを入れます。



- ① 20 mm

- 8** 布地をセットします。切り込みの右側をガイドプレートの端に合わせ、左側を押えの下に入れます。

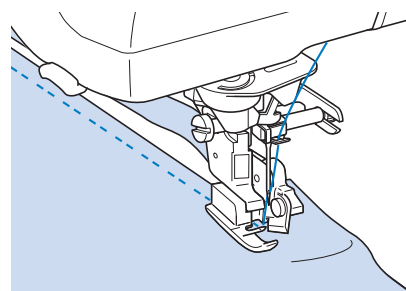


- ① ガイドプレート (下刃)
② 押え
③ 上糸

お知らせ

- 布地を正しい位置に置かないと、布地がカットされません。

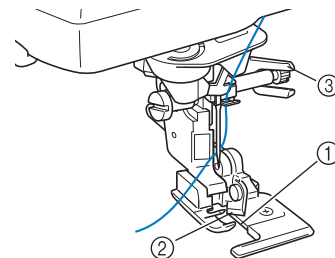
- 9** 押えを下げて縫製を開始します。



→ ぬいながら、ぬいしろをカットしていきます。

注意

- サイドカッター押えを使用するときは、中低速でぬってください。また、縫製中はサイドカッター押えの刃や操作レバーに触れないでください。押えを壊したりけがをしたりするおそれがあります。



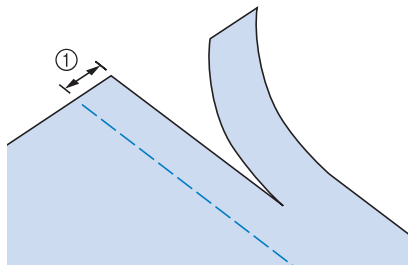
- ① ガイドプレート (下刃)
② 上刃
③ 操作レバー

お願い

- 振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前 (反時計回り) に回してください。針がサイドカッター押えに当たらないことを確認してください。針がサイドカッター押えに当たると、針が折れるおそれがあります。

■ サイドカッター押え（別売）を使って直線ぬいをする

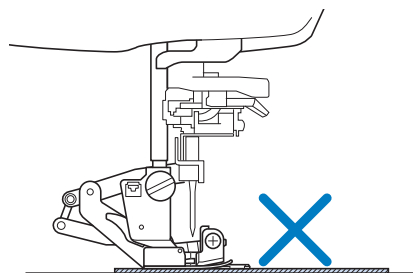
サイドカッターはぬい目から約 5 mm のところをカットします。
ぬいしろは約 1.5 cm 必要です。



① 約 5 mm

📖 お知らせ

- 布地全体を押えのガイドプレートの下に敷くと布地がカットされません。前項の手順 ⑧ 以降で説明したように布地をセットしてから、ぬい始めます。






























































- デニム地の場合、カットできるのは 13 オンスデニム 1 枚程度までです。
- サイドカッター押えを使用した後は、カッター部分の布くずや糸くずを取り除いてください。
- 必要に応じて、カッターの刃先に少量の油を塗ってください。









キルトぬい

本機では、仕上がりのきれいなキルトが素早く簡単にできます。キルトぬいでは、ニーリフターやフットコントローラーを使用すると、両手が使えて便利です（P. 75 「フットコントローラーを使用する」および P. 86 「ニーリフターを使用する」）。

Q-01 から Q-30 までの 30 模様のキルト模様と、模様キーの模様イメージの右下に「P」あるいは「Q」が表示される実用模様がキルトぬいに最適です。「P」はピーシング、「Q」はキルトぬいに適していることを示しています。

模様	名前	押え	
Q-01	ピーシング直線（中基線）		
Q-02	ピーシング直線（右基線）		
Q-03	ピーシング直線（左基線）		
Q-04	手ぬい風直線（中基線）		
Q-05	しつけぬい		
Q-06	伸縮ぬい		
Q-07	ジグザグ		
Q-08	ジグザグぬい（右基線）		
Q-09	ジグザグぬい（左基線）		
Q-10	2点ジグザグぬい		
Q-11	3点ジグザグぬい		
Q-12	アップリケ		
Q-13	シェルタック		
Q-14	アップリケ		

模様	名前	押え	
			
	キルティング模様		
	たち目かがり		
	ゴムひもつけ		
	飾りぬい		
	ファゴティング		
	ファゴティング		
	つきあわせ		
	つきあわせ		
	スモッキング		
	飾りぬい		
	飾りぬい		
	飾りぬい		
	飾りぬい		
	飾りぬい		
	たち目かがり		
	たち目かがり		
	ピーシング直線 (右基線)		
	ピーシング直線 (中基線)		
	ピーシング直線 (左基線)		



模様	名前	押え	
			
	手ぬい風直線		
	ジグザグ		
	アップリケ		
	キルティング模様		

 **お知らせ**


- キルトぬいカテゴリーの模様（「Q」のつくキルトぬい模様のみ）は、他のカテゴリーの同じ模様よりも振り幅や [L/R Shift (L/R シフト)] を細かく設定できます。

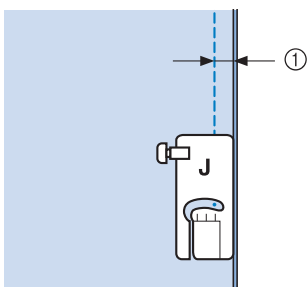
■ ピーシング

ピーシングとは、布と布をぬい合わせることをいいます。キルト用のピースをカットするときは、ぬいしろを 7.0 mm つけて裁断してください。


1  または  を選び、ジグザグ押え < J > を取り付けます。

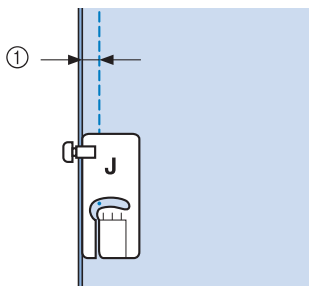
2 押えの端に布端を合わせてぬいます。

*  が選択されている状態で、押えの右端に沿って 7.0 mm のぬいしろをつけるときは、[L/R Shift (L/R シフト)] を 5.00 mm にセットします。





① 7.0 mm

*  が選択されている状態で、押えの左端に沿って 7.0 mm のぬいしろをつけるときは、[L/R Shift (L/R シフト)] を 2.00 mm にセットします。



① 7.0 mm

* 針位置を変更するには、[L/R Shift (L/R シフト)] の  または  を押します。




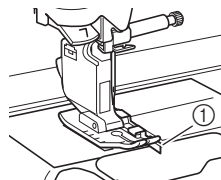
📖 お知らせ

- 直線ぬい (中基線) を使うと、よりスムーズにぬうことができます (P. 102)。
- Q-01 (中基線、L/R Shift 3.5 mm) を選択したときは、ガイドラインマーカを以下の設定にすると、布端にガイドラインマーカをあわせてピーシングをすることができます。
[Initial Position (基線切り替え)] が左基線に設定されているとき：10.50 mm
[Initial Position (基線切り替え)] が中基線に設定されているとき：7.00 mm

■ ガイド付ピーシング押えを使う

このピーシング押えを使うと、6.4 mm または 3.2 mm のぬいしろで正確に仕上げができます。キルトのピーシングや、飾りぬいに使うことができます。

1  を押し、次にガイド付ピーシング押えを取り付けます。

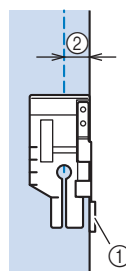


① ガイド

2 押えのガイドとしるしを使うと、正確なぬいしろで仕上がります。

ぬいしろ 6.4 mm のピーシング

布地の端をガイドに当てながら、ぬいます。



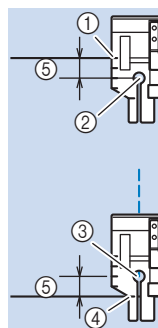
① ガイド
② 6.4 mm

📖 お知らせ

- 正確な位置合わせについては、P. 104 「針板や針板ふたの目盛りを基準にする場合」を参照してください。

正確なぬいしろで仕上げる場合

布地の端から 6.4 mm の位置で、ぬい始め、ぬい終り、布地の回転を行います。



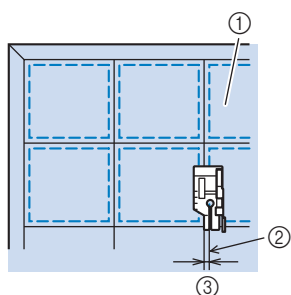
① このしるしを、ぬい始めの布地の端に合わせます。
② ぬい始め
③ ぬい終り
④ 布地のぬい終り、または布地を回転する側
⑤ 6.4 mm

📖 お知らせ

- ピボットの詳細は、P. 85 「ピボット」を参照してください。

3.2 mm の飾りぬいキルト

布端や布のぬい合わせ位置を押え先端の左側に合わせて、ぬいます。



- ① 表
- ② ぬい目
- ③ 3.2 mm

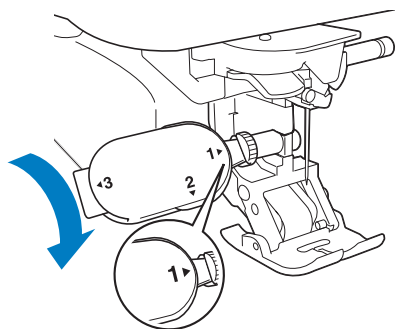
■ キルトぬい

表地、キルト綿、裏地をぬい合わせることをキルトテイングと呼びます。表地、キルト綿、裏地がずれることを防ぐため、デュアルフィード押えを使用してぬうことができます。デュアルフィード押えには、縫製中に針板の中の送り歯と連動して動くベルトがついています。

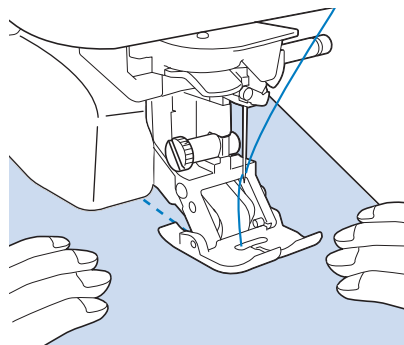
直線のキルトぬいには、デュアルフィード押えと直線針板を使用します。直線針板を使用するときは、必ず直線ぬい（中基線）を選択してください。

1 、 または を選択します。

2 デュアルフィード押えを取り付けます (P. 71)。



3 縫製中は、押えの両側に手を置いて、布地をしっかりと押えます。

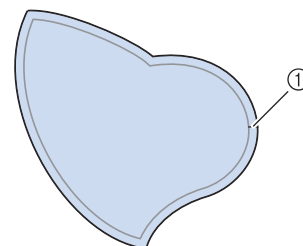


📖 お知らせ

- 低速から中速でぬってください。
- ぬい始める前に、キルト面がしっかりとつけられていることを確認ください。キルト専用のミシン針、ミシン糸も市販されています。

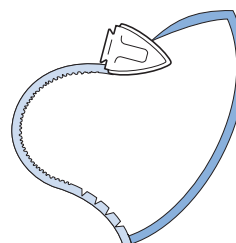
■ アップリケ

1 アップリケ布に3~5 mmのぬいしろを付けて裁ちます。

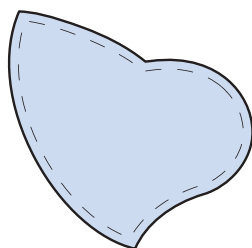



① ぬいしろ 3~5 mm

2 アップリケ布の裏に厚紙の型紙を置き、アイロンでぬいしろを内側に折ります。カーブの部分は、必要に応じて切り込みを入れます。

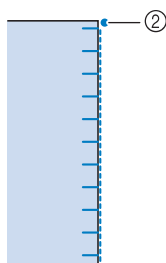
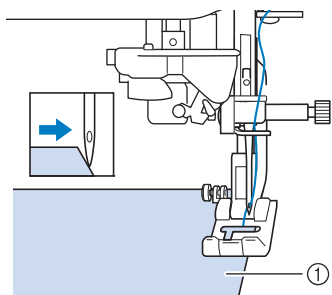
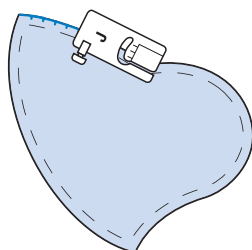


- 3 型紙を取り除き、アップリケ布を表に戻します。土台布にまち針またはしつけで固定します。



- 4  を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

- 5 アププリケぬいを使用してアププリケをぬい付けます。針が落ちる位置を確認し、針がアププリケ布の端よりわずかに外側に落ちるようにまわりをぬいます。



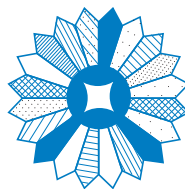
- ① アププリケ
② 針落ち位置

⚠ 注意



- ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。まち針にあたると、針が折れたり曲がったりして、けがをするおそれがあります。

アププリケぬいを使うと、下図のような3図案のアププリケができます。



①



②





③

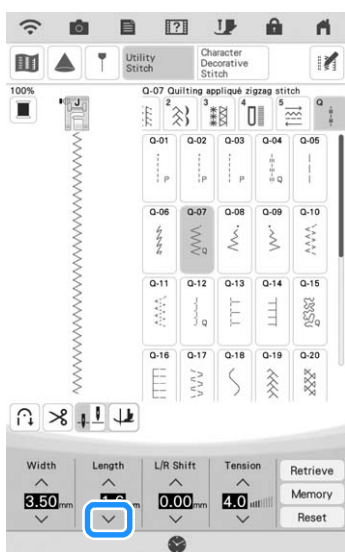
- ① ドレスデンプレート
② ステンドグラス
③ サンボンネット・スー

■ サテンぬいのキルト

フットコントローラーを使用してをぬいます。スピードコントロールレバーで振り幅を調節することにより、微妙に振り幅を変化させながらサテン模様をぬうことができます。


- 1 フットコントローラーを取り付けます。(P. 75)。
- 2  を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

- 3 「ぬい目の長さ」の  を押して、ぬい目を細くします。

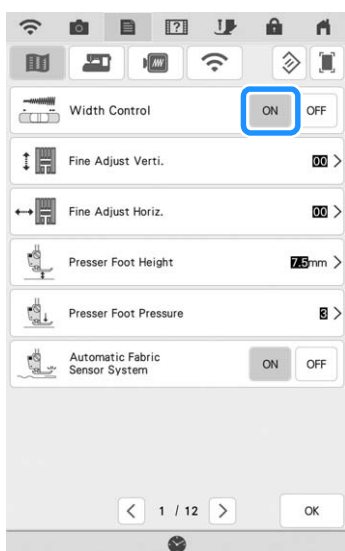


 お知らせ

- ぬい目の長さを 0.3 ~ 0.5 mm に設定すると、きれいなサテン模様になります（ぬい目の設定は、布地の種類や糸の太さによって異なります）。

- 4 スピードコントロールレバーをジグザグの振り幅調節レバーに切り替えるために、 を押します。

- 5 [Width Control (振り幅コントロール)] を「ON」に設定します。



 お知らせ

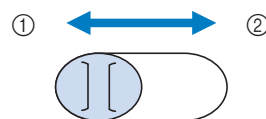
- 振り幅は、スピードコントロールレバーで調節できます。ぬう速度は、フットコントローラーで調節できます。

- 6  を押します。

→ 元の画面に戻ります。

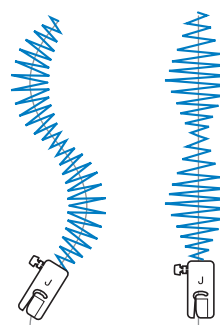
- 7 ぬい始めます。

- * ぬいながらスピードコントロールレバーを動かして、振り幅を調節してください。レバーを左に動かすと、振り幅は狭くなります。右に動かすと、振り幅は広がります。振り幅は、針の中基線を中心として左右均等に変わります。




- ① 狭くなる
- ② 広がる

例：振り幅の調整



- 8 ぬい終わったら、[Width Control (振り幅コントロール)] を「OFF」に戻します。

■ フリーモーションキルト

フリーモーションキルトをするときは、 を押して送り歯を下げて、布地を自由に動かせるようにします。

フリーモーションキルトぬいをするには、選択した模様に応じてフリーモーションキルト押え<C>またはオープントウキルト押え<O>を使用し、ミシンをフリーモーションモードに設定してください。このモードでは、押えがフリーモーションぬいに最適な高さになります。フットコントローラーを取り付けて、一定の速度でぬうことをお勧めします。ぬう速度は、ミシンのスピードコントロールレバーで調節できます。

フリーモーションキルト押え<C>を使用する

フリーモーションキルト押え<C>は、直線針板を使用するフリーモーションぬいに使います。



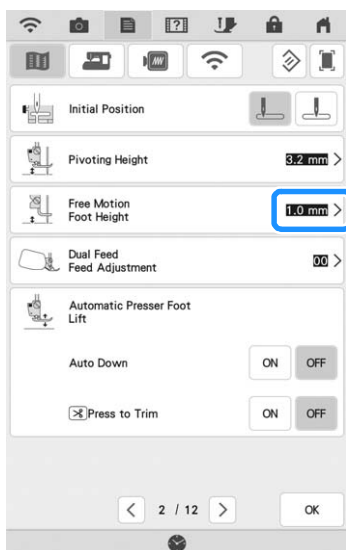
フリーモーションキルト押え<C>

⚠ 注意

- フリーモーションキルトでは、ぬう速度に合うように布を動かしてください。縫製速度よりも速く布地を動かすと、針が折れたり、他の損傷が起きるおそれがあります。
- フリーモーションキルト押え< C >を使用する場合、必ず直線針板を使用し、針位置を中央にしてぬってください。針が中央（中基線）以外的位置にあると、針が折れて、けがの原因となります。

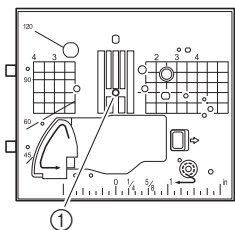
📄 お知らせ

- ぬい始めるときに内蔵されたセンサーが布地の厚さを感じ、設定画面で指定した高さにキルト押えが上がり、を押して、設定画面の [Free Motion Foot Height (フリーモーション押え高さ)] を表示します。数字を押して、キルト押えを上げる高さを選びます。非常に伸びる布地をぬう場合は、高い数値に設定すると、ぬいやすくなります。



- バランスのとれた糸調子でぬうには、糸調子の調節が必要になります (P. 83)。実際に使用する布と同じ布地で、ためしぬいをしてください。

1 直線針板を取り付けます (P. 104)。



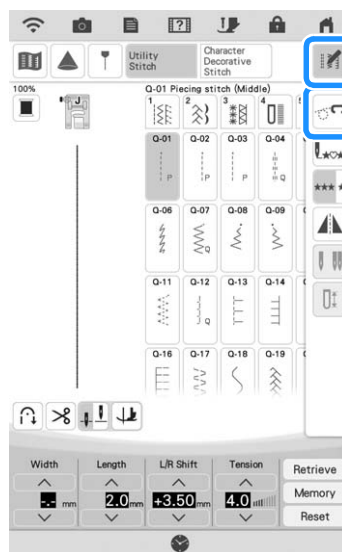
① 丸い穴


📄 お知らせ

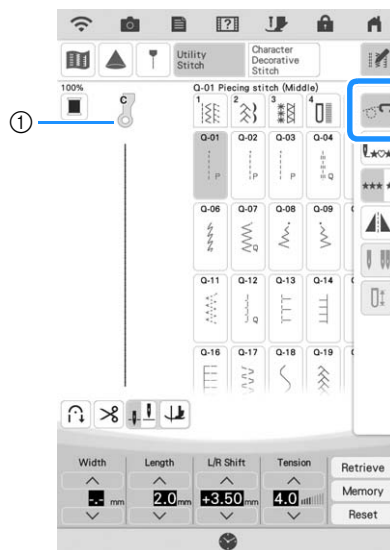
- この針板の穴が丸穴であることに注意してください。

2 または   を選択します。

3  を押してから  を押して、ミシンをフリーモーションモードに設定します。



→ 表示が  に変わり、押えはフリーモーションぬいに必要な高さに上がり、送り歯は下がります。

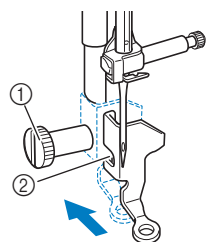


① フリーモーションキルト押え< C >

→ 「Q-01」または「1-31」の模様が選択されている間は、フリーモーションキルト押え< C >が画面の左上に表示されます。

4 押えホルダーを取り外します (P. 70)。

5 押えホルダーのネジをフリーモーションキルト押え<C>のミゾに合わせて、前面から取り付けます。

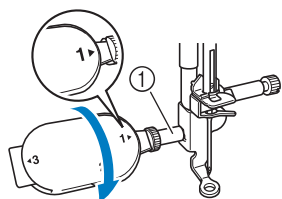


- ① 押えホルダーのネジ
- ② ミゾ

🔔 **お願い**

- フリーモーションキルト押え<C>が正しく取り付けられ、傾斜していないことを確認してください。

6 右手でフリーモーションキルト押え<C>を持ちながら、左手で押えホルダーのネジをマルチドライバーで閉めます。



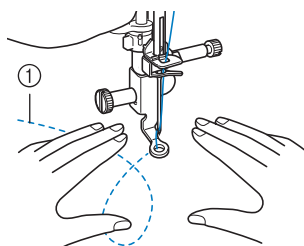
- ① 押えホルダーのネジ

⚠️ 注意




- 必ず付属のマルチドライバーを使用して、ネジを確実にしめてください。確実にしめないと、針がキルト押えに当たり、曲がったり折れたりするおそれがあります。

7 両手で布地を引っ張り、一定の速度で布地を送り、ぬい目の長さが均一に約 2.0 ~ 2.5 mm になるようにぬいます。



- ① ぬい目

8  を押して、ミシンのフリーモーションモードを解除します。

→ プーリーを手前 (反時計回り) に回して送り歯を上げてください。

9 ぬい終わった後は、必ず直線針板とフリーモーションキルト押え<C>を取り外し、標準針板を取り付けてください。

🔔 **お願い**

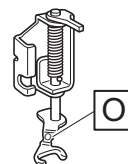
- オープントゥキルト押え<O>も、直線針板と組み合わせて使うことができます。厚さが均一ではない布地のフリーモーションぬいにオープントゥキルト押え<O>を使うことをお勧めします。
- 直線針板を使用するときは、直線ぬい模様が全て中基線になります。L/R シフトで針位置を変更することはできません。

📄 **お知らせ**

- 通常の縫製時は、送り歯を上げて使います。
- 最初はきれいに仕上がらないことがあります。きれいな仕上がりになるように練習してください。

オープントゥキルト押え<O>を使用する


オープントゥキルト押え<O>は、ジグザグ模様や飾り模様でフリーモーションキルトをぬう場合や、厚さが均一ではない布地にフリーモーションキルトの直線ぬいをする場合に使用します。オープントゥキルト押え<O>を使用すると、いろいろな模様をぬうことができます。使用できる模様の詳細については、P. 208 「ぬい方早見表」を参照してください。




オープントゥキルト押え<O>

📄 **お知らせ**

- バランスのとれた糸調子でぬうには、糸調子の調節が必要になります (P. 83)。実際に使用する布と同じ布地で、ためしぬいをしてください。

1  を押して、ミシンをフリーモーションモードに設定します。

→ 表示が  に変わり、押えはフリーモーションぬいに必要な高さに上がり、送り歯は下がります。

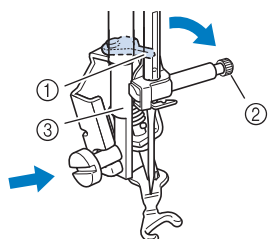
2 模様を選びます。

お知らせ

- 「Q-01」または「1-31」の模様が選択されている間は、フリーモーションキルト押え<C>が画面の左上に表示されます。他の模様が選択されている間は、オープントウキルト押え<O>が画面に表示されます。

3 押えホルダーを取り外します (P. 70)。

4 オープントウキルト押え<O>のピンを針のとめネジの上に配置して、左下を押え棒に合わせて、オープントウキルト押え<O>を取り付けます。



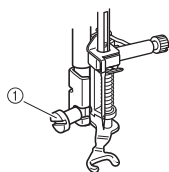
- ① ピン
- ② 針のとめネジ
- ③ 押え棒

お願い

- キルト押えが傾斜していないことを確認してください。

5 右手でキルト押えを持ちながら、左手で押えホルダーのネジをマルチドライバーでしめます。

- * マルチドライバーはポジション「1」に設定して使用します。(P. 22)

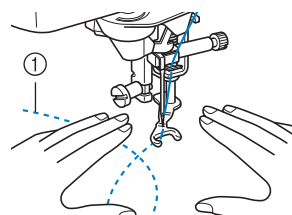


- ① 押えホルダーのネジ


注意

- 必ず付属のマルチドライバーを使用して、ネジを確実にしめてください。確実にしめないと、針がキルト押えに当たり、曲がったり折れたりするおそれがあります。

6 両手で布地を引っ張り、一定の速度で布地を送り、ぬい目の長さが均一に約 2.0 ~ 2.5 mm になるようにぬいます。



- ① ぬい目

7  を押して、ミシンのフリーモーションモードを解除します。

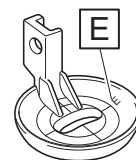
→ プーリーを手前（反時計回り）に回して送り歯を上げてください。

お知らせ

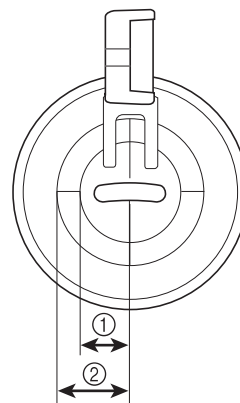
- 最初はきれいに仕上がらないことがあります。きれいな仕上がりになるように練習してください。

■ エコーキルト押え<E>を使用して、エコーキルトをぬう

モチーフの周囲を等間隔で幾重にもキルトする方法を、エコーキルトと呼びます。モチーフに沿って波状に広がる線が、エコーキルトの特徴です。エコーキルトにはエコーキルト押え<E>を使用します。押えの寸法を参考にして、モチーフの周囲を一定の間隔でぬいます。フットコントローラーを取り付けて、一定の速度でぬうことをお勧めします。



エコーキルト押え<E>の寸法



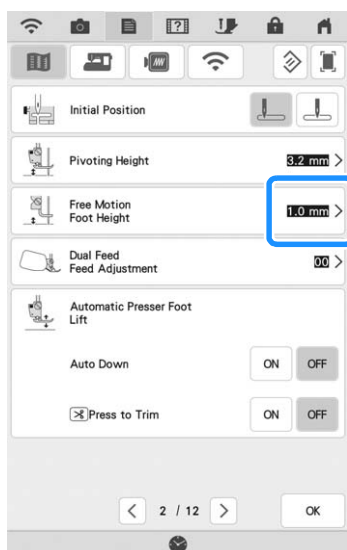
- ① 6.4 mm
- ② 9.5 mm

⚠ 注意

- フリーモーションキルトでは、布を送る速度がぬう速度に合うように調節します。縫製速度よりも速く布地を動かすと、針が折れたり、他の損傷が起きるおそれがあります。

📖 お知らせ

- ぬい始めるときに内蔵されたセンサーが布地の厚さを感知し、設定画面で指定した高さでキルト押えが上がります。📄を押して、設定画面の [Free Motion Foot Height (フリーモーション押え高さ)] を表示します (P. 27)。数字を押して、キルト押えを上げる高さを選びます。非常に柔らかい布地をぬう場合は、高い数値に設定すると、ぬいやすくなります。



- バランスのとれた糸調子でぬうには、糸調子の調節が必要になります (P. 83)。実際に使用する布と同じ布地で、ためしぬいをしてください。

1 📄 を選択します。

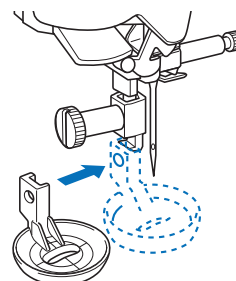
2 📄 を押して、ミシンをフリーモーションモードに設定します。

→ 表示が 📄 に変わり、押えはフリーモーションぬいに必要な高さになり、送り歯は下がります。

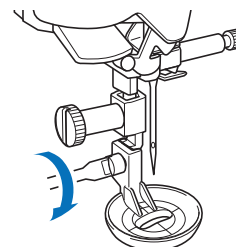
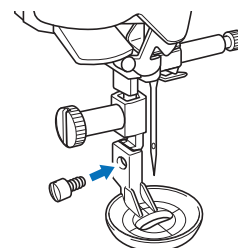
3 P. 69 の手順に従って押えを取り外します。

4 押えホルダーを取り外し、アダプターを取り付けます。(P. 70)

5 エコーキルト押え < E > の穴と押え棒を合わせて、エコーキルト押え < E > を押え棒の左側に置きます。



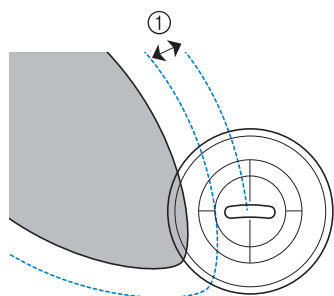
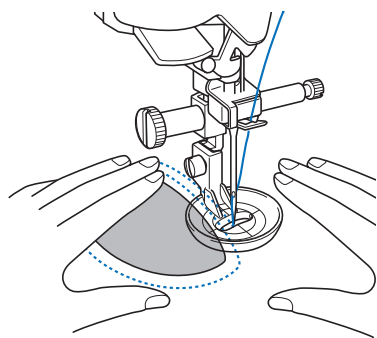
6 付属のドライバー (大) でネジをしめます。



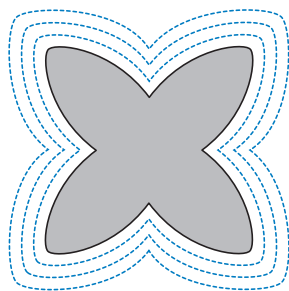
⚠ 注意


- 必ず付属のドライバー (大) を使用して、ネジを確実にしめてください。確実にしめないと、針がキルト押えに当たり、曲がったり折れたりするおそれがあります。

7 キルト押えの寸法を参考にして、モチーフの回りをぬいます。



① 6.4 mm
完成した作品







8  を押して、フリーモーションモードを解除します。

→ プーリーを手前（反時計回り）に回して送り歯を上げてください。

まつりぬい

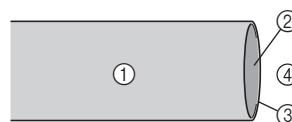
ズボン、スカートのすそや折り返しに使います。まつりぬいには、2つの模様可以使用できます。

模様	名前	押え
	まつりぬい	
	まつりぬい	

お知らせ

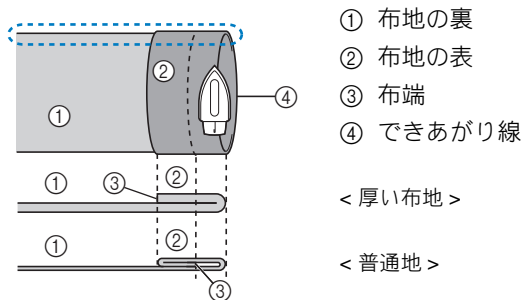
- 筒の大きさがアームに入らないほど小さいときや、筒の長さが短いときは、布地がうまく送られず、きれいに仕上がらないことがあります。

1 すそ上げをするスカートやズボンを裏返します。



- ① 布地の裏
- ② 布地の表
- ③ 布端
- ④ すそ側


2 できあがり線で布を表に戻し、アイロンをかけます。



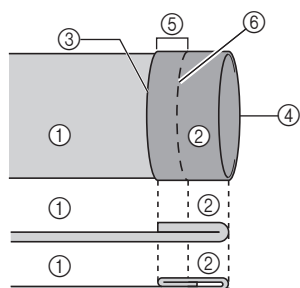
- ① 布地の裏
- ② 布地の表
- ③ 布端
- ④ できあがり線

< 厚い布地 >

< 普通地 >

<  横から見た図 >

3 布端から約 5 mm のところにチャコペンで印をつけ、しつけをします。

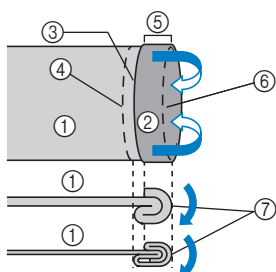


- ① 布地の裏
- ② 布地の表
- ③ 布端
- ④ できあがり線
- ⑤ 5 mm
- ⑥ しつけ

< 厚い布地 >
< 普通地 >

< 横から見た図 >

4 しつけをしたところから、内側へ折り込みます。

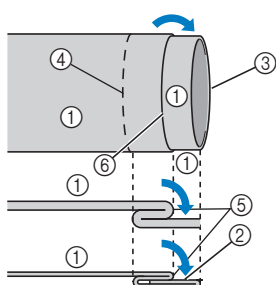


- ① 布地の裏
- ② 布地の表
- ③ 布端
- ④ できあがり線
- ⑤ 5 mm
- ⑥ しつけ
- ⑦ しつけの位置

< 厚い布地 >
< 普通地 >

< 横から見た図 >

5 布端を開いて裏返します。



- ① 布地の裏
- ② 布地の表
- ③ 布端
- ④ できあがり線
- ⑤ しつけの位置
- ⑥ しつけ

< 厚い布地 >
< 普通地 >

< 横から見た図 >

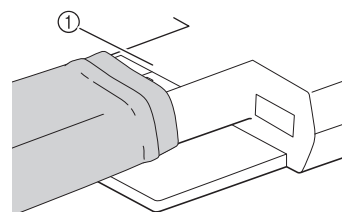
6 まつりぬい押え < R > を取り付けます。



7  または  を選択します。

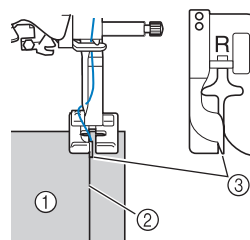
8 補助テーブルを取り外し、ミシンをフリーアームにします。

9 アームに布地を入れ、布地を回すことができるのを確認して、ぬい始めます。



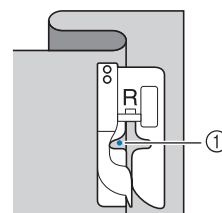
① アーム

10 押えのガイドと布地の折り山が合うように布地をセットし、押えを下げます。



- ① 布地の裏
- ② 折り山
- ③ ガイド

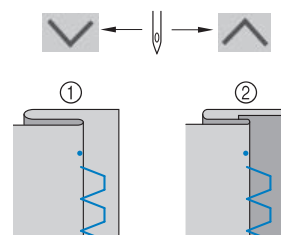
11 針が折り山に少しかかる位置にくるように、振り幅を調整します。



① 針落ち位置

針落ち位置を変更するときは、針を上げてから振り幅を変更します。

< 振り幅 >




- ① 厚い布地
- ② 普通地

お知らせ

- 左側の針落ち位置が折り山にかからなければ、まつりぬいをすることができません。針が折り山のほうにかかりすぎると、折りを広げることができず布地の表側にぬい目が大きく出て、きれいに仕上がりにません。これらのどちらかのケースが発生しているときは、次の解決方法を参照してください。

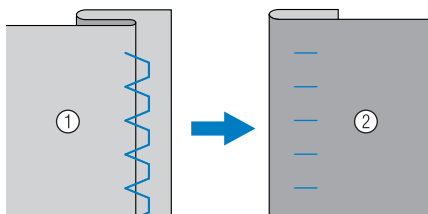
針がかかりすぎているとき

針が左側にいきすぎています。

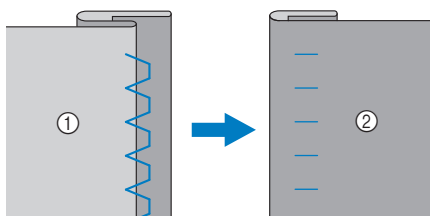
振り幅の  を押して針位置を右に動かし、針が折り山に少しかかるように調節します。



<厚い布地>




<普通地>



- ① 布地の裏
- ② 布地の表

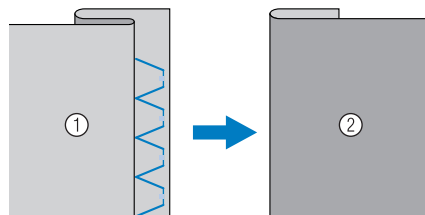
針がかかっていないとき

針が右側にいきすぎています。

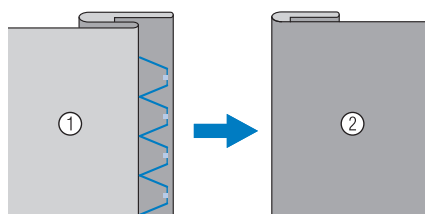
振り幅の  を押して針位置を左に動かし、針が折り山に少しかかるように調節します。



<厚い布地>



<普通地>



- ① 布地の裏
- ② 布地の表

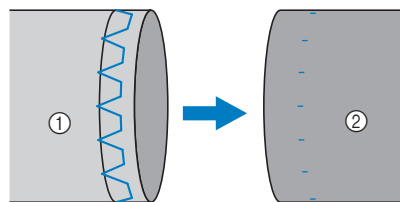
12 折り山に押えのガイドを沿わせてぬいます。

13 ぬい終わったらミシンを止め、針と押えを上げて、布地を後ろに引いて取り出します。

お願い

- ぬい終わった後は、布地を後ろに引いてください。前方向や横方向に布地を引っ張ると、押えが破損するおそれがあります。

14 しつけをほどこし、布地を表に戻します。

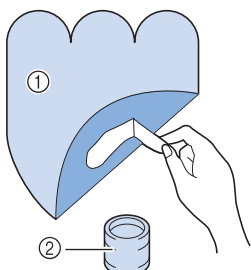


- ① 布地の裏
- ② 布地の表

アップリケ

- 1 のりまたはスプレーのりでアップリケ布がずれない程度にのり付けするか、しつけて固定します。

* これは、ぬいずれを防ぐためです。



- ① アップリケ
- ② 布用のり

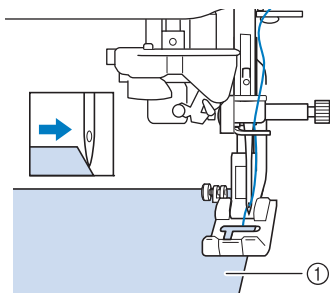
- 2 または を選択します。

* 模様の振り幅やぬい目の長さは、アップリケの形、大きさ、素材に応じて調節してください (P. 81)。

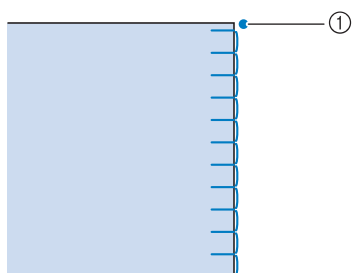
お知らせ

- 模様の詳細については、P. 208 「ぬい方早見表」を参照してください。

- 3 ジグザグ押え<J>を取り付けます。針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちることを確認して、ぬい始めます。



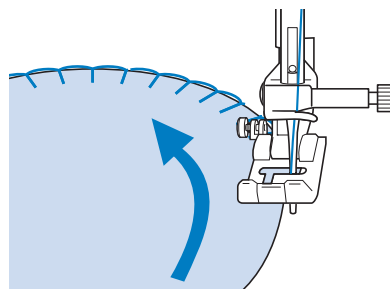
- ① アップリケ布



- ① 針落ち位置

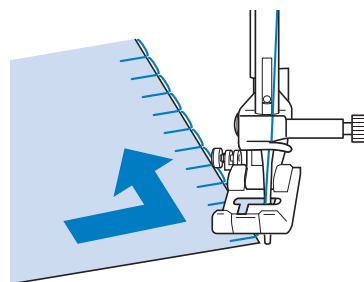
■ 急なカーブをぬう場合

アップリケ布の外側に針を刺した状態でミシンを止めます。押えを上げて少しずつ方向を変えながらぬうと、きれいなぬい目に仕上がります。



■ 角をぬう場合

針が右側に落ちているときに縫製を止めます。押えを上げて、布地を回転して布端とぬう方向が並行になるようにした後、押えを下げて、引き続きぬい進めます。




お知らせ

- 土台布の下に破り取れるタイプの芯を置いてぬうと、きれいに仕上がります。

シェルタックぬい

シェルタックぬいは、貝殻を並べたような模様のふち飾りになります。この模様は、ブラウスやワンピースの襟やそでなどのふち飾りに使います。

1  を選択します。

お知らせ

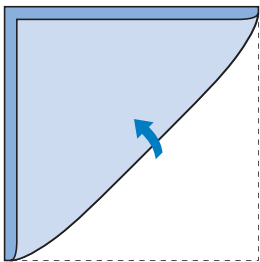
- 模様の詳細については、P. 208「ぬい方早見表」を参照してください。

2 シェルタックの山がきれいにできるように、糸調子を強めにします (P. 83)。

お知らせ

- 糸調子が弱すぎるとシェルタックの山ができません。

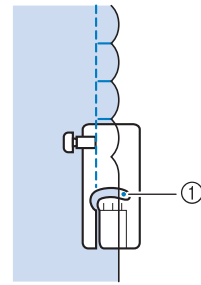
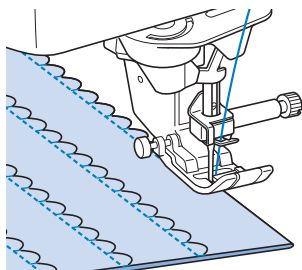
3 シェルタック模様の列を作るため、パイアスに2つ折りにします。



お知らせ

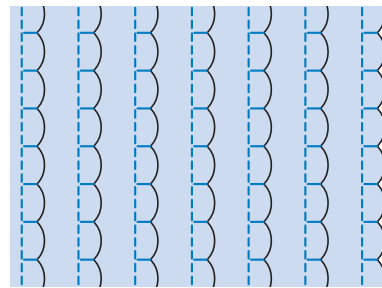
- 布地は薄地を使用してください。

4 ジグザグ押え<J>を取り付けます。針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



① 針落ち位置

5 布を広げアイロンで折り山を片側に倒します。



お知らせ


- 襟元にシェルタックを付ける場合は、模様の指示に従い、このシェルタックぬいを使ってふち飾りを付けてください。

スカラップぬい

この波型のサテンステッチはスカラップぬいと呼ばれます。ブラウスの襟やハンカチなどのふち飾りに使います。

お知らせ

- 薄地には、必要に応じて布用スプレーのりを付けてください。実際の縫製の前に、布地の試しぬいをしてください。

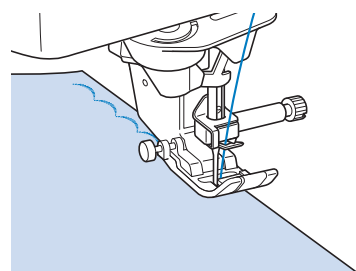
1  を選択します。

お知らせ

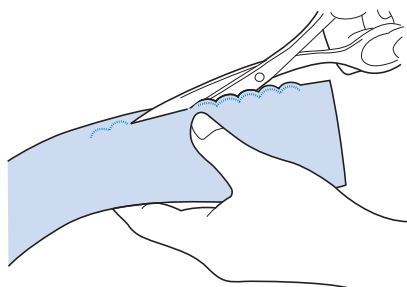
- 模様の詳細については、P. 208「ぬい方早見表」を参照してください。

2 模様ぬい押え<N>を取り付けます。スカラップぬいで布端をぬいます。

* 針が布端にかからないように注意してください。



- 3 糸を切らないように注意しながらぬい目によって布地を切ります。



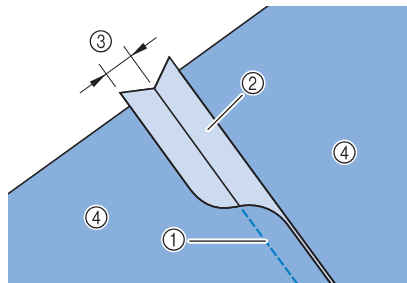
お知らせ

- スカラップの縁は、ほつれ止め液で仕上げてください。

つき合わせぬい

ぬいしろを上から押えて以下の模様をぬうと「クレージーキルト」と呼ばれる飾り模様にもなります。

- 1 直線ぬいを選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。
- 2 2枚の布地を中表にしてぬい合わせた後、ぬいしろを割ります。

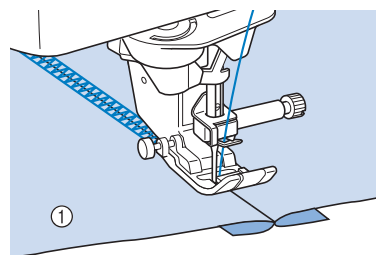


- ① 直線ぬい
- ② ぬいしろ
- ③ 6.5 mm
- ④ 裏

- 3 つき合わせぬいを選びます。



- 4 布地を表に返し、押えの中心とぬい目を合わせてぬいます。

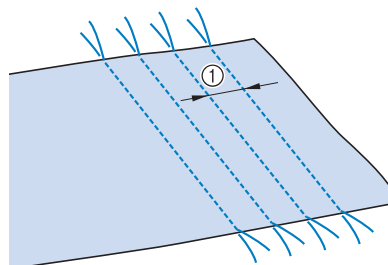


① 布地の表

スモッキングぬい

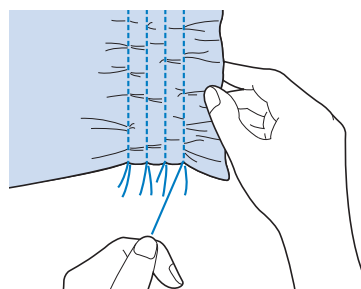
布地にギャザーを寄せて、飾りぬいをします。

- 1 直線ぬいを選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。
- 2 ぬい目の長さは4.0 mmに、上糸の糸調子は2.0(ゆるめ)に設定します。(P. 81「ぬい目の長さを調節する」およびP. 83「糸調子を調節する」)
- 3 下糸と上糸を50 mm引き出します。
- 4 約10 mmの間隔で数本ぬい、上糸と下糸を端から50 mm残して切ります。



① 約10 mm

- 5 下糸を引っ張ってギャザーを寄せ、アイロンでギャザーをととのえます。

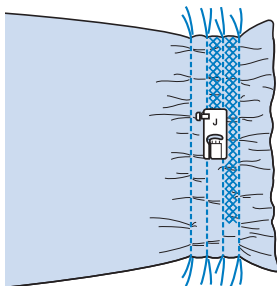


6  または  を選択します。

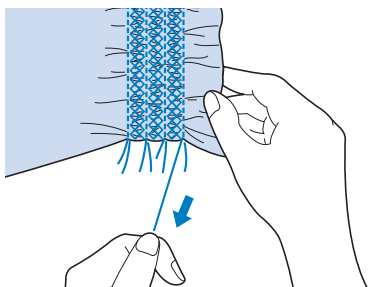
 **お知らせ**

- 模様の詳細については、P. 208 「ぬい方早見表」を参照してください。

7 直線ぬいのぬい目とぬい目の間をぬいます。



8 直線ぬいの糸を引き抜きます。

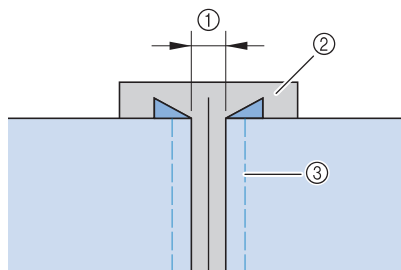


ファゴティングぬい

ファゴティングとは、布地と布地の間を離して糸でかかる手法です。ブラウスや子供服などに使います。

1 布地と布地の間隔を 4 mm あけて、薄い紙にしつけぬいします。

- * 薄い紙や水溶性シートを中心に線を引くと、ぬいやすくなります。



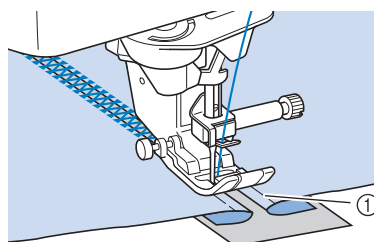
- ① 4 mm
- ② 紙
- ③ しつけぬい

2  または  を選択します。

 **お知らせ**

- 模様の詳細については、P. 208 「ぬい方早見表」を参照してください。

3 ジグザグ押え<J>を取り付けます。押えの中心とはぎ合わせた布の中心とを合わせてぬいます。



- ① しつけぬい

 **お知らせ**



- 太い糸を使用してください。

4 ぬい終わったら、ていねいに紙をはがします。

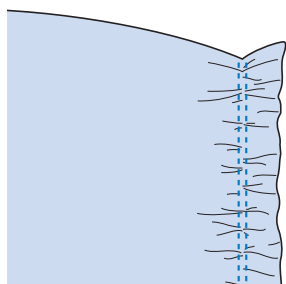
ゴムひもつけ

- 1 直線ぬいを選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。
- 2 ぬい目の長さは4.0 mmに、上糸の糸調子は2.0（ゆるめ）に設定します。（P. 81「ぬい目の長さを調節する」およびP. 83「糸調子を調節する」）

お知らせ

- 自動止めぬい  や自動糸切り  は設定しないでください。

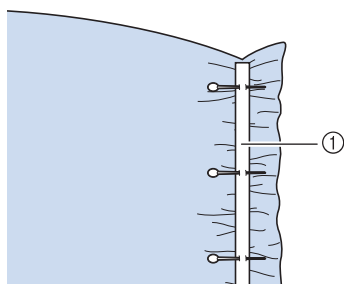
- 3 生地の上に直線ぬいを2本ぬい、下糸を引っ張ってギャザーを寄せます。



お知らせ

- 直線ぬいをかける前に、プーリーを手前（反時計回り）に回して下糸を引き出します。上糸と下糸を持ち、ミシンの後側にある程度引き出します。（必ず押えを上げた状態で行ってください。）

- 4 ギャザーの上にゴムひもをまち針で止めます。



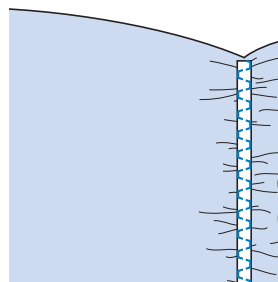
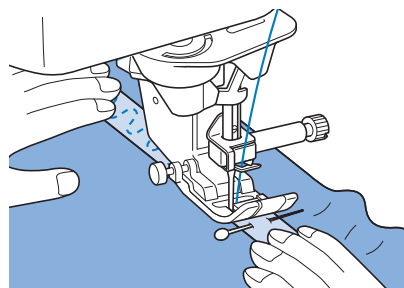
① ゴムひも

- 5  または  を選択します。

お知らせ

- 模様の詳細については、P. 208「ぬい方早見表」を参照してください。

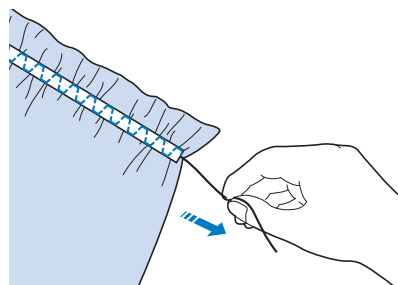
- 6 ゴムひもの上をぬいます。



注意

- ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。糸がからまったり針が折れたりして、けがをすることがあります。

- 7 直線ぬいの糸を引き抜きます。



ヘアールーム

■ デイジーステッチ

針穴を大きくあけてレース風の飾り模様をぬいます。
テーブルクロスや洋服のすそ飾り、洋服の前たての飾りなどに使います。

📖 お知らせ

- 布地は平織りの薄地から普通地で、少し張りのあるものを使ってください。

1 ウィングニードル (130/705H 100/16) を取り付けます。

- * この特殊な針はミシンに付属されていません。ご購入の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠️ 注意



- 自動糸通しスイッチは使用できません。手前から向こう側に、手で針穴に糸を通してください。自動糸通しスイッチを使用すると故障の原因となります。
- ウィングニードルを取り付け、振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前（反時計周り）に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。

2 模様を選び、ジグザグ押え< N >を取り付けます。

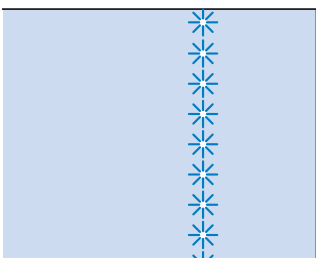
- * 「3-01」から「3-25」のいずれかの模様を選びます。

📖 お知らせ

- 模様の詳細については、P. 208「ぬい方早見表」を参照してください。

3 ぬい始めます。

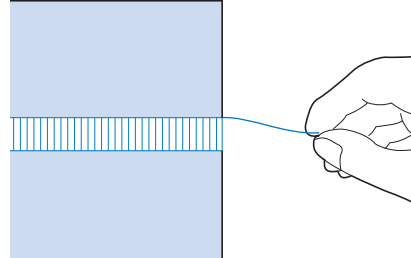
例：仕上がり図



■ ドロンワーク (1)

1 布地の織り糸を数本抜きとり、すき間をあけます。

- * 布地の織り糸を5、6本抜きとって、すき間を約3mmあけます。



📖 お知らせ

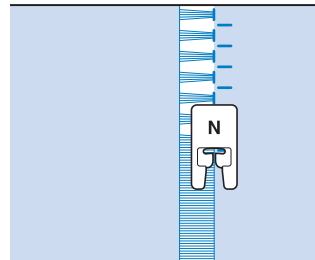
- 織のゆるい布を使うとききれいに仕上がります。

2 3-04 を選択します。

📖 お知らせ

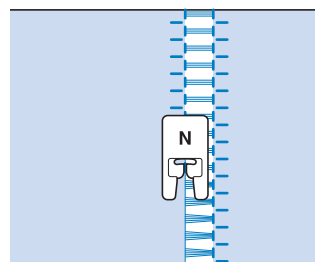
- 模様の詳細については、P. 208「ぬい方早見表」を参照してください。

3 模様ぬい押え< N >を取り付けます。表を上にして布を置き、織り糸を抜いた部分の右端をぬいます。



4 ⚠️ を押して、模様を左右に反転します。

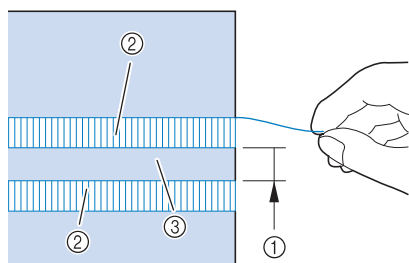
5 模様が左右対称になるように、織り糸を抜いた部分の左端をぬいます。




■ ドロンワーク (2)

1 間に布地を約 4 mm 残して織り糸を抜き取ります。

- * 4本の織り糸を抜き、5本分の織り糸を残し、さらに4本の織り糸を抜きとります。糸5本分の幅は、約4mmです。



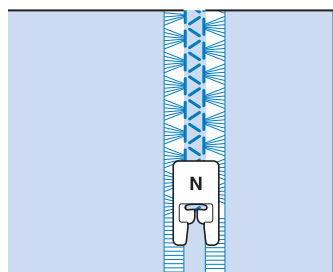
- ① 約 4 mm
- ② 4本抜く
- ③ 5本残す

2  を選択します。

お知らせ

- 模様の詳細については、P. 208 「ぬい方早見表」を参照してください。


3 残した糸5本分の布地の中央に飾り模様をぬいます。



お知らせ

- ドロンワーク (2) には、ウイングニードルも使用できます。

しつけぬい

1  を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

2 返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押し続けて止めぬいを4針ぬいます。その後、スタート/ストップスイッチを押し縫製を続けます。

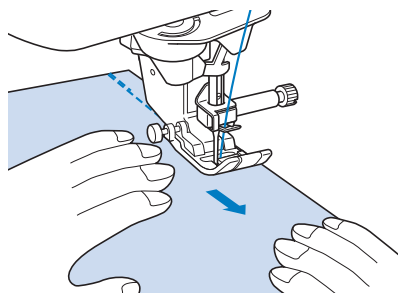
お知らせ

- しつけぬいでギャザーをぬうときはぬい始めに止めぬいをしないでください。押えを上げてプーリーを手前(反時計回り)に回し、下糸を引き出して、上糸とそろえて押えの下を通し、ミシンの後ろ側へ引き出しておいてください。
- ぬい目は、長さ5mmでぬわれます。



① 5 mm

3 布地をまっすぐに保ちながらぬいます。




4 ぬい終わりに止めぬいをします。

3

実用模様

■フリーモーションしつけ

送り歯を下げると、布地を自由に動かしながらしつけをぬうことができます。

1  を押します。



→ 押えがフリーモーションぬいに必要な高さまで上がり、送り歯が下がります。

2 返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押し続けて止めぬいを4針ぬいます。その後、スタート/ストップスイッチを押して縫製を続けます。

針を上げたときに布地を動かしながらぬいます。

📖 お知らせ

- マルチ機能フットコントローラー（別売）のサイドペダルが [Single Stitch (1 針ぬい)] に設定されている場合、サイドペダルを使用して1針ぬいのしつけぬいができます。マルチ機能フットコントローラーの設定の指定方法について詳細は、P. 32 「マルチ機能フットコントローラー（別売）を設定する」を参照してください。
- 止めぬいをしている間は、止めぬいスイッチの右側にある緑色のライトが点灯します。
- ぬいの速度の上限は最大 100 spm です。「spm」は1分間の縫製回数です。

3 ぬい終わりに止めぬいをします。

ボタン穴かがり

ボタンの穴に合わせた穴かがりができます。





⚠️ 注意



- ボタン穴かがり押え< A+ >の取り付けおよび取り外しの際、押えに過度の力を加えないでください。押えが破損する可能性があります。また、ボタン穴かがり押え< A+ >を取り付けたり取り外したりするときは、針に当たらないように注意してください。針が折れる可能性があります。

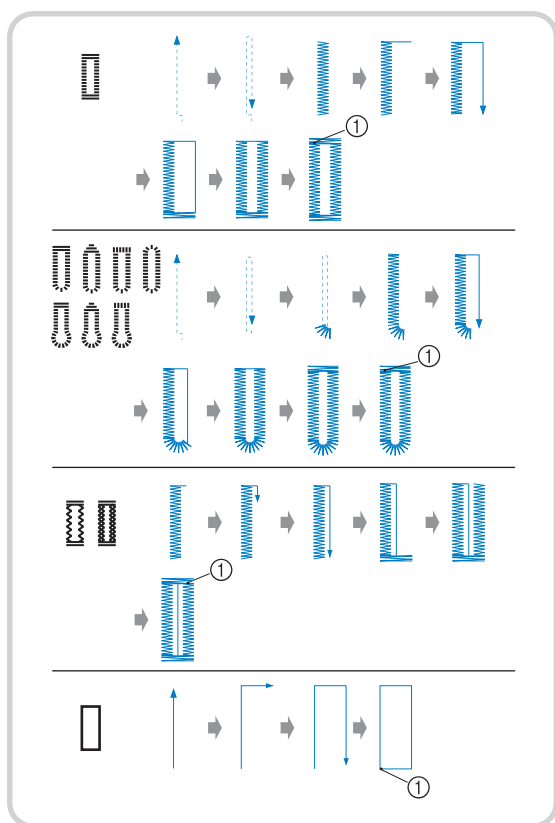
🔍 お願い

- 押えを取り付ける前に、ポビンに糸が十分あることを確認してください。
- 押えが取り付けられているとき、補助テーブルの付属品ケースは開けられません。最初に必要な物をすべて取り出してください。
- P. 68 「布地と糸の種類による針の使い分け」を参照して、作品で使用されているものと同じ布地に試しぬいをしてください。
- 内蔵カメラはボタン穴かがり押え< A+ >の位置を検出します。カメラに触れないでください。（P. 12 「各部の名称とはたらき」参照）
- ボタン穴かがり押え< A+ >から< A+ >のシールを剥がしたり、上糸などをシールの上のせたりしないでください。カメラが押えを検出できなかったり、ボタン穴がぬえなかったりすることがあります。

模様	名前	押え
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	

模様	名前	押え
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	

ボタン穴かがりは、図のように押えの手前から後ろに向かってぬいます。



① 止めぬい

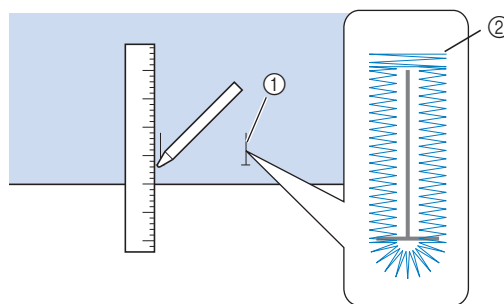
1 ボタン穴かがり模様を選び、ボタン穴かがり押え< A+ >を取り付けます。

ボタン穴かがり押え< A+ >を取り付ける前に、上糸は押えの穴から押えの下に通しておきます。

お知らせ

- 厚地を使用しているときなど、布地が送られない場合は、安定板を取り付けてぬいます (P. 138)。

2 布地にボタンの穴の位置と長さのしるしをつけます。

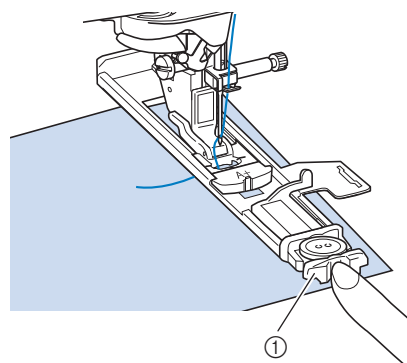


- ① 布地上のしるし
- ② できあがりのボタン穴かがり

お知らせ

- ボタン穴かがりの最大長は約 47 mm (ボタンの直径 + 厚さ) です。

3 押えの台皿を引き出し、ボタンをのせてはさみます。

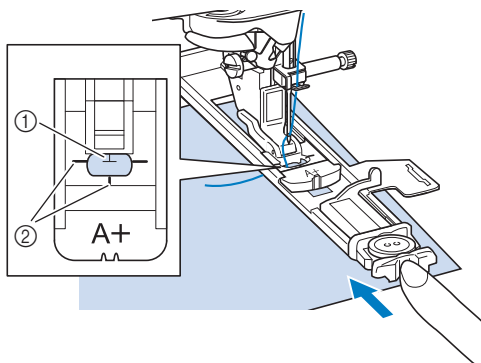


- ① 台皿

お知らせ

- 台皿に入れたボタンの大きさによって、ボタン穴かがりの大きさが異なります。

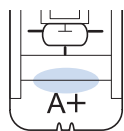
- 4 布地につけたしるしに押えを合わせ、押えを下げます。



- ① 布地のしるし
- ② 押えのしるし

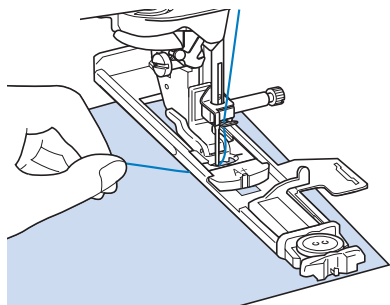
👉 **お願い**

- 下図のように、ボタン穴かがり押えの外枠を、< A+ >と書かれた部分の後ろにすきまがなくなるまで押し込んでください。すき間があると、ボタン穴かがりの寸法が不正確になります。



- 5 上糸の端を軽く引っ張ってぬい始めます。

- * 布を手でゆっくり送りながら、ボタン穴かがりをしてください。

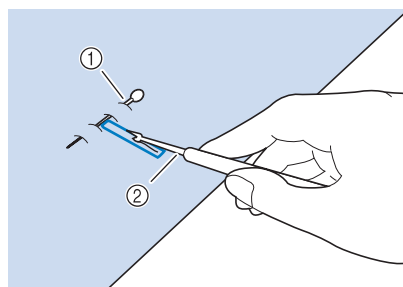


→ ぬい終わると、自動的に止めぬいをして止まります。

📖 **お知らせ**

- あらかじめ自動糸切りを設定しておく、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に上糸と下糸を切ります。布地が送られないとき（たとえば、布地が厚すぎるとき）は、ぬい目を粗くしてください。

- 6 かんどめの内側にまち針を刺し、リッパーでボタン穴の中央に切り込みを入れます。



- ① まち針
- ② リッパー

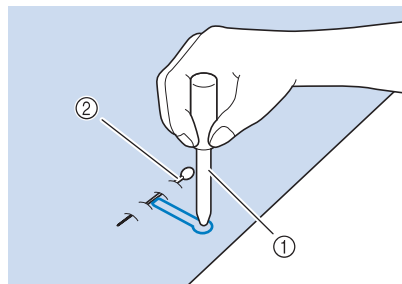
⚠️ 注意



- リッパーで切り込みを入れるとき、リッパーの通り道に手や指を置かないでください。リッパーがすべってけがをするおそれがあります。リッパーを本来の使用目的以外で使用しないでください。

📖 **お知らせ**

- はとめ穴の場合は、ボタンホール丸い終端部分にはとめ穴パンチで穴を開けてください。その後、かんどめの内側にまち針を刺し、はとめ穴パンチで開けた穴にリッパーを差し込み、まち針の方へ切っていきます。




- ① はとめ穴パンチ
- ② まち針

■ **伸びる布地をぬう**

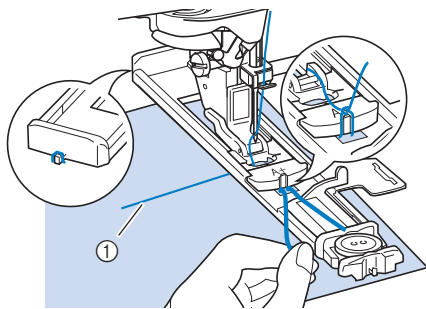
👉 **お願い**

- 布地の裏に接着芯を貼って、布地が伸びないようにしてください。

伸びる布地にボタン穴かがりをするときは、 ま

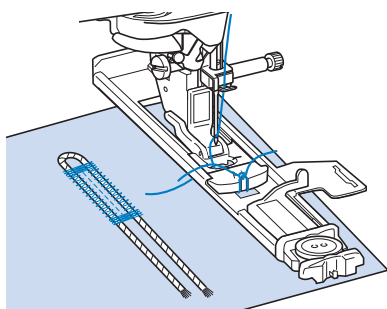
たは  を選び、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。

- 1 ボタン穴かがり押え< A+ >の後部のつのに芯ひもをひっかけます。芯ひもの端を、押えの前部のミゾにはさんで仮結びします。



① 上糸

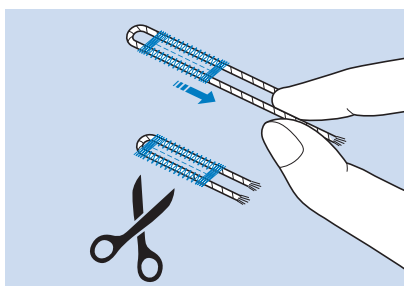
- 2 押えを下げてぬい始めます。



お知らせ

- 振り幅は芯ひもの幅に合わせて設定してください。

- 3 ぬい終わったら、芯ひもを軽く引いてぴんと張り、余分な部分を切り落とします。



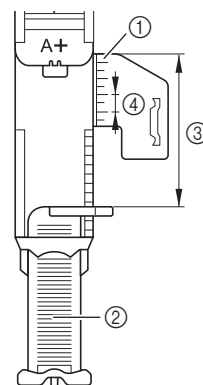
お知らせ

- 中央にぬわれている糸はリッパーで切り開いた後、切り取ってください。

■ 変わった形のボタンの場合 / ボタンが台皿にのらない場合

押えスケールの目盛りを使って、穴かがりの大きさを設定します。押えスケールは1目盛り5mmです。

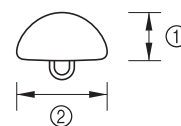
押えスケールの目盛りをボタンの直径+厚みの寸法に合わせてください。



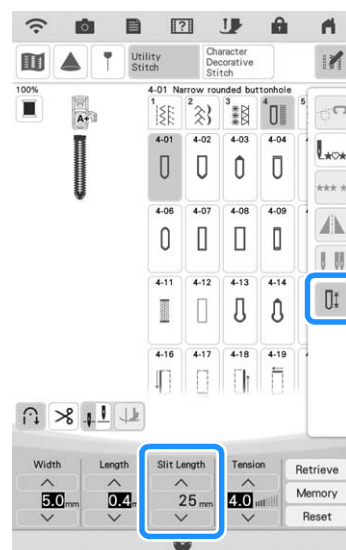
- ① 押えスケール
- ② 台皿
- ③ でき上がり寸法 (直径 + 厚み)
- ④ 5 mm

お知らせ

- 例) 直径 15 mm および厚さ 10 mm のボタンの場合、スケールを 25 mm に合わせるか、画面で 25 mm を指定します。

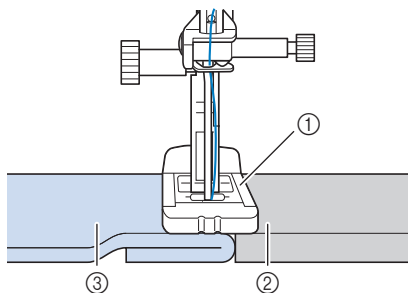


- ① 10 mm
- ② 15 mm



■ 厚い布地をぬう

布または紙を折りたたんだものを布地の横に置いて、ボタン穴かがり押えが水平になるようにすると、簡単に安定して布を送ることができます。



- ① 押え
- ② 厚紙
- ③ 布地

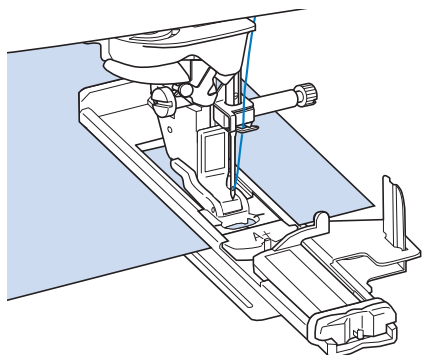
📄 お知らせ

- あらかじめ自動糸切りを設定しておく、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に上糸と下糸を切ります。布地が送られないとき（たとえば、布地が厚すぎるとき）は、ぬい目を粗くしてください。

■ 正しく布地が送られない場合

厚地や伸縮地をぬうときなど、正しく布地が送られない場合は、安定板を取り付け、安定板と押えの間で布地を送ります。

はじめに、安定板を押えに取り付けてから、押えを押えホルダーに取り付けてください。



4 ステップ ボタン穴かがり

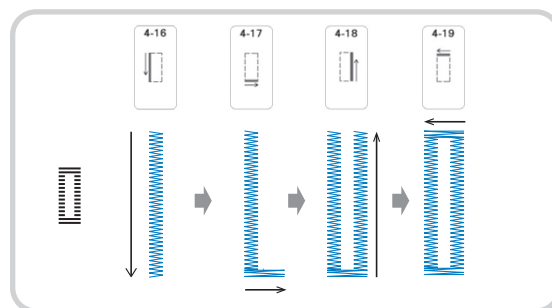
以下の4つの模様を合わせて使うと、4ステップ ボタン穴かがりをぬうことができます。4ステップ ボタン穴かがりを使うと、ボタン穴の長さを自由に決めて、ぬうことができます。サイズの大きいボタンをつける場合に適した手法です。

🔍 お願い

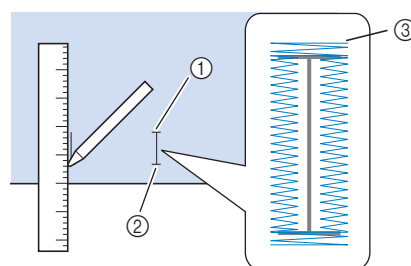
- 模様の変更するときは、すべての模様の設定が同様に変更されていることを確認してください。

模様	名前	押え
	4ステップ ボタン穴かがり 1	
	4ステップ ボタン穴かがり 2	
	4ステップ ボタン穴かがり 3	
	4ステップ ボタン穴かがり 4	


4ステップ ボタン穴かがりは、以下のようにぬいます。

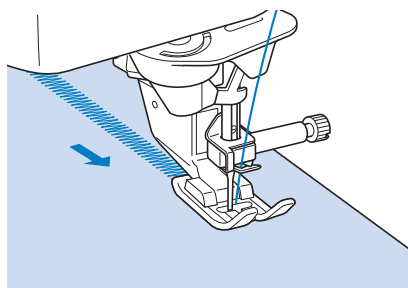




- 1 布地にボタンの穴の位置と長さのしるしをつけます。

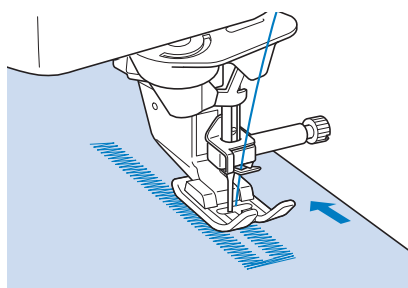




- ① ぬい始め位置
- ② ぬい終わり位置
- ③ できあがりのボタン穴かがり

- 2 模様ぬい押え< N >を取り付け、 を選択して、ボタン穴の左辺をぬいます。
- 3 スタート/ストップスイッチを押して、ぬい始めます。
- 4 できあがりの長さまでぬって、再びスタート/ストップスイッチを押します。







- 5 かんどめをぬうために  を選択して、スタート/ストップスイッチを押します。
→ かんどめをぬった後、ミシンは自動的に止まります。
- 6 ボタン穴の右辺をぬうために  を選択して、スタート/ストップスイッチを押します。



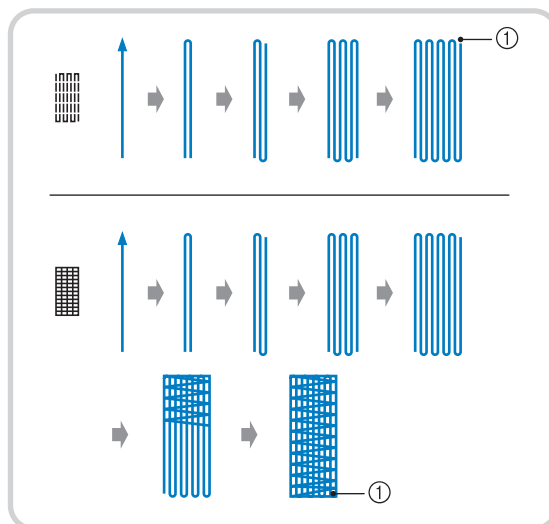
- 7 ボタン穴の右辺をぬって、再びスタート/ストップスイッチを押します。
* 右辺は、左辺と同じ長さだけぬってください。
- 8 かんどめをぬうために  を選択して、スタート/ストップスイッチを押します。
→ ミシンが自動的にかんどめをぬい、ぬい終わったら止まります。
- 9 押えを上げて、布地を取り除きます。
- 10 ボタン穴の開け方は、P. 136  を参照してください。

■ダーニング（つくろいぬい）

つくろいぬいなどに使います。

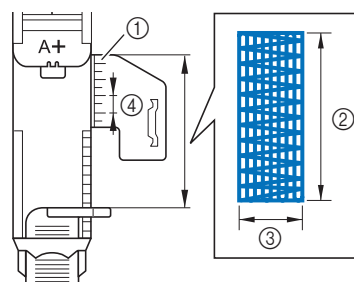
模様	名前	押え
	ダーニング	
	ダーニング	

ダーニングぬいは、下図のように押えの手前から後ろに向かってぬいます。



① 止めぬい

- 1 模様を選び、ボタン穴かがり押え< A+ >を取り付けます。
ボタン穴かがり押え< A+ >を取り付ける前に、上糸は押えの穴から押えの下に通しておきます。
- 2 押えスケールの目盛りを、つくろいぬいの長さに合わせます。

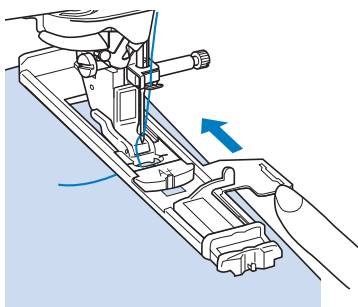


- ① 押えスケール
- ② できあがり寸法
- ③ 7 mm 幅
- ④ 5 mm

お知らせ

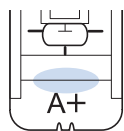
- 最大 50 mm のダーニングぬいができます。

- 3** つくろいぬいを始める位置に針が落ちることを確かめ、上糸を押えの下に送り、押えを下げます。

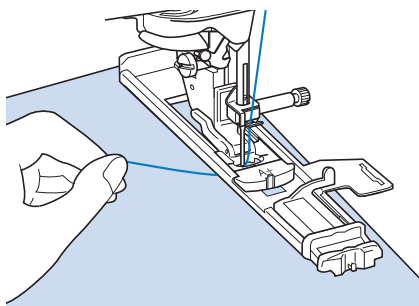


お願い

- 上糸は押えの下に入れてください。
- ボタン穴かがり押えの < A+ > のしるし部分の後ろ（下図の水色で示された部分）のすきまがなくなるまで、押えを押し込んでください。すき間があると、つくろいぬいの寸法が不正確になります。



- 4** 上糸の端を軽く引っ張って、スタート/ストップスイッチを押し、ぬい始めます。



→ ぬい終わると、自動的に止めぬいをして止まります。

お知らせ

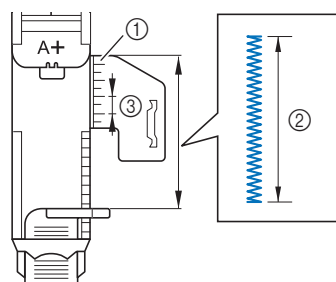
- あらかじめ自動糸切りを設定しておくと、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に上糸と下糸を切ります。布地が送られないとき（たとえば、布地が厚すぎるとき）は、ぬい目を粗くしてください。

かんどめ

かんどめは、ポケット口など、力のかかる部分を補強するときに使います。

模様	名前	押え
	かんどめ	

- 1** を選択します。
- 2** ボタン穴かがり押え < A+ > を取り付け、目盛りをかんどめの長さに合わせます。
ボタン穴かがり押え < A+ > を取り付ける前に、上糸は押えの穴から押えの下に通しておきます。

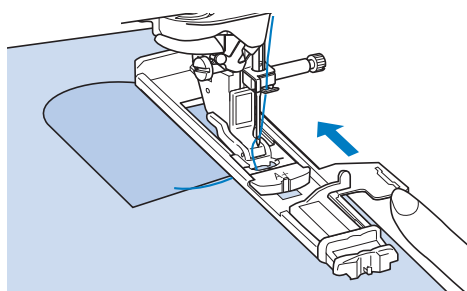


- ① 押えスケール
- ② できあがり寸法
- ③ 5 mm

お知らせ

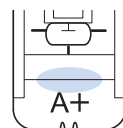
- かんどめの長さは、10 mm から 50 mm の範囲です。

- 3** ポケット口が手前にくるように布地を置きます。

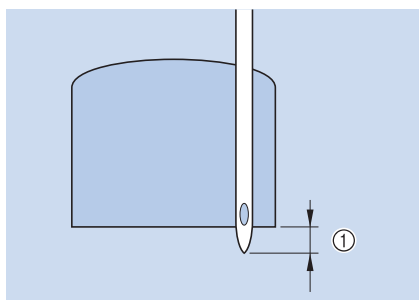


お願い

- 上糸は押えの下に入れてください。
- 下図のように、ボタン穴かがり押えの外枠を、< A+ > と書かれた部分の後ろにすきまがなくなるまで押し込んでください。完全に押し込まれていないと、かんどめの寸法が不正確になります。

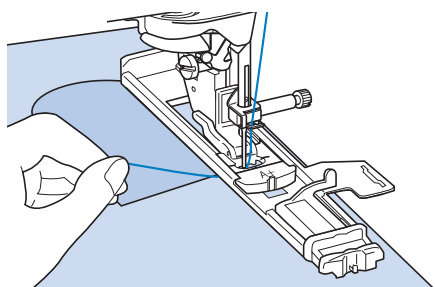


- 4 最初の針落ち位置を確認して押えを下げます。



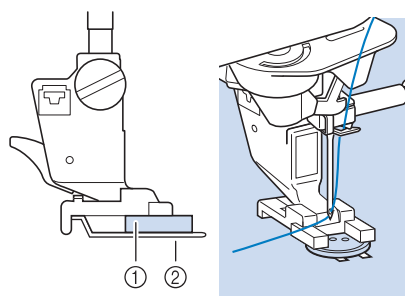
① 2 mm

- 5 上糸の端を軽く引っ張ってぬい始めます。



→ ぬい終わると、自動的に止めぬいをして止まります。

- 3 ボタン付け押え < M > を取り付け、ボタンを金属板に沿って押えにはさんで、押えを下げます。



- ① ボタン
② 金属板

- 4 プーリーを手前（反時計回り）に回し、針が正しく左右のボタン穴に入ることを確かめます。

- * 針が左側の穴に入らない場合は、模様の振り幅を調節してください。
- * ボタンつけの操作を2回繰り返すと、ボタンがしっかり付きます。

- 5 上糸の端を軽く持ってぬい始めます。

→ ぬい終わるとミシンは自動的に止まります。


ボタンつけ

このミシンでは、2つ穴または4つ穴のボタンつけができます。

模様	名前	押え
4-23	ボタンつけ	M

🔍 お願い

- ボタンつけをするときは自動糸切り機能を使用しないでください。糸の始末ができなくなります。

- 1  を選択します。

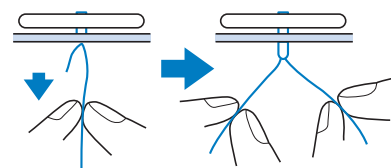
→ 自動的に送り歯が下がります。

- 2 押えを上げます。

⚠️ 注意

• ぬうときには、ボタンに針が当たらないように注意してください。針が折れるとけがをすることがあります。

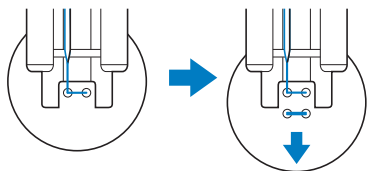
- 6 裏から下糸の端を引っ張って上糸を引き出します。2本の糸の端を結び、余分な糸を切ります。



- 7 ボタンつけが終わった後は、他の模様を選んで、プーリーを手前（反時計回り）に回して送り歯を上げます。

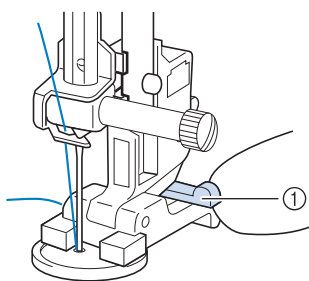
■ 4つ穴ボタンをつけるときは

手前の2つの穴からボタンつけをします。ぬい終わったら押えを上げ、針が次の2つ穴に入るように布を移動し、同様にぬいます。



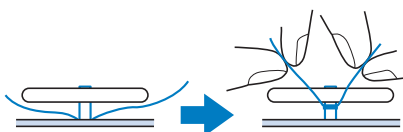
■ ボタン足をつけるときは

- 1 ぬう前に、足レバーを手前に押しします。



① 足レバー

- 2 ボタンをつけたら、上糸を長めに切り、上糸の両端をボタンと布の間に引き出し、上糸を糸足に巻きつけてしっかり結びます。



- 3 ぬい始めとぬい終わりの下糸の両端を布地の裏側で結びます。

🔍 お願ひ

- ぬい終わった後は、他の模様を選んで、プーリーを手前（反時計回り）に回して送り歯を上げます。

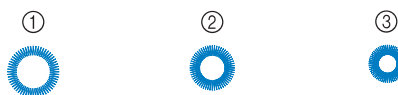
- 4 余分な糸を切ります。

アイレット

ベルトの穴かがりなどに使います。

模様	名前	押え
4-24	アイレット	
4-25	アイレット	

- 1 または を選択します。
- 2 [Width (振り幅)] または [Length (ぬい目の長さ)] の を使って、アイレットの大きさを選びます。

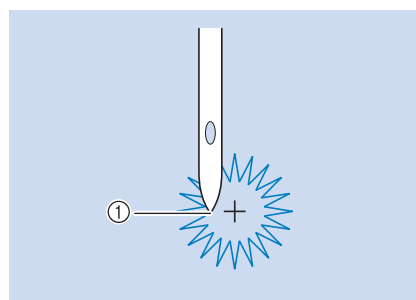


- ① 大 7 mm
- ② 中 6 mm
- ③ 小 5 mm

🔍 お願ひ

- では、1 サイズのみ使用できます。

- 3 模様ぬい押え < N > を取り付け、プーリーを手前（反時計回り）に回して針が落ちる位置を確認します。



① 針落ち位置

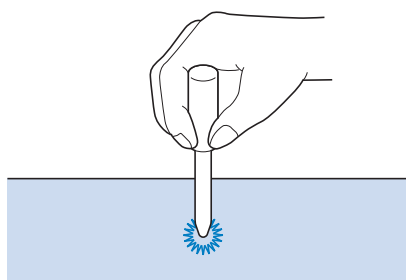
- 4 押えを下げてぬい始めます。

→ ぬい終わると、自動的に止めぬいをして止まります。

🔍 お願ひ

- きれいに仕上がらない場合は、P. 153 「文字・模様をぬってみましょう」を参照して調節を行ってください。

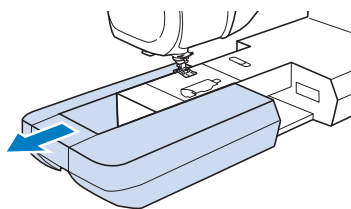
- 5 はとめ穴パンチでぬい模様の中央に穴をあけます。



横送り（直線・ジグザグ）

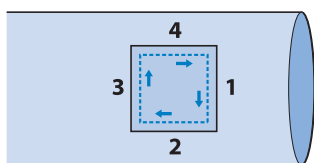
袖やズボンなどの筒状の布地にワッペンなどをつける場合などに使います。


- 1 補助テーブルを取り外し、ミシンをフリーアームにします。



お知らせ

- 筒状の布地をフリーアームに通し、図の順番でぬいます。

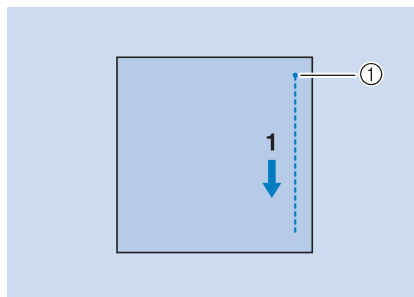


- 2  を選び、模様ぬい押え< N >を取り付けます。


お知らせ

- 模様の詳細については、P. 208「ぬい方早見表」を参照してください。

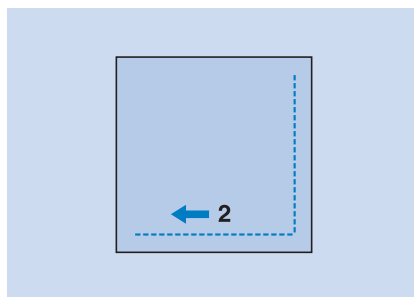
- 3 ぬい始めの位置に針を刺し、図のようにぬい目「1」をぬいます。




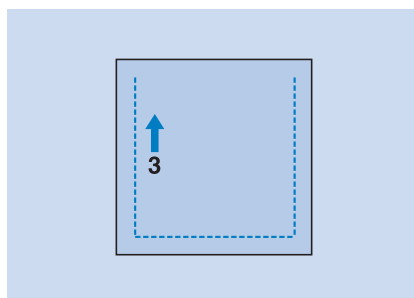
① ぬい始め位置

- 4  を選び、図のようにぬい目「2」をぬいます。


- * 布地が曲がらないように、布地を手で軽く押えながらぬってください。

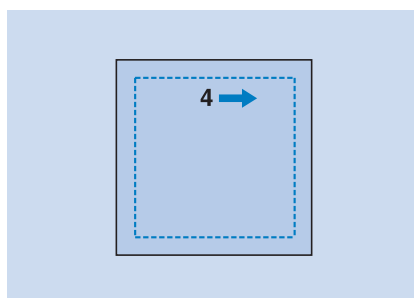


- 5  を選び、図のようにぬい目「3」をぬいます。



→ 布地は手前に送られます。

- 6  を選び、図のようにぬい目「4」をぬいます。




→ ぬい目「1」のぬい始めの位置までぬい進みます。

ファスナーつけ

■ つき合わせ

袋物などに使います。

1  を選択します。

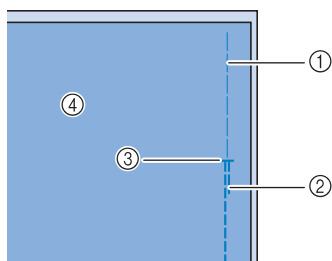
📖 お知らせ

- 模様の詳細については、P. 208 「ぬい方早見表」を参照してください。

👁️ お願い

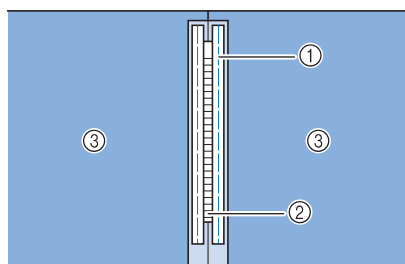
- 必ず直線（中基線）を選んでください。

2 ジグザグ押え<J>を取り付け、あき止まりまで直線でぬいます。あきの部分はしつけぬい（P. 133）をかけます。



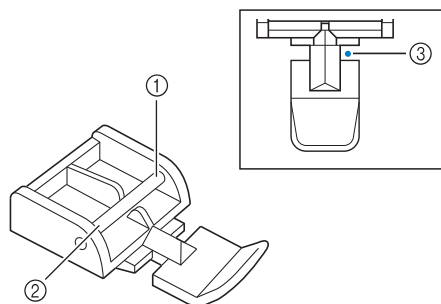
- ① しつけぬい
- ② 返しぬい
- ③ あき止まり
- ④ 裏

3 ぬいしろを割り、ファスナーの中央とぬい目を合わせ、しつけぬいでファスナーを付けます。



- ① しつけぬい
- ② ファスナー
- ③ 裏

4 ジグザグ押え<J>を外します。片押え<I>の右側のピンを押えホルダーに合わせて取り付けます。

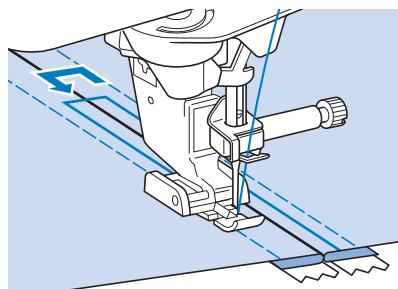


- ① 右側
- ② 左側
- ③ 針落ち位置

⚠️ 注意

- 片押え<I>を使用するときは、必ず直線（中基線）を使用してください。プリーを手前（反時計周り）に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を選ぶと、針が押えに当たり、折れてけがをするおそれがあります。

5 表を上にして7～10 mmのぬいしろでぬい、ぬい終わったらしつけぬいを外します。




⚠️ 注意

- ぬうときには、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れて、けがをするおそれがあります。

■ 脇あき

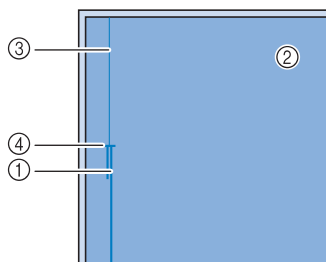
スカートやワンピースの脇あきに使います。

1  を選択します。

👁️ お願い

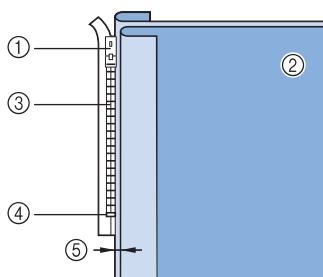
- 必ず直線（中基線）を選んでください。

- 2 ジグザグ押え<J>を取り付け、あき止まりまで直線でぬいます。あきの部分はしつけぬいをします。



- ① 返しぬい
- ② 布地の裏
- ③ しつけぬい
- ④ あき止まり

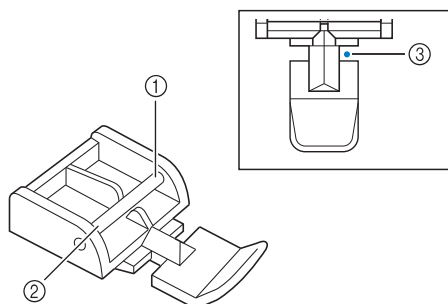
- 3 ぬいしろを割り、後ろスカート（後ろ身頃）のぬいしろを 3 mm 出して折り山をファスナーのムシのきわに合わせます。



- ① スライダー
- ② 布地の裏
- ③ ムシ
- ④ あき止まり
- ⑤ 3 mm

- 4 ジグザグ押え<J>を外します。

- 5 片押え<I>の右側のピンを押えホルダーに合わせて取り付けます。



- ① 右側
- ② 左側
- ③ 針落ち位置

注意

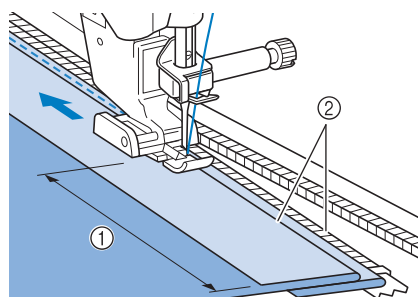


- 片押え<I>を使用するときは、必ず直線（中基線）を使用してください。プリーを手前（反時計周り）に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を選ぶと、針が押えに当たり、折れてけがをするおそれがあります。

- 6 3 mm の幅の中心をあき止まりからぬいます。

- 7 ファスナーの先端から約 50 mm のところで一旦ミシンを止めます。

- 8 スライダーを下げ、端までぬいます。



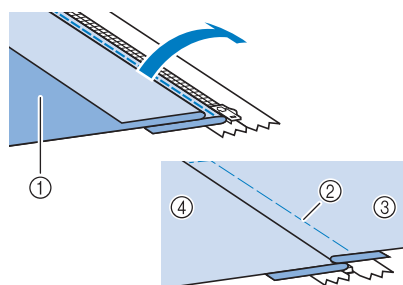
- ① 50 mm
- ② 3 mm

注意



- ぬうときには、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れて、けがをするおそれがあります。

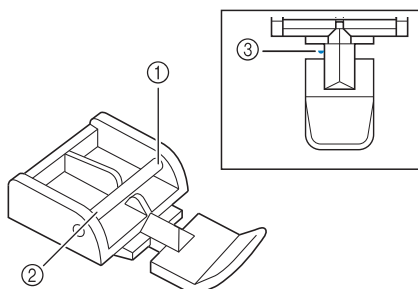
- 9 ファスナーを閉じて表に返し、しつけぬいをします。



- ① スカートの前身頃（裏）
- ② しつけぬい
- ③ スカートの前身頃（表）
- ④ スカートの後身頃（表）

10 押えを外し、押えの左側のピンを押えホルダーに合わせて付け替えます。

* ファスナーの左側をぬうときには、針の位置は押えの右側に落ちるようにします。ファスナーの右側をぬうときには、針の位置は押えの左側に落ちるようにします。



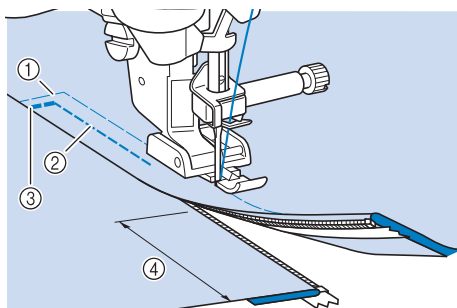
- ① 右側
- ② 左側
- ③ 針落ち位置

11 押えの左端に、ファスナーのムシがくるように布を置きます。

12 ファスナーの端まで返しぬいをし、ぬい続けます。

13 布端から約50 mm手前で針を落としたまましつけぬいを外します。

14 スライダを下げ、端までぬいます。



- ① しつけぬい
- ② 7 mm ~ 10 mm
- ③ 返しぬい
- ④ 50 mm



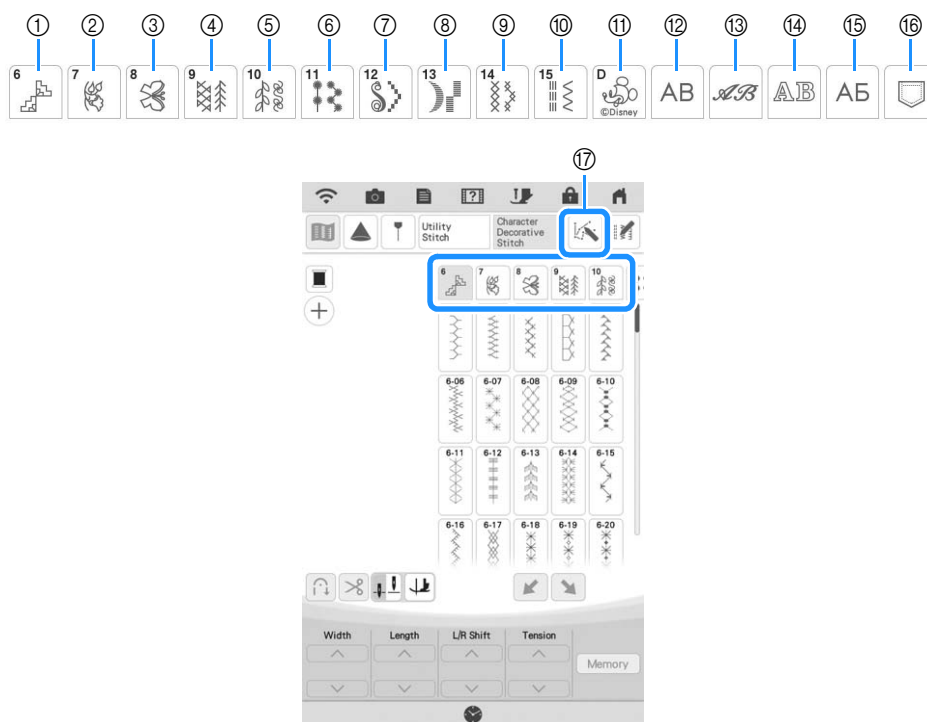
第4章

文字・模様ぬい

模様を選び方



を押してから、Character Decorative Stitch を押すと下の画面が表示されます。



- ① 大型飾り
- ② 大型植物
- ③ 大型モチーフとメッセージ
- ④ 小型飾り
- ⑤ 小型植物
- ⑥ キャンドルウィック
- ⑦ 大型サテンステッチ
- ⑧ 7mm サテンステッチ
- ⑨ クロスステッチ
- ⑩ 実用飾り
- ⑪ ディズニー
- ⑫ アルファベット書体（ゴシック体）
- ⑬ アルファベット書体（筆記体）
- ⑭ アルファベット書体（アウトライン文字）
- ⑮ キリル文字
- ⑯ ポケット
- ⑰ マイイラスト機能を使って模様を作るときに、このキーを押します。（P. 176 参照）

🔔 お願い

- 画面がロックされている（🔒）ときは、🔒を押してロックを解除してください。画面がロックされていると、他のキーは操作できません。

■ 模様選択画面

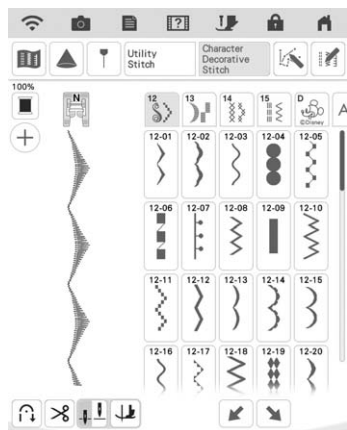
このマシンには、15種類の文字・模様ぬいがあります。

<p>大型飾り</p>	<p>大型植物</p>	<p>大型モチーフとメッセージ</p>	<p>小型飾り</p>
<p>小型植物</p>	<p>キャンドルウィック</p>	<p>大型サテンステッチ</p>	<p>7mm サテンステッチ</p>
<p>クロスステッチ</p>	<p>実用飾り</p>	<p>ディズニー</p>	<p>アルファベット書体 (ゴシック体)</p>
<p>アルファベット書体 (筆記体)</p>	<p>アルファベット書体 (アウトライン文字)</p>	<p>キリル文字</p>	



飾り模様を選択する

- 1 ぬいたい模様の種類を選びます。
- 2 ぬいたい模様のキーを押します。

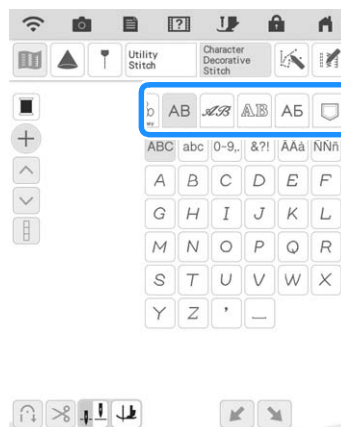


→ 選んだ模様が表示されます。

文字模様を選択する

例として「Blue Sky」を下の文字種から入力します。

- 1 AB、*AB*、**AB**、または **AБ** を押して、書体を選びます。

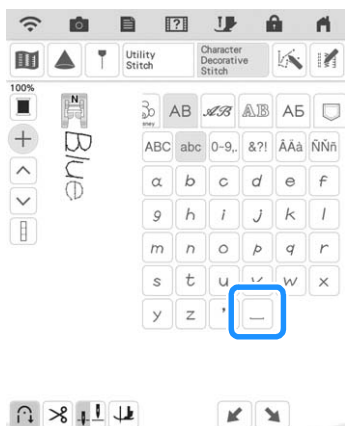


- 2 インデックスから、文字選択画面を選びます。



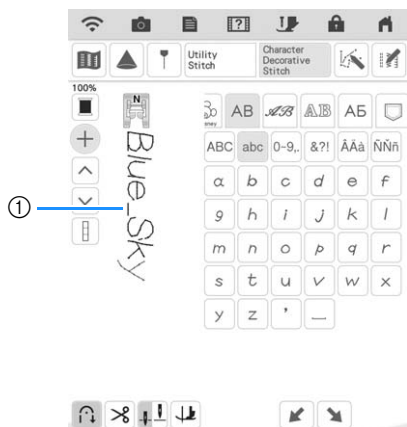
- 3 **ABC** を押してから、「B」を入力します。
- 4 **abc** を押してから、「lue」を入力します。

- 5 [] (スペース) を押して、スペースを入力します。



- 6 もう一度を [ABC] 押してから、「S」を入力します。

- 7 [abc] を押してから、「ky」を入力します。

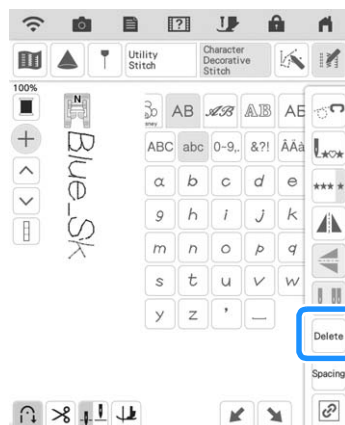


① 渡り糸

- * めい終わってから、渡り糸を切ってください。
- * 別のフォントで文字の入力を続けるときは、他のフォントを選択し、手順 ① からの手順を繰り返します。

■ 文字を削除するには

- 1 [] を押してから、[Delete] を押して最後の文字を削除します。



- 2 正しい文字を選びます。

■ 文字を追加する

- 1 [+] を押して、画面に [+] を表示します。

- 2 お好みの位置に文字を追加するために、[^] または [v] を押して、文字を選択します。

- 3 追加する文字を選択します。
→ 選択した文字の後ろに、文字が追加されます。

■ 文字間を調整する

文字の間隔を調整できます。



- 1 [] を押して、[Spacing] を押します。



→ 文字間調整画面が表示されます。

2   を押して文字間を調整してください。



*  を押すと文字間が広がり、 を押すと文字間が詰まります。

お知らせ

- 購入時の設定は「0」です。「0」以下の数値は設定できません。
- この方法で設定した文字間は、入力した文字すべてに適用されます。設定後に入力した文字も、引き続き同じ文字間になります。

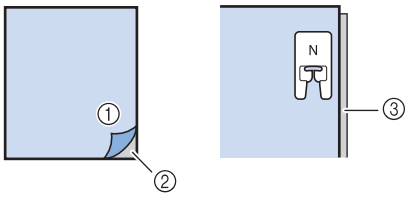
文字・模様をぬってみましょう

きれいにぬうために

きれいに文字模様をぬうために、布地・糸・針は以下の表を参照してください。

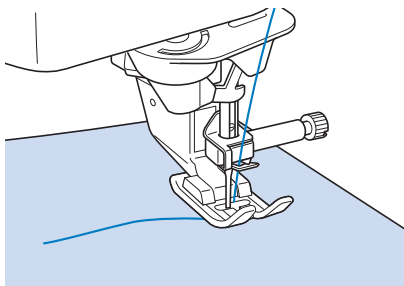
お願い

- 布地の種類や厚さ、接着芯の種類などによって、模様がくずれることがあります。必ず試しぬいをしてください。
- サテンステッチをぬうときは、ぬい縮みや目詰まりが起こすことがあるため、必ず接着芯を貼ってください。
- 布地がまっすぐ送られるように布を軽く押えながらぬってください。

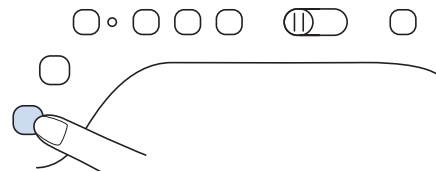
布地	伸びる布地、薄地、織りのあらい布地は、裏面に別売の接着芯を貼ってください。接着芯を貼りたくないときは、ハترون紙などの薄い紙を布地の下に敷いてぬってください。  ① 布地 ② 接着芯 ③ 薄い紙
糸	50～60番
針	薄地、普通地：家庭用ミシン針（HA×1）11番 厚地：家庭用ミシン針（HA×1）14番
押え	模様ぬい押え< N > 模様ぬい押え< N >以外を使用すると、きれいに仕上がらないことがあります。

文字・模様のぬい方

- 1 模様を選択します。
- 2 模様ぬい押え< N >を取り付けます。
- 3 布地を押えの下に置き、上糸を押えの下から横に出して押えを下げます。



- 4 スタート/ストップスイッチを押して、ぬい始めます。



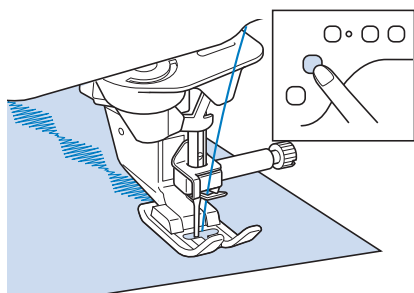
注意

- 7mm サテンステッチを使った模様などでぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。（P. 81「ぬい目の長さを調節する」）

お知らせ

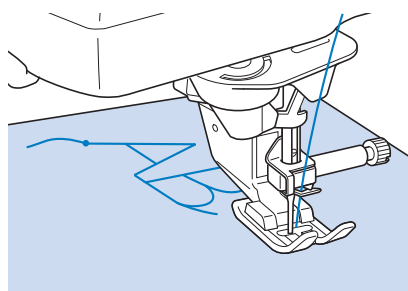
- 縫製中に布地を引っ張ったり押えたりすると、模様がくずれるおそれがあります。また、模様によっては前後に加え、左右にも動くことがあります。布地がまっすぐ送られるように布を軽く押えながらぬってください。

- 5 スタート/ストップスイッチを押して、ミシンを止めます。
- 6 返しぬいスイッチか止めぬいスイッチを押したままで、止めぬいを4針行います。

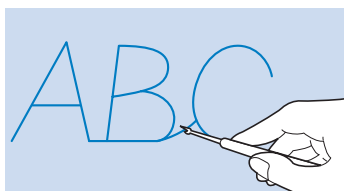


お知らせ

- 文字ぬいの場合は、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬいをします。




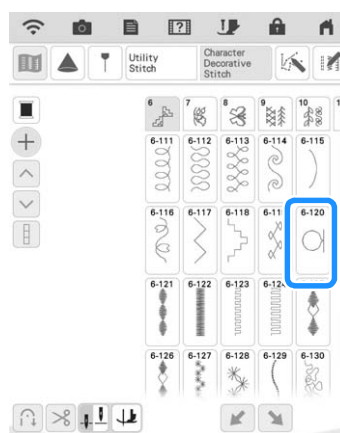
- ぬいが完了したら、リッパーを使用して余分な糸（渡り糸）を切り取ります。



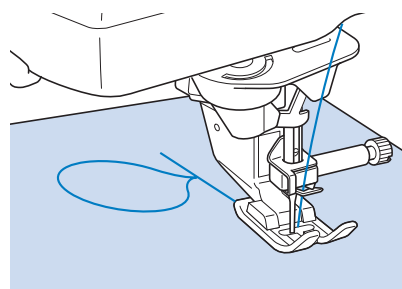
模様を調整する

布地の種類、厚さ、接着芯の種類、ぬう速さなどによっては、模様がくずれる場合があります。模様がくずれた場合は、実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをし、次のように調整してください。○⁶⁻¹²⁰ で模様を調整を行っても、模様がくずれる場合は、個々の模様で調整を行ってください。

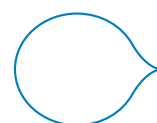
- 1  を押して、○⁶⁻¹²⁰ を選びます。




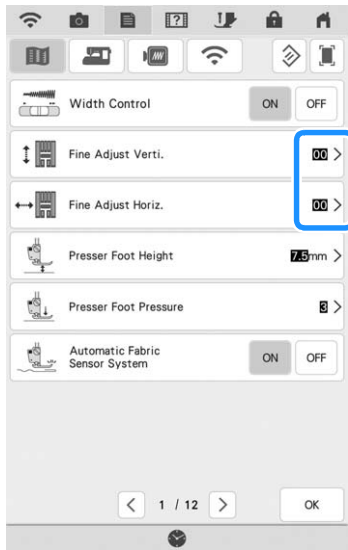
- 2 模様ぬい押え< N >を取り付け、模様をぬいます。



- 3 ぬい上がりを次の正しい模様と比較してください。



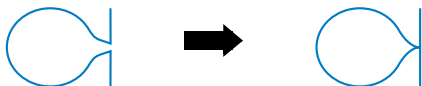
- 4  を押し、[Fine Adjust Verti. (模様調整たて)] または [Fine Adjust Horiz. (模様調整よこ)] を使って模様を調整します。



- * 模様がつまっているとき：
タッチして、[Fine Adjust Verti. (模様調整たて)]
画面の数字を大きくします。
→ 数値を大きくすると、模様が伸びます。



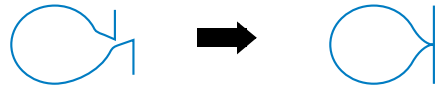
- * 模様にすきまがあるとき：
タッチして、[Fine Adjust Verti. (模様調整たて)]
画面の数字を小さくします。
→ 数値を小さくすると、模様がつまります。



- * 模様が左にずれているとき：
タッチして、[Fine Adjust Horiz. (模様調整よこ)]
画面の数字を大きくします。
→ 数値を大きくすると、模様が右にずれます。



- * 模様が右にずれているとき：
タッチして、[Fine Adjust Horiz. (模様調整よこ)]
画面の数字を小さくします。
→ 数値を小さくすると、模様が左にずれます。




- 5 もう一度ぬいます。

- * 模様がくずれている場合はもう一度調整します。
正しい模様がぬえるようになるまで調整してください。

お知らせ

- 設定画面のままぬうことができます。

- 6  を押し、元の画面に戻ります。

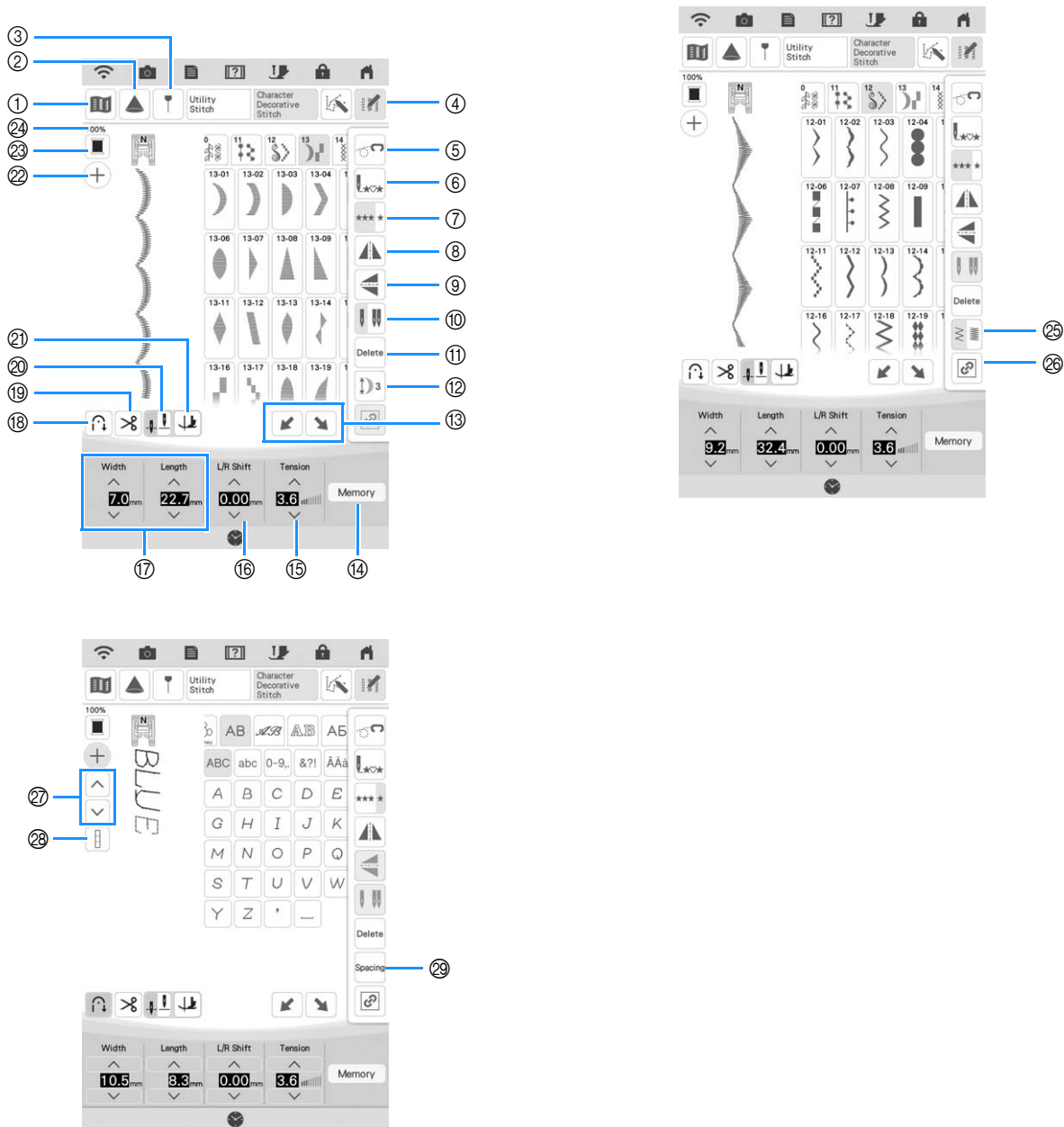
模様編集のしかた

■ キーのはたらき










模様編集機能を使って、作品を思うように仕上げましょう。模様の変更や反転などができます。

🔔 お願い



- 模様の種類によっては、編集機能が使えないものもあります。使用できる機能は、模様を選んだときに表示されます。



番号	表示	キーの名称	はたらき	参照ページ
①		イメージキー	選択した模様を拡大して表示します。	161
②		プロジェクターキー	プロジェクター機能を使うときに押します。	92
③		ガイドラインマーカーキー	ぬい目を示すガイドラインマーカーを表示または設定するときに押します。ガイドラインマーカーを使用すると、布端のキルトピーシングや位置合わせが簡単になります。	93
④		模様編集キー	画面に編集機能キーを表示するときに押します。	97
⑤		フリーモーションモードキー	フリーモーションモードにするときに押します。送り歯が下がり、押えがフリーモーションキルトに適した高さまで上がります。	119
⑥		模様の頭出しキー	停止時に押すと、縫製中の模様を先頭に戻すことができます。	160
⑦		連続/単独ぬいキー	単独ぬいと連続ぬいの切り替えをします。	159
⑧		左右反転キー	模様を選んでから押すと、模様が左右に反転します	159
⑨		上下反転キー	模様を選んでから押すと、模様が上下に反転します。	159
⑩		針モード選択キー (1本針/2本針)	2本針モードを選択するときに押します。押すごとに、1本針と2本針の設定が切り替わります。キーが灰色で表示されているときは、選択した模様を2本針モードでぬうことはできません。	61
⑪		削除キー	模様をまちがえて選んだときに押すと、選んだ模様を取り消します。模様の組み合わせをまちがえたときも、このキーを使って模様を取り消します。	151
⑫		模様の長さキー	7mm サテンステッチの模様を選んでから押すと、振り幅・ぬい目の長さを変えずに、模様の長さを5段階から選ぶことができます。	159
⑬		ステップキー	ステップ模様を作成するときに押します。	165
⑭		記憶キー	組み合わせた模様を記憶することができます。	169
⑮		糸調子キー	選択した模様の糸調子を示します。 と で糸調子の設定を変更できます。	83
⑯		L/R シフトキー	を押すとぬい模様が右へずれ、 を押すと左へずれます。選択している模様によっては、この機能が使用できません。この機能が使用できる模様のみ、位置の調整ができます。標準値は、反転表示されます。	82
⑰		ぬい目調節キー	選択した模様の振り幅とぬい模様の長さを示します。標準値は、反転表示されます。	81
⑱		自動止めぬいキー	自動止めぬい(返しぬい)設定にするときに押します。ぬう前にこの設定にしておく、ぬい始めとぬい終わりにミシンが自動的に止めぬい(模様によっては返しぬい)をします。	77
⑲		自動糸切りキー	自動糸切り機能を設定するときに押します。自動糸切り機能を設定すると、模様のぬい始めとぬい終わりにミシンが自動的に止めぬい(模様によっては返しぬい)をし、ぬい終わりに糸を切ります。	84
⑳		針位置設定キー	針の停止位置(上/下)を選択します。1本針と2本針のどちらが設定されているかを確認することもできます。 1本針/針位置下 1本針/針位置上 2本針/針位置下 2本針/針位置上	61、85
㉑	 	ピボットキー/自動上げキー	ピボットキーは針位置設定キーが になっているときに表示されます。ピボット設定にするときに押します。ピボット設定にしている間は、ミシンを停止したとき、針が下がり、押えは少し上がった状態になります。さらに、再度ぬい始めると、自動で押えが下がります。 自動上げキーは針位置設定キーが になっているときに表示されます。このキーを押すと、ミシンを停止したときに、押えが上がります。	85




番号	表示	キーの名称	はたらき	参照ページ
22		模様追加キー	このキーを押すと、模様を新たに追加できます。	151
23		糸色変更キー	このキーを押すと、画面の糸色が変わります。	161
24	100% 	模様表示サイズ	<p>選択中の模様をおおよそのサイズで表示します。</p> <p>100% : 実際とほぼ同じサイズで表示します。</p> <p>50% : 実際の 1/2 のサイズで表示します。</p> <p>25% : 実際の 1/4 のサイズで表示します。</p> <p>* 実際にぬったときの模様の大きさは、使用する布地や糸の種類によって異なることがあります。</p>	-
25		糸密度キー	模様を選んでから押すと、模様の糸密度が変わります。	160
26		縦横比維持キー	ぬい模様を拡大または縮小するとき縦横比を維持します。	159
27	 	模様選択キー	選択した模様の直後に模様を入力または編集します。	151
28		全選択オン/オフキー	最後に入力した模様のみを選択するか、組み合わせたすべての模様を選択するかを切り替えます。	159
29		文字間隔キー	文字模様の文字間隔を調整できます。	151

模様の大きさを変える

模様を選んでから  または  を押し、模様の大きさを変えます。

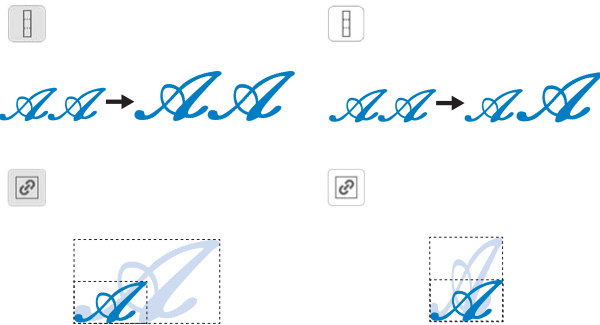


お知らせ


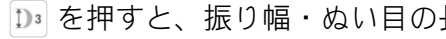
- 全選択オン/オフキーを  にしたときは、すべての模様のサイズを変更できます。
-  を押して、縦横比維持キーを  にしたときは、縦横比を維持しながらぬい模様のサイズを変更できます。

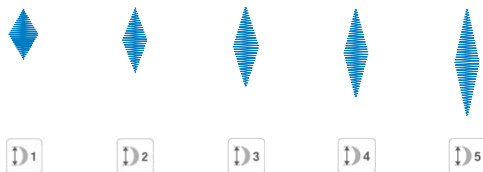
模様サイズ

* 模様の大きさは、使用する布地や糸の種類によって異なります。





模様の長さを変える (7 mm サテンステッチのみ)

7 mm サテンステッチの模様を選んでから、 を押し、 を押すと、振り幅・ぬい目の長さを変えずに、模様の長さを 5 段階から選ぶことができます。





模様を上下反転させる

上下反転した模様を作るときは、模様を選んでから  を押し、 を押します。





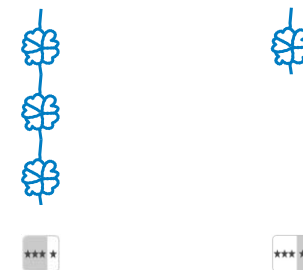
模様を左右反転させる

左右反転した模様を作るときは、模様を選んでから  を押し、 を押します。




模様の連続ぬい / 単独ぬい



 を押してから  を押して、連続ぬい / 単独ぬいを切り替えます。

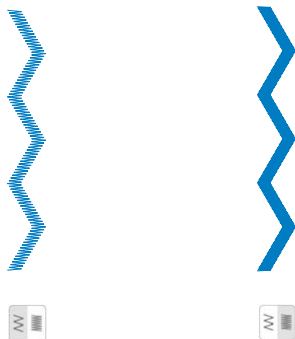


お知らせ



- 縫製中に  を押すと、そのときぬっていた模様を 1 サイクル分ぬって自動的に止まります。

模様の糸密度を変える（大型サテンステッチのみ）


模様を選んでから  を押して  を押すと、お好みの糸密度を選択することができます。



⚠ 注意



- 糸密度を  に変えた後、ぬい目がつまる場合は、糸密度を  に戻してください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

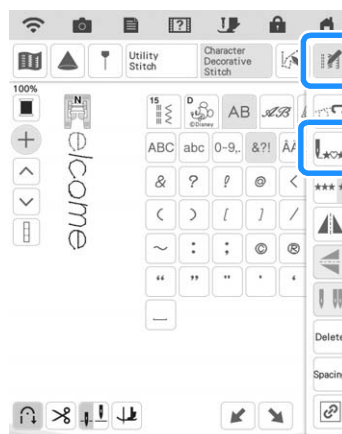
📖 お知らせ

- 全選択オン/オフキーを  にしたときは、すべての模様の糸密度を変更できます。

模様の始めに戻る



文字・飾り模様の場合、試しぬいの後、または模様が正しくぬわれていないときには模様の始めに戻ることができます。

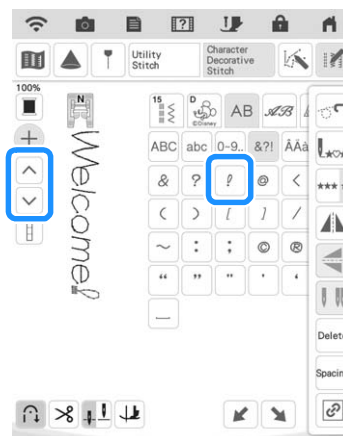
- スタート/ストップスイッチを押して、ミシンを止めてから、 を押して、 を押します。



→ ミシンを止めた位置から、選択された模様のぬい始めの位置（上の例では、「W」）に戻ります。

📖 お知らせ



- 模様の頭出しキーを押した後に模様を追加する場合は、 または  を押して模様を追加する位置を設定した後に、模様を追加してください。



- スタート/ストップスイッチを押して、続行します。



模様のイメージを確認する

選択した模様のイメージを実寸で表示することができます。イメージの色を画面で確認し、変更することもできます。

- 1 を押します。
→ 選択した模様のイメージが表示されます。
- 2 を押すと、糸の色が赤、青、黒または黄に変わります。





→ このスイッチを押すたびに色が変わります。

- 3 を押すと、イメージが拡大します。
- 4 表示エリアからはみ出している部分を見るには、矢印キーを押します。
- 5 を押すと、元の画面に戻ります。

模様を組み合わせ

文字、サテンステッチ、クロスステッチ、マイイラスト機能を使って作った模様（5章の「マイイラスト機能」参照）など模様を組み合わせると使い方が広がります。ちがう種類の模様を組み合わせたり、大きさを変えて組み合わせたり、反転模様を組み合わせたり、いろいろな組み合わせを楽しんでください。


模様を組み合わせをする前に

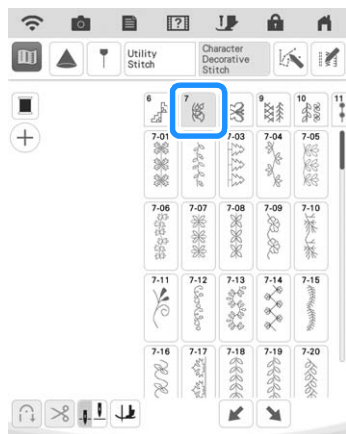
模様は組み合わせをすると自動的に単独ぬいになります。組み合わせた模様を連続ぬいにしたい場合は、模様を組み合わせた後、を押して、にします。

ちがう模様を組み合わせる

例：



1 を押します。

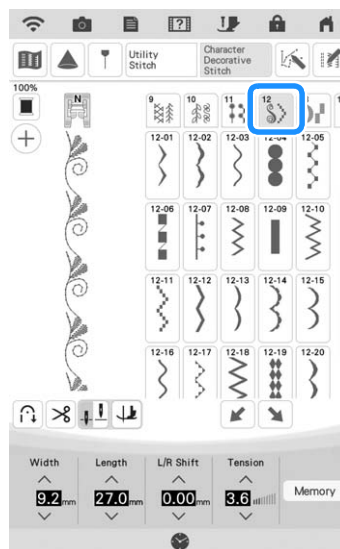


2 を選びます。

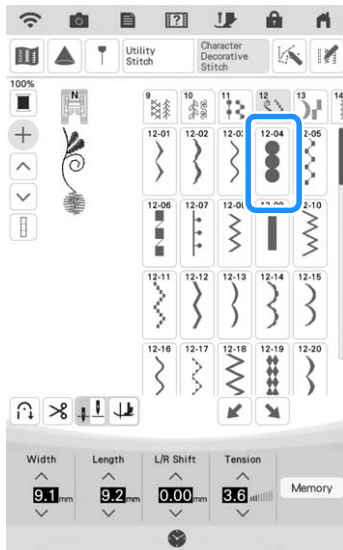




3 を押します。

4 を押します。





5  を選びます。



6 連続ぬいにしたいときは、 を押してから  を押します。


 お知らせ

- 模様を取り消したいときは、 を押してから、 を押すと最後に選んだ模様から1つずつ順番に取り消されます。



大きさを変えた模様を組み合わせる




例：

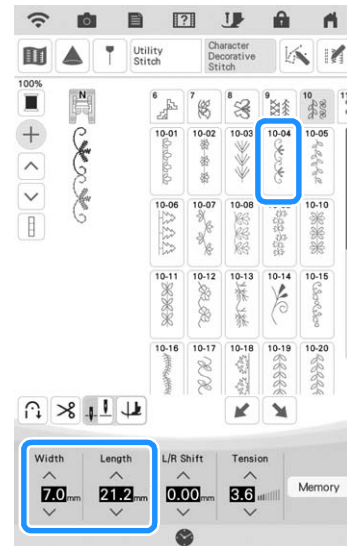


1  を押します。

→ サイズが大きい模様が選択されます。





2  を押して、 を表示します。



3 もう一度  を押して、振り幅またはぬい目の長さの  と  を押し、サイズを変更します。



→ 模様の変更がされます。

 お知らせ

- 縦横比を維持しながら模様の変更するには、 を押してから、縦横比維持キー () を押します。この設定は  と  、アルファベット書体の模様で有効となります。

4 連続ぬいにしたいときは、 を押してから  を押します。








→ 模様が連続表示に変わります。

反転模様を組み合わせる


例：



- 1  を押します。
- 2  を押します。
- 3 もう一度  を押し、 を押して、 を押します。



→ 模様が左右反転します。

- 4  を押します。




→ 模様が連続表示に変わります。

長さを変えた模様を組み合わせる

例：

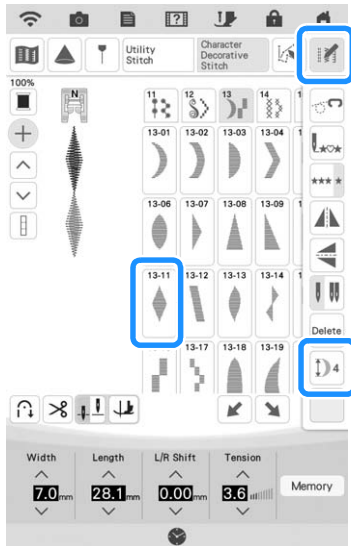



- 1  を押して、 を押して、 を1回押します。

→ 模様の長さが  に設定されます。

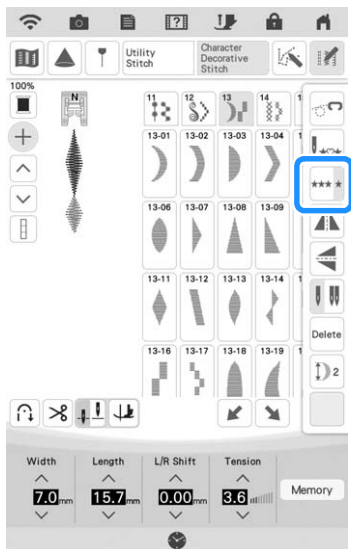
2 +を押します。

3 もう一度  を押し、 を押して、 を3回押します。





→ 模様の長さが  に設定されます。



4 ***を押します。

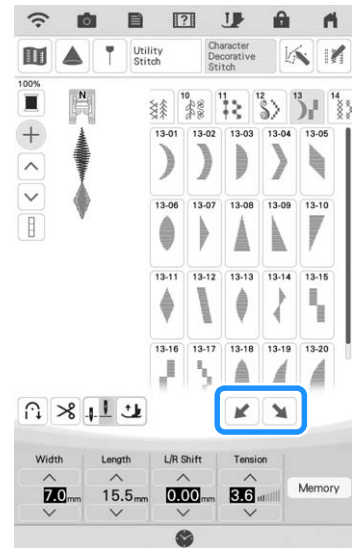


→ 模様が連続表示に変わります。

ステップ模様を作成する

  を使って、ステップ模様という、模様の位置がステップ状になった模様を作ることができます。


- *  を1回押すと、模様の幅の半分の長さ分、左に移動します。
- *  を1回押すと、模様の幅の半分の長さ分、右に移動します。

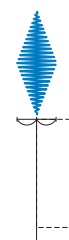


例：




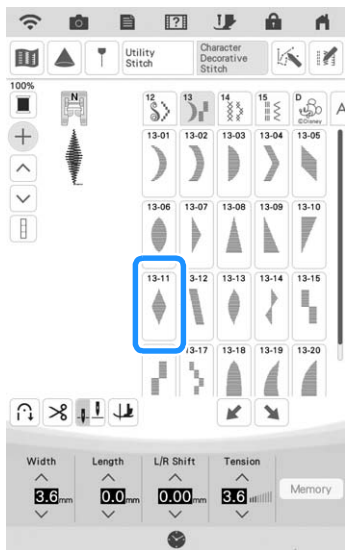
1  を押します。

2 +を押して、 を押します。



→ 次の模様が右に移動します。



3  をもう一度押します。

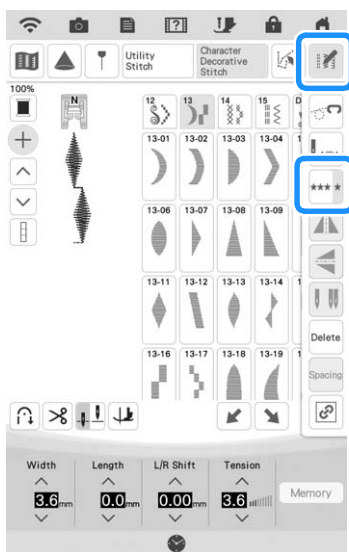


4  を押します。



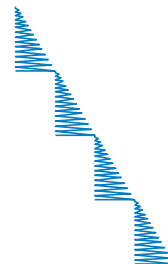
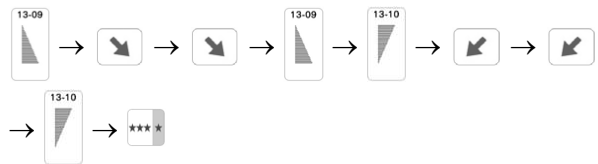
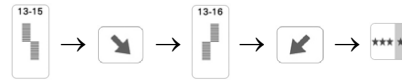
→ 次の模様が左に移動します。

5  を押して、 を押します。



→ 模様が連続表示に変わります。

■ そのほかの組み合わせ例





模様の記憶

データに関する注意

このマシンで作成・記憶した以外のデータを扱うときは、以下の点に注意してください。

■ 使用可能なデータの種類

- 文字・模様ぬいモードでは、拡張子が「.pmv」「.pmx」「.pmu」「.pmp」のファイルを読み込むことができます。マシンを使用して任意の拡張子を持つファイルを保存すると、そのファイルは .pmp データファイルとして保存されます。
- 当社正規のデータ作成ソフトウェアまたはマシンで作成された模様以外のデータを扱うと、マシンが誤作動するおそれがあります。

■ 使用可能な USB デバイス／メディア

模様データは、USB メディアに記憶し、呼び出すことができます。次の仕様を満たすメディアを使用してください。

- USB フラッシュドライブ (USB フラッシュメモリー)

呼び出しのみが可能な模様データ

- USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブ

次の USB メディアを USB メモリーカードリーダー／ライターとともに使うこともできます。

- SD メモリーカード
- コンパクトフラッシュ
- メモリースティック
- スマートメディア
- マルチメディアカード (MMC)
- XD ピクチャーカード

🔔 お願い

- 一部の USB メディアは、このマシンで使用できない場合があります。詳細は、ブラザーのホームページを参照してください。
- USB デバイス／メディアの挿入後、アクセスランプが点滅を始め、デバイス／メディアの認識に、5～6 秒かかります。(この時間は USB デバイス／メディアによって異なります)。
- フォルダーを作成する場合は、パソコンを使用します。

■ パソコンでデータを作成・保存するときの注意

- 模様ファイルおよびフォルダーの名前は半角英数字を使用してください。他の文字を使用すると、模様ファイルおよびフォルダーが表示されないことがあります。このときは名前を付け直してください。ファイルおよびフォルダーの名前には、アルファベット 26 文字 (A～Z、a～z)、0～9 の数字、「-」もしくは「_」を使用してください。
- USB メディア内に作成されたフォルダーに格納された模様データは本機で読み込むことができます。

模様を記憶する

よく使う模様を、ミシンのメモリーに記憶させることができます。メモリーの記憶容量は1 MB までです。

お願い

- [Saving... (記憶中...)] のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

お知らせ

- 記憶するのに数秒かかります。
- 記憶した文字・模様を呼び出すときは、P. 170 を参照してください。

1 Memory を押します。



2 を押します。

- * Cancel を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。

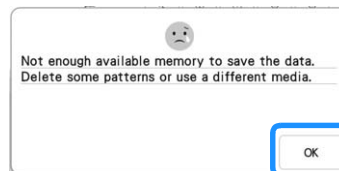


→ [Saving... (記憶中...)] のメッセージが表示されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

記憶できないときは

模様を記憶するときには次の画面が表示される場合、メモリーの容量が不足し、模様を記憶できません。模様をメモリーに保存するには、すでに保存されている模様を削除する必要があります。

OK を押して、P. 170 「模様を呼び出す」、P. 172 「保存したファイルを管理する」を参照してください。



模様を市販の USB メディアに記憶する

模様をミシンから USB メディアに送るときには、USB メディアをミシンの USB ポートコネクタに差し込みます。

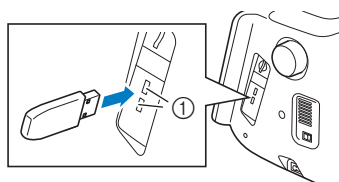
お知らせ

- 一部の USB メディアは、このミシンで使用できない場合があります。詳細は、ブラザーのホームページを参照してください。
- USB メディアの種類によって、ミシンの USB ポートコネクタに直接差し込むか、ミシンの USB ポートコネクタに USB カードライター/リーダーを差し込みます。
- USB メディアは、いつでも挿入、取り外しができます。

1 Memory を押します。



- 2 USBメディアをミシンのUSBポートコネクタに差し込みます。



① USBポートコネクタ

- 3 を押します。

- * USBメディアをUSBメディア/マウス用USBポートコネクタに接続したときは、 を押します。
- * を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



→ [Saving... (記憶中...)] のメッセージが表示されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

🔔 お願い

- [Saving... (記憶中...)] のメッセージ画面が表示されている間は、USBメディアを抜き差ししないでください。記憶中の模様が欠損あるいは、消去されることがあります。

模様を呼び出す

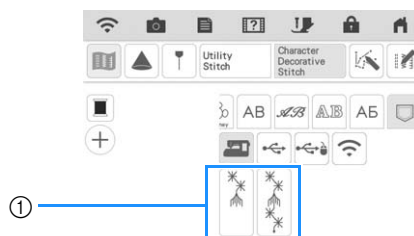
- 1 を押します。



→ ポケット選択画面が表示されます。

- 2 呼び出す模様を選びます。

- * 保存された模様の全体が表示されない場合は、模様のキーを押して確認してください。



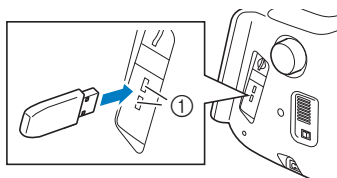
① 記憶された模様

→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

USB メディアから呼び出す

特定の模様を USB メディアから、または USB メディアのフォルダーから直接呼び出すことができます。模様がフォルダーに格納されている場合は、目的のファイルまで階層をたどります。

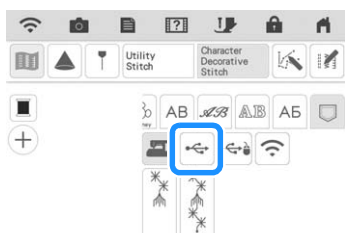
- 1 USBメディアをミシンのUSBポートコネクタに差し込みます。(P. 169)



① USBポートコネクタ

- 2 を押します。

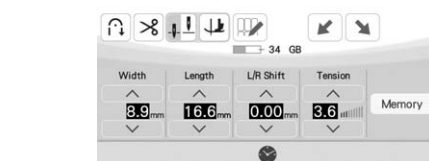
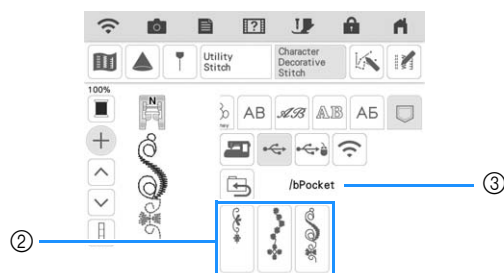
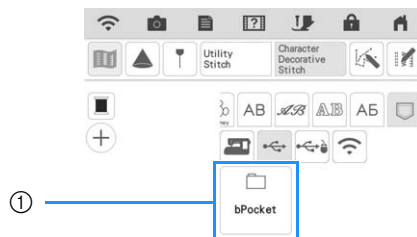
* USBメディアを USB メディア/マウス用 USB ポートコネクタに接続したときは、 を押します。



→ 模様データと、最上位フォルダー内のフォルダーが表示されます。

- 3 複数の模様を分類するためのサブフォルダーがある場合は、 を押します。

* を押すと、呼び出さずに元の画面に戻ります。



① フォルダー名

② 模様

③ パス

→ リスト上部の表示は選択したフォルダーへのパスです。保存されている模様とサブフォルダーが表示されます。

- * を押すと、前のフォルダーに戻ります。
- * フォルダーは、パソコンで作成してください。ミシンでフォルダーを作成することはできません。


- 4 ぬいたい模様のキーを押して、呼び出します。



→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

保存したファイルを管理する





保存したファイルは削除したり、USB メディアからミシンのメモリに記憶したりすることができます。

- 1 模様を呼び出す画面で、 を押し、管理する模様を押します。





- 2 コマンドを選択します。



	画面に表示中のすべての模様を選択します。
	選択した模様すべてを選択解除します。
	選択した模様を削除します。
	選択した模様をミシンに記憶します。

ミシンに模様を転送する（刺しゅう PRO）

詳しくは、刺しゅう PRO（バージョン 11 以降）の取扱説明書を参照してください。

- 1 模様選択画面で  を押してから、 を押します。



→ 刺しゅう PRO から転送された模様が、画面に表示されます。



第5章

マイイラスト機能



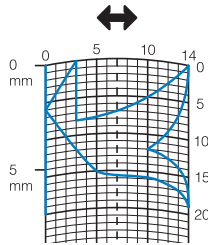
イラストデザイン

マイイラスト機能を使用して、オリジナルの模様を登録できます。マイイラスト機能で作成したデザインと他の模様を組み合わせたデザインをぬうこともできます。(P. 162)

お知らせ

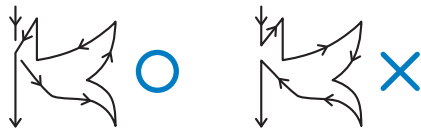
- マイイラスト機能を使用して作成できる模様の大きさは、最大7 mm (幅) × 37 mm (長さ) です。
- 最初に、付属のマイイラスト用紙に模様を描くと、マイイラスト機能を使用して、より簡単に模様をデザインすることができます。

1 マイイラスト用紙に模様のデザインを描きます。



お知らせ

- 模様を閉じるように線を交差させると、よりきれいに仕上がります。

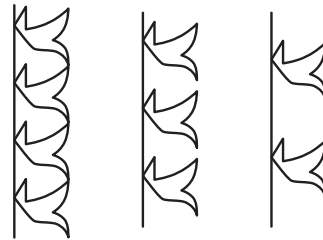
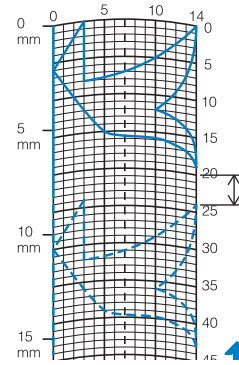


- 一筆書きの要領で、線の始めと終わりの高さが同じになるように描きます。

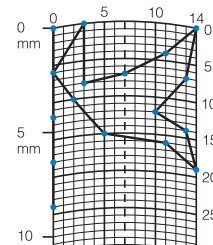


2 模様が繰り返される間隔を決めます。

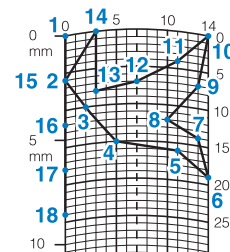
- * 模様の間隔を調節すると、1つの模様でさまざまな模様を作ることができます。



3 目盛りと交差する点を直線で結びます。



4 ぬい順を決めます。



お知らせ

- これで、刺しゅうする模様のデザインが決定されます。

作品例

	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		0	12	18	22	23	21	17	14	12	9	6	3	1	3	6
		0	0	3	6	10	13	14	13	11	13	14	13	10	6	3
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		12	41	43	40	41	38	35	32	30	32	35	41	45	47	44
		0	0	4	7	11	13	14	13	10	6	3	0	0	4	7
ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	
	45	47	50	54	56	55	51	45	70							
	11	13	14	13	10	6	3	0	0							

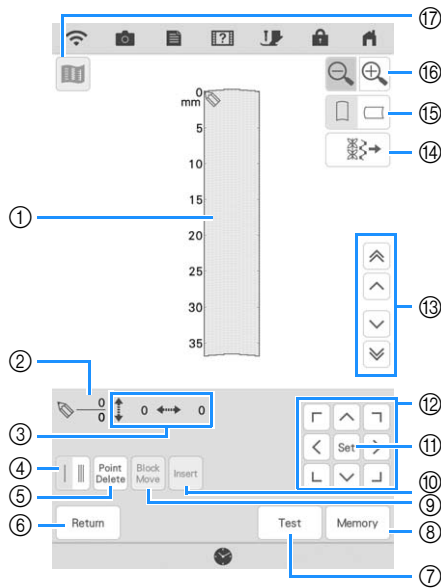
	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		0	30	32	32	32	33	35	35	37	35	32	30	30	29	26
		0	0	1	7	10	12	11	8	12	14	14	11	5	3	8
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		24	18	13	12	13	10	12	8	12	7	12	6	10	5	10
		10	13	14	14	12	11	10	9	8	6	6	3	2	0	2
ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	
	16	19	23	22	17	22	23	19	42							
	1	0	0	6	10	6	0	0	0							

	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		0	3	5	8	12	17	20	24	27	29	31	32	30	27	24
		0	5	8	11	13	14	14	13	12	11	9	6	3	1	0
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		21	18	16	15	15	16	18	21	25	28	33	37	41	43	44
		0	1	3	5	8	10	12	13	14	14	13	11	8	5	0
ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	

	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		0	5	4	5	8	7	8	11	11	11	16	11	7	4	0
		7	7	3	7	7	0	7	7	3	7	7	3	0	3	7
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		4	7	11	16	21	20	21	24	23	24	27	27	27	32	27
		11	14	11	7	7	11	7	7	14	7	7	11	7	7	11
ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	
	23	20	16	20	23	27	32									
	14	11	7	3	0	3	7									


イラストの入力


■ キーのはたらき

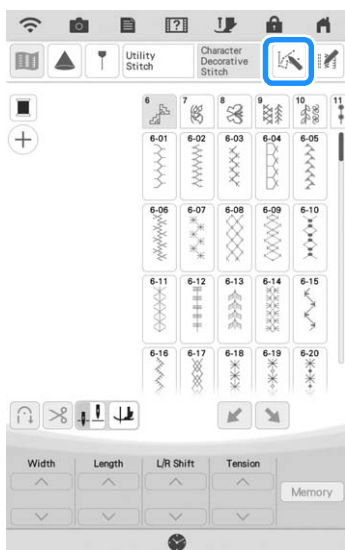




- ① ここに作成中の模様が表示されます。
- ② 模様のポイントの総数の上に、現在セットされているポイントの数を表示します。
- ③ の Y 座標と の X 座標を表示します。



番号	表示	キーの名称	はたらき	参照ページ
④		1 針ぬい / 3 重ぬいキー	2 つのポイントの間で 1 針ぬいをするか、3 重ぬいをするかを選ぶことができます。	177
⑤		ポイント削除キー	選んだポイントを削除することができます。	178
⑥		戻るキー	模様データの入力画面を終了します。	—
⑦		試しぬいキー	模様の試しぬいができます。	178、182
⑧		記憶キー	作成中の模様を記憶することができます。	182
⑨		ブロック移動キー	ポイントをグループにまとめて、いっしょに移動することができます。	179
⑩		ポイント挿入キー	模様のデザインに新しいポイントを挿入することができます。	180
⑪		セットキー	模様のデザイン上で、指定した座標にポイントをセットすることができます。	177-179
⑫		矢印キー	グリッドで を移動します。	177-180
⑬		ポイント移動キー	を模様の上でポイントからポイントに移動したり、最初に入力されたポイントや最後に入力されたポイントに移動することができます。	178-179
⑭		模様編集キー	内蔵の実用模様を編集します。	180
⑮		グリッド方向キー	グリッドの方向を変えることができます。	177
⑯		拡大キー	作成中の模様を拡大して表示することができます。	177
⑰		イメージキー	模様のイメージを表示することができます。	178

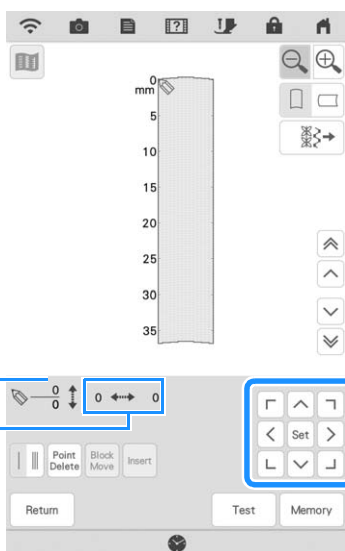
1  を押して、Character Decorative Stitch を押します。


2  を押します。



3  を使って、 をマイイラスト用紙の最初のポイントの座標に移動します。

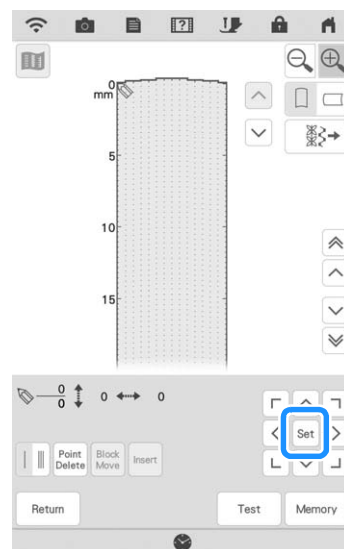
- *  を押すと、グリッドの方向を変えることができます。
- *  を押すと、作成中の模様のイメージを拡大します。




- ① 現在選択されているポイント／ポイントの総数
②  の座標




4  を押して、 が示すポイントを追加します。

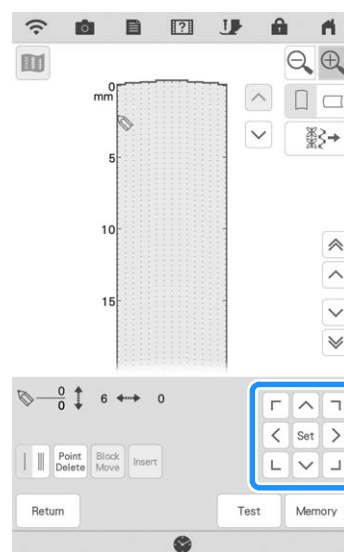
- * デュアルタッチペンでポイントを挿入するには、タッチペンの先を目標の位置に移動します。画面のポイントからペンを離すと、ペンを離れた位置に、ポイントが入力されます。模様の子ポイント数の上に、現在セットされているポイントの数を表示します。



5 最初の2つのポイント間で1針ぬいをするか、3重ぬいをするかを選びます。

- * 3重ぬいをするには、 を押します。

6  を使って  を2つ目のポイントに移動し、 を押します。

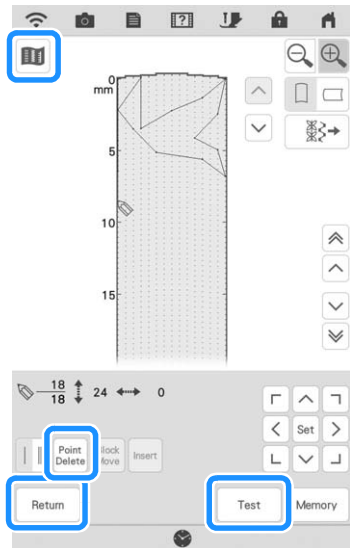


5

スキャン機能

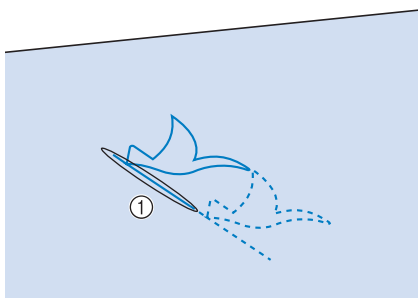
7 マイイラスト用紙にデザインしたとおりになるまで、上記の手順を繰り返します。

- * 入力したポイントを削除するには、**Point Delete** を押します。
- * 模様の試しぬいをするには、**Test** を押します。
- * **Return** を押すと、元の画面に戻ります。
- * 模様のイメージを表示するには、**Image** を押します。



お知らせ

- 入力したポイントが近すぎる場合、布地が正しく送られないことがあります。その場合、模様データを編集して、ポイントの間隔を広げます。
- 模様のデザインを繰り返してつなげる場合は、模様のデザインが重ならないように注意して模様を追加してください。



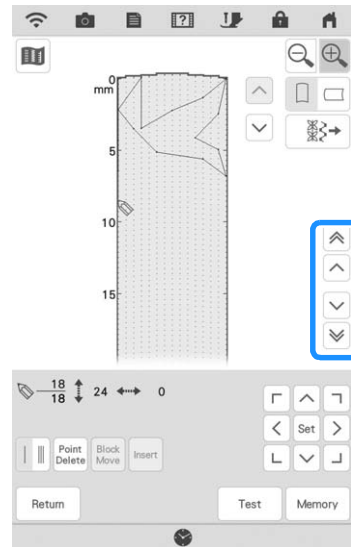
① 連結する模様

- ポイントを入力するには、グリッドをタッチします。デュアルタッチペンや画面の矢印キーでもポイント入力ができます。

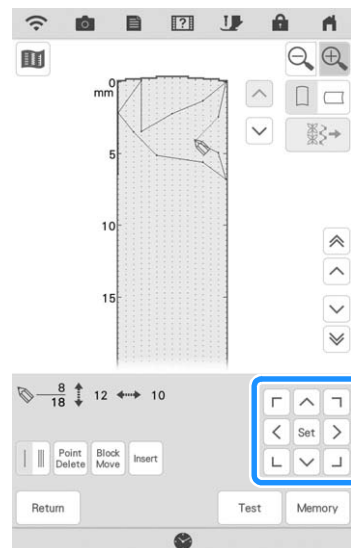
ポイントの移動

1 **↑** または **↓** を押して、**✎** を移動したいポイントに移動します。

- * **✎** を最初のポイントに移動するには、**↑** を押します。
- * **✎** を最後のポイントに移動するには、**↓** を押します。



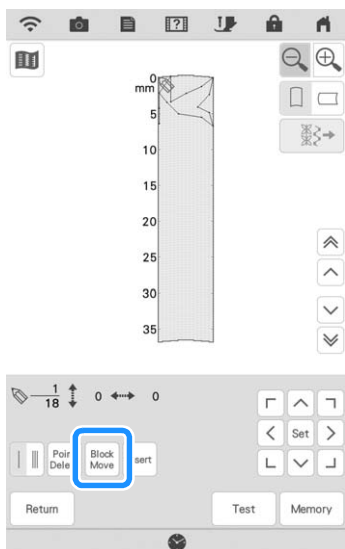
2 **⏪** **⏩** を使って、ポイントを移動します。



- * デュアルタッチペンを使って、**✎** を移動することもできます。

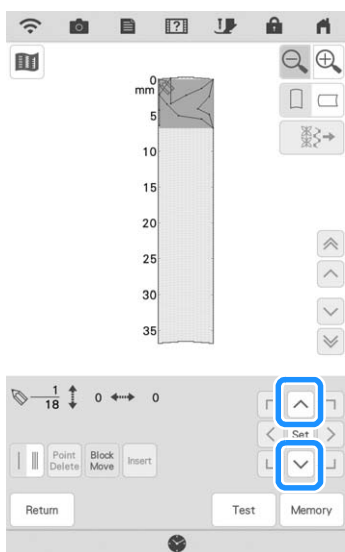
■ イラストの移動

1 **Block Move** を押します。

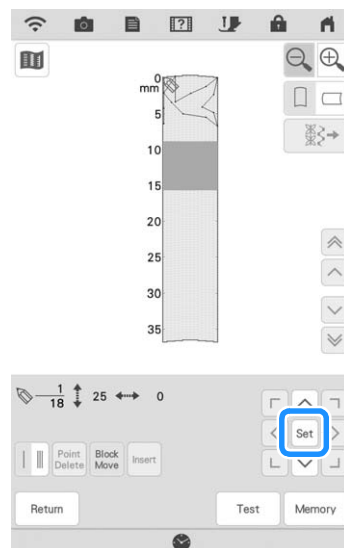


→ 選んだポイントと、その後で入力したすべてのポイントが選択されています。

2 **^** または **v** を押して、選択されたポイントすべてを移動します。



3 **Set** を押します。

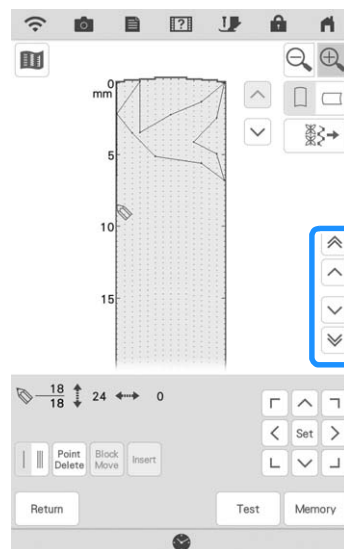


→ 選択したイラストの部分が移動します。


■ 新しいポイントの挿入

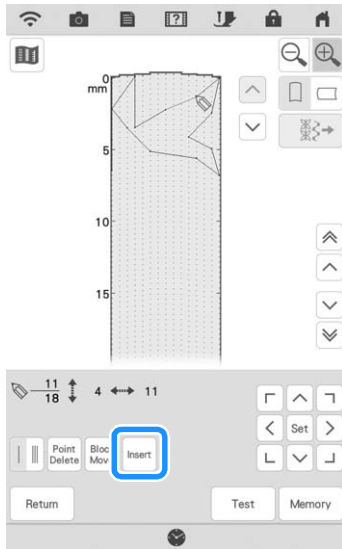
1 **^** または **v** を押して、新しいポイントを追加したい場所に **✏** を移動します。


- * **✏** を最初のポイントに移動するには、**^** を押します。
- * **✏** を最後のポイントに移動するには、**v** を押します。




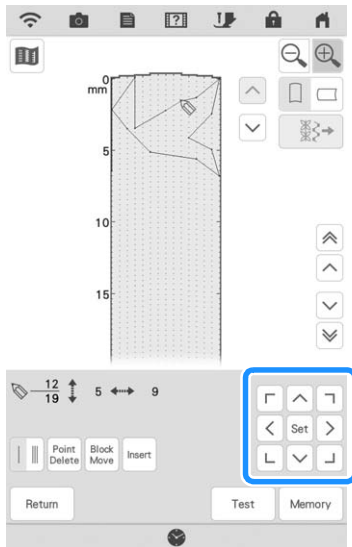
5


2  を押します。



→ 新しいポイントが挿入され、 が新しいポイントに移動します。

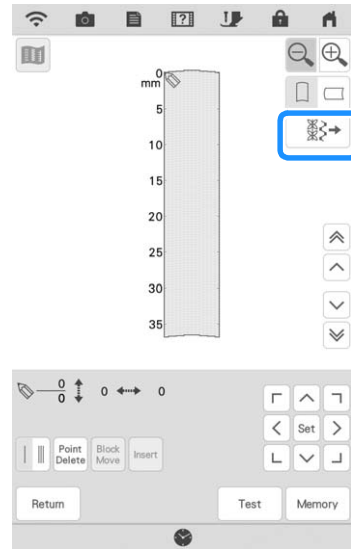
3  を使って、ポイントを移動します。



* デュアルタッチペンを使って、 を移動することもできます。

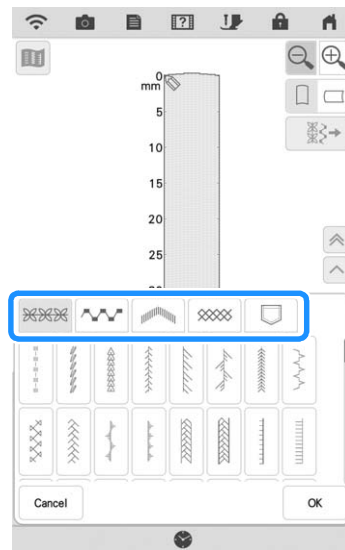
ミシンに内蔵の模様を編集する

1  を押します。



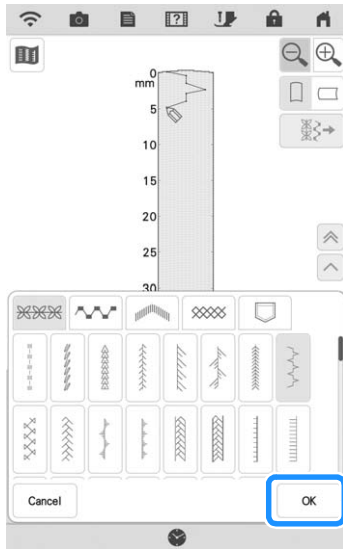
2 カテゴリーを選択し、編集したい模様を選択します。

* スクロールすると、他の模様が表示されます。



→ グリッドに選択した模様が表示されます。

3 OK を押します。



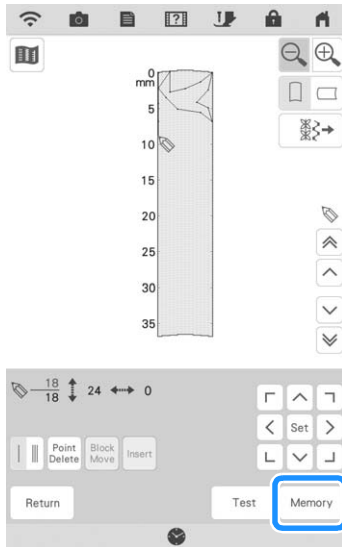
→ 模様を編集します。

マイイラストの記憶

マイイラストをリストに保存する

マイイラスト機能を使って作成した模様は、保存して、後で使うことができます。

1 Memory を押します。



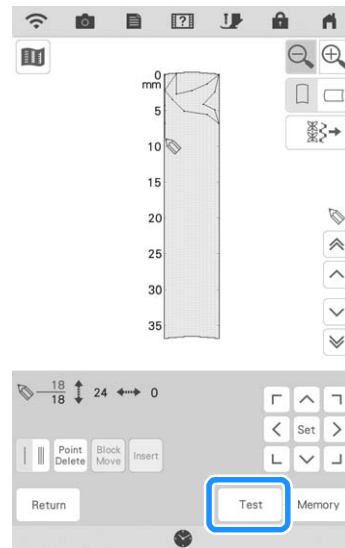
2 記憶先のアイコンを押します。



🔔 お願い

- ファイルを USB に保存するときは、必ず USB メディアを USB ポートコネクタに挿入してください。

模様を保存する前に、**Test** を押して、試しぬいをする您也可以。



📄 お知らせ

- 模様の保存には数秒かかります。
- 保存した模様の呼び出しについては、P. 183 を参照してください。

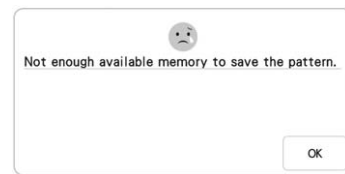
🔔 お願い

- [Saving... (記憶中...)] のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

■ 記憶できないときは

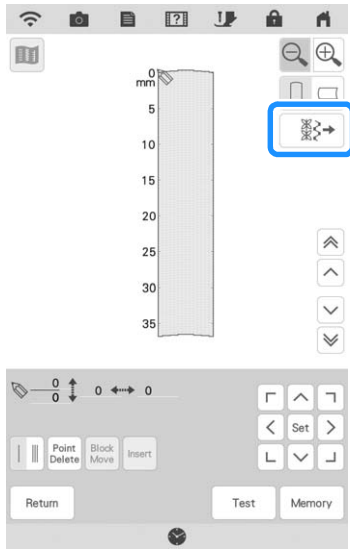
模様を記憶するとき次画面が表示される場合、メモリーの容量が不足し、模様を記憶できません。模様をメモリーに保存するには、すでに保存されている模様を削除する必要があります。

OK を押して、P. 170 「模様を呼び出す」を参照してください。



保存した模様を呼び出す

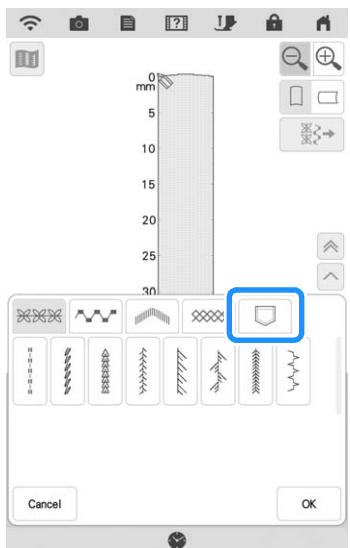
1  を押します。







お知らせ

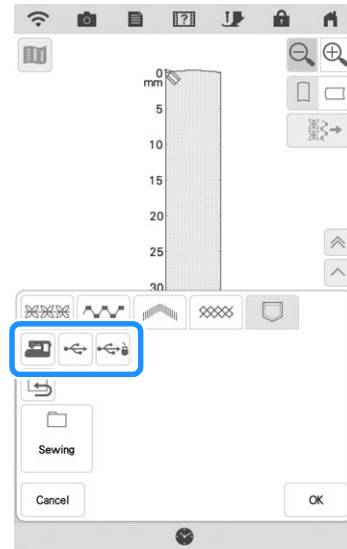
- 文字／飾りぬい模様を呼び出すように、模様を呼び出すこともできます。P. 170、171 を参照してください。


2  を押します。

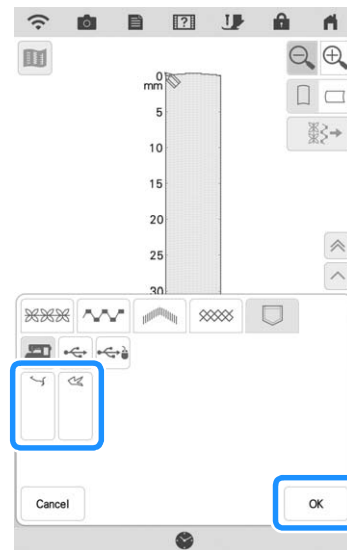


3 ,  または  を選択して呼び出します。

- * 模様を呼び出さずに元の画面に戻るには、 を押します。



4 呼び出したい模様を選択し、 を押します。



5

マイイラスト機能



第 6 章
付録

お手入れのしかた

⚠ 注意

- ミシンの掃除は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。けがまたは感電の原因となります。

注油に関して

故障の原因となるため、お客様ご自身による本製品への注油は行わないでください。本製品の動作に必要な油はあらかじめ十分に塗布されて出荷されていますので、定期的に注油する必要はありません。

万一、プーリーを回すと重い、異常な音がするなどの症状が発生した場合は、ただちに使用をやめて、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

ミシンを保管するときのご注意

結露によるさびの発生など、故障の原因となりますので、以下の場所にミシンを保管しないでください。

- * 温度が著しく高くなる場所
- * 温度が著しく低くなる場所
- * 急激に温度が変化する場所
- * 湿気、湯気が多い場所
- * 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所
- * 屋外や直射日光の当たる場所
- * ほこり、油煙の多い場所

🙏 お願い

- 本製品を末永くご愛用いただくために、ときどき電源を入れて、縫製してください。長期間保管したまま使用しない状態が続くと、ミシンの性能を損なうおそれがあります。

液晶画面の汚れの掃除

画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布などで軽くふき取ってください。

📧 お知らせ

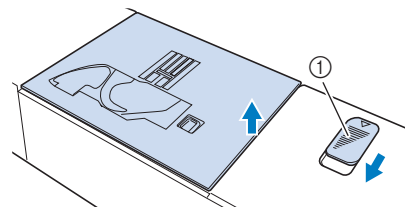
- 液晶画面が結露したり、曇ったりする場合がありますが、故障ではありません。しばらくすると、結露や曇りはなくなります。

ミシンの汚れの掃除

本製品の汚れをふき取る時は、水かぬるま湯を含ませた、やわらかい布を固く絞ってふいてください。ふいた後は、乾いたやわらかい布で水分をふき取ってください。

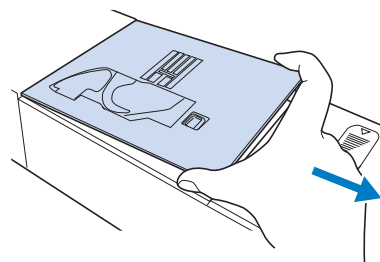
かまの掃除

- 針上下スイッチを押して針を上げます。
- 電源スイッチを切ります。
- 針と押えホルダーを取り外します (P. 66、69 参照)。
- 補助テーブルまたは刺しゅう機を取り付けている場合は外します。
- 針板レバーを手前にスライドさせます。

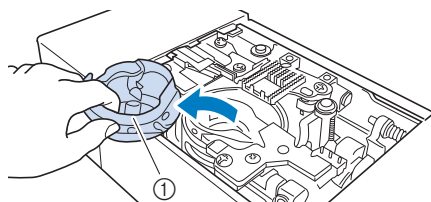


- ① 手前にスライドさせます。
→ 針板が開きます。

- 右手で針板を引き出して取り外します。

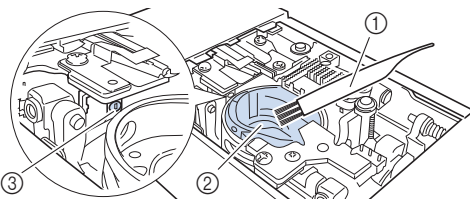


7 内かまをつかみ、そっと取り出します。



① 内かま

8 ミシンブラシや掃除機で、外かまと下糸センサーの周辺の糸くずやほこりを取り除きます。

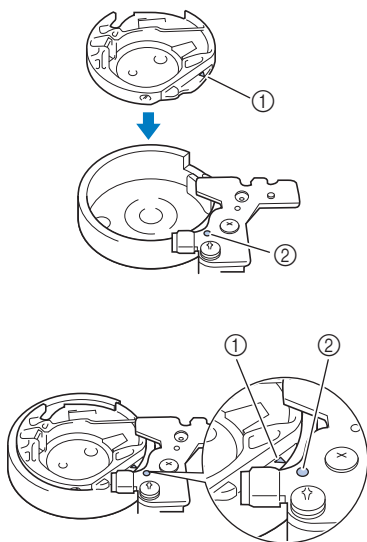


① ミシンブラシ
② 外かま
③ 下糸センサー

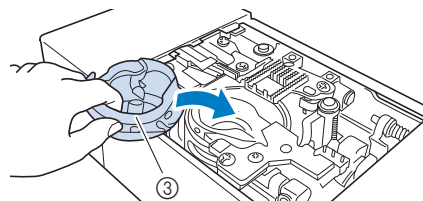
🔔 お願い

- 内かまに油をささないでください。
- 糸くずやほこりが下糸センサーの周辺にたまると、センサーが正しく作動しないおそれがあります。

9 内かまの ▲ 印とミシンの ● 印が合うように、内かまを取り付けます。



* ▲ 印と ● 印を合わせます。



① ▲ 印
② ● 印
③ 内かま

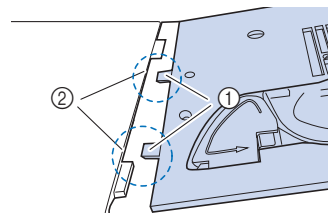
* 合わせる位置を確認してから、取り付けを行ってください。

⚠ 注意



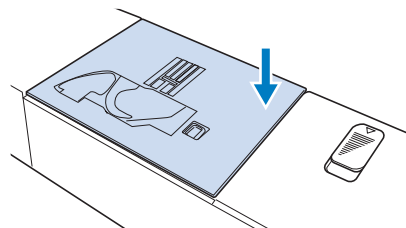
- 傷がついた内かまを使用すると、上糸がからみ、針折れや縫製不良の原因となりますので決して使わないでください。新しい内かまが必要な場合は、最寄りの販売店でお買い求めください。
- 針折れの原因となりますので、内かまは正しい位置に取り付けてください。

10 針板の引っ張り部をミシンのミゾに入れます。



① 引っ張り部
② ミゾ

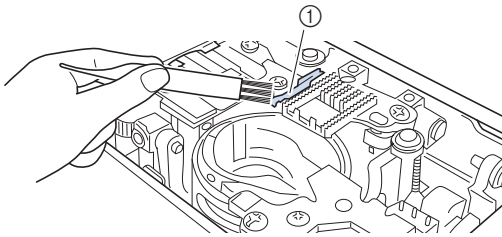
11 針板の右側を押し下げて固定します。



内かま周辺のカッターの掃除

針板の下にあるカッターを定期的に掃除してください。カッターにほこりや糸くずがたまると、糸切りスイッチを押したり自動糸切り機能を使用したときに、糸が切れにくくなります。糸が切れなときは、カッターを掃除してください。

- 1 P. 186 「かまの掃除」の ① から ⑦ の手順に従って、針板を取り外します。
- 2 ミシンブラシや掃除機で、内かま周辺のカッターの糸くずやほこりを取り除きます。



① カッター



⚠ 注意

- けがをするおそれがありますので、カッターに触らないでください。

- 3 針板を取り付けます。

点検の警告について



上記の表示が出た場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期点検をご依頼ください。

を押すと、表示は消えてミシンの機能を引き続き使うことができますが、適切な点検が完了するまでは何度も表示されます。

この表示が出たときは、必ずミシンの定期点検をご依頼ください。正しい時期に定期点検を行うことによって、ミシンを長くご利用いただくことができます。

困ったとき

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目およびブラザーのサポートサイト（<http://s.brother/cpdad/>）のQ&Aを確認してください。

それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

よくあるご相談

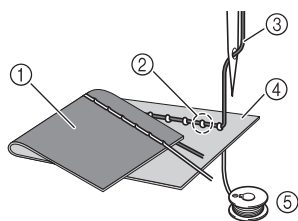
以下のよくあるご相談については、詳しい原因と対処方法を記載しております。お問い合わせの前にご確認ください。

■ 上糸がつる	P. 189
■ 布裏で糸がからまる	P. 190
■ 糸調子が合わない	P. 192
■ 布がミシンに入り込んでとれなくなった	P. 193

上糸がつる

■ こんなとき

- * 上糸がピンと一本線になっている。
- * 布地の上側の面に下糸がポツポツと出ている。（イラスト参照）
- * 上糸がつっていて、引くと抜けてしまう。
- * 上糸がつっていて、布地にしわがよってしまう。
- * 上糸が強く、糸調子を調節してぬい直してもまったく変わらない。



- ① 布地の下側の面
- ② 布地の上側の面に下糸が出ている
- ③ 上糸
- ④ 布地の上側の面
- ⑤ 下糸

■ 原因

下糸のセットがまちがっている

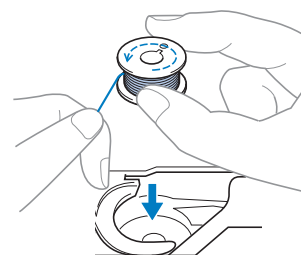
下糸のセットがまちがっていると、下糸に適正な張力が加わらず、上糸が引き上げられる際に布地まで一緒に引っぱられてしまいます。そのため、布地の上に糸が出てしまいます。

■ 対処方法

下糸を正しくセットし直します。

- 1 電源を切ります。
- 2 いったんボビンを内かまから取り出します。
- 3 糸が正しい方向から出るように、ボビンを内かまにセットします。

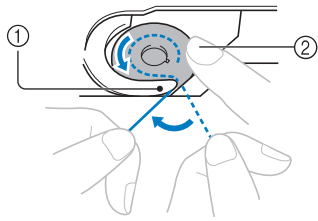
- * 糸が必ず左巻きになるように、右手でボビンを持ち、左手で糸端を持ちます。そのまま右手でボビンを内かまに入れます。



糸が逆方向から出た状態でボビンをセットすると、正しい糸調子でぬうことができません。

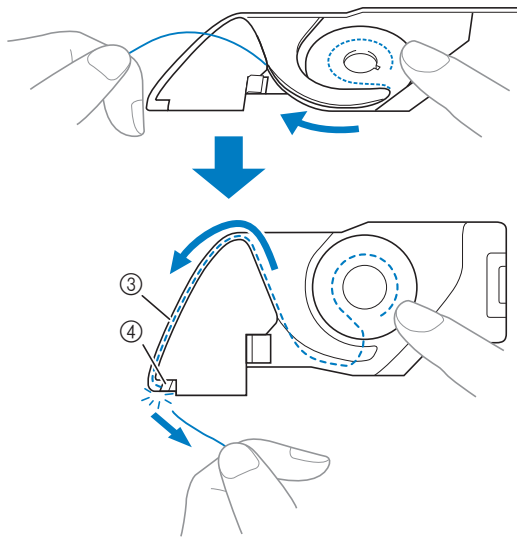
4 ボビンを指で押えながら糸を針板のミゾに通します。

- * 右手でボビンを押え、左手で巻き終わりの糸をツメに引っかけます。



- ① ツメ
- ② 右手でボビンを押えます。

糸を引っぱりながら針板のミゾにそって糸を通し、最後に手前に引いてカッターで糸を切ります。



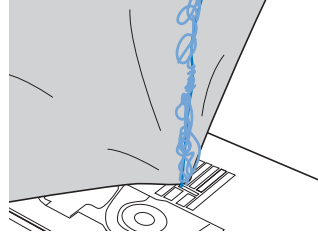
- ③ ミゾ
- ④ カッター

内かまにボビンの糸を正しくセットしなければ、正しい糸調子でぬうことができません。

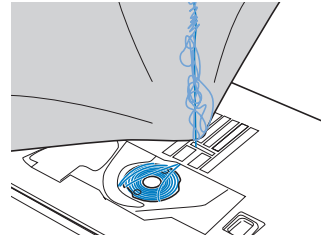
布裏で糸がからまる

■ こんなとき

- * 布の下側で糸がグチャグチャにからんでしまう。



- * ぬい始めるとすぐにガタガタと音がして進まなくなる。
- * 布地の下側を見ると、かまの中まで糸が何重にもからまっている。



■ 原因

上糸のセットがまちがっている

上糸のセットがまちがっていると、布地を貫通した上糸をしっかりと引き上げることができず、内かまの中に上糸がたまり、グチャグチャにからんでしまいます。

■ 対処方法

からんだ糸を取り除き、上糸をセットし直します。

1 からんだ糸を取り除きます。取れない場合は、はさみで糸を切ります。

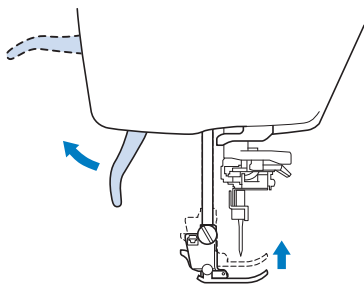
- * P. 186 「お手入れのしかた」の「かまの掃除」を参照してください。

2 いったん上糸をミシンから取り外します。

3 以下の手順に従って、上糸をもう一度セットし直します。

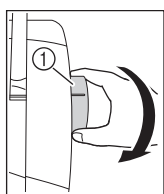
- * ボビンを内かまから取り出した場合は、P. 55 「下糸をセットする」と P. 189 「上糸がつる」の「対処方法」を参照して、セットし直してください。

- 4 押えレバーを上げて、押えを上げます。

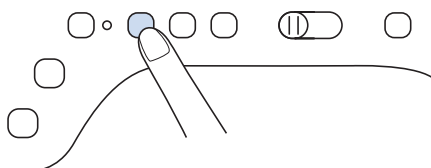


* 押えが上がっていなければ、正しく糸通しできません。

- 5 プーリーを手前（反時計回り）に回し、プーリーの印が上になるように針を上げます。あるいは、針上下スイッチを1回か2回押して、針を上に戻します。

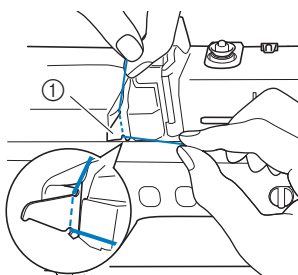


あるいは



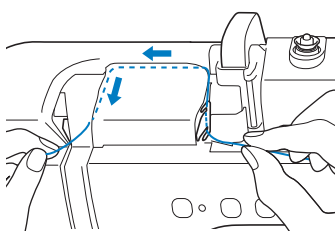
① 印

- 6 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板のミゾに糸を通します。

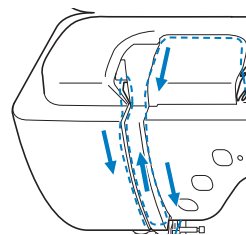


① 糸案内板

- 7 右手で糸を持ちながら、糸通しカバーの矢印に沿って糸を通します。

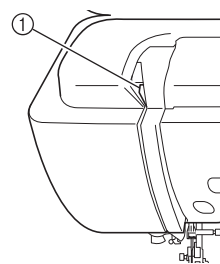


- 8 図のように、糸をミゾに沿って下に通し、上に上げ、また下に通します。



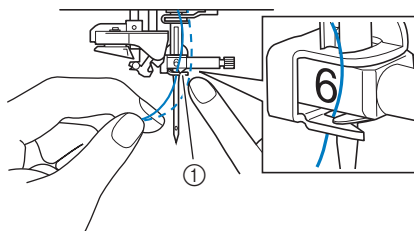
お知らせ

- ミゾの上部から中を見ると、てんびんに糸がかかっていることを確認できます。



① ミゾの上部を確認します。

- 9 一方の手で糸を押え、もう一方の手で糸の端を持ち、図のように針棒糸かけ（6の印）に糸をかけます。



① 針棒糸かけ

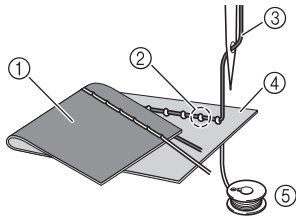
- 10 P. 58「上糸通し」の手順 ⑩ から ⑮ に従って、糸を通します。

糸調子が合わない

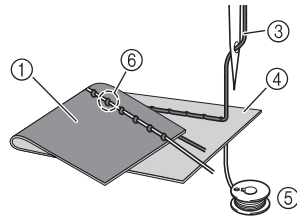
■ こんなとき

- 症状①：布地の上側にポツポツと下糸が出ている。
- 症状②：布地の上側で上糸が直線になる。
- 症状③：布地の下側にポツポツと上糸が出ている。
- 症状④：布地の下側で下糸が直線になる。
- 症状⑤：布地の下側のぬい目がゆるい、またはたるむ。

症状①



症状③



- ① 布地の下側の面
- ② 布地の上側の面に下糸が出ている
- ③ 上糸
- ④ 布地の上側の面
- ⑤ 下糸
- ⑥ 布地の下側の面に上糸が出ている

■ 原因／対処方法

原因 1

糸が正しくミシンにセットされていない。

<上記の症状①、②に該当する場合>

下糸が正しくセットされていません。

上糸調子を初期設定（反転表示）にしてから、P. 189「上糸がつる」を参照してセットし直します。

<上記の症状③～⑤に該当する場合>

上糸が正しく通っていません。

上糸調子を初期設定（反転表示）にしてから、P. 190「布裏で糸がからまる」を参照して上糸をかけ直します。

原因 2

布地に合った糸や針を使用していない。

ミシン針は布地の種類や糸の太さによって使い分けが必要です。

布地に合った糸と針を使用しないと、糸調子が合わなかったり、布地にしわが寄ったり、目とびの原因になったりします。

- * P. 68「布地と糸の種類による針の使い分け」の一覧表を参照して、布地に合った糸と針を使用しているか確認してください。

原因 3

上糸調子の設定値が適正でない。



適正な糸調子になるように調節します。

使用する布地／糸の種類やぬい方によって、適正な糸調子は異なります。

- * 実際にお使いになる布地の端切れで試しぬいをして、糸調子を調節してください。

🔔 お願い

- 上糸の通し方や下糸のセットが正しくされていない場合は、糸調子の調節が正しく行えません。上糸かけ、下糸セットの確認を先に行ってから、糸調子の調節を行ってください。

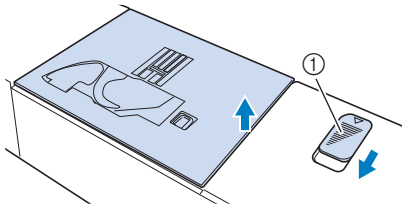
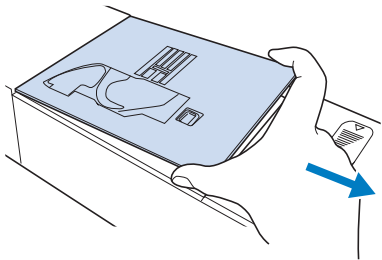
- * 布地の上側に下糸が見える場合は、糸調子の  を押します。（糸調子を弱くします。）
- * 布地の下側に上糸が見える場合は、糸調子の  を押します。（糸調子を強くします。）



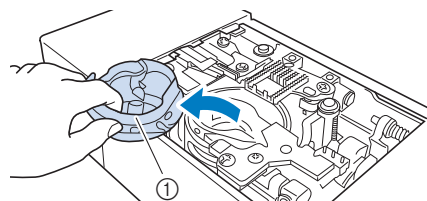
布がミシンに入り込んでとれなくなった

布がミシンに入り込んでとれない場合、糸が針板の下でからんでいることがあります。以下の手順で、布をミシンから取り外してください。操作が手順どおりに進まない場合は、無理に作業を続けず、お買い上げの販売店、またはお客様相談室（ミシン 119 番）にご相談ください。

■ 布をミシンから取り外す

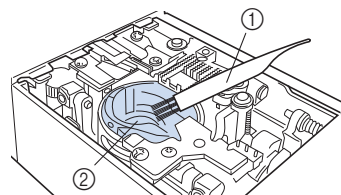
- 1 直ちにミシンを停止させます。
- 2 電源を切ります。
- 3 針を取り外します。
針が布地に刺さっている場合は、プーリーを奥側（時計回り）に回して針を布地から外してから、針を取り外してください。
* P. 66 「針の交換」を参照してください。
- 4 押えレバーを上げて、押えと押えホルダーを取り外します。
* P. 69 「押えの交換」を参照してください。
- 5 布地を持ち上げて、布地の下の糸を切ります。
ここで布地を取り外すことができる場合は、取り外してください。かまの掃除をするために引き続き、次の手順へお進みください。
- 6 針板レバーを手前にスライドさせます。

① 手前にスライドさせます。
→ 針板が開きます。
- 7 右手で針板を引き出して取り外します。


- 8 内かまをつかみ、そっと取り出します。
内かまに糸が残っている場合は、取り除いてください。



① 内かま

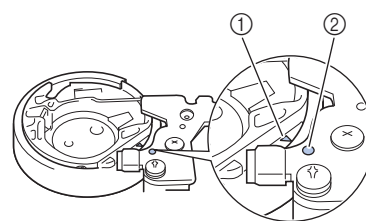
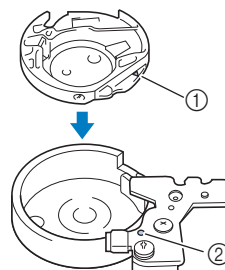
- 9 ミシンブラシや掃除機で、外かま周辺の糸くずやほこりを取り除きます。



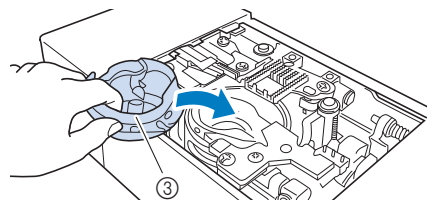
① ミシンブラシ

② 外かま

- 10 内かまの ▲ 印とミシンの ● 印が合うように、内かまを取り付けます。



* ▲ 印と ● 印を合わせます。



① ▲ 印

② ● 印

③ 内かま

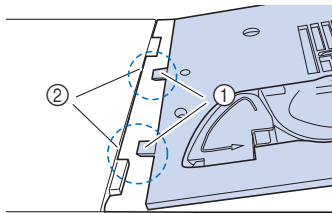
* 合わせる位置を確認してから、取り付けを行ってください。

⚠ 注意



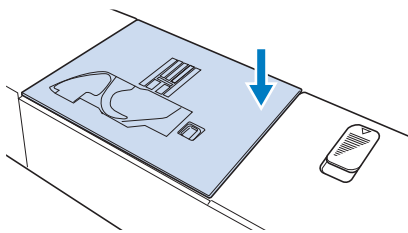
- 傷がついた内かまを使用すると、上糸がからみ、針折れや縫製不良の原因となりますので決して使わないでください。新しい内かまが必要な場合は、最寄りの販売店でお買い求めください。
- 針折れの原因となりますので、内かまは正しい位置に取り付けてください。

- 11 針板の引っ張り部をミシンのミゾに入れます。



- ① 引っ張り部
② ミゾ

- 12 針板の右側を押し下げて固定します。



- 13 針の状態を確認して、針をミシンに取り付けます。

曲がっているなど針が悪くなっている場合は、必ず新しい針を取り付けてください。

* P. 66 「針の交換」を参照してください。

⚠ 注意



- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因になります。

👉 お願い

- ここまでの手順を終えたあとは、ミシンが正しく動くように、以降の「ミシンの動作を確認する」の手順を続けてください。


📄 お知らせ

- 布がミシンに入り込んだ際に、針が損傷しているおそれがありますので、新しい針に交換することをお勧めします。

■ ミシンの動作を確認する

いったん針板を取り外したあとは、正しく取り付けられていることを確認するために、ミシンの動作確認をしてください。

- 1 電源を入れます。

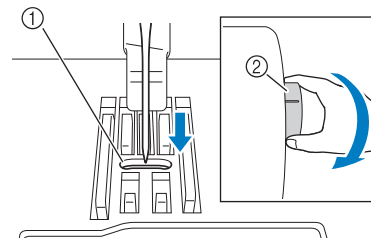
- 2  を選択します。

👉 お願い


- 押えと糸は、まだミシンにセットしないでください。

- 3 プーリーをゆっくりと手前（反時計回り）に回し、針が針穴の中央に落ちることを左右前後から見て確認します。

針が針板に当たる場合は、針板を取り外し、もう一度取り付けてください。



- ① 針穴
② プーリー

- 4 ジグザグぬい  を選択します。このとき、ぬい目の長さとしり幅を最大にしてください。

* P. 81 「振り幅を調節する」と P. 81 「ぬい目の長さを調節する」を参照してください。

- 5 プーリーをゆっくりと手前（反時計回り）に回し、針棒と送り歯が正しく動くことを確認します。

針や送り歯が針板に当たる場合は、ミシンの故障が考えられますので、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

- 6 電源を切ったから、ボビンと押えをセットします。

* P. 55 「下糸をセットする」、P. 69 「押えの交換」を参照してください。

7 上糸をかけ直します。

- * 上糸のかけ方については、P. 58「上糸通し」を参照してください。


💡 お願い

- 上糸が正しくセットされていなければ、糸がらみの原因になります。正しく上糸をセットしてください。

8 普通地で試しぬいをします。**💡** お願い

- 薄い布地をぬう場合、ぬい目の短い中基線を選択し、直線針板を使用して直線ぬいをしてください。また、布地の下に薄手の接着芯を置いてください。

こんなときは

ミシンに何か問題が起こった場合は、次の項目を確認してください。それでも解決できない場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。 →

 Operation Guide

→




Troubleshooting

を押すと、ぬっていて困ったときに解決方法をご覧ください。

 Return

を押すと、元の画面に戻ります。


■ ぬう前の準備

症状	原因	対処	参照ページ
糸通しができない。	針が正しい位置にない。	針上下スイッチを押して針を上げます。	14
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付け直します。	66
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	66
	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	58
	糸通しフックが曲がっていて針穴に通っていない。	お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
	糸通し装置が動かない、または元の位置に戻らない。	お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
	9 番の針を使っている。	糸通し装置に対応しない針です。手で糸を針穴に通してください。	61
押えレバーで押えを下げるできない。	押え上下スイッチを使って、押えが上げられている。	押え上下スイッチを押して、押えを下げます。	14
下糸がボビンにきれいに巻けない。	下糸巻き案内に糸がしっかりかかっていない。	下糸巻き案内に糸を正しくかけます。	62
	ボビンの回転が遅い。	下糸巻き画面で  キーを押して、下糸巻きの回転スピードを速くします。	52
	引き出した糸を正しくボビンに巻き付けていない。	引き出した糸は、時計回りに 5 ~ 6 回ボビンに巻き付けます。	51
	空のボビンがピンに正しくセットされていない。	空のボビンをピンに正しくセットし、カチッと音がするまでボビンをゆっくりと巻きます。	50
下糸巻き中、ボビン受け座の下に下糸が巻かれた。	はじめて下糸を巻くときに、糸案内に糸が通っているのを確認したが、下糸が正しく巻かれなかった。	ボビン受け座の下にからまった糸を取り除き、糸を巻き直します。 下糸巻きを行うときは、ミシン上部のガイドイラストに従ってください。	50
下糸を引き出すことができない。	針が曲がっている。	新しい針に交換します。	66
	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットし直します。	55
ミシンの操作ができない。	すべてのキーとスイッチが  でロックされている。	 を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。	62、69
液晶画面に何も表示しない。	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れます。	24
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込みます。	25
液晶画面が見にくい。	画面の明るさ設定が合っていない。	設定画面で [Screen Display Brightness (画面の明るさ)] を調整します。	28
液晶画面を押しても、反応しない。	画面がロックされている。	次のいずれかのキーを押して、画面ロックを解除します。  	—
液晶画面がくもる。	液晶画面が結露している。	しばらくすると、結露や曇りはなくなります。	—
デュアルタッチペンで操作できない。	デュアルタッチペンが汚れている。	デュアルタッチペンの発光部を掃除してください。	—
	電池が切れている。	新しい電池に交換してください。	90

■ ぬっているとき

症状	原因	対処	参照ページ
ミシンの操作ができない。	スタート/ストップスイッチを押していない。	スタート/ストップスイッチを押します。	14
	模様選ばれていない。	模様を選択します。	99、148
	押えが下がっていない。	押えを下げます。	14
	フットコントローラーを接続したままスタート/ストップスイッチを押している。	フットコントローラーを取り外すか、フットコントローラーを使ってミシンを操作します。	75
	スピードコントロールレバーがジグザグぬいの振り幅を調節するように設定されているときに、スタート/ストップスイッチを押した。	スタート/ストップスイッチではなくフットコントローラーを使ってミシンを操作するか、設定画面で [Width Control (振り幅コントロール)] を [OFF] に設定します。	27、75
針が折れる。	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付け直します。	66
	針のとめネジがゆるんでいる。	針のとめネジをしっかりとしめます。	67
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	66
	布地に合った針・糸を使っていない。	「布地と糸の種類による針の使い分け」を確認してください。	68
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	208
	上糸調子が強すぎる。	糸調子を調節します。	83
	縫製中に、布地を不当に引っ張っている。	縫製中、布地を引っ張らないようにします。	—
	糸こま押えが正しくセットされていない。	糸こま押えの付け方を確認して、付け直します。	58
	針板の穴の周辺にキズがある。	針板を交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。	186
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。	69
	内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。	186
	品質の悪い針を使っている。	新しい針に交換します。	66
	本機純正のポピンを使用していない。	本機純正ポピンを使用してください。	55
	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	58
	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットし直します。	55
	押えの取り付けがまちがっている。	押えを正しく取り付けます。	69
	押えホルダーのネジがゆるんでいる。	押えホルダーのネジを確実にしめます。	70
	布地が厚すぎる。	プーリーを手で回して針が布地に通ることを確認してください。	79
	厚い布地などを縫製中に布地を押しこんでいる。	無理に布地を押しこまないようにしてください。	68、79
	ぬい目が細かすぎる。	ぬい目の長さを調整します。	81
下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	50	

症状	原因	対処	参照ページ
上糸が切れる。	上糸の通し方がまちがっている（糸こま押えが正しくセットされていない、糸こま押えの大きさが合っていない、糸が針棒系かけから外れているなど）。	糸を正しく通します。	58
	糸にこぶや結び目がある。	糸のこぶや結び目を取り除きます。	—
	針に比べて糸が太すぎる。	針と糸の組み合わせを確認します。	68
	上糸調子が強すぎる。	糸調子を調節します。	83
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	—
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	66
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付け直します。	66
	針板の穴の周辺にキズがある。	針板を交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	186
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	69
	内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	186
	布地に合った針・糸を使っていない。	「布地と糸の種類による針の使い分け」を確認してください。	68
縫製中に、糸が結ばれたりからんだりしている。	糸が結ばれたりからんだりしている。	上糸と下糸を通し直します。	55、58
	本機純正のポピンを使用していない。	本機純正ポピンを使用してください。	55
	本機純正のポピンを使用していない。	本機純正ポピンを使用してください。	55
布裏で糸がからまる。	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、直し直します。糸を通す際に押えを上げて、上糸調子を適切に調整してください。	58
	布地に合った針・糸を使っていない。	「布地と糸の種類による針の使い分け」を確認してください。	68
上糸がつる。	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットし直します。	55
下糸が切れる。	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットし直します。	55
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	50
	ポピンにキズがあり、回転がなめらかでない。	ポピンを交換します。	55
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	—
	本機純正のポピンを使用していない。	本機純正ポピンを使用してください。	55
布地にしわがよる。	上糸の通し方、または下糸のセットのしかたがまちがっている。	糸を通す順序を確認して、直し直します。	55、58
	糸こま押えが正しくセットされていない。	糸こま押えの付け方を確認して、付け直します。	58
	布地に合った針・糸を使っていない。	「布地と糸の種類による針の使い分け」を確認してください。	68
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	66
	薄い布地に対してぬい目があらずすぎる。	ぬい目の長さを細かくします。	81
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	83
	模様にあった押えを使用していない。	模様に適した押えを取り付けます。	208
模様が正しくぬえない。	ぬいたい模様にあった押えを使用していない。	ぬいたい模様に適した押えを取り付けます。	208
	糸調子が合っていない。	上糸調子を調節します。	83
	内かまなどで糸がからまっている。	からんだ糸を取ります。内かまの中で糸がからまっている場合は、内かまを掃除してください。	186
ぬい目が飛ぶ。	糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、直し直します。	58
	布地に合った針・糸を使っていない。	「布地と糸の種類による針の使い分け」を確認してください。	68
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	66
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付け直します。	66
	品質の悪い針を使っている。	新しい針に交換します。	66
	針板の下にゴミがたまっている。	ブラシでゴミを取り除きます。	186
	薄い布地や伸びる布地をぬっている。	布地の下に薄い紙をしいてぬいます。	80

症状	原因	対処	参照ページ
ぬい目ができない。	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	66
	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットし直します。	55
	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	58
ぬい音が高い。	送り歯にゴミがたまっている。	ゴミを取り除きます。	186
	かまの部分に糸くずが巻きこまれている。	かまの掃除をします。	186
	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	58
	本機純正のポピンを使用していない。	本機純正ポピンを使用してください。	55
	内かまに針が刺さった穴やスリキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	186
布地を送らない。	送り歯が下がっている。	 を押してからプーリーを回して、送り歯を上げます。	119
	ぬい目が細かすぎる。	ぬい目の長さを長くします。	81
	模様にあった押えを使用していない。	模様に適した押えを取り付けます。	208
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	66
	糸がからまっている。	かまなどからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	—
	ぬい始めに厚いぬい目があり、ジグザグ押え < J > が傾いている。	ジグザグ押え < J > についている押え固定ピン（左側の黒いボタン）を押して、押えを水平に保ちます。	79
布地が逆方向に送られる。	送り機構が故障した。	お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
針が針板に当たる。	針のとめネジがゆるんでいる。	針のとめネジをしっかりとしめます。針が曲がっていたり、針先がつぶれている場合は、新しい針に交換してください。	67
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	66
布地がミシンに入り込んでとれない。	糸が針板の下でからんでいる。	布地を持ち上げて布地の下の糸を切ったあと、かまの掃除をします。	190
折れた針がミシンの中に落ちた。	—	ミシンの電源を切ってから、針板を外します。ミシンの中に落ちた針が見える場合は、ピンセットなどで取り出します。針を取り出したら、針板を元に戻します。 電源を入れる前に、プーリーを手でゆっくり手前に回してなめらかに回るか確認してください。プーリーがなめらかに回らない場合やミシンの中に落ちた針を取り出せない場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
プーリーを回したときに重い。	糸が内かまにからんでいる。	かまにからんだ糸を取り除きます。内かまを正しい位置に取り付け直します。	190
内蔵カメラがボタン穴かがり押えを検出できない。	ボタン穴かがり押えが汚れている。	検出されるようにボタン穴かがり押えを掃除してください。	134
	押えの < A + > 印または 3 つの点に影が差している、または手や布に隠れている。	これらの箇所を遮るものがないようにしてください。	134

■ 仕上がり

症状	原因	対処	参照ページ
糸調子が合っていない。	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	58
	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸をセットし直します。(針板を取り外した場合は、針板を取り付け直します。)	55
	布地に合った針・糸を使っていない。	「布地と糸の種類による針の使い分け」を確認してください。	68
	押えホルダーが正しく取り付けられていない。	押えホルダーを正しく取り付けます。	—
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	83
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	50
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	66
	本機純正のポピンを使用していない。	本機純正ポピンを使用してください。	55
文字模様や飾り模様がくずれる。	模様が正しく調整されていない。	模様の調整をし直します。	154
模様がくずれる。	模様に合った押えを使用していない。	模様に適した押えを取り付けます。	208
	薄い布地や伸びる布地に刺しゅう用接着芯を貼っていない。	布地に刺しゅう用接着芯を貼ります。	153
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	83
	ぬっている途中で布地を引っ張ったり押えたり、布地がずれて送られたりしている。	布地がまっすぐ送られるように、布に手を軽く添えてぬいます。	74
	内かまなどで糸がからまっている。	からんだ糸を取ります。内かまの中で糸がからまっている場合は、内かまを掃除してください。	186


⚠ 注意



- このミシンには、糸切れ確認装置が付いています。上糸が通されていない状態でスタート/ストップスイッチを押しても、ミシンは正常に作動しません。
- 使用中に停電が発生した場合：
電源スイッチを切って、電源プラグを抜いてください。
再度電源スイッチを入れる場合は、本書の手順に従って正しく行ってください。

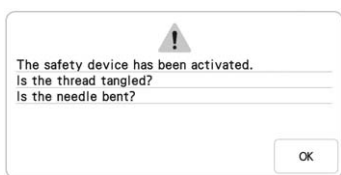
エラーメッセージ

ミシンが正しくセットされていない状態でスタート/ストップスイッチや返しぬいスイッチ、止めぬいスイッチを押したときや、誤った操作をしたときは、ミシンが止まります。アラーム音と液晶画面上的エラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

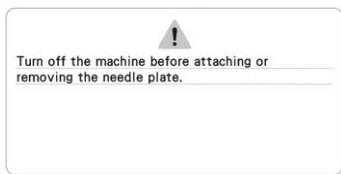
以下はエラーメッセージの説明です。必要に応じて参照してください（表示中のエラーメッセージは  を押すか、正しい操作をすると消えます）。

⚠ 注意

- 必ず糸をかけ直してください。糸をかけ直さずにスタート/ストップスイッチを押すと、糸調子不良や針折れの原因となり、けがをするおそれがあります。



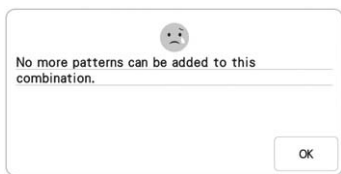
(安全装置が動きました。糸がからんでいませんか？針が曲がっていませんか？)



(針板を着脱するときは、電源を切ってください。)



(定期点検の時期になりました。)



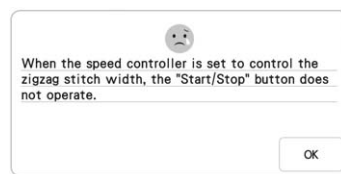
(これ以上模様の組み合わせができません。)

糸がらみなどが原因で、モーターがロックしたときに表示されます。

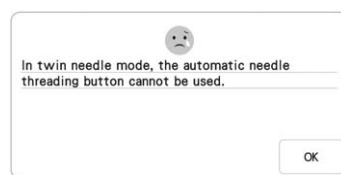
直線針板を取り付けた状態で、中基線以外の模様でぬおうとしたときに表示されます。ミシンの電源を入れたまま針板を取り外したとき、直線針板を取り付けた状態で、ミシンの電源を入れて、刺しゅうモードを選択したときに表示されます。

ミシンの定期点検が必要なときに表示されます。(P. 188)

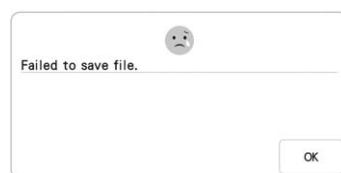
71 以上の模様を組み合わせようとしたときに表示されます。



(スピードコントロールレバーで振り幅を調節するときは、スタート/ストップスイッチは使用できません。)



(2本針の設定のときには、自動糸通しスイッチは使えません。)



(書き込みに失敗しました。)



(設定が消えます。よろしいですか?)




(この模様はデータ容量の制限を超えています。)

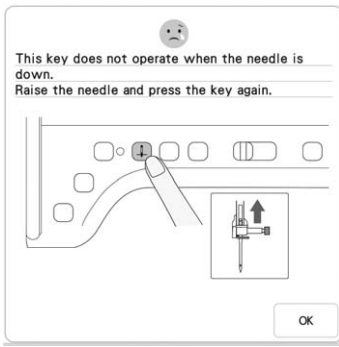
スピードコントロールレバーがジグザグぬいの振り幅を調節するように設定されている状態でスタート/ストップスイッチを押したときに表示されます。フットコントローラーでミシンを操作してください。

2本針が設定されている状態で自動糸通しスイッチを押したときに表示されます。

USB メディアに 100 個以上のカメラ画像もしくは設定画面の画像データを保存しようとしたときに表示されます。この場合は、USB メディアから画像を削除するか、別の USB メディアを使用してください。(P. 31)

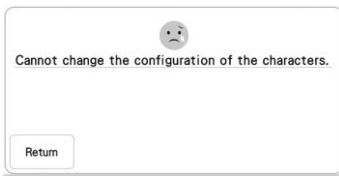
Delete あるいは All Delete を押して実用ぬいの設定を取り消すときに表示されます。設定を取り消す場合は、 を押します。

記憶容量の制限を超える模様を読み込んだり、大量の模様を編集したりしたときに表示されます。



針が下がった状態で液晶画面上のキーを押したときに表示されます。

(針が下がっているときに、このキーは使用できません。針を上げて、キーを押してください。)



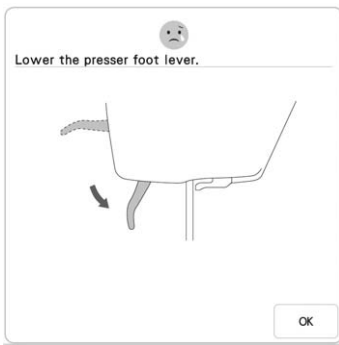
文字数が多くて曲線の配列ができないときに表示されます。

(文字の配列ができません。)



上糸が切れているか正しく通っていない状態で、スタート/ストップスイッチ、返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押したときに表示されます。

(上糸を確かめ、もう一度かけ直してください。)



押えレバーが上がっていて針が下がっている状態で、押え上下スイッチを押したときに表示されます。

(押えレバーを下げてください。)



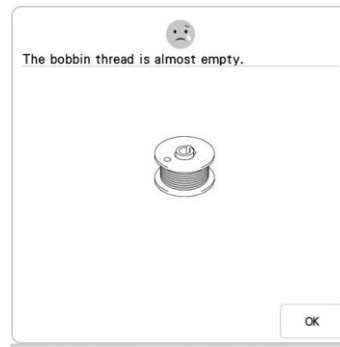
フットコントローラーを取り付けた状態で、実用ぬいや文字・模様ぬいをするためにスタート/ストップスイッチを押したときに表示されます。

(フットコントローラーが付いているときは、スタート/ストップスイッチは使用できません。フットコントローラーをはずしてください。)



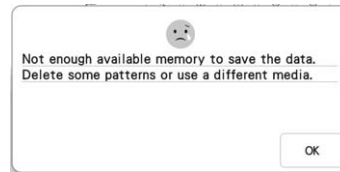
ぬい模様が選択されていない状態で、スタート/ストップスイッチ、返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押したときに表示されます。

(ステッチを選んでください。)



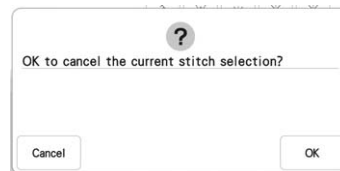
下糸が少なくなったときに表示されます。

(下糸が少なくなりました。)



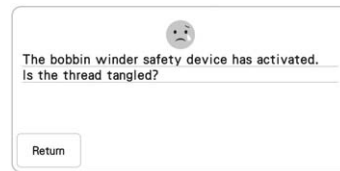
記憶容量がいっぱいで、模様を記憶できないときに表示されます。

(容量が不足しているためデータを保存できません。他の模様を消去するか、メディアを交換してください。)



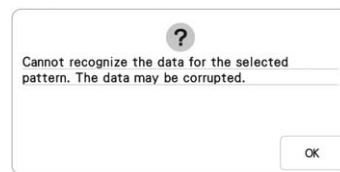
模様を選んだ後に、Utility Stitch、Character Decorative Stitch、あるいは を押して模様を削除しようとしたときに表示されます。

(模様の選択をキャンセルします。よろしいですか?)



下糸巻き中に、糸がらみなどでモーターがロックしたときに表示されます。

(下糸巻きの安全装置が働きました。糸がからんでいませんか?)



選択した模様のデータが壊れている可能性があるときに表示されます。

(模様のデータが読めません。データが壊れている可能性があります。)



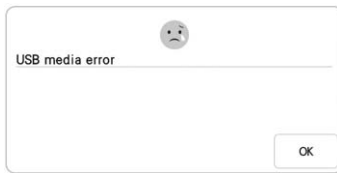
使用できないメディアを使用しようとしたときに表示されます。

(この USB メディアは使用できません。)



呼び出したい模様が保存された USB メディアを取り外した後で、USB メディア内に保存されていた模様を選択しようとしたときに表示されます。

(USB メディアが交換されました。読み込んでいる最中に交換しないでください。)



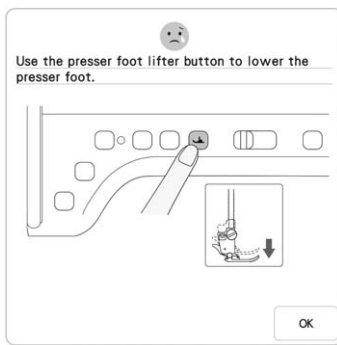
USB メディアでエラーが発生したときに表示されます。

(USB メディアエラー)



記憶容量がいっぱいで、模様の設定を消去する必要があるときに表示されます。

(ポケットがいっぱいです。)



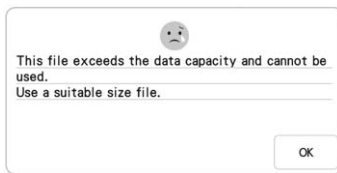
押えが上がっている状態で、スタート/ストップスイッチなどのスイッチを押したときに表示されます。

(押え上下スイッチで押えを下げてください。)



上糸が正しく通されていない可能性があるときに表示されます。

(糸がうまくかかっていない可能性があります。始めから糸をかけ直して下さい。)



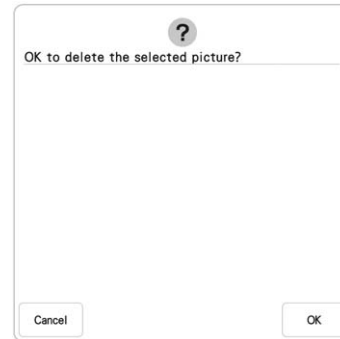
ファイルサイズが本機のデータ容量を超えているときに表示されます。ファイルのサイズと形式を確認してください。(P. 33)

(ファイルサイズが大きすぎます。規定サイズ以内のファイルを使用して下さい。)



本機が対応していない形式のファイルを読み込もうとしたときに表示されます。対応するファイル形式の一覧を確認してください。(P. 33)

(このファイルは使用できません。)



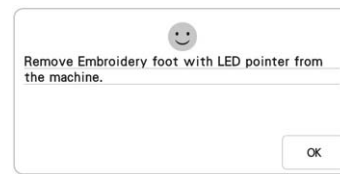
画像を削除しようとしたときに表示されます。

(選択した画像を削除しますが、よろしいですか?)



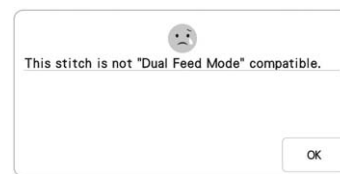
実用模様モード以外で Sewing Guide を押したときや、実用模様/文字・飾り模様モード以外で Pattern Explanation を押したときに表示されます。

(このキーは使えません。)



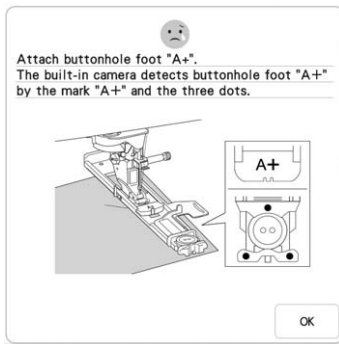
LED ポインター付き刺しゅう押えが取り付けられている状態で実用模様/文字・飾り模様をぬおうとすると表示されます。実用模様/文字・飾り模様モードに入る前に、LED ポインター付き刺しゅう押えを取り外してください。

(LED ポインター付き刺しゅう押えを外してください。)



選択中の模様では、デュアルフィード押えを使用できないときに表示されます。他の模様を選択してください。

(この模様はデュアルフィードモードでぬうことができません。)




このメッセージは、ボタン穴かがり押え< A+ >を取り付けずにボタン穴かがりぬいを開始すると表示されます。

(ボタン穴かがり押え< A+ >を取り付けてください。内蔵のカメラで、< A+ >マークと3つの点を認識することで、ボタン穴かがり押え< A+ >と判断しています。)

■ アラーム音

操作が正しく行われなかった場合、アラーム音でエラーの発生をお知らせします。操作が正しく行われた場合は、操作を確認する電子音が鳴りません。

お知らせ

- 電子音を鳴らないようにしたり音量を変えたりする場合は、を押してミシン本体の設定画面の4ページを表示し、[Machine Speaker Volume (ミシンスピーカーボリューム)] の設定を変更してください。詳しい手順については、P. 28 を参照してください。

仕様

項目	仕様
本体寸法	69.0 cm (幅) × 32.2 cm (奥行) × 34.9 cm (高さ)
製品質量	19.6 kg
刺しゅう機付き本体寸法	97.3 cm (幅) × 57.6 cm (奥行) × 34.9 cm (高さ)
刺しゅう機付き製品質量	24.4 kg
ぬい速度	毎分 70 ~ 1050 針
針	家庭用ミシン針 (HA × 1)
定格電圧/消費電力	100 V (50-60Hz) / 74 W
ライト	白色 LED

* 仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アップグレードの方法

USB メディアを使って、ミシンのソフトウェアをアップグレードすることができます。
「<http://s.brother/cpdad/>」でアップグレードプログラムが利用可能な場合、ウェブサイトと下記の説明に従ってファイルをダウンロードしてください。

🔍 **お願い**

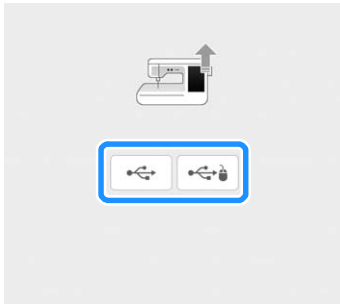
- USB メディアを使用してソフトウェアをアップグレードするときは、USB メディア内にアップグレードファイルだけを保存してください。

USB メディアを使用してアップグレードする

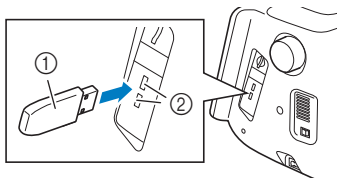
- 1** 自動糸通しスイッチを押しながら、電源スイッチを入れます。

→ 次の画面が表示されます。

- 2**  または  を押します。



- 3** 手順 **2** で押したボタンに対応する USB ポートに USB メディアを挿入します。USB メディアにはアップグレードファイルだけを保存してください。

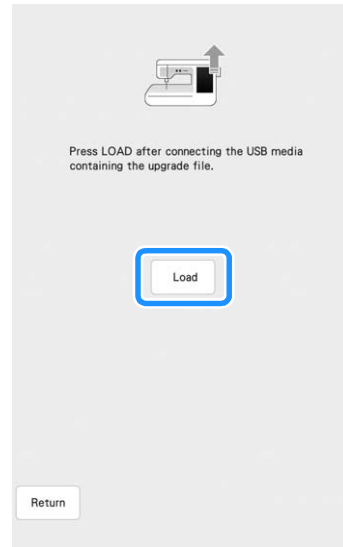


- ① USB メディア
- ② USB ポートコネクタ

🔍 **お願い**

- USB メディアを挿入したときに、アクセスランプが点滅し始め、USB メディアが認識されるまで約 5 ～ 6 秒かかることがあります。(USB メディアの種類によって、認識されるまでの時間が異なります。)

- 4**  を押します。



→ アップグレードファイルがダウンロードされます。

🔍 **お願い**


- エラーが発生すると、エラーメッセージが赤い文字で表示されます。ダウンロードが正常に行われると、以下のメッセージが表示されます。

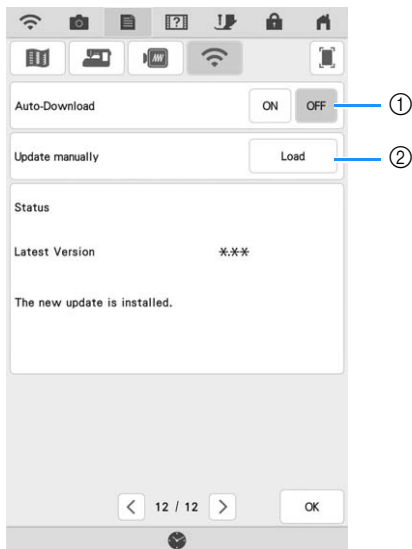



- 5** USB メディアを外し、ミシンの電源スイッチを入れ直します。

アップグレードファイルを無線接続でダウンロードする


ミシンが無線接続しているときはアップグレードファイルを直接ミシンにダウンロードすることができます。無線接続については、P. 44 を参照してください。

- 1  を押して、次の設定画面を表示し、① または ② のどちらかの方法でファイルをダウンロードします。




- ① [ON] に設定されているとき、ミシンは定期的に新しいアップグレードファイルがあるかを確認します。新しいファイルがあるときは、ダウンロードされます。
- ②  を押すと、ミシンは新しいアップグレードファイルがあるかを確認します。新しいファイルがあるときは、ダウンロードされます。
→ 画面下に確認結果が表示されます。

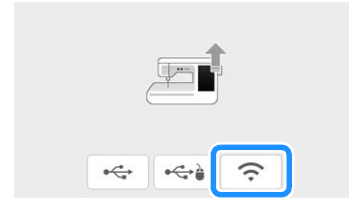
お知らせ

- ダウンロード中またはダウンロード完了時に画面左上にある無線 LAN キーに  が表示されます。このキーを押すと、設定画面で状況確認ができます。



- ダウンロード中はミシンの動作が遅くなる場合があります。

- 2 ダウンロード完了後、ミシンの電源を切ります。そのあとで、自動糸通しスイッチを押しながら、電源を入れます。
- 3  を押して、ミシンをアップグレードします。



お知らせ

- 機能変更や追加機能があるときは、ミシンに内蔵の説明書が更新されることがあります。

ぬい方早見表

この表では、実用ぬい模様の振り幅やぬい目の長さの設定についてを用途に合わせて紹介しています。また、それぞれの模様で2本針が使用できるかどうか、あわせて記載しています。

🔔 お願い







- キルト押え<C>は、直線針板がミシンに取り付けられているときに使用してください。P.119「フリーモーションキルト押え<C>を使用する」を参照してください。

模様	名前	押え		主な用途	振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針
					自動	手動	自動	手動	
 1-01	直線 (左基線)			地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。	—	—	2.5	0.2 - 5.0	○ (J)
 1-02	直線 (左基線)			地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。	—	—	2.5	0.2 - 5.0	○ (J)
 1-03	直線 (中基線)			地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。	—	—	2.5	0.2 - 5.0	○ (J)
 1-04	直線 (中基線)			地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。	—	—	2.5	0.2 - 5.0	○ (J)
 1-05	3重ぬい			丈夫なぬい目なので、袖つけや股下をぬうときに便利です。また、伸びる布地をぬうときやステッチをかけるときに使用します。	—	—	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
 1-06	伸縮ぬい			伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	1.0	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
 1-07	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	—	—	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
 1-08	しつけぬい			しつけに使用します。	—	—	5.0	5.0	×
 1-09	ジグザグ			たち目かがりやアップリケなどに使用します。	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 5.0	○ (J)
 1-10	ジグザグ			たち目かがりやアップリケなどに使用します。	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 5.0	○ (J)
 1-11	ジグザグ (右基線)			右の針位置からぬい始まります。	3.5	2.5 - 5.0	1.4	0.3 - 5.0	○ (J)
 1-12	ジグザグ (左基線)			左の針位置からぬい始まります。	3.5	2.5 - 5.0	1.4	0.3 - 5.0	○ (J)
 1-13	2点ジグザグ			普通地、伸びる布地のたち目かがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.0	0.2 - 5.0	○ (J)

模様	名前	押え		主な用途	振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針
					自動	手動	自動	手動	
	2点ジグザグ			普通地、伸びる布地のたち目かがりやゴムひもつけ、つくるいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.0	0.2 - 5.0	○ (J)
	3点ジグザグ			普通地、厚地、伸びる布地のたち目かがりやゴムひもつけ、つくるいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.0	0.2 - 5.0	○ (J)
	たち目かがり			薄地、普通地のたち目かがりに使用します。	3.5	2.5 - 5.0	2.0	0.4 - 5.0	×
	たち目かがり			厚地のたち目かがりに使用します。	5.0	2.5 - 5.0	2.5	0.4 - 5.0	×
	たち目かがり			普通地や厚地、破れやすい布地のたち目かがりや飾りぬいに使用します。	5.0	3.5 - 5.0	2.5	0.4 - 5.0	×
	たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	たち目かがり			普通地の伸びる布や厚地のたち目かがりや飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりや飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	4.0	0.4 - 5.0	○ (J)
	たち目かがり			伸びるニット地のたち目かがりに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	4.0	0.4 - 5.0	×
	たち目かがり			つなぎ目があり、伸びる布地のたち目かがりに使用します。	6.0	0.0 - 7.0	3.0	0.4 - 5.0	○ (J)
	たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりに使用します。	6.0	0.0 - 7.0	1.8	0.4 - 5.0	○ (J)
	サイドカッター			布を切りながら直線ぬいをします。	—	—	2.5	0.2 - 5.0	×
	サイドカッター			布を切りながらジグザグぬいをします。	3.5	3.5 - 5.0	1.4	0.0 - 5.0	×
	サイドカッター			布を切りながらたち目かがりをします。	3.5	3.5 - 5.0	2.0	0.4 - 5.0	×
	サイドカッター			布を切りながらたち目かがりをします。	5.0	3.5 - 5.0	2.5	0.4 - 5.0	×
	サイドカッター			布を切りながらたち目かがりをします。	5.0	3.5 - 5.0	2.5	0.4 - 5.0	×
	ピーシング直線 (右基線)			ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が6.5mmでぬえるように針位置が設定されています。	—	—	2.0	0.2 - 5.0	×
	ピーシング直線 (中基線)			ピーシング用の直線です。	—	—	2.0	0.2 - 5.0	×

模様	名前	押え		主な用途	振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針
					自動	手動	自動	手動	
	ピーシング直線 (左基線)			ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が6.5mmでぬえるように針位置が設定されています。	—	—	2.0	0.2 - 5.0	×
	手ぬい風直線			上糸にナイロン透明糸、下糸にキルトに合った色の糸を使うと手ぬい風のキルト直線がぬえます。	—	—	2.5	0.4 - 5.0	×
	ジグザグ			アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンぬいなどに使用します。	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 5.0	×
	アップリケ			アップリケやバイディングをするときに使用します。	1.5	0.0 - 7.0	1.8	0.4 - 5.0	×
	キルティング模様			キルトで背景を埋めるときに使用します。	7.0	0.0 - 7.0	1.6	0.4 - 5.0	×
	まつりぬい			普通地のまつりぬいに使用します。	00	3← - →3	2.0	0.4 - 5.0	×
	まつりぬい			伸びる布地のまつりぬいに使用します。	00	3← - →3	2.0	0.4 - 5.0	×
	アップリケ			アップリケに使用します。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	アップリケ			アップリケに使用します。	2.5	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	シェルタック			シェルタックは貝殻を直線状にならべたような円弧状のひだを作るもので、ふち取りなどに用いるほか、ブラウス、ワンピースなどの胸元や袖に飾りぬいとして使用します。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○ (J)
	サテンスカラップ			スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	0.5	0.1 - 5.0	○ (J)
	スカラップ			スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。	7.0	0.0 - 7.0	1.4	0.4 - 5.0	×
	つきあわせ			パッチワークや飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	1.2	0.2 - 5.0	○ (J)
	つきあわせ			パッチワークや飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	つきあわせ			コードなどを使った飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.2	0.2 - 5.0	○ (J)
	スモッキング			スモッキングや飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	0.4 - 5.0	○ (J)

模様	名前	押え		主な用途	振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針
					自動	手動	自動	手動	
	ファゴティング			ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	ファゴティング			ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	ゴムひもつけ			伸びる布地にゴムひもをつけるときに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	1.0	0.2 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	3.0	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	1.0	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	5.5	0.0 - 7.0	1.6	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいやゴムひもつけに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.0	0.2 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいやアップリケに使用します。	6.0	0.0 - 7.0	1.0	0.2 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	7.0	0.0 - 7.0	1.6	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			左基線の3重ぬいで、すそ飾りなどに使用します。	—	—	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			中基線の3重ぬいで、すそ飾りなどに使用します。	—	—	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。	6.0	0.0 - 7.0	3.0	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			レースつけやふち飾りなどに使用します。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。	3.0	0.0 - 7.0	3.5	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。	6.0	0.0 - 7.0	3.0	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0	0.0 - 7.0	3.5	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0	0.0 - 7.0	3.5	0.4 - 5.0	×

模様	名前	押え		主な用途	振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針
					自動	手動	自動	手動	
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.0	0.0 - 7.0	3.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.0	0.0 - 7.0	4.0	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	6.0	0.0 - 7.0	3.5	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	6.0	0.0 - 7.0	1.6	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	6.0	0.0 - 7.0	3.0	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	6.0	0.0 - 7.0	4.0	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.0	0.0 - 7.0	2.0	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			つき合わせや飾りぬいに使用 します。	6.0	0.0 - 7.0	2.0	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りやぬった後にリボン を通して飾りとして使用しま す。	5.0	0.0 - 7.0	3.0	0.4 - 5.0	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいやスモッキングに使用 します。	6.0	0.0 - 7.0	1.6	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			飾りぬいやスモッキングに使用 します。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			飾りぬいやスモッキングに使用 します。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			ふち飾りやぬった後にリボン を通して飾りとして使用しま す。	7.0	0.0 - 7.0	1.6	0.4 - 2.5	×
	ボタン穴かがり			ねむり穴、横穴用。薄地から 普通地のボタン穴かがりに使 用します。ブラウス、シャツ などに使用します。	5.0	3.0 - 6.5	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり			横穴用。厚地の布や厚みのある ボタンを使うときに使用しま す。	5.5	3.5 - 6.5	0.4	0.2 - 1.0	×

模様	名前	押え		主な用途	振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針
					自動	手動	自動	手動	
	ボタン穴かがり			横穴用。ウエストベルトなど力がかかるところに使用します。	5.0	3.0 - 6.5	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり			横穴用。厚地のボタン穴かがりに使用します。	5.0	3.0 - 6.5	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり			ボタン穴かがり + かんどめ	5.0	3.0 - 6.5	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり			ねむり穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。ジャケットやブラウスに使用します。	5.0	3.0 - 6.5	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり			両止めボタン穴かがり。麻、木綿など、ある程度腰のある素材に適しています。ホームウェアやブラウスなど手軽にぬえるものに使用します。	5.0	3.0 - 6.5	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり			両止めボタン穴かがり。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。	5.5	3.5 - 6.5	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり			ボタン穴かがり + かんどめ	5.0	3.0 - 6.5	0.4	0.2 - 1.0	×
	ボタン穴かがり			伸びる布地や編み地のボタン穴かがりに使用します。芯ひもを入れてぬいます。	6.0	3.0 - 6.5	1.0	0.5 - 2.0	×
	ボタン穴かがり			伸びる布地のボタン穴かがりに使用します。芯ひもを入れてぬいます。	6.0	3.0 - 6.5	1.5	1.0 - 3.0	×
	ボタン穴かがり			玉ぶち穴かがり（バウンドボタンホール）を作るときに使用します。	5.0	0.0 - 6.5	2.0	0.2 - 4.0	×
	ボタン穴かがり			はとめ穴。厚地や毛足の長い布のボタン穴かがりに使用します。プレザー、スーツ、コートなどに使用します。	7.0	3.0 - 7.0	0.5	0.3 - 1.0	×
	ボタン穴かがり			はとめ穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。ジーンズ、ズボンなどに使用します。	7.0	3.0 - 7.0	0.5	0.3 - 1.0	×
	ボタン穴かがり			はとめ穴。厚地や毛足の長い布の横穴ボタン穴かがりに使用します。厚手のコートなどに使用します。	7.0	3.0 - 7.0	0.5	0.3 - 1.0	×
	4ステップ ボタン穴かがり 1			4ステップ ボタン穴かがり左	5.0	1.5 - 7.0	0.4	0.2 - 1.0	×
	4ステップ ボタン穴かがり 2			4ステップ ボタン穴かがりかんどめ	5.0	1.5 - 7.0	0.4	0.2 - 1.0	×
	4ステップ ボタン穴かがり 3			4ステップ ボタン穴かがり右	5.0	1.5 - 7.0	0.4	0.2 - 1.0	×
	4ステップ ボタン穴かがり 4			4ステップ ボタン穴かがりかんどめ	5.0	1.5 - 7.0	0.4	0.2 - 1.0	×
	ダーニング			普通地のつくろいぬいに使用します。	7.0	2.5 - 7.0	2.0	0.4 - 2.5	×

模様	名前	押え		主な用途	振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針
					自動	手動	自動	手動	
	ダーニング			厚地のつくりぬいに使用します。	7.0	2.5 - 7.0	2.0	0.4 - 2.5	×
	かんどめ			ぬい目がほだけやすい箇所やポケット口などのあき止まり部分の力の加わる部分を補強したい場合に用います。	2.0	1.0 - 3.0	0.4	0.3 - 1.0	×
	ボタンつけ			ボタンつけに使用します。	3.5	2.5 - 4.5	—	—	×
	アイレット			ベルトの調節用の穴をかがる時などに使用します。普通地に使用します。	7.0	7.0 6.0 5.0	7.0	7.0 6.0 5.0	×
	アイレット			星型の穴をかがるときに使用します。	—	—	—	—	×
	横送り直線			でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
	横送り直線			でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
	横送り直線			でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
	横送り直線			でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
	横送り直線			でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
	横送り直線			でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
	横送り直線			でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
	横送りジグザグ			でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
	横送りジグザグ			でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
	横送りジグザグ			でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
	横送りジグザグ			でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
	ピーシング直線 (中基線)			ピーシング用の直線です。	—	—	2.0	0.2 - 5.0	×

模様	名前	押え		主な用途	振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針
					自動	手動	自動	手動	
	ピーシング直線 (右基線)			ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が6.5mmでぬえるように針位置が設定されています。	—	—	2.0	0.2 - 5.0	×
	ピーシング直線 (左基線)			ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が6.5mmでぬえるように針位置が設定されています。	—	—	2.0	0.2 - 5.0	×
	手ぬい風直線			上系にナイロン透明糸、下系にキルトに合った色の糸を使うと手ぬい風のキルト直線がぬえます。	—	—	2.5	0.4 - 5.0	×
	しつけぬい			しつけに使用します。	—	—	5.0	5.0	×
	伸縮ぬい			伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	1.00	0.00 - 7.00	2.5	0.4 - 5.0	×
	ジグザグ			アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンぬいなどに使用します。	3.50	0.00 - 7.00	1.6	0.0 - 5.0	×
	ジグザグ (右基線)			右の針位置からぬい始まります。	3.50	2.50 - 5.00	1.6	0.3 - 5.0	×
	ジグザグ (左基線)			左の針位置からぬい始まります。	3.50	2.50 - 5.00	1.6	0.3 - 5.0	×
	2点ジグザグ			普通地、伸びる布地のたち目かがりやゴムひもつけ、つくりぬいなど幅広い用途に使用します。	5.00	0.00 - 7.00	1.0	0.2 - 5.0	×
	3点ジグザグ			普通地、厚地、伸びる布地のたち目かがりやゴムひもつけ、つくりぬいなど幅広い用途に使用します。	5.00	0.00 - 7.00	1.0	0.2 - 5.0	×
	アップリケ			アップリケやバイディングをするときに使用します。	2.00	0.00 - 7.00	2.0	0.4 - 5.0	×
	シェルタック			シェルタックは貝殻を直線状にならべたような円弧状のひだを作るもので、ふち取りなどに用いるほか、ブラウス、ワンピースなどの胸元や袖に飾りぬいとして使用します。	4.00	0.00 - 7.00	2.5	0.2 - 5.0	×
	アップリケ			アップリケに使用します。	3.50	0.00 - 7.00	2.5	0.4 - 5.0	×
	キルティング模様			キルトで背景を埋めるときに使用します。	7.00	0.00 - 7.00	1.6	0.4 - 5.0	×
	たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりに使用します。	5.00	0.00 - 7.00	4.0	0.4 - 5.0	×
	ゴムひもつけ			伸びる布地にゴムひもをつけるときに使用します。	5.50	0.00 - 7.00	1.4	0.2 - 5.0	×

模様	名前	押え		主な用途	振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		2本針
					自動	手動	自動	手動	
	飾りぬい			飾りぬいやゴムひもつけに使用します。	5.00	0.00 - 7.00	2.0	0.2 - 5.0	×
	ファゴティング			ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.00	0.00 - 7.00	2.5	0.4 - 5.0	×
	ファゴティング			ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.00	0.00 - 7.00	2.5	0.4 - 5.0	×
	つきあわせ			コードなどを使った飾りぬいに使用します。	5.00	0.00 - 7.00	1.2	0.2 - 5.0	×
	つきあわせ			パッチワークや飾りぬいに使用します。	5.00	0.00 - 7.00	2.5	0.4 - 5.0	×
	スマッキング			スマッキングや飾りぬいに使用します。	5.00	0.00 - 7.00	1.6	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	4.00	0.00 - 7.00	2.5	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			飾りぬいやアプリケに使用します。	6.00	0.00 - 7.00	1.0	0.2 - 5.0	×
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	5.50	0.00 - 7.00	1.6	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.00	0.00 - 7.00	2.0	0.4 - 5.0	×
	飾りぬい			つき合わせや飾りぬいに使用します。	6.00	0.00 - 7.00	2.0	0.4 - 5.0	×
	たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりに使用します。	6.00	0.00 - 7.00	3.0	0.4 - 5.0	×
	たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりや飾りぬいに使用します。	4.00	0.00 - 7.00	4.0	0.4 - 5.0	×
	フリーモーションカウチング			カウチング押え（別売）でフリーモーションカウチングをするときに使用します。	—	—	—	—	×
	フリーモーションしつけぬい			フリーモーションでしつけぬいをするときに使用します。	—	—	—	—	×

索引

数字

1 針ぬい / 3 重ぬい 177

L

L/R シフト 82

M

MPEG-4 (MP4) 動画 41

S

SD カード
種類 168

U

USB ポートコネクタ
メディア用 12, 169
USB マウス 47
USB メディア
記憶する 169
種類 168
呼び出す 171

あ

アイレット 142
アクセサリケース 14
アップグレード 206
アプリケ
キルティング 117
ジグザグぬい 109
アラーム音 204
アルファベット書体
文字・模様ぬい 150

い

糸
糸調子 83
布地と糸と針の組み合わせ 68
糸案内 12, 51, 53, 54, 58, 62
糸切り 12, 75
糸切りスイッチ 14
糸こま押え 12
糸こまネット 65
糸たてスタンド 54, 63
糸たて棒 12
糸密度キー 160
イメージキー 99, 161, 178

う

上糸通し
糸こまネットを使用する 65
自動糸通しスイッチ 58
2 本針モード 61
上ふた 12
ウォーキングフット 70
内かま
掃除 186

え

液晶画面 12, 26
明るさ調整 28
掃除 186

エコークルト 122
エコモード 32
エラーメッセージ 201

お

大きさ選択キー 159
送り歯 13, 119
押え
圧力 87
種類 208
取り付ける 69
取り外す 69
押え上下スチッチ 14
押えホルダー 13, 69
押えホルダーのネジ 13
押えレバー 12, 79
折り伏せぬい 107

か

返しぬいスイッチ 77
返しぬい / 止めぬい 76
返しぬい / 止めぬいスイッチ 14, 76
拡大キー 177
飾りぬい
デジーステッチ 132
ドロンワーク 133
換気口 12
かんどめ 140

き

キーのはたらき
実用ぬい 97
マイラスト機能 176
文字・模様ぬい 156
記憶する
USB メディア 169
実用ぬい 100
マイラスト 182
ミシンのメモリー 169
文字・模様ぬい 169
模様の設定 100
ギャザー 106
キルティング
フリーモーション 119
キルト
サテンぬい 118
キルトぬい 114

く

グリッド方向キー 177
クレイジーキルト 109

こ

コードガイドふた 109
困ったとき 189
ゴムひもつけ 110, 131

さ

サイドカッター押え 112
サテンぬい 118, 160
左右反転キー 99

し

シェルタックぬい	128
ジグザグぬい	108
刺しゅう機	13
キャリッジ	13
下糸通し	
下糸をセットする	55
下糸を引き出す	57
下糸巻き案内	12, 51, 54
下糸巻き装置	12
下糸を巻く	50
しつけぬい	133
実用ぬい	
キーのはたらき	97
記憶する	100
選択する	96
ぬい方キー	39
ぬい方早見表	208
模様説明キー	42
呼び出す	101
実用模様	
模様選択画面	98
自動糸切りキー	84
自動糸通しスイッチ	14, 58
自動押え圧補正	87
自動止めぬい	77
仕様	205

す

スカラップぬい	128
スクリーンセーバー	33
スタート/ストップスイッチ	14
ステップ模様	165
スピーカー	28
スピードコントロールレバー	12, 14, 74
スモッキングぬい	129

せ

設定	
糸調子	83
刺しゅうの設定	30
自動糸切り	84
設定キー	27
ぬい方の設定	27
ぬい目の長さ	81
振幅	81
ミシン本体の設定	28
セットキー	177

そ

操作スイッチ	12, 14
掃除	
液晶画面	186
かま	186
本体表面	186
外かま	186

た

ダーツ	105
ダーニング (つくろいぬい)	139
たち目かがり	109, 110
試しぬいキー	178, 182

ち

直線押え	104
直線ぬい	102
直線針板	104

つ

使い方動画	40
つき合わせぬい	129

て

デュアルタッチペン	90, 177
デュアルタッチペンホルダー	91
デュアルフィード押え	71, 117
電源オフサポートモード	32
電源コード	25
電源ジャック	12
電源スイッチ	12, 24
点線ジグザグぬい	110

と

時計	25
止めぬい	76
止めぬいスイッチ	77

な

内蔵カメラ	89, 91
ナイロン透明糸	68

に

ニードル	12, 86
ニット用針	68
2本針	61
2本針キー	61

ぬ

ぬい方キー	39
ぬい方早見表	208
布地	
厚地をぬう	79
薄地をぬう	80
布地と糸と針の組み合わせ	68
伸びる布地をぬう	80, 136

は

パッチワーク	109
針	
2本針	61
布地と糸と針の組み合わせ	68
針位置の確認	88
針の交換	66
針板	13
針板ふた	13, 55
針位置	88, 103
針位置の変え方	103
針位置設定	35
針・押え交換キー	61, 66, 69
針上下スイッチ	14
針のとめネジ	13
針棒糸かけ	13, 62
反転キー	159
ハンドル	12

ひ

ピーシング	116
ピボット	85
ピンタック	108

ふ

プーリー	12
ファゴティングぬい	130
ファスナーつけ	

つき合わせ	144
フットコントローラー	12, 75
部品	
付属品	15
別売品	19
フリーモーションキルト	
エコーキルト押え<E>	122
オープントウキルト押え<O>	121
フリーモーションキルト押え<C>	119
フリーモーションモード	119
プロジェクター	90, 92
ブロック移動キー	179

へ

ヘアルーム	132
編集	
マイイラスト機能	176
文字・模様ぬい	156

ほ

ホーム画面	26
ポイント削除キー	178
ポイント挿入キー	180
補助糸たて棒	12, 50, 62
補助テーブル	12, 14
ボタン穴かがり	
4ステップ	138
ボタン穴かがり	134
ボタンつけ	141
4つ穴ボタン	142
糸足	142
ボタンホール	
変わった形のボタン／ボタンが台皿にのらない場合	137
ボビン	
下糸を引き出す	57
セットする	55
巻く	50
ボビクリップ	15
ボビンホルダー (スイッチ)	52

ま

マイイラスト機能	
キーのはたらき	176
記憶する	182
データの入力	176
デザイン	174
呼び出す	183
リストに保存する	182
まつりぬい	124
マルチ機能フットコントローラー	32
マルチドライバー	22

み

ミシン操作モードキー	196
ミシンヘルプキー	37

も

文字・模様ぬい	
選び方	148
キーのはたらき	156
記憶する	169
組み合わせ	162
調整	154
ぬう	153
編集	156
模様選択画面	149
呼び出す	170, 171
模様の頭出しキー	160
模様の組み合わせ	
文字・模様ぬい	162

模様の長さキー	159
---------	-----

や

矢印キー	177
------	-----

よ

横送り	143
呼び出す	
USBメディア	171
実用ぬい	101
マイイラスト	183
ミシンのメモリー	170
文字・模様ぬい	170
模様の設定	101

り

利用規約	3
------	---

れ

連続／単独ぬいキー	159
-----------	-----













Brother SupportCenterは、ブラザー製品のサポート情報を提供するモバイルアプリです。



必ず最新のソフトウェアをインストールしてください。
最新バージョンでは、様々な機能向上を行っています。

アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(マシン119番)」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのマシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室(マシン119番)」にご相談ください。

■ お客様相談室(マシン119番)

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げの販売店または「お客様相談室(マシン119番)」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室(マシン119番) Tel: 050-3786-1134
050(ゼロ ゴー ゼロ)で始まる電話番号です。

Fax: 052-824-3031

受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:30

休業日: 土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- 「お客様相談室(マシン119番)」は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。マシン背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室(マシン119番)」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。

<http://www.brother.co.jp/>

ブラザーのサポートサイトでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。

<http://s.brother/cpdad/>



本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象となりませんのでご注意ください。

This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using it overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk will void your warranty.

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

882-W30



D01MPP-001